平成 27 年度
東京医科歯科大学全学共通科目

東京医科歯科大学教養部

目次

哲学Ⅰ……6
哲学Ⅱ……8
倫理学Ⅰ……10
倫理学Ⅱ……12
心理学Ⅰ……14
心理学Ⅱ……16
宗教学Ⅰ……18
宗教学Ⅱ……20
芸術Ⅰ……22
芸術Ⅱ……24
歴史学ＡⅠ……26
歴史学ＡⅡ……28
歴史学ＢⅠ……30
歴史学ＢⅡ……32
科学史Ⅰ……34
科学史Ⅱ……36
文学ＡⅠ……38
文学ＡⅡ……40
文学ＢⅠ……42
文学ＢⅡ……44
法学Ⅰ……46
法学Ⅰ（憲法）……48
法学Ⅱ……50
政治学Ⅰ……52
政治学Ⅱ……54
経済学Ⅰ……56
経済学Ⅱ……58
社会学ＡⅠ……60
社会学ＡⅡ……62
社会思想史Ⅰ……64
社会思想史Ⅱ……66
文化人類学Ⅰ……68
文化人類学Ⅱ……70
社会科学特論ＡⅠ……72
社会科学特論ＡⅡ……74
物理学入門……76
生物学入門Ｍ・Ｄ・Ｔ……77
生物学入門Ｎ･Ｏ･Ｋ……79
化学入門……81
数学（微積分）Ｍ……83
数学（微積分）Ｄ……85
数学（線形代数）（α）……87
数学（線形代数）（β）……89
数学基礎……91
統計学Ｏ・Ｋ……93

統計学Ｎ……95
統計学Ｔ……97
物理学（力学α）……99
物理学（力学β）……101
物理学（力学γ）……103
物理学（電磁気学α）……105
物理学（電磁気学β）……107
物理学（電磁気学γ）……109
化学（一般化学）Ｍ……111
化学（一般化学）Ｄ……114
化学（一般化学）Ｔ……117
化学基礎(α)……120
化学基礎(β)……122
生物学（細胞・遺伝子）Ｍ……125
生物学（細胞・遺伝子）DT……127
生物学（構造・機能）Ｍ……129
生物学（構造・機能）DT……131
生物学基礎……133
英語……135
英語ａ……136
英語ａ……138
英語ａ……140
英語ａ……142
英語ａ……144
英語ａ……146
英語ａ……148
英語ａ……150
英語ａ……152
英語ａ……154
英語ａ……156
英語ａ……158
英語ａ……160
英語ｂ……162
英語ｂ……164
英語ｂ……166
英語ｂ……168
英語ｂ……170
英語ｂ……172
英語ｂ……174
英語ｂ……176
英語ｂ……178
英語ｂ……180
英語ｂ……182
英語ｃ……184
英語ｃ……186
英語ｃ……188
英語ｃ……190
英語ｃ……192
英語ｃ……194

英語 c.....196
英語 c.....198
英語 c.....200
英語 c.....202
英語 c.....204
英語 c.....206
英語 c.....208
英語 d.....210
英語 d.....212
英語 d.....214
英語 d.....216
英語 d.....218
英語 d.....220
英語 d.....222
英語 d.....224
英語 d.....226
英語 d.....228
英語 d.....230
日本語 a.....232
日本語 b.....233
日本語 c.....235
日本語 d.....236
ドイツ語.....238
ドイツ語 a.....239
ドイツ語 a.....241
ドイツ語 a.....243
ドイツ語 a.....245
ドイツ語 a.....247
ドイツ語 a.....249
ドイツ語 b.....251
ドイツ語 b.....253
ドイツ語 b.....255
ドイツ語 b.....257
ドイツ語 b.....259
ドイツ語 c.....261
ドイツ語 c.....263
ドイツ語 c.....265
ドイツ語 c.....267
ドイツ語 c.....269
ドイツ語 c.....271
ドイツ語 d.....273
ドイツ語 d.....275
ドイツ語 d.....277
ドイツ語 d.....279
ドイツ語 d.....281
ドイツ語 d.....283
フランス語 a.....285
フランス語 a.....287
フランス語 b.....289

フランス語ｂ.....291
フランス語ｃ.....293
フランス語ｃ.....295
フランス語ｃ.....297
フランス語ｄ.....299
フランス語ｄ.....301
フランス語ｄ.....303
フランス語ｄ.....305
中国語ａ.....307
中国語ａ.....309
中国語ｂ.....311
中国語ｂ.....313
中国語ｃ.....315
中国語ｃ.....317
中国語ｄ.....319
中国語ｄ.....321
スペイン語ａ.....323
スペイン語ａ.....325
スペイン語ｂ.....327
スペイン語ｃ.....329
スペイン語ｃ.....331
スペイン語ｄ.....333
物理学実験.....335
化学実験.....339
生物学実験.....343
科学基礎実験Ｔ.....347
科学基礎実験Ｎ・Ｏ・Ｋ.....349
科学基礎演習.....351
情報科学Ｎ.....353
情報科学Ｔ.....355
情報科学Ｏ・Ｋ.....357
情報処理(α).....360
情報処理(β).....363
スポーツ・健康科学.....366
スポーツ・健康科学.....368
フィットネスマネージメント.....370
フィットネスマネージメント.....372
フィットネスマネージメント.....374
フィットネスマネージメント.....376
Ｓ・Topics in the News.....378
Ｓ・フランスとヨーロッパの現代.....380
Ｓ・英文史料を読む/19 世紀ヨーロッパのナショナリズム.....382
Ｓ・中国近現代史.....384
Ｓ・漢文講読.....386
Ｓ・初等力学.....388
Ｓ・メンタルトレーニング.....390
Ｓ・医歯学生のための法学概論.....392
Ｓ・離散構造講義.....394
Ｒ・講義と実習によるバイオサイエンス１.....396

S・アメリカ文学を読む.....398
S・計算機による数学.....400
R・整数論.....402
S・水の科学.....404
S・「言葉」とはなにか.....406
S・分子分光学演習：基礎編.....408
S・現代ﾊﾟﾌｫｰﾐﾝｸﾞｱｰﾂ入門.....409
S・ウニの発生と海産生物の観察実習.....411
S・フィットネスキャンプ.....413
S・Physics Laboratory in English.....415
S・Marine Biology in English.....417
S・Discussions on Human Behavior.....419
S・フランス語でニュースを読む.....421
S・情報.....423
S・日本の古典.....425
S・ロシア語入門.....427
R・離散構造（β）.....429
S・数学解析.....431
S・実用統計学.....433
S・糖の科学.....435
R・講義と実習によるバイオサイエンス2.....437
S・表象文化論.....439
R・離散構造（α）.....441
S・ドイツの詩を読む.....443
S・数理生物学.....445
S・彫刻（塑造）.....447
S・生体分子分光学演習.....448
S・基礎物理化学演習.....449
R・符号理論.....451
S・Basic Concepts in Physics.....453
S・翻訳演習.....455
S・現代中国論.....457
S・BASIC 言語.....459
S・英語による解析力学.....461
S・野外運動実習.....462
S・Introduction to Language and Linguistics.....464
教養総合講座.....466
医療人間学概論（倫理学）.....468
医療人間学概論（法学）.....470
医療人間学セミナーⅠ（法学）.....472
医療人間学セミナーⅠ（倫理学）.....473
医療人間学セミナーⅡ（法学）.....475
医療人間学セミナーⅡ（倫理学）.....476

時間割番号	000001				
科目名	哲学Ⅰ				
担当教員	田中　智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

◇ 曜日・時間：月曜１限

◇ 対象学科：全学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表 1-1）言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

私たちは徹頭徹尾、世界と関係している。だからこそ私たちがそのことに気づく唯一つの方法は、そのように世界と関係する運動を中止することなのである。〔中略〕それは常識や自然的態度のもっている諸確信を放棄することではない（それどころか逆に、そうした諸確信こそ哲学の恒常的なテーマなのだ）。そうではなく、むしろそれらの確信がまさにあらゆる思惟の前提として「自明のもの」になっており、しかしそうとは気づかれないで通用しているからこそ、そうするのである。　　メルロ＝ポンティ『知覚の現象学』

この授業では上の言葉を導きの糸にして、「わたし」あるいは「自己」というものの成り立ちについて考察します。それはいいかえれば、「わたし」が「わたし」としてあること、ありうることの根拠を、あらためて問う試みです。そしてそこからは、「わたし」と「他者」との間には、また「世界」との間には、どのような関係性があるのか、ありうるのかという問いへと、さらに議論は展開していくことになるでしょう。

なお、授業は講義形式で行います。また受講に際しては、哲学に関する知識の多寡は問われません。「自明のもの」をあらためて「思考する」こと、そのことへの興味があれば、さしあたりは十分です。

授業の到達目標(SBOs)

(1)上記の試みをつうじて、私たちの生とそれが営まれるこの世界とについて理解を深めること。

(2)「わたし」「他者」およびそれらに関連する哲学のテーマについて基本的な理解を得ること。

(3)「世界の解像度を上げる」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	8 番教室	第 1 回	田中　智彦
2	4/20	09:10-10:40	8 番教室	第 2 回	田中　智彦
3	4/27	09:10-10:40	8 番教室	第 3 回	田中　智彦
4	5/11	09:10-10:40	8 番教室	第 4 回	田中　智彦
5	5/18	09:10-10:40	8 番教室	第 5 回	田中　智彦
6	5/25	09:10-10:40	8 番教室	第 6 回	田中　智彦
7	6/1	09:10-10:40	8 番教室	第 7 回	田中　智彦
8	6/8	09:10-10:40	8 番教室	第 8 回	田中　智彦
9	6/15	09:10-10:40	8 番教室	第 9 回	田中　智彦
10	6/22	09:10-10:40	8 番教室	第 10 回	田中　智彦
11	6/29	09:10-10:40	8 番教室	第 11 回	田中　智彦
12	7/6	09:10-10:40	8 番教室	第 12 回	田中　智彦
13	7/13	09:10-10:40	8 番教室	第 13 回	田中　智彦
14	7/27	09:10-10:40	8 番教室	第 14 回	田中　智彦
15	7/30	09:10-10:40	8 番教室	第 15 回	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもありえます（その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します）。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

この授業では順次、以下の論点を取り上げていきます。

第 1 回–5 回:「わたし」あるいは「自己」の成り立ちについて 第 6 回–10 回:「わたし」あるいは「自己」と「他者」との関係性について 第 11 回–15 回:それらをふまえたときに見えてくる「世界」のありようについて
成績評価の方法 ◇評価:期末試験もしくは期末レポート　80% その他　20%(出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価:有(試験もしくはレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中　智彦:毎週月曜日　11:00～13:00　管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000002				
科目名	哲学Ⅱ				
担当教員	田中　智彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

◇ 曜日・時間：月曜１限

◇ 対象学科：全学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表 1-3）人間の歴史的営みを理解する

別表 1-5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

身体性は存在と所有の境界ゾーンである。あらゆる所有はある仕方で、私の身体に関連して定義される。私の身体は、絶対的な所有であるというそのことによって、いかなる意味でも所有であることをやめるものである。所有することとは、所有物を自由にすることができるということ、所有物に対して力を所有するということである。この自由にすること、あるいはこの力ということには、必ず有機体の介在が含まれている。ところが、この有機体そのものは、まさにそのことによって、私がそれを自由にできるとは言えなくなるのである。

マルセル『存在と所有』

この授業では上の言葉を導きの糸にして、私たちの「生命」と「身体」について考察します。またそれらと深く関係する他の論点についても――たとえば「健康」「正常」といった概念や、「病む」「老いる」といった経験についても――あわせて考察してゆきます。そしてそのことは、私たち人間にとって「生」とは、「死」とは何かということを、あらためて問うことにもつながるでしょう。

なお、授業は講義形式で行います。また受講に際しては、哲学に関する知識の多寡は問われません。「自明のもの」をあらためて「思考する」こと、そのことへの興味があれば、さしあたりは十分です。

授業の到達目標(SBOs)

(1)上記の試みをつうじて、私たちの生命・身体とそれらが住まうこの世界とについて理解を深めること。

(2)「生命」「身体」およびそれらに関連する哲学のテーマについて基本的な理解を得ること。

(3)「世界の解像度を上げる」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	8 番教室	第 1 回	田中　智彦
2	10/5	09:10-10:40	8 番教室	第 2 回	田中　智彦
3	10/19	09:10-10:40	8 番教室	第 3 回	田中　智彦
4	10/26	09:10-10:40	8 番教室	第 4 回	田中　智彦
5	11/2	09:10-10:40	8 番教室	第 5 回	田中　智彦
6	11/9	09:10-10:40	8 番教室	第 6 回	田中　智彦
7	11/16	09:10-10:40	8 番教室	第 7 回	田中　智彦
8	11/30	09:10-10:40	8 番教室	第 8 回	田中　智彦
9	12/7	09:10-10:40	8 番教室	第 9 回	田中　智彦
10	12/14	09:10-10:40	8 番教室	第 10 回	田中　智彦
11	12/21	09:10-10:40	8 番教室	第 11 回	田中　智彦
12	1/18	09:10-10:40	8 番教室	第 12 回	田中　智彦
13	1/25	09:10-10:40	8 番教室	第 13 回	田中　智彦
14	2/1	09:10-10:40	8 番教室	第 14 回	田中　智彦
15	2/8	09:10-10:40	8 番教室	第 15 回	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもありえます（その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します）。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

この授業では順次、以下の論点を取り上げていきます。 第 1 回–5 回:「身体」と「世界」との関係性について 第 6 回–10 回:「健康」「正常」「病」といった概念について 第 11 回–15 回:「生命」をめぐる思考の歴史と現在について
成績評価の方法 ◇評価:期末試験もしくは期末レポート 80% その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価:有(試験もしくはレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる記録とを併用します。
連絡先 田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦:毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000003				
科目名	倫理学Ⅰ				
担当教員	田中　智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

◇ 曜日・時間：金曜２限

◇ 対象学科：全学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表 1-5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-9）市民としての倫理観を養う

別表 1-10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

人間の思考のなかで重要なのは、彼らが考えたことよりも、むしろ彼らによって考えられなかったことのほうなのである。このノン・パンセは、初めから人間のもろもろの思考を体系化し、それ以降はこれを際限なく言語であげつらいうるものとなし、さらにこれについて考える、という任務にむかって限りなく開かれたものにするのである。　フーコー『臨床医学の誕生』

この授業では上の言葉を導きの糸にして、「生命倫理（学）」について考察してゆきます。もっともそれは、生命倫理について概説することでもなければ、学説史をたどることでもありません。生命倫理において「思考されずにあること」「語られずにあること」を問うことによって、すなわち、生命倫理の「ノン・パンセ」を問うことによって、今日の生と死をめぐる倫理のありようを批判的に検討する試みです。そしてそのことは、いわゆる「医の倫理」はもとより、生と死をめぐる「倫理」が具えるべき視点を、いわば裏側から照らし出すことになるでしょう。

授業の到達目標(SBOs)

（1）上記の試みをつうじて、「倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。

（2）現代の生と死のありようと医学・医療の特質が提起する倫理の問いについて基本的な理解を得ること。

（3）「世界を別の視点から見る」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	8 番教室	第 1 回	田中　智彦
2	4/24	10:50-12:20	8 番教室	第 2 回	田中　智彦
3	5/1	10:50-12:20	8 番教室	第 3 回	田中　智彦
4	5/8	10:50-12:20	8 番教室	第 4 回	田中　智彦
5	5/15	10:50-12:20	8 番教室	第 5 回	田中　智彦
6	5/22	10:50-12:20	8 番教室	第 6 回	田中　智彦
7	5/29	10:50-12:20	8 番教室	第 7 回	田中　智彦
8	6/5	10:50-12:20	8 番教室	第 8 回	田中　智彦
9	6/12	10:50-12:20	8 番教室	第 9 回	田中　智彦
10	6/19	10:50-12:20	8 番教室	第 10 回	田中　智彦
11	6/26	10:50-12:20	8 番教室	第 11 回	田中　智彦
12	7/3	10:50-12:20	8 番教室	第 12 回	田中　智彦
13	7/10	10:50-12:20	8 番教室	第 13 回	田中　智彦
14	7/17	10:50-12:20	8 番教室	第 14 回	田中　智彦
15	7/24	10:50-12:20	8 番教室	第 15 回	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもありえます（その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します）。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

この授業では次のような論点を取り上げていきます。

第 1 回-5 回：生と死をめぐる法、政治、経済の問題と、倫理のありようとについて

第 6 回–10 回：生命倫理の来歴と特質およびそれらに具わる倫理的な問題について 第 11 回–15 回：医学・医療の特質とそこから要請される倫理の問いについて
成績評価の方法 ◇評価：期末試験もしくは期末レポート　80% その他　20%（出席状況、コメントシートへの回答など） ◇再評価：有（試験もしくはレポート）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇　期末考査・再考査・再試験等の受験資格：原則 3 分の 2 以上の出席
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中　智彦:毎週月曜日　11：00～13：00　管理研究棟 2 階　哲学研究室

時間割番号	000004				
科目名	倫理学Ⅱ				
担当教員	田中　智彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

◇ 曜日・時間：金曜２限

◇ 対象学科：全学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表 1-5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7）人間の心への理解を深める

別表 1-9）市民としての倫理観を養う

授業の目的、概要等

創造的な注意とは存在しないものに現実に注意を向けることである。道端に転がっている生気のない無名の肉体には人間性は存在しない。それでも立ち止まって見つめるサマリア人は、この不在の人間性に注意を向けているのであり、そしてその後に続く行いは、そこで問われているのが真の注意であることを証し立てているのである。　　ヴェイユ『著作集Ⅳ』〔一部改訳〕

ヴェイユは『ルカによる福音書』に登場する「善きサマリア人」のたとえ話にこのような注釈をつけました。この授業ではこうしたヴェイユの視点を導きの糸にして、「人間の尊厳」「いのちの尊厳」について考察してゆきます。

「人間の尊厳」も「いのちの尊厳」も、すでに語り尽くされている感があるかもしれません。あるいはその大切さは承知していても、どこか「机上の空論」でしかないような印象が否めないかもしれません。またそれゆえに、「人間の尊厳」や「いのちの尊厳」の名の下に「死」が語られ、「死を与える」ことまでもが正当化されても、私たちはさして違和感を覚えなくなっているのかもしれません。しかし、はたして「尊厳」とは、本当にそのようなものでしかないのでしょうか。

この授業ではあらためてそうした問いを立て、「人間の尊厳」「いのちの尊厳」という概念の意義と問題点 を検討するとともに、一般にそう思われているのとは異なる解釈の可能性を探ります。その試みは、これらの 概念とは不可分の「人権」について、さらには私たち「人間」の生と死について、再考することにもつながるでしょう。

授業の到達目標(SBOs)

(1)上記の試みをつうじて、「倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。

(2)「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。

(3)「世界を別の視点から見る」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	9 番教室	第 1 回	田中　智彦
2	10/9	10:50-12:20	9 番教室	第 2 回	田中　智彦
3	10/16	10:50-12:20	9 番教室	第 3 回	田中　智彦
4	10/23	10:50-12:20	9 番教室	第 4 回	田中　智彦
5	10/30	10:50-12:20	9 番教室	第 5 回	田中　智彦
6	11/6	10:50-12:20	9 番教室	第 6 回	田中　智彦
7	11/13	10:50-12:20	9 番教室	第 7 回	田中　智彦
8	11/20	10:50-12:20	9 番教室	第 8 回	田中　智彦
9	11/27	10:50-12:20	9 番教室	第 9 回	田中　智彦
10	12/4	10:50-12:20	9 番教室	第 10 回	田中　智彦
11	12/11	10:50-12:20	9 番教室	第 11 回	田中　智彦
12	12/18	10:50-12:20	9 番教室	第 12 回	田中　智彦
13	1/8	10:50-12:20	9 番教室	第 13 回	田中　智彦
14	1/15	10:50-12:20	9 番教室	第 14 回	田中　智彦
15	1/22	10:50-12:20	9 番教室	第 15 回	田中　智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもありえます（その場合は初回の授業

時にあらためて授業方法等を説明します）。
教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

この授業では次のような論点を取り上げていきます。
第 1 回–5 回:「倫理」とは何か、とりわけ「法」との区別および混同について
第 6 回–10 回:「倫理」の現在、とりわけ生命倫理の諸問題を手がかりに
第 11 回–15 回:「人間の尊厳」「いのちの尊厳」を再考する

成績評価の方法

◇評価:期末試験もしくは期末レポート　80%
その他　20%（出席状況、コメントシートへの回答など）
◇再評価:有（試験もしくはレポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。

試験の受験資格

◇　期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

連絡先

田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中　智彦:毎週月曜日　11:00～13:00　管理研究棟 2 階　哲学研究室

時間割番号	000005				
科目名	心理学Ｉ				
担当教員	近藤　育代				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：１－7）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は、人の行動とその背後にある心理過程を理解することを目指す学問です。その研究領域は幅広く、日々の心の動きや日常的な行動そのものが研究対象となります。「心理学Ｉ」ではその中でも基礎心理学の分野を中心に、感覚と知覚の体験、思考活動、記憶の仕組み、学習のプロセス、感情や動機づけの理論、ストレスと健康、といった領域を取り上げます。それらを通して、「心」に対する客観的な視点や科学的な手法を理解し、また、人間理解につながる視点をもてるようになることを目的とします。

授業の到達目標(SBOs)

各研究領域の基礎的なトピックについて概説し、現在の心理学における「心」に対するアプローチを学びます。各回のテーマの中で様々な実験・調査を紹介し、また心理検査の体験などを通して、「心」を理解するための様々な視点を養うことを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	1番教室	第1回	近藤　育代
2	4/20	10:50-12:20	1番教室	第2回	近藤　育代
3	4/27	10:50-12:20	1番教室	第3回	近藤　育代
4	5/11	10:50-12:20	1番教室	第4回	近藤　育代
5	5/18	10:50-12:20	1番教室	第5回	近藤　育代
6	5/25	10:50-12:20	1番教室	第6回	近藤　育代
7	6/1	10:50-12:20	1番教室	第7回	近藤　育代
8	6/8	10:50-12:20	1番教室	第8回	近藤　育代
9	6/15	10:50-12:20	1番教室	第9回	近藤　育代
10	6/22	10:50-12:20	1番教室	第10回	近藤　育代
11	6/29	10:50-12:20	1番教室	第11回	近藤　育代
12	7/6	10:50-12:20	1番教室	第12回	近藤　育代
13	7/13	10:50-12:20	1番教室	第13回	近藤　育代
14	7/27	10:50-12:20	1番教室	第14回	近藤　育代
15	7/30	10:50-12:20	1番教室	第15回	近藤　育代

授業方法

講義形式で行います

授業内容

1. ガイダンス：授業の説明、心理学の研究方法
2. 感覚と知覚：感覚や知覚の働き、知覚と心の関係
3. 思考：知識の構造、問題解決を促進・妨害する要因
4. 記憶：記憶の種類と仕組み、忘却のプロセス
5. 学習1：条件反射の仕組み、古典的条件づけ
6. 学習2：報酬や罰による行動の制御、道具的条件づけ
7. 学習3：観察による学習
8. 感情1：感情の獲得、感情表出の特徴、測定方法
9. 感情2：感情体験や感情認識のメカニズム
10. 動機づけと欲求1：動機づけのタイプ、欲求不満と心の対処方略
11. 動機づけと欲求2：「やる気」を促進・妨害する要因
12. ストレスと健康1：様々なストレッサ―とストレス反応
13. ストレスと健康2：ストレスモデルとストレス対処のタイプ
14. ストレスと健康3：リラクセーション法

15. まとめと理解度の確認
成績評価の方法 評価 ： 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の小レポート)20% 再評価: 有(レポート提出) 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回の講義を復習し、内容の理解に努めてください。
教科書 特に指定しません。必要な資料は授業中に配布します。
参考書 ・山内弘継・橋本宰(監修)(2006)「心理学概論」ナカニシヤ出版 ・鹿取廣人・杉本敏夫(1996)「心理学」東京大学出版会 ・西本武彦・大藪泰・福沢一吉・越川房子(編著)(2009)「テキスト 現代心理学入門」川島書店
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。 ・出欠は、毎回授業中に教員が配布する出席カードへの提出を優先します。
連絡先 近藤 育代:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 近藤 育代:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000006				
科目名	心理学Ⅱ				
担当教員	近藤　育代				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－7）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は、人の行動とその背後にある心理過程を理解することを目指す学問です。その研究領域は幅広く、日々の心の動きや日常的な行動そのものが研究対象となります。「心理学Ⅱ」ではその中でも応用心理学の分野を中心に、性格や知能の捉え方と測定法、心の発達のプロセス、社会的状況における心理、心理療法といった領域を取り上げます。それらを通して、「心」に対する客観的な視点や科学的な手法を理解し、また、人間理解につながる視点をもてるようになることを目的とします。

授業の到達目標(SBOs)

各研究領域の基礎的なトピックについて概説し、現在の心理学における「心」に対するアプローチを学びます。各回のテーマの中で様々な実験・調査を紹介し、また心理検査の体験などを通して、「心」を理解するための様々な視点を養うことを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	1番教室	第1回	近藤　育代
2	10/5	10:50-12:20	1番教室	第2回	近藤　育代
3	10/19	10:50-12:20	1番教室	第3回	近藤　育代
4	10/26	10:50-12:20	1番教室	第4回	近藤　育代
5	11/2	10:50-12:20	1番教室	第5回	近藤　育代
6	11/9	10:50-12:20	1番教室	第6回	近藤　育代
7	11/16	10:50-12:20	1番教室	第7回	近藤　育代
8	11/30	10:50-12:20	1番教室	第8回	近藤　育代
9	12/7	10:50-12:20	1番教室	第9回	近藤　育代
10	12/14	10:50-12:20	1番教室	第10回	近藤　育代
11	12/21	10:50-12:20	1番教室	第11回	近藤　育代
12	1/18	10:50-12:20	1番教室	第12回	近藤　育代
13	1/25	10:50-12:20	1番教室	第13回	近藤　育代
14	2/1	10:50-12:20	1番教室	第14回	近藤　育代
15	2/8	10:50-12:20	1番教室	第15回	近藤　育代

授業方法

講義形式で行います

授業内容

1. ガイダンス：授業の説明、心についてのアプローチ
2. 性格1：性格の捉え方、パーソナリティ理論
3. 性格2：性格検査の体験
4. 性格3：パーソナリティ理解の方法
5. 知能：知能の捉え方、知能検査の体験
6. 発達1：発達に影響する要因、初期経験の重要性
7. 発達2：出生時から青年期までの心身の発達
8. 発達3：認知発達のプロセス、心理社会的発達段階
9. 社会1：「自己」とは、自己意識と自尊感情のメカニズム
10. 社会2：対人認知や対人魅力の要因
11. 社会3：社会的状況における心理
12. 臨床1：精神分析
13. 臨床2：クライエント中心療法
14. 臨床3：認知行動療法

15. まとめと理解度の確認
成績評価の方法 評価 ： 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の小レポート)20% 再評価: 有(レポート提出) 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回の講義を復習し、内容の理解に努めてください。
教科書 特に指定しません。必要な資料は授業中に配布します。
参考書 ・山内弘継・橋本宰(監修)(2006)「心理学概論」ナカニシヤ出版 ・鹿取廣人・杉本敏夫(1996)「心理学」東京大学出版会 ・西本武彦・大藪泰・福沢一吉・越川房子(編著)(2009)「テキスト 現代心理学入門」川島書店
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。 ・出欠は、毎回授業中に教員が配布する出席カードへの提出を優先します。
連絡先 近藤 育代:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 近藤 育代:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000007				
科目名	宗教学Ⅰ				
担当教員	宮田　義矢				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－3)、1－4)、1－5)、1－7)

授業の目的、概要等

目的：諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要：授業では宗教学の様々なアプローチ、宗教の関わる事件、日本や世界の諸宗教などを取り上げます。

授業の到達目標(SBOs)

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	7番教室	第1回	宮田　義矢
2	4/20	10:50-12:20	7番教室	第2回	宮田　義矢
3	4/27	10:50-12:20	7番教室	第3回	宮田　義矢
4	5/11	10:50-12:20	7番教室	第4回	宮田　義矢
5	5/18	10:50-12:20	7番教室	第5回	宮田　義矢
6	5/25	10:50-12:20	7番教室	第6回	宮田　義矢
7	6/1	10:50-12:20	7番教室	第7回	宮田　義矢
8	6/8	10:50-12:20	7番教室	第8回	宮田　義矢
9	6/15	10:50-12:20	7番教室	第9回	宮田　義矢
10	6/22	10:50-12:20	7番教室	第10回	宮田　義矢
11	6/29	10:50-12:20	7番教室	第11回	宮田　義矢
12	7/6	10:50-12:20	7番教室	第12回	宮田　義矢
13	7/13	10:50-12:20	7番教室	第13回	宮田　義矢
14	7/27	10:50-12:20	7番教室	第14回	宮田　義矢
15	7/30	10:50-12:20	7番教室	第15回	宮田　義矢

授業方法

パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。

授業内容

第1回　ガイダンス：授業内容の紹介、成績評価の方法。

第2回　「無宗教」の日本人：「無宗教」意識の来源。

第3回　日本の宗教伝統：日本宗教史の概観。

第4回　メディアと宗教：宗教事件の報道。

第5回　「カルト」問題：どこからが「カルト」なのか。

第6回　日本仏教の位置：日本仏教の特徴。

第7回　シャーマニズム：憑依から預言まで。

第8回　宗教心理学：心理現象としての宗教理解。

第9回　死生観：現代的な死生観の構築。

第10回　死後生信仰：死後生信仰の展開。

第11回　一神教①：神の登場。

第12回　一神教②：神の変質(ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教)。

第 13 回　聖典:現代の宗教問題と聖典の関わり。 第 14 回　聖地と巡礼:「宗教」を通じて見ることの意義。 第 15 回　授業内試験:試験と授業のまとめ
成績評価の方法 評価　:　試験　50%　・　レポート　　%　・　その他(リアクションペーパー)　50% 再評価:　有(再評価方法:レポート) 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習について:事前配布物に目を通しておいてください。復習について:レジュメ末尾の指示に従い、講義内容を要約してください。
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。
参考書 近年の宗教学入門書として、次の2冊をあげておきます。島薗進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 年 。岡田典夫[ほか]著『はじめて学ぶ宗教:自分で考えたい人のため』有斐閣、2011 年。そのほか、適宜授業時に紹介します。
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が 50%のため、授業への出席状況が、成績へ大きく響きます。欠席をしないよう、心がけてください。また、正当な理由のない大幅な遅刻(授業開始後 20 分を超える遅刻)は、リアクションペーパーから減点します。
連絡先 宮田　義矢:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 宮田　義矢:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000008				
科目名	宗教学Ⅱ				
担当教員	宮田　義矢				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－3)、1－4)、1－5)、1－7)

授業の目的、概要等

目的：諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要：授業では宗教学の様々なアプローチ、宗教の関わる事件、日本や世界の諸宗教などを取り上げます。

授業の到達目標(SBOs)

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	7番教室	第1回	宮田　義矢
2	10/9	10:50-12:20	7番教室	第2回	宮田　義矢
3	10/16	10:50-12:20	7番教室	第3回	宮田　義矢
4	10/23	10:50-12:20	7番教室	第4回	宮田　義矢
5	10/30	10:50-12:20	7番教室	第5回	宮田　義矢
6	11/6	10:50-12:20	7番教室	第6回	宮田　義矢
7	11/13	10:50-12:20	7番教室	第7回	宮田　義矢
8	11/20	10:50-12:20	7番教室	第8回	宮田　義矢
9	11/27	10:50-12:20	7番教室	第9回	宮田　義矢
10	12/4	10:50-12:20	7番教室	第10回	宮田　義矢
11	12/11	10:50-12:20	7番教室	第11回	宮田　義矢
12	12/18	10:50-12:20	7番教室	第12回	宮田　義矢
13	1/8	10:50-12:20	7番教室	第13回	宮田　義矢
14	1/15	10:50-12:20	7番教室	第14回	宮田　義矢
15	1/22	10:50-12:20	7番教室	第15回	宮田　義矢

授業方法

パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。

授業内容

第1回　ガイダンス：授業内容の紹介、成績評価の方法。

第2回　「無宗教」の日本人：「無宗教」意識の来源。

第3回　占い：世界的に流行した「こっくりさん」。

第4回　スピリチュアル：日本人の「宗教」意識の一展開。

第5回　契約と宗教：アブラハムの宗教。

第6回　苦難と宗教：イエスとキリスト教の教義。

第7回　宗教の好不況：近現代における宗教の衰退・復興。

第8回　修行と宗教：初期仏教から大乗仏教へ。

第9回　日本の死生観：死生観と仏教。

第10回　共同体としての宗教：イスラームの成立。

第11回　「異文化理解」の問題：ジハードを例に。

第12回　「宗教」という概念：儒教は「宗教」か否か。

第 13 回　宗教と健康：道教と現代中国の気功ブーム。 第 14 回　聖地を巡る争い：「宗教」を通じて見ることの意義。 第 15 回　授業内試験：試験と授業のまとめ
成績評価の方法 評価　：　試験　50％　・　レポート　　％　・　その他（リアクションペーパー）　50％ 再評価：　有（再評価方法：レポート） 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習について：事前配布物に目を通しておいてください。復習について：レジュメ末尾の指示に従い、講義内容を要約してください。
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。
参考書 近年の宗教学入門書として、次の2冊をあげておきます。島薗進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006　年　。岡田典夫[ほか]著『はじめて学ぶ宗教:自分で考えたい人のため』有斐閣、2011 年。そのほか、適宜授業時に紹介します。
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が　50%のため、授業への出席状況が、成績へ大きく響きます。欠席をしないよう、心がけてください。また、正当な理由のない大幅な遅刻(授業開始後 20 分を超える遅刻)は、リアクションペーパーから減点します。
連絡先 宮田　義矢:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 宮田　義矢:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000009				
科目名	芸術Ⅰ				
担当教員	木津　文哉, 豊福　誠, 林　武史, 齋藤　典彦, 青木　宏希				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜日　2限
募集人数:20人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):Ⅰ―6

主な講義場所
座学:10番教室
実技:13番教室

授業の目的、概要等
この科目は、彫刻、絵画、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。

授業の到達目標(SBOs)
人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	10番教室	第1回	青木　宏希
2	4/24	10:50-12:20	10番教室	第2回	林　武史
3	5/8	10:50-12:20	10番教室	第3回	林　武史
4	5/15	10:50-12:20	10番教室	第4回	齋藤　典彦
5	5/22	10:50-12:20	10番教室	第5回	齋藤　典彦
6	5/29	10:50-12:20	10番教室	第6回	木津　文哉
7	6/5	10:50-12:20	10番教室	第7回	木津　文哉
8	6/12	10:50-12:20	10番教室	第8回	豊福　誠
9	6/19	10:50-12:20	10番教室	第9回	豊福　誠
10	6/26	10:50-12:20	13番教室	第10回	青木　宏希
11	7/3	10:50-12:20	13番教室	第11回	青木　宏希
12	7/10	10:50-12:20	13番教室	第12回	青木　宏希
13	7/17	10:50-12:20	13番教室	第13回	青木　宏希
14	7/24	10:50-12:20	13番教室	第14回	青木　宏希
15	9/4	10:50-12:20	13番教室	第15回	青木　宏希

授業方法
授業は初回にガイダンスを行う。全15回の授業の1回～9回までを各専門領域の講師による講義。10回以降をデッサン実習とする。

授業内容
授業内容1回　芸術Ⅰガイダンス　デザイン論2回　3回　彫刻論　4回　5回　絵画論6回　7回　映像メディア論8回　9回　工芸論10回～15回　デッサン実習

成績評価の方法
評価　:　レポート66%　・デッサン実習44%　※レポート出席点実習作品などで総合的に評価する。
再評価:　無
レポート提出には3分の2以上の出席が必要

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示
各回美術の専門分野をもった教員による講義となる。自主的に美術館や博物館等で自分の興味のある美術･工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。

連絡先 青木　宏希:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 青木　宏希:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000040				
科目名	芸術Ⅱ				
担当教員	室田　尚子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1―6）

授業の目的、概要等

〈19～20 世紀の西洋音楽を学ぶ〉「音楽」と一口にいってもその内容は、歴史的・地理的・文化的なコンテクストによって実に多岐にわたる。歴史を学ぶ時忘れてならないのは、「現在」との関係である。西洋音楽史を学ぶということは、今私たちを取り巻く音楽がうまれてきた背景を知ることに他ならない。本講義ではそうした観点から、「現代」と特に関わりが深いと考えられる世紀が変わっていく時代「世紀転換期」の音楽に焦点を当てていくが、そこにいたる過程としての 19 世紀ロマン主義の音楽から、さらに 20 世紀前半までの音楽を概観することで音楽の歴史の一端を知ることが可能となろう。

授業の到達目標(SBOs)

①19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけての西洋音楽がどのようなものだったかを知ること。②音楽を社会における文化活動のひとつとしてとらえ、その多様なあり方を知ること。

③ひろく、「音楽とは何か」について考え、それを言語化すること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	1 番教室	第 1 回	室田　尚子
2	10/9	10:50-12:20	1 番教室	第 2 回	室田　尚子
3	10/16	10:50-12:20	1 番教室	第 3 回	室田　尚子
4	10/23	10:50-12:20	1 番教室	第 4 回	室田　尚子
5	10/30	10:50-12:20	1 番教室	第 5 回	室田　尚子
6	11/6	10:50-12:20	1 番教室	第 6 回	室田　尚子
7	11/13	10:50-12:20	1 番教室	第 7 回	室田　尚子
8	11/20	10:50-12:20	1 番教室	第 8 回	室田　尚子
9	11/27	10:50-12:20	1 番教室	第 9 回	室田　尚子
10	12/4	10:50-12:20	1 番教室	第 10 回	室田　尚子
11	12/11	10:50-12:20	1 番教室	第 11 回	室田　尚子
12	12/18	10:50-12:20	1 番教室	第 12 回	室田　尚子
13	1/8	10:50-12:20	1 番教室	第 13 回	室田　尚子
14	1/15	10:50-12:20	1 番教室	第 14 回	室田　尚子
15	1/22	10:50-12:20	1 番教室	第 15 回	室田　尚子

授業方法

CD や DVD を鑑賞しながらの講義形式。

授業内容

1. 授業内容についてのガイダンス
2. 西洋音楽史の時代区分
3. 19 世紀のサロン音楽とショパン
4. ワーグナーの楽劇
5. ロシア5人組とチャイコフスキー
6. プッチーニとイタリア・オペラの終焉
7. マーラーの音楽
8. ドビュッシーの革新
9. フランス6人組
10. ジャズの影響圏
11. 映画とミュージカル
12. ストラヴィンスキーとバレエ・リュス

13. シェーンベルクと新ウィーン楽派 14. ベルクの歌劇『ルル』 15. 学期末試験
成績評価の方法 評価 ： 試験 70 % ・ レポート % ・ その他(出席)30 % 再評価: 無(再評価方法 レポート) 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要ない。復習については、授業で鑑賞した作品を自宅でもう一度鑑賞し、授業内容をノートにまとめておくことが望ましい。
教科書 教科書は特に指定しない。
参考書 特になし。
履修上の注意事項 出欠は教員が調査票にて取るものを優先させる。鑑賞が中心の授業なのできちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。
連絡先 室田 尚子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 室田 尚子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000012				
科目名	歴史学ＡⅠ				
担当教員	髙尾　千津子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜 2 限
募集人数:50 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3

授業の目的、概要等

＜ヨーロッパ近現代史＞　20 世紀はロシア革命によって幕が開き、ソ連崩壊によって終焉を迎えた。二つの大戦を経験し、冷戦によって分断されたヨーロッパの経験はヨーロッパにとどまらず現代世界を理解する上で重要な視座を与えてくれる。講義では、冷戦終結とソ連崩壊によって大きく変わるまでのヨーロッパの近代史を、ヨーロッパ東西の歴史的、文化的な断層に着目しながら考えていきたい。

授業の到達目標(SBOs)

ヨーロッパ近代史のダイナミズムを知り、現代世界の成り立ちを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	6 番教室	第 1 回	髙尾　千津子
2	4/24	10:50-12:20	6 番教室	第 2 回	髙尾　千津子
3	5/1	10:50-12:20	6 番教室	第 3 回	髙尾　千津子
4	5/8	10:50-12:20	6 番教室	第 4 回	髙尾　千津子
5	5/15	10:50-12:20	6 番教室	第 5 回	髙尾　千津子
6	5/22	10:50-12:20	6 番教室	第 6 回	髙尾　千津子
7	5/29	10:50-12:20	6 番教室	第 7 回	髙尾　千津子
8	6/5	10:50-12:20	6 番教室	第 8 回	髙尾　千津子
9	6/12	10:50-12:20	6 番教室	第 9 回	髙尾　千津子
10	6/19	10:50-12:20	6 番教室	第 10 回	髙尾　千津子
11	6/26	10:50-12:20	6 番教室	第 11 回	髙尾　千津子
12	7/3	10:50-12:20	6 番教室	第 12 回	髙尾　千津子
13	7/10	10:50-12:20	6 番教室	第 13 回	髙尾　千津子
14	7/17	10:50-12:20	6 番教室	第 14 回	髙尾　千津子
15	7/24	10:50-12:20	6 番教室	第 15 回	髙尾　千津子

授業方法

講義形式

授業内容

1 ガイダンス
2 ヨーロッパの東と西　1
3 ヨーロッパの東と西　2
4 19 世紀のヨーロッパ
5 大量輸送と移動の時代
6 社会主義とナショナリズム
7 第一次世界大戦の起源
8 ロシア革命とソ連の形成
9 東欧の成立と少数民族問題
10 全体主義の時代
11 スターリン体制とはなにか
12 第二次世界大戦
13 戦後のヨーロッパと冷戦
14 ソ連の崩壊とヨーロッパ統合
15 まとめ

成績評価の方法 評価 ： 試験 0% ・ レポート 60% ・ その他（授業への参加とコメント・ペーパー） 40% 再評価： 有（再評価方法 レポート） レポート提出には 3 分の 2 以上の出席が必要である
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で提示する参考文献表から、各回ごとに指示した著書の該当部分を読んでおくこと。
教科書 授業で資料を配付する
参考書 オスカー・ハレツキ『ヨーロッパ史の時間と空間』慶應義塾大学出版会 2002 年。 塩川伸明『民族とネイション―ナショナリズムという難問』岩波新書、2008 年。 E.H.カー『ロシア革命―レーニンからスターリンへ』岩波現代文庫、2000 年。 その他必要に応じて授業時に紹介する。
履修上の注意事項 5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000013				
科目名	歴史学AⅡ				
担当教員	髙尾　千津子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　金曜 2 限
募集人数:50 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3

授業の目的、概要等

＜20 世紀の日本＞　明治以来ヨーロッパ・モデルを導入し、近代化に努めた日本は、同時に植民地帝国の道を歩んだ。日本の 20 世紀前半は日露戦争から第一次世界大戦、シベリア出兵、満洲事変、日中戦争、太平洋戦争へと連なる「戦争の半世紀」でもあった。講義では大正から昭和前期の日本と日本人の生き方を、内外からの視点と当時の資料を通して検討していく。

授業の到達目標(SBOs)

近代日本を取り巻く国際情勢を知り、戦前の日本の思想と行動を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	6 番教室	第 1 回	髙尾　千津子
2	10/9	10:50-12:20	6 番教室	第 2 回	髙尾　千津子
3	10/16	10:50-12:20	6 番教室	第 3 回	髙尾　千津子
4	10/23	10:50-12:20	6 番教室	第 4 回	髙尾　千津子
5	10/30	10:50-12:20	6 番教室	第 5 回	髙尾　千津子
6	11/6	10:50-12:20	6 番教室	第 6 回	髙尾　千津子
7	11/13	10:50-12:20	6 番教室	第 7 回	髙尾　千津子
8	11/20	10:50-12:20	6 番教室	第 8 回	髙尾　千津子
9	11/27	10:50-12:20	6 番教室	第 9 回	髙尾　千津子
10	12/4	10:50-12:20	6 番教室	第 10 回	髙尾　千津子
11	12/11	10:50-12:20	6 番教室	第 11 回	髙尾　千津子
12	12/18	10:50-12:20	6 番教室	第 12 回	髙尾　千津子
13	1/8	10:50-12:20	6 番教室	第 13 回	髙尾　千津子
14	1/15	10:50-12:20	6 番教室	第 14 回	髙尾　千津子
15	1/22	10:50-12:20	6 番教室	第 15 回	髙尾　千津子

授業方法

講義形式

授業内容

1 ガイダンス
2 近代日本と世界
3 日露戦争
4 第一次世界大戦と日本
5 ロシア革命とシベリア出兵
6 アジア主義と帝国主義
7 日系移民の運命
8 満州事変と「満州国」
9 満洲統治の実態と「五族協和」
10 日中戦争
11 日本をとりまく国際関係
12 日米開戦
13 戦時下の国民
14 敗戦と戦後の日本
15 まとめ

成績評価の方法 評価 ： 試験 0% ・ レポート 60% ・ その他（ 授業への参加とコメント・ペーパー ） 40 % 再評価： 有（再評価方法 レポート） レポート提出資格には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で提示する参考文献表から、各回ごとに指示した著書の該当部分を読んでおくこと。
教科書 授業で資料を配付する。
参考書 模索する 1930 年代 ： 日米関係と陸軍中堅層／加藤陽子 著,：山川出版社, 2012 敗北を抱きしめて ： 第二次大戦後の日本人／ジョン・ダワー [著],三浦陽一, 高杉忠明 訳：岩波書店, 2004 単一民族神話の起源 ：<日本人>の自画像の系譜／小熊英二 著,：新曜社, 1995 キメラ ： 満洲国の肖像／山室 信一 著,：中央公論新社
履修上の注意事項 5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000010				
科目名	歴史学ＢⅠ				
担当教員	髙尾　千津子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:月曜１限
募集人数:50 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3

授業の目的、概要等

＜ヨーロッパ社会とユダヤ教徒の歴史＞

ユダヤ教はキリスト教の母胎であり、イスラーム教にも影響を与えた。神殿破壊後各地に離散したユダヤ人は、宗教的少数派としていかに生き残ったのだろうか。講義では中世から近現代にいたるまでのヨーロッパにおけるユダヤ教徒の内部社会と文化、キリスト教世界のユダヤ観、反ユダヤ主義等の問題を通して、ヨーロッパの文化と歴史を新たな角度から考えたい。

授業の到達目標(SBOs)

ユダヤ教とユダヤ人の歴史を通して、ヨーロッパ世界の深層を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	6 番教室	第 1 回	髙尾　千津子
2	4/20	09:10-10:40	6 番教室	第 2 回	髙尾　千津子
3	4/27	09:10-10:40	6 番教室	第 3 回	髙尾　千津子
4	5/11	09:10-10:40	6 番教室	第 4 回	髙尾　千津子
5	5/18	09:10-10:40	6 番教室	第 5 回	髙尾　千津子
6	5/25	09:10-10:40	6 番教室	第 6 回	髙尾　千津子
7	6/1	09:10-10:40	6 番教室	第 7 回	髙尾　千津子
8	6/8	09:10-10:40	6 番教室	第 8 回	髙尾　千津子
9	6/15	09:10-10:40	6 番教室	第 9 回	髙尾　千津子
10	6/22	09:10-10:40	6 番教室	第 10 回	髙尾　千津子
11	6/29	09:10-10:40	6 番教室	第 11 回	髙尾　千津子
12	7/6	09:10-10:40	6 番教室	第 12 回	髙尾　千津子
13	7/13	09:10-10:40	6 番教室	第 13 回	髙尾　千津子
14	7/27	09:10-10:40	6 番教室	第 14 回	髙尾　千津子
15	7/30	09:10-10:40	6 番教室	第 15 回	髙尾　千津子

授業方法

講義形式

授業内容

1 ガイダンス
2 ユダヤ教とはなにか
3 ディアスポラとガルート
4 キリスト教とユダヤ教の関係
5 中世ヨーロッパにおけるユダヤ教徒
6 ゲットーとはなにか
7 フランス革命と解放
8 ユダヤ人の同化、世俗化と文化変容
9 ドレフュス事件と反ユダヤ主義
10 ロシアにおけるポグロムとその影響
11 シオニズム運動の始まり
12 アメリカのユダヤ人
13 ナチスドイツと反ユダヤ主義
14 ホロコースト

15 まとめ
成績評価の方法 評価 ： 試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への参加とコメントペーパー)40 % 再評価: 有(再評価方法 レポート) レポート提出には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 参考文献表から、各回ごとに指示した部分を読んでおくとよい。
教科書 授業で資料を配付する。
参考書 ロシアとユダヤ人 ： 苦悩の歴史と現在／高尾千津子 [著],:東洋書店, 2014 ユダヤ教の歴史／市川裕 著,:山川出版社, 2009 ユダヤ系アメリカ人／本間長世:PHP 新書, 1998 封印されたホロコースト ： ローズヴェルト、チャーチルはどこまで知っていたか／リチャード・ブライトマン 著,川上洸 訳,:大月書店, 2000
履修上の注意事項 5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000011				
科目名	歴史学BⅡ				
担当教員	髙尾　千津子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:月曜1限
募集人数:50人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3

授業の目的、概要等

＜西洋近代と「パレスチナ・イスラエル紛争」＞

「パレスチナ・イスラエル紛争」は決して数千年の長きにわたるものではなく、またイスラームとユダヤ教の対立から始まったのでもない。ヨーロッパ近代における「ユダヤ人問題」と反ユダヤ主義、帝国主義と戦争、冷戦などの要因がどのようにこの問題を生み出し、複雑化させていったかを考えていく。

授業の到達目標(SBOs)

中東問題の歴史的根源を知る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	6番教室	第1回	髙尾　千津子
2	10/5	09:10-10:40	6番教室	第2回	髙尾　千津子
3	10/19	09:10-10:40	6番教室	第3回	髙尾　千津子
4	10/26	09:10-10:40	6番教室	第4回	髙尾　千津子
5	11/2	09:10-10:40	6番教室	第5回	髙尾　千津子
6	11/9	09:10-10:40	6番教室	第6回	髙尾　千津子
7	11/16	09:10-10:40	6番教室	第7回	髙尾　千津子
8	11/30	09:10-10:40	6番教室	第8回	髙尾　千津子
9	12/7	09:10-10:40	6番教室	第9回	髙尾　千津子
10	12/14	09:10-10:40	6番教室	第10回	髙尾　千津子
11	12/21	09:10-10:40	6番教室	第11回	髙尾　千津子
12	1/18	09:10-10:40	6番教室	第12回	髙尾　千津子
13	1/25	09:10-10:40	6番教室	第13回	髙尾　千津子
14	2/1	09:10-10:40	6番教室	第14回	髙尾　千津子
15	2/8	09:10-10:40	6番教室	第15回	髙尾　千津子

授業方法

講義形式

授業内容

1 ガイダンス
2 ヨーロッパから見た中東
3 オスマン帝国下のパレスチナ
4 ロシア帝国の「ユダヤ人問題」
5 ナショナリズムとシオニズム
6 第一次世界大戦と「バルフォア宣言」
7 イギリス委任統治下のパレスチナ
8 独ソ戦とホロコースト
9 戦後のDP問題
10 国連パレスチナ分割決議と米ソの役割
11 中東戦争とパレスチナ難民
12 インティファーダ
13 イスラエル社会の多様性
14 イスラエル社会とパレスチナ

15 まとめ
成績評価の方法 評価 ： 試験 0% ・ レポート 60 % ・ その他(授業への参加、コメントペーパー) 40% 再評価: 有(再評価方法 レポート) レポート提出には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 参考文献から各回ごとに指示した部分を読んでおくとよい。
教科書 授業で資料を配付する。
参考書 ディヴィッド・フロムキン『平和を破滅させた和平』(上下)紀伊國屋書店 2004 年 臼杵陽『世界史の中のパレスチナ問題』講談社現代新書 2013 年 野村真理『ホロコースト後のユダヤ人』世界思想社 2012 年。 その他必要に応じて授業時に紹介する。
履修上の注意事項 5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000014				
科目名	科学史Ⅰ				
担当教員	矢島　道子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜1限
募集人数:50 人まで
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－3

授業の目的、概要等

この授業では古代から現代に至る科学の歴史を、古生物学や地質学の歴史を通して概観してゆく。
　古代から現代に至る科学の歴史をたどってゆくと、16、17世紀からだんだんと近代化され、現代化されていくのを理解する。さらに、それぞれの時代で科学が社会の中でどんな位置にあったかも理解する。
また、女性が科学の中でどんな位置にあったかということも考えていきたい。
こうした試みをつうじて、科学の時間軸(歴史性)と空間軸(社会性)を形成し、科学の「いま」への理解を深めていく。

授業の到達目標(SBOs)

1. 恐竜という生物の存在がどのように確立していったかを理解する。
2. 自然史から地質学や古生物学がどのように誕生していったかを理解する。
3. 科学の歴史を記述するための時間軸、空間軸を形成する。
4. 19 世紀の地質学をになった研究者、化石発掘人が社会ではどのような位置にあったかを理解する。
5. 女性は地質学・古生物学にどのようにかかわったかを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	7 番教室	第 1 回	矢島　道子
2	4/24	09:10-10:40	7 番教室	第 2 回	矢島　道子
3	5/1	09:10-10:40	7 番教室	第 3 回	矢島　道子
4	5/8	09:10-10:40	7 番教室	第 4 回	矢島　道子
5	5/15	09:10-10:40	7 番教室	第 5 回	矢島　道子
6	5/22	09:10-10:40	7 番教室	第 6 回	矢島　道子
7	5/29	09:10-10:40	7 番教室	第 7 回	矢島　道子
8	6/5	09:10-10:40	7 番教室	第 8 回	矢島　道子
9	6/12	09:10-10:40	7 番教室	第 9 回	矢島　道子
10	6/19	09:10-10:40	7 番教室	第 10 回	矢島　道子
11	6/26	09:10-10:40	7 番教室	第 11 回	矢島　道子
12	7/3	09:10-10:40	7 番教室	第 12 回	矢島　道子
13	7/10	09:10-10:40	7 番教室	第 13 回	矢島　道子
14	7/17	09:10-10:40	7 番教室	第 14 回	矢島　道子
15	7/24	09:10-10:40	7 番教室	第 15 回	矢島　道子

授業方法

講義形式をとる。

授業内容

第 1 回オリエンテーション(本講義の目的と進め方について)
第 2 回『アインシュタインの妻』とかけて恐竜の復元ととく
第 3 回　恐竜の復元から学ぶこと
第 4 回　自然史の歴史
第 5 回　ガリレオから始まる近代科学
第 6 回　ガリレオの現代的解釈
第 7 回　ダーウィンは何をしたか
第 8 回　ダーウィンは地質学者
第 9 回　19 世紀に女性地質学者はいたか

第 10 回　生物の進化はどう解釈されているか
第 11 回　日本の進化論受容の歴史
第 12 回　ノーベル賞とマリー・キュリー
第 13 回　DNA 研究とロザリンド・フランクリン
第 14 回　現代科学と科学の捏造
第 15 回「まとめ」「学力考査とその解説」「理解度の確認および質問」

成績評価の方法

評価　：　試験　50%　・　レポート30%　・
　　その他（　平常点　　）　20　%
再評価：　有（再評価方法　レポート）
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に理解できなかった箇所は、自ら積極的に関連する書物を紐解いていただきたい。自然科学や技術に関する話題は難しいと敬遠せずに理解しようとする姿勢を望む。

教科書

特定のテキストはない。

参考書

吉川惣司・矢島道子『メアリー・アニングの冒険－恐竜学をひらいた女化石屋』2003 年　朝日選書
矢島道子・和田純夫編『はじめての地学史・天文学史』2004 年　ベレ出版
矢島道子『化石の記憶―古生物学の歴史をさかのぼる』2008 年　東京大学出版会

参照ホームページ

http://www.kanda-zatsugaku.com/070720/0720.html

連絡先

矢島　道子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

矢島　道子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000015				
科目名	科学史Ⅱ				
担当教員	矢島　道子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜1限
募集人数:50 人まで
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):１－３

授業の目的、概要等

この授業では、地球の歴史や生命の歴史をどうやって編纂してきたかをさぐることによって、近代科学の営みを概観してゆく。
地球史や生命史がどのようにして確立してきたかをたどってゆくと、民間等の伝承から、鉱物・岩石・化石・地層などの実際のものをどのように解釈するかという方向でだんだんと近代化され、現代化されてきたことがわかる。それでは、近代性を導いたのは一体なにであるかという問題が生じてくる。実際の化石に触れながら、科学の時間軸(歴史性)と空間軸(社会性)を認識し、科学の「いま」への理解を深めていく。

授業の到達目標(SBOs)

1. 地球や生物についての思考がどのように確立してきたかを理解する。
2. 自然史から地質学、古生物学がどのように誕生してきたかを理解する。
3. 科学の歴史を記述するための時間軸、空間軸を認識する。
4. 絶滅した生物を復元することは大変難しいことを理解し、復元科学の特質を理解する。
5. 進化論が社会の中でどのように受け入れられてきたかを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	7 番教室	第 1 回	矢島　道子
2	10/9	09:10-10:40	7 番教室	第 2 回	矢島　道子
3	10/16	09:10-10:40	7 番教室	第 3 回	矢島　道子
4	10/23	09:10-10:40	7 番教室	第 4 回	矢島　道子
5	10/30	09:10-10:40	7 番教室	第 5 回	矢島　道子
6	11/6	09:10-10:40	7 番教室	第 6 回	矢島　道子
7	11/13	09:10-10:40	7 番教室	第 7 回	矢島　道子
8	11/20	09:10-10:40	7 番教室	第 8 回	矢島　道子
9	11/27	09:10-10:40	7 番教室	第 9 回	矢島　道子
10	12/4	09:10-10:40	7 番教室	第 10 回	矢島　道子
11	12/11	09:10-10:40	7 番教室	第 11 回	矢島　道子
12	12/18	09:10-10:40	7 番教室	第 12 回	矢島　道子
13	1/8	09:10-10:40	7 番教室	第 13 回	矢島　道子
14	1/15	09:10-10:40	7 番教室	第 14 回	矢島　道子
15	1/22	09:10-10:40	7 番教室	第 15 回	矢島　道子

授業方法

講義形式をとる。

授業内容

第 1 回オリエンテーション(本講義の目的と進め方について)
第 2 回　地球のはじまりに関する言説について
第 3 回　海洋の起原に関する言説について
第 4 回　生命の起原に関する言説について
第 5 回　大気の起原に関する言説について
第 6 回　地球の歴史の区分のしかた
第 7 回　三葉虫と燕石に関する言説について
第 8 回　石炭と大陸の分裂に関する言説について
第 9 回　大山脈の形成に関する言説について

第 10 回　アンモナイトと恐竜に関する言説について
第 11 回　恐竜の絶滅に関する言説について
第 12 回　哺乳動物の時代に関する言説について
第 13 回　進化論の導入
第 14 回　総合説と創造説
第 15 回「まとめ」「学力考査とその解説」「理解度の確認および質問」

成績評価の方法

評価　：　試験　50%　・　レポート30%　・
　　その他（　平常点　　）　20　%
再評価：　有（再評価方法　レポート）
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に理解できなかった箇所は、自ら積極的に関連する書物を紐解いていただきたい。自然科学や技術に関する話題は難しいと敬遠せずに理解しようとする姿勢を望む。

教科書

特定のテキストはない。

参考書

吉川惣司・矢島道子『メアリー・アニングの冒険－恐竜学をひらいた女化石屋』2003 年　朝日選書
矢島道子・和田純夫編『はじめての地学史・天文学史』2004 年　ベレ出版
矢島道子『化石の記憶―古生物学の歴史をさかのぼる』2008 年　東京大学出版会

参照ホームページ

http://www.kanda-zatsugaku.com/090116/0116.html

連絡先

矢島　道子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

矢島　道子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000016				
科目名	文学A Ⅰ				
担当教員	土佐　朋子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

・時間・曜日：月曜１限
・募集人数：50 名
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）：
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－７）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

〈 「死」から「詩」への昇華―「亡妻文学」の系譜①― 〉

本授業では「亡妻文学」の系譜を意識しながら、文学において人の死がどのように描かれているかを考察する。

「亡妻文学」は、8世紀『万葉集』から 21 世紀村上春樹『ノルウェーの森』にいたるまで脈々と続く文学の伝統の一つにあげることができる。

本授業では、近代に入って「亡妻文学」をある意味復活させたといってもよい、高村光太郎『智恵子抄』を主に取り上げる。夫であり詩人もある光太郎が、最愛の妻の死をどのように詩に昇華させていったのか、また、智恵子が統合失調症になったのはなぜかなどについて、「言葉」を「読む」ことを通して考察する。

授業の到達目標(SBOs)

①人の死がどのように言語化されるのかということに対する理解を深める。
②文学作品を精読する力を身につけること。
③作品世界を適切に理解して、そこから自分なりの問題意識を持てるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	10番教室	第１回	土佐　朋子
2	4/20	09:10-10:40	10番教室	第２回	土佐　朋子
3	4/27	09:10-10:40	10番教室	第３回	土佐　朋子
4	5/11	09:10-10:40	10番教室	第４回	土佐　朋子
5	5/18	09:10-10:40	10番教室	第５回	土佐　朋子
6	5/25	09:10-10:40	10番教室	第６回	土佐　朋子
7	6/1	09:10-10:40	10番教室	第７回	土佐　朋子
8	6/8	09:10-10:40	10番教室	第８回	土佐　朋子
9	6/15	09:10-10:40	10番教室	第９回	土佐　朋子
10	6/22	09:10-10:40	10番教室	第 10 回	土佐　朋子
11	6/29	09:10-10:40	10番教室	第 11 回	土佐　朋子
12	7/6	09:10-10:40	10番教室	第 12 回	土佐　朋子
13	7/13	09:10-10:40	10番教室	第 13 回	土佐　朋子
14	7/27	09:10-10:40	10番教室	第 14 回	土佐　朋子
15	7/30	09:10-10:40	10番教室	第 15 回	土佐　朋子

授業方法

講義形式の予定。受講生の意見を聞くことがある。

授業内容

第１回　文学とはなにか／本授業の目的
第２回　亡妻文学の系譜
第３回　高村光太郎と高村智恵子―明治という時代―
第４回　『智恵子抄』とは
第５～8 回　『智恵子抄』第1期作品―新しい「恋愛」を求めて―
第 9～11 回『智恵子抄』第2期作品―神仙のヲトメとしての智恵子造形―

第 12～14 回『智恵子抄』第3期作品―智恵子の死―
第 15 回　まとめ―人の死を語るという営為―

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 50%
　　その他 50%（授業中小レポート・授業への取り組み等）
再評価：有（再評価の方法　再レポート）
ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。
　①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。
　②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。
　③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

授業中に作品にしっかりと向き合う。講義をふまえながら、自分なりの作品に対する「意味づけ」を行う。

試験の受験資格

レポート提出：3 分の 2 以上の出席を原則とする。

教科書

『校本　智恵子抄』（角川文庫）／高村光太郎 [著],中村稔 編,：角川書店, 1999
他の文庫でも『智恵子抄』は出ていますが、内容が違いますので、間違って購入しないように気をつけてください。

参考書

『高村光太郎』／吉本隆明 [著],：講談社, 1991
『智恵子抄の光と影』／上杉省和 著,：大修館書店, 1999
『詩人の妻　高村智恵子ノート』／郷原宏：未来社, 1983
『女の首　逆光の「智恵子抄」』／黒澤亜里子：ドメス出版社, 1985
『智恵子抄の新見と実証』／大島龍彦 著,：新典社, 2008
『高村光太郎 ： 智恵子と遊ぶ夢幻の生』／湯原かの子 著,：ミネルヴァ書房, 2003
『高村光太郎のフェミニズム』／駒尺喜美 著,：朝日新聞社, 1992
『『智恵子抄』の世界』／大島龍彦, 大島裕子 編著,：新典社, 2004

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員のとる出欠を優先させる。　出欠管理システムに打刻されていても、授業の最後に提出する小レポートがない場合には、欠席扱いになる。

連絡先

土佐　朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐　朋子:毎週水曜　PM.12:30–PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000017				
科目名	文学AⅡ				
担当教員	土佐　朋子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

・時間・曜日：月曜１限
・募集人数：50 名
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）：
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－７）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

〈　近・現代文学における死や病の表象　〉

本授業は、近代以降の文学作品を読むことを通して、西洋諸国から近代的学問・技術・思想が流入してきた明治期以降の文学における人の死や病がどのように描かれてきたのかを考察する。

文学における病気の描写は、実態そのものではない。文学は、社会で共有されるイメージを描き出し、また創り出す。人はなぜ実態とは異なるイメージで病を語り続けるのであろうか。

このような問題意識のもとで、主に徳富蘆花『不如帰』、堀辰雄『風立ちぬ』を題材として、肺結核の表象と、「書く」という営みを書くことの意味について考察する。

『風立ちぬ』の考察には、宮崎駿監督の映画『風立ちぬ』にも言及していきたいと思っている。

授業の到達目標(SBOs)

①人間と言葉や語りに対する関心を高め、問題意識を持てるようになること。
②日本文学・文化に対する理解を深めること。
③文学作品を精読する力を身につけること。
④作品世界を適切に理解して、そこから自分なりの問題意識を持てるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	1 番教室	第 1 回	土佐　朋子
2	10/5	09:10-10:40	1 番教室	第 2 回	土佐　朋子
3	10/19	09:10-10:40	1 番教室	第 3 回	土佐　朋子
4	10/26	09:10-10:40	1 番教室	第 4 回	土佐　朋子
5	11/2	09:10-10:40	1 番教室	第 5 回	土佐　朋子
6	11/9	09:10-10:40	1 番教室	第 6 回	土佐　朋子
7	11/16	09:10-10:40	1 番教室	第 7 回	土佐　朋子
8	11/30	09:10-10:40	1 番教室	第 8 回	土佐　朋子
9	12/7	09:10-10:40	1 番教室	第 9 回	土佐　朋子
10	12/14	09:10-10:40	1 番教室	第 10 回	土佐　朋子
11	12/21	09:10-10:40	1 番教室	第 11 回	土佐　朋子
12	1/18	09:10-10:40	1 番教室	第 12 回	土佐　朋子
13	1/25	09:10-10:40	1 番教室	第 13 回	土佐　朋子
14	2/1	09:10-10:40	1 番教室	第 14 回	土佐　朋子
15	2/8	09:10-10:40	1 番教室	第 15 回	土佐　朋子

授業方法

受講者の人数にもよるが、原則として講義形式の予定。

授業内容

第 1 回　人間と語り／授業の方針
第 2・3 回　宮崎駿監督作品映画『風立ちぬ』視聴
第 4・5 回　宮崎駿監督作品映画『風立ちぬ』に関する考察
　　※時代背景・堀辰雄と堀越次郎・『会議は踊る』との関連性などを資料をもとに考察する。
第 6～11 回　堀辰雄『風立ちぬ』考察

第 12～14 回　徳富蘆花『不如帰』から堀辰雄『風立ちぬ』へ―肺結核の表象―
第 15 回　まとめ

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 50%
　その他 50%（授業中の小レポートおよび授業中の取り組み等）
再評価：有（再評価方法　再レポート）
　ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。
　①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。
　②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。
　③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

作品を事前に読んでおくこと。

試験の受験資格

レポート提出：3 分の 2 以上の出席を原則とする。

教科書

風立ちぬ・美しい村／堀　辰雄／著,：新潮社, 1971
：新潮社, 2011
この他にプリントを配布する。

参考書

『対象喪失 ： 悲しむということ』／小此木　啓吾／著,：中央公論新社, 1979
『隠喩としての病い』／スーザン・ソンタグ ［著］； 富山太佳夫 訳スーザン・ソンタグ ［著］； 富山太佳夫 訳,：みすず書房, 2006
『結核の文化史 ： 近代日本における病のイメージ』／福田真人 著,：名古屋大学出版会, 1995
『結核という文化 ： 病の比較文化史』／福田眞人 著,：中央公論新社, 2001
『病気の日本近代史 ： 幕末から平成まで』／秦郁彦 著,：文藝春秋, 2011
『明治医事往来』／立川昭二 ［著］,：講談社, 2013
「風立ちぬ」を語る ： 宮崎駿とスタジオジブリ、その軌跡と未来／岡田斗司夫 著,FREEex 著,：光文社, 2013

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。　出欠管理システムに打刻されていても、授業の最後に提出する小レポートがない場合には、欠席扱いになります。

連絡先

土佐　朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐　朋子:毎週水曜　PM.12:30–PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000018				
科目名	文学ＢⅠ				
担当教員	土佐　朋子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

・曜日・時間：金曜1限
・対象学科：全学科
・募集人数：50名
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1－7）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

〈　日本の神話　〉

文学ってどのようにして始まったのだろう？そもそも人類はなぜ文学を必要としたのだろう？

本授業では、このような問いを前提として、講義形式で日本の神話と伝説について考察する。

日本という国家が成立した 7～8 世紀、文学は、まず、神を語ることから始められ、次いで権力者、日本でいえば天皇を語った。そして、市井一般のプライベートを語るようになっていった。このような文学の発生と変遷は、『古事記』『万葉集』『風土記』に記された「神話」や「伝説」に見ることができる。

本授業では、これらの文学作品を実際に読み、「神話」化および「伝説」化という文学的営為を理解し、日本の神話の特質や伝説の構造などを考察する。また、ジブリ作品などに引き継がれる神話的世界についてもとり上げる予定である。

文学は常に時代や歴史によって産み出されるものであり、だからこそ普遍性を持ち得る。日本文学の始原における「語り」の世界について、理解を深めていきたい。

授業の到達目標(SB0s)

①日本文化に対する理解を深め、自ら主体的に考えを深めることができるようになること。
②日本の「神話」「伝説」に関する基本的な知識を身につけ、自分なりの解釈を持つこと。
③日本の古典文学に対する理解を深め、相対的に現代における日本の文化や文学に対する理解も深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	9 番教室	第 1 回	土佐　朋子
2	4/24	09:10-10:40	9 番教室	第 2 回	土佐　朋子
3	5/1	09:10-10:40	9 番教室	第 3 回	土佐　朋子
4	5/8	09:10-10:40	9 番教室	第 4 回	土佐　朋子
5	5/15	09:10-10:40	9 番教室	第 5 回	土佐　朋子
6	5/22	09:10-10:40	9 番教室	第 6 回	土佐　朋子
7	5/29	09:10-10:40	9 番教室	第 7 回	土佐　朋子
8	6/5	09:10-10:40	9 番教室	第 8 回	土佐　朋子
9	6/12	09:10-10:40	9 番教室	第 9 回	土佐　朋子
10	6/19	09:10-10:40	9 番教室	第 10 回	土佐　朋子
11	6/26	09:10-10:40	9 番教室	第 11 回	土佐　朋子
12	7/3	09:10-10:40	9 番教室	第 12 回	土佐　朋子
13	7/10	09:10-10:40	9 番教室	第 13 回	土佐　朋子
14	7/17	09:10-10:40	9 番教室	第 14 回	土佐　朋子
15	7/24	09:10-10:40	9 番教室	第 15 回	土佐　朋子

授業方法

講義形式。

授業内容

1. オリエンテーション・日本文学の始原としての『古事記』・『日本書紀』との相違
2. 黄泉の国神話―死者の世界―
3. 天岩屋戸神話

4. スサノヲ神話―英雄の誕生―
5. ヤマトタケル物語―スサノヲの継承と英雄の伝説化―
6～7. 大国主神の物語―死と復活―
8. 天孫降臨とニニギノミコト―有限の生命―
9. 海幸山幸神話
10. 日本の神々、アニミズムの世界―ジブリ作品の神話的世界―
11～12. 軽太子と軽大郎女の物語―悲恋の歌物語・反乱伝承と恋愛譚―
15. まとめ

成績評価の方法

評価：筆記試験0%・レポート 50%
その他 50%（授業の最後に提出する小レポートおよび授業中の取り組み等）
再評価：有（再評価方法　原則として再レポート）
ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。
①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。
②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。
③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

授業中にしっかりとメモを取りながら講義を聴く。それを土台として、自分自身で作品世界を意味づけられるよう、作品の言葉と向き合う。また、授業では日本の神話をとりあげるが、世界の神話や現代文化との比較対照など、独自の角度から考察するとよい。

試験の受験資格

レポート提出：原則として 3 分の 2 以上の出席。

教科書

古事記 ： 現代語訳付き／中村啓信　訳注：角川学芸出版, 2009
プリントを使用。

参考書

本居宣長『古事記伝』（岩波文庫）、西郷信綱『古事記の世界』（岩波新書）、『新編日本文学全集　古事記』（小学館）、『古典文学大系　古事記』（岩波書店）、『日本古典集成　古事記』（新潮社）、『新編日本古典文学全集　日本書紀』（小学館）、『新編日本古典文学全集　風土記』（小学館）など。
訳文が必要な場合は『新編日本文学全集　古事記』（小学館）が使いやすい。ただし、読み取り方は講義と異なることが多々あるので、それを念頭において利用すること。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。　出欠管理システムに打刻されていても、教員による出欠確認において出席が認められない場合は欠席扱いになります。

連絡先

土佐　朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐　朋子:毎週水曜　PM.12:30–PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000019				
科目名	文学BⅡ				
担当教員	土佐　朋子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜1限
・対象学科：全学科
・募集人数：50名
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1－7）人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

〈　日本文学の始原　〉

日本の文学はどのようにして始まったのだろうか。

『万葉集』は、その最初期に編纂された、日本でほとんど初めての文学作品の一つである。この8世紀という時代は、日本文化にとって一大ルネッサンス期であり、言語観、死生観などあらゆる認識が大きな転換を遂げることとなった。そのような時代を背景として、「文学」も大きく変容しながら豊かな表現性を獲得してゆく。常に最先端の斬新な表現を開拓しようとしていた「古代」の文学は、極めて都会的で革新的なものだと言えよう。

その「語り」の可能性を追求した「文学」の挑戦について、作品にもとづいて具体的に考察する。

授業の到達目標(SBOs)

日本文学がどのように始まったのか、その始原と変容とを理解し、「ことばと人間」の関係性について主体的に思考する力を身につける。

①日本の文化・文学の特質を理解する。
②『万葉集』を中心とした日本の古典文学に対する理解を深める。
③言葉によって語るということの意味を、主体的に考えられるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	9番教室	第1回	土佐　朋子
2	10/9	09:10-10:40	9番教室	第2回	土佐　朋子
3	10/16	09:10-10:40	9番教室	第3回	土佐　朋子
4	10/23	09:10-10:40	9番教室	第4回	土佐　朋子
5	10/30	09:10-10:40	9番教室	第5回	土佐　朋子
6	11/6	09:10-10:40	9番教室	第6回	土佐　朋子
7	11/13	09:10-10:40	9番教室	第7回	土佐　朋子
8	11/20	09:10-10:40	9番教室	第8回	土佐　朋子
9	11/27	09:10-10:40	9番教室	第9回	土佐　朋子
10	12/4	09:10-10:40	9番教室	第10回	土佐　朋子
11	12/11	09:10-10:40	9番教室	第11回	土佐　朋子
12	12/18	09:10-10:40	9番教室	第12回	土佐　朋子
13	1/8	09:10-10:40	9番教室	第13回	土佐　朋子
14	1/15	09:10-10:40	9番教室	第14回	土佐　朋子
15	1/22	09:10-10:40	9番教室	第15回	土佐　朋子

授業方法

講義形式。

授業内容

1. オリエンテーション・「ことば」の虚構性
2. 雄略天皇の物語―『万葉集』と『古事記』と『日本書紀』―
3. 舒明天皇国見歌と額田王三輪山歌―「見えないものが見える」と「見えないものは見えない」、呪術から抒情へ―
4. 額田王蒲生野遊猟歌―宴席夫婦漫才か三角関係か。7世紀における文学創作の場をめぐる問題―
5. 大津皇子謀反事件をめぐる物語1―『日本書紀』『懐風藻』『万葉集』、どうしてこんなに違うのか。歴史的事実と物語的事実―

6. 大津皇子謀反事件をめぐる物語2—謀反と恋愛—
7. 話型としての「謀反と恋愛」—『古事記』サホビメとサホビコ物語、軽太子と軽大郎女物語—
8. 柿本人麻呂・日並皇子挽歌—神話が再生産される 8 世紀—
9. 柿本人麻呂・安騎野遊猟歌—「時間」という演出方法の発明—
10. 柿本人麻呂・泣血哀慟歌—二つの「妻を喪失した男」の物語—
11. 高橋虫麻呂・市川真間手児奈物語—純潔の完成—
12. 高橋虫麻呂・浦島子物語—永遠の生命の否定—
13. 浦島太郎物語の変遷
14. 高橋虫麻呂・二人の男と一人の女—文学の永遠のテーマ、三角関係—
15. まとめ

成績評価の方法

評価：筆記試験0%・レポート 50%

その他 50%（授業の最後に提出する小レポートおよび授業中の取り組み等）

再評価：有（再評価方法　原則として再レポート）

ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。

①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。

②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。

③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学科共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中にしっかりと作品に向き合ってください。授業中にしっかりメモを取りながら講義を聴いて下さい。

試験の受験資格

レポート提出：原則として3分の2以上出席

教科書

プリントを使用。

参考書

山本健吉・池田弥三郎『万葉百歌』（中公新書 1963）、斎藤茂吉『万葉秀歌　上・下』（岩波新書 1938）、中西進『万葉の秀歌　上・下』（講談社現代新書 1984）、土橋寛『万葉開眼　上・下』（日本放送出版協会 1978）、谷馨『額田姫王』（紀伊国屋書店 1967）、三浦佑之『浦島太郎の文学史　恋愛小説の発生』（五柳書院 1989）、渡辺護『万葉挽歌の世界　未完の魂』（世界思想社 1993）、松尾光編『万葉集101の謎』（新人物往来社 2000）、桜井満監修『万葉集を知る事典』（東京堂出版 2000）など。

なお、『新編日本古典文学全集　万葉集1～4』（小学館）、『日本古典文学集成　万葉集』（新潮社）は訳が見やすいが、授業の説明と同じとは限らないので注意すること。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。　出欠管理システムに打刻されていても、授業の最後に提出する小レポートがない場合には、欠席扱いとなります。

連絡先

土佐　朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐　朋子:毎週水曜　PM.12:30–PM.14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000020				
科目名	法学Ⅰ				
担当教員	飛田　綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜2時限

対象学科：医学部医学科・医学部保健衛生学科検査技術専攻・歯学部歯学科・歯学部口腔保健学科口腔保健学専攻学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－2）社会制度や仕組みについての基本を理解する。　1－9）市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

社会に生きる限り、人は法と無関係ではいられません。よって法に関する正しい知識を身につけることは結局、自分自身のためになります。この授業では「法とは何か」という話から始め、日本国憲法の保障する人権は具体的にどのようなものなのか、そしてそうした人権は民法、刑法、行政法といった法といかなる関係にあるのか、といった論点を具体例を挙げながら説明します。なお医療に関連した事項は「S.医歯学生のための法律概論」で取扱います。「法学Ⅰ」のみの受講も歓迎しますが、できれば後期に開講される「法学Ⅱ」も併せて履修すると理解が深まると思います。

授業の到達目標(SBOs)

(1) 日本国憲法の基本的原則を踏まえた上で、その保障している人権を理解する。（2）日本の人権保障のあり方を全体像を認識したうえで、望ましい法のあり方について考察することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	1番教室	第1回	飛田　綾子
2	4/24	10:50-12:20	1番教室	第2回	飛田　綾子
3	5/1	10:50-12:20	1番教室	第3回	飛田　綾子
4	5/8	10:50-12:20	1番教室	第4回	飛田　綾子
5	5/15	10:50-12:20	1番教室	第5回	飛田　綾子
6	5/22	10:50-12:20	1番教室	第6回	飛田　綾子
7	5/29	10:50-12:20	1番教室	第7回	飛田　綾子
8	6/5	10:50-12:20	1番教室	第8回	飛田　綾子
9	6/12	10:50-12:20	1番教室	第9回	飛田　綾子
10	6/19	10:50-12:20	1番教室	第10回	飛田　綾子
11	6/26	10:50-12:20	1番教室	第11回	飛田　綾子
12	7/3	10:50-12:20	1番教室	第12回	飛田　綾子
13	7/10	10:50-12:20	1番教室	第13回	飛田　綾子
14	7/17	10:50-12:20	1番教室	第14回	飛田　綾子
15	7/24	10:50-12:20	1番教室	第15回	飛田　綾子

授業方法

毎回、教員が作成したレジュメを元に、講義形式で行います。適宜、確認小テストを行います。

授業内容

第1回 イントロダクション　授業の目的・進め方　参考文献等の紹介

第2回 法とは何か　法と道徳の違い　権利と義務等　日本国憲法の原理

第3回 人身の自由（刑事被告人の権利など）

第4回 国務請求権（裁判を受ける権利など）

第5回 参政権（一票の格差など）

第6回 財産権（職業選択の自由など）

第7回 社会権（生存権、教育を受ける権利、労働権）

第8回 思想・良心の自由（日の丸・君が代問題など）／学問の自由

第9回 信教の自由(公式参拝問題など)

第10回 表現の自由（報道の自由、名誉毀損など）

第11回 包括的権利（プライバシーの権利など）

第 12 回 法の下の平等（非嫡出子相続問題など）
第 13 回 基本的人権のまとめ①（外国人の人権など）
第 14 回 基本的人権のまとめ②（公共の福祉の解釈の変遷、私人間効力など）
第 15 回 期末レポート

成績評価の方法

評価 ： 試験 75 % ・ レポート 0% ・ その他（ j授業中に行う確認小テスト）25%
再評価： 有（再評価方法:レポート）
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習に重点を置いてください。レジュメを読んで授業の中身を思い出すだけでも、理解が深まると思います。また、日頃から政治や社会に関するニュースに注意を払うようにして下さい。

教科書

特に指定しません。

参考書

初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門（第 4 版）』有斐閣、2010 年。芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第 5 版）』岩波書店、2011 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 2 統治（第 5 版）』有斐閣、2013 年。君塚正臣編『比較憲法』ミネルヴァ書房、2012 年。久塚純一・長沼建一郎・森田慎二郎編『医療・福祉を学ぶ人のための法学入門』法律文化社、2012 年。 授業内でも紹介します。

履修上の注意事項

①出欠管理システムの記録よりも教員の出欠調査を優先します。②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。（小テストは適宜行います。授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。）③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、テストの受験資格を得られません。④代返などの不正行為には厳正に対処します。

連絡先

飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000026				
科目名	法学Ⅰ（憲法）				
担当教員	飛田　綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：水曜３限

対象学科：医学部保健衛生学科看護学専攻・歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：１－２）社会制度や仕組みについての基本を理解する。　１－９）市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

社会問題に関心を持ちその知識を得ることは、結局自分自身のためになります。日常のニュースのほとんどは憲法と何かしら関わりを持っています。したがって、生存権の保障や平和主義など、聞いたことはあるが詳しくはわからない、といった言葉を理解することは大いに意義があります。授業では有名な裁判例を多く取り上げながら、歴史、現代政治の知識を確認しつつ、日本国憲法の全体像を示したいと考えています。

授業の到達目標(SBOs)

⑴日本国憲法はどのような人権を保障しているのか、内閣、国会、裁判所の統治行はそのために、いかなるルールの下で各々の役割を担うべきなのか。また現状に問題はないのか。こうした問題について説明できるようになる。

⑵一票の格差、国際貢献の在り方、裁判員制度などの問題を、憲法の基礎知識を踏まえて考察できるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	1番教室	第1回	飛田　綾子
2	4/22	13:10-14:40	1番教室	第2回	飛田　綾子
3	5/13	13:10-14:40	1番教室	第3回	飛田　綾子
4	5/20	13:10-14:40	1番教室	第4回	飛田　綾子
5	5/27	13:10-14:40	1番教室	第5回	飛田　綾子
6	6/3	13:10-14:40	1番教室	第6回	飛田　綾子
7	6/10	13:10-14:40	1番教室	第7回	飛田　綾子
8	6/17	13:10-14:40	1番教室	第8回	飛田　綾子
9	6/24	13:10-14:40	1番教室	第9回	飛田　綾子
10	7/1	13:10-14:40	1番教室	第10回	飛田　綾子
11	7/8	13:10-14:40	1番教室	第11回	飛田　綾子
12	7/15	13:10-14:40	1番教室	第12回	飛田　綾子
13	7/22	13:10-14:40	1番教室	第13回	飛田　綾子
14	7/29	13:10-14:40	1番教室	第14回	飛田　綾子
15	7/31	13:10-14:40	1番教室	第15回	飛田　綾子

授業方法

毎回、教員が作成したレュメを元に、講義形式で行います。適宜、確認小テストを行います。

授業内容

第1回 ガイダンス　授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の存在意義

第2回 人身の自由（刑事被告人の権利など）／国務請求権（裁判を受ける権利など）　参政権（一票の格差など）

第3回 財産権（職業選択の自由など）／社会権（生存権など）

第4回 思想・良心の自由（日の丸・君が代問題など）／学問の自由

第5回 信教の自由(公式参拝問題など)

第6回 表現の自由（報道の自由、名誉毀損など）

第7回 包括的権利（プライバシーの権利など）／法の下の平等（非嫡出子相続問題など）

第8回 基本的人権のまとめ（外国人の人権、成年後見人制度など）

第9回 日本憲法史／天皇制

第10回 平和主義（憲法9条の解釈など）

第11回 統治機構　国会（衆参両院の役割分担など）

第 12 回 内閣（首相公選制の是非など）
第 13 回 裁判所（裁判員制度など）
第 14 回 財政／地方自治（道州制の是非など）
第 15 回 期末レポート

成績評価の方法

評価 ： 試験 80 ％ ・ レポート 0 ％ ・ その他（授業中に行う確認小テスト） 20 ％
再評価： 有（再評価方法：レポート）
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習に重点を置いてください。レジュメを読み直し内容を思い出すだけでも、理解が深まると思います。また、日頃から、政治や社会に関するニュースに注意を払うようにして下さい。

教科書

特に指定しません。

参考書

初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門（第 4 版）』有斐閣、2010 年。棟居快行・赤坂正浩・松井茂記・笹田栄司・常本照樹・市川正人『基本的人権の事件簿（第 4 版）』有斐閣、2011 年。芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第 5 版）』岩波書店、2011 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法1人権（第 5 版）』有斐閣、2013 年。同『憲法2統治（第 5 版）』有斐閣、2013 年。授業内でも紹介します。

履修上の注意事項

①出欠管理システムの記録よりも教員の出欠調査を優先します。②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。（小テストは適宜行います。授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。）③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、テストの受験資格を得られません。④代返などの不正行為には厳正に対処します。

連絡先

飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000021				
科目名	法学Ⅱ				
担当教員	飛田　綾子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:金曜2時限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。　1－9)市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

近年、憲法を改正すべきだという議論が高まっています。なぜそうした議論が高まっているのか、改正の必要はあるのか、といった問いに結論を下すには、憲法に関する基礎知識が必要です。憲法は人権保障と並んで国会、内閣、裁判所といった統治機構についても規定しています。こうした機関がどのような権限を持っているのか、また地方自治や天皇制、平和主義についての有名な裁判や他国との比較的視点を盛り込みながら説明します。合わせて戦後日本政治の歴史についても触れます。なお医療に関連した事項は「S.医歯学生のための法律概論」で取扱います。「法学Ⅱ」のみの履修も歓迎しますが、前期の「法学Ⅰ」と併せて履修するとより理解が深まると思います。

授業の到達目標(SBOs)

(1)日本国憲法の統治機構分野に関する基本的知識を、他国との比較的視点を盛り込みつつ、身につける。

(2)現在議論されている憲法改正や自衛隊の問題などについて、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自らの考えを持つ。

(3)世界各国の憲法と日本国憲法を比較し、共通点や相違点を把握する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	8 番教室	第 1 回	飛田　綾子
2	10/9	10:50-12:20	8 番教室	第 2 回	飛田　綾子
3	10/16	10:50-12:20	8 番教室	第 3 回	飛田　綾子
4	10/23	10:50-12:20	8 番教室	第 4 回	飛田　綾子
5	10/30	10:50-12:20	8 番教室	第 5 回	飛田　綾子
6	11/6	10:50-12:20	8 番教室	第 6 回	飛田　綾子
7	11/13	10:50-12:20	8 番教室	第 7 回	飛田　綾子
8	11/20	10:50-12:20	8 番教室	第 8 回	飛田　綾子
9	11/27	10:50-12:20	8 番教室	第 9 回	飛田　綾子
10	12/4	10:50-12:20	8 番教室	第 10 回	飛田　綾子
11	12/11	10:50-12:20	8 番教室	第 11 回	飛田　綾子
12	12/18	10:50-12:20	8 番教室	第 12 回	飛田　綾子
13	1/8	10:50-12:20	8 番教室	第 13 回	飛田　綾子
14	1/15	10:50-12:20	8 番教室	第 14 回	飛田　綾子
15	1/22	10:50-12:20	8 番教室	第 15 回	飛田　綾子

授業方法

毎回、教員が作成したレジュメを元に、講義形式で行います。適宜、確認小テストを行います。

授業内容

第 1 回 プレゼンテーション　授業の目的・概要

第 2 回 憲法とは何か(憲法の種類・区別の仕方等)／権力分立(各国との相違)

第 3 回 国会①国会の地位と組織

第 4 回 国会②国会・議院・国会議員の権能

第 5 回 内閣①議院内閣制・内閣の組織と権能

第 6 回 裁判所①司法権の範囲と限界

第 7 回 裁判所②司法権の独立

第 8 回 日本憲法史(ドイツ、イタリアとの比較)

第 9 回 天皇制

第 10 回 平和主義①(自衛隊の合憲性、集団的自衛権の解釈変更の影響など)

第 11 回 平和主義②(判例など)／財政 (政教分離との関連も)

第 12 回 地方自治(道州制の可否など)
第 13 回 憲法裁判(日本の戦後史と関連させながら)
第 14 回 憲法正条項と改正の限界
第 15 回 全体のまとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 75 % ・ レポート 0% ・ その他(授業中に行う確認小テスト) 25 %
再評価: 有(再評価方法:レポート)
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習に重点を置いてください。レジュメを読んで授業の中身を思い出すだけでも、理解が深まると思います。また、日頃から政治や社会に関するニュースに注意を払うようにして下さい。

教科書

特に指定しません。

参考書

初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 4 版)』有斐閣、2010 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 5 版)』岩波書店、2011 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 2 統治(第 5 版)』有斐閣、2013 年。君塚正臣編『比較憲法』ミネルヴァ書房、2012 年。
久塚純一・長沼建一郎・森田慎二郎編『医療・福祉を学ぶ人のための法学入門』法律文化社、2012 年。
授業内でも紹介します。

履修上の注意事項

①出欠管理システムの記録よりも教員の出欠調査を優先します。②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。(小テストは適宜行います。内容は、授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)③3分の2以上の出席がないとテストの受験資格を失います。④代返などの不正行為には厳正に対処します。

連絡先

飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000022				
科目名	政治学Ⅰ				
担当教員	面　一也				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：月曜・2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-3) 人間の歴史的営みを理解する

1-4) 異なる空間の文化を理解する

1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

1-9) 市民としての倫理観を養う

3-5) 国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

本授業では、二度の世界大戦、管理社会における画一化の進行、マイノリティの排除や差別、テロとの戦い…等々の実践的危機に対峙してきた、現代の代表的な政治理論の主要な争点を概説するとともに、今日に残されている政治的課題に関して、批判的考察を行なう。

授業の到達目標(SBOs)

1　現代の政治理論の主要な争点を理解する。

2　今日の政治的諸課題について理解する。

3　現在の政治と未来の政治に関する考察力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	9 番教室	第 1 回	面　一也
2	4/20	10:50-12:20	9 番教室	第 2 回	面　一也
3	4/27	10:50-12:20	9 番教室	第 3 回	面　一也
4	5/11	10:50-12:20	9 番教室	第 4 回	面　一也
5	5/18	10:50-12:20	9 番教室	第 5 回	面　一也
6	5/25	10:50-12:20	9 番教室	第 6 回	面　一也
7	6/1	10:50-12:20	9 番教室	第 7 回	面　一也
8	6/8	10:50-12:20	9 番教室	第 8 回	面　一也
9	6/15	10:50-12:20	9 番教室	第 9 回	面　一也
10	6/22	10:50-12:20	9 番教室	第 10 回	面　一也
11	6/29	10:50-12:20	9 番教室	第 11 回	面　一也
12	7/6	10:50-12:20	9 番教室	第 12 回	面　一也
13	7/13	10:50-12:20	9 番教室	第 13 回	面　一也
14	7/27	10:50-12:20	9 番教室	第 14 回	面　一也
15	7/30	10:50-12:20	9 番教室	第 15 回	面　一也

授業方法

講義形式

授業内容

第 1 回　授業全体のガイダンス

第 2 回　アレクサンドル・コジェーヴ1　欲望の自我：動物的欲望と人間的欲望

第 3 回　コジェーヴ2　生死を賭けた承認をめぐる闘争

第 4 回　コジェーヴ3　主人と奴隷の弁証法から血塗られた革命へ

第 5 回　コジェーヴ4　血塗られたヨーロッパの歴史：古代からフランス革命まで

第 6 回　コジェーヴ5　歴史の終わり：賢者によるホモ・サピエンスの飼育管理

第 7 回　カール・シュミット1　政治的なものの概念：友と敵の区別。臨戦体制または戦争国家へ

第 8 回　シュミット2　リベラル・デモクラシー批判：議会のお喋りと娯楽社会。人間のサル化

第 9 回　シュミット3　近代社会批判：精神的ニヒリズムの到来

第 10 回　シュミット4　独裁と両立する“真のデモクラシー”

第 11 回 シュミット5　ナチス・ドイツへの加担と離反 第 12 回 ミシェル・フーコー1 “真理”を語る者は誰か？ 第 13 回 フーコー2 規律／訓練テクノロジー：権力への自発的服従 第 14 回 フーコー3 司牧者権力と生政治：知と権力の結託による生の監視 第 15 回 フーコー4 近代への抵抗と新しい主体の可能性
成績評価の方法 評価 ： 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他（リアクション・ペーパー）20% 再評価：有（再評価方法：レポート） 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業後にノートと引用資料を見返しながら、自ら「考察」したことを書き留めておくとよい。初回授業時に詳しく説明するが、成績評価では「考察」を重視する。
教科書 授業時に配布する引用資料を主に用いる。
参考書 藤原保信、飯島昇藏編『西洋政治思想史Ⅱ』新評論、1995 年。
履修上の注意事項 出欠は出欠管理システムによる。参考書の購入は、初回授業の指示まで待つこと。
連絡先 面 一也:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 面 一也:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000023				
科目名	政治学Ⅱ				
担当教員	面　一也				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜・2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-3) 人間の歴史的営みを理解する。

1-4) 異なる空間の文化を理解する。

1-9) 市民としての倫理観を養う。

3-5) 国際情勢を理解する　。

授業の目的、概要等

本授業では、政治学専攻でない学生向けに書かれた入門書を手がかりとしながら、現代政治の理論と現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、教科書には載っていない現在進行形のアクチュアルな諸問題も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、考察を進めたい。詳細は「授業内容」欄と初回授業を参考にすること。

授業の到達目標(SBOs)

1　現代の政治理論と現実政治の動向を理解する。

2　アクチュアルな政治問題の争点を把握する。

3　現在の政治と未来の政治に関する考察力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	7 番教室	第 1 回	面　一也
2	10/5	10:50-12:20	7 番教室	第 2 回	面　一也
3	10/19	10:50-12:20	7 番教室	第 3 回	面　一也
4	10/26	10:50-12:20	7 番教室	第 4 回	面　一也
5	11/2	10:50-12:20	7 番教室	第 5 回	面　一也
6	11/9	10:50-12:20	7 番教室	第 6 回	面　一也
7	11/16	10:50-12:20	7 番教室	第 7 回	面　一也
8	11/30	10:50-12:20	7 番教室	第 8 回	面　一也
9	12/7	10:50-12:20	7 番教室	第 9 回	面　一也
10	12/14	10:50-12:20	7 番教室	第 10 回	面　一也
11	12/21	10:50-12:20	7 番教室	第 11 回	面　一也
12	1/18	10:50-12:20	7 番教室	第 12 回	面　一也
13	1/25	10:50-12:20	7 番教室	第 13 回	面　一也
14	2/1	10:50-12:20	7 番教室	第 14 回	面　一也
15	2/8	10:50-12:20	7 番教室	第 15 回	面　一也

授業方法

講義形式

授業内容

第 1 回　授業全体のガイダンス

第 2 回　権力と自由(教科書 unit 1。以下数字のみ記載);国家・市民社会・個人(2)

第 3 回　法と政治(3);非政治領域から見た政治領域(4)

第 4 回　古代と近代のデモクラシー(5);現代リベラル・デモクラシーが抱える課題(6)

第 5 回　福祉国家の行方(7);非民主的体制:独裁・軍政・権威主義等(8)

第 6 回　市民育成の理想と現実(9);日本の立憲政治の危機(10)

第 7 回　官僚主導の日本(11);選挙制度のカラクリと政治的無関心(12)

第 8 回　マスメディアの功罪(13);日本外交、または"積極的平和主義"(14)

第 9 回　戦後日本の政治学の動向(15);揺らぐ国際秩序＝主権国家体制(16)

第 10 回　ナショナリズムという虚構(17)；テクノロジーとテロの時代(18) 第 11 回　民主的体制と平和(19)；人道的介入、または正戦論の是非(20) 第 12 回　アメリカの世界帝国(21)；EU の地域秩序(22) 第 13 回　日本の戦争責任(23)；東アジア地域主義と日本(24) 第 14 回　同化と排除を超えて：環境(25)とジェンダー(26)を中心に 第 15 回　期末試験の予定
成績評価の方法 評価　：　試験 80%　・　レポート 0%　・　その他(リアクション・ペーパー)20% 再評価：有(再評価方法：レポート) 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業前に教科書を一読し、授業後にノートを見返しながら、自ら「考察」したことを書き留めておくとよい。初回授業時に詳しく説明するが、成績評価では「考察」を重視する。
教科書 苅部直、宇野重規、中本義彦編『政治学をつかむ』有斐閣、2011 年。
参考書 川出良枝、谷口将紀編『政治学』東京大学出版会、2012 年。
履修上の注意事項 出欠は出欠管理システムによる。
連絡先 面　一也:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 面　一也:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000024				
科目名	経済学Ⅰ				
担当教員	川村　顕				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)

授業の目的、概要等

目的:

経済学で重要な概念は、「選択」と「市場」です。人々がどのような選択を積み重ね、どのような市場で取引することで価格が形成されるか。この「選択」も「市場」も、どちらも私たちの日常にある具体的なものですが、経済学では極めて抽象化された概念として取り扱います。また、厳密な議論を行うための言語として数学を用います。これらの道具に慣れることで、私たちが直接、間接に遭遇する経済現象、特に価格変動について、ある程度説明できるようになります。

概要:

経済学は、ミクロ経済学とマクロ経済学の2つに大別されます。経済学Ⅰではそれらのうち、ミクロ経済学の基礎を学びます。ミクロ経済学の大きなテーマの 1 つは、「モノやサービスの価格はどのように決まるか？」ということであり、本講義ではこの点を明らかにしていきます。

授業の到達目標(SB0s)

受講生は本講義を通じて、事象の抽象化を行えるようになること、および、論理的思考ができるようになることが期待されます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	6番教室	第1回	川村　顕
2	4/20	10:50-12:20	6番教室	第2回	川村　顕
3	4/27	10:50-12:20	6番教室	第3回	川村　顕
4	5/11	10:50-12:20	6番教室	第4回	川村　顕
5	5/18	10:50-12:20	6番教室	第5回	川村　顕
6	5/25	10:50-12:20	6番教室	第6回	川村　顕
7	6/1	10:50-12:20	6番教室	第7回	川村　顕
8	6/8	10:50-12:20	6番教室	第8回	川村　顕
9	6/15	10:50-12:20	6番教室	第9回	川村　顕
10	6/22	10:50-12:20	6番教室	第10回	川村　顕
11	6/29	10:50-12:20	6番教室	第11回	川村　顕
12	7/6	10:50-12:20	6番教室	第12回	川村　顕
13	7/13	10:50-12:20	6番教室	第13回	川村　顕
14	7/27	10:50-12:20	6番教室	第14回	川村　顕
15	7/30	10:50-12:20	6番教室	第15回	川村　顕

授業方法

講義形式。ただし、可能な限り双方向的に行う。

授業内容

1. (ミクロ)経済学とは何か？
2. 企業と供給(1):生産関数
3. 企業と供給(2):費用関数
4. 企業と供給(3):供給曲線
5. 家計と需要(1):効用関数
6. 家計と需要(2):需要曲線
7. 家計と需要(3):弾力性
8. 市場均衡(1):均衡とその変化、均衡の安定性
9. 市場均衡(2):余剰分析、規制と課税の経済効果
10. 不完全競争(1):独占(、収穫逓増)

11. 不完全競争(2):寡占
12. 市場の失敗(1):外部性
13. 市場の失敗(2):公共財
14. 市場の失敗(3):不確実性、効率性と分配
15. まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート % ・ その他(平常点)20%
再評価: 有(再評価方法:レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業内で学習した経済モデルに慣れるよう、復習に心掛けてください。予習については必須ではありませんが、事前にハンドアウトを配布しますので、目を通しておくと、授業内での理解が容易になります。

教科書

特になし。ただし、参考書 1 に基づいて講義を進める。

参考書

1. 石井安憲、永田良、若田部昌澄編(2007)「経済学入門<第 2 版>」、東洋経済新報社。
2. ジョセフ・E・スティグリッツ(2006)「スティグリッツ ミクロ経済学<第 3 版>」、東洋経済新報社。
3. N・グレゴリー・マンキュー(2005)「マンキュー経済学 ミクロ編<第 2 版>」、東洋経済新報社。

履修上の注意事項

試験の受験資格は、10 回以上出席者とする。 出欠管理システム 受付開始時間 10:45 遅刻基準時間 11:00 遅刻受付終了時間 11:30

連絡先

川村 顕:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

川村 顕:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000025				
科目名	経済学Ⅱ				
担当教員	川村　顕				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)

授業の目的、概要等

目的:

経済学Ⅰのシラバスで述べたのと同様に、マクロ経済学でも極めて抽象化された概念を取り扱います。また、厳密な議論を行うための言語として数学を用います。これらの道具に慣れることで、一国の所得決定メカニズムについて、ある程度説明できるようになります。

概要:

経済学は、ミクロ経済学とマクロ経済学の2つに大別されます。経済学Ⅱではそれらのうち、マクロ経済学の基礎を学びます。マクロ経済学の基本的なテーマの1つは、「一国の所得はどのように決まるか？」ということであり、本講義ではこの点を明らかにしていきます。

授業の到達目標(SBOs)

受講生は本講義を通じて、事象の抽象化、および、論理的思考ができるようになることが期待されます。また、経済政策の理論的背景の一部を説明できるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	4番教室	第1回	川村　顕
2	10/5	10:50-12:20	4番教室	第2回	川村　顕
3	10/19	10:50-12:20	4番教室	第3回	川村　顕
4	10/26	10:50-12:20	4番教室	第4回	川村　顕
5	11/2	10:50-12:20	4番教室	第5回	川村　顕
6	11/9	10:50-12:20	4番教室	第6回	川村　顕
7	11/16	10:50-12:20	4番教室	第7回	川村　顕
8	11/30	10:50-12:20	4番教室	第8回	川村　顕
9	12/7	10:50-12:20	4番教室	第9回	川村　顕
10	12/14	10:50-12:20	4番教室	第10回	川村　顕
11	12/21	10:50-12:20	4番教室	第11回	川村　顕
12	1/18	10:50-12:20	4番教室	第12回	川村　顕
13	1/25	10:50-12:20	4番教室	第13回	川村　顕
14	2/1	10:50-12:20	4番教室	第14回	川村　顕
15	2/8	10:50-12:20	4番教室	第15回	川村　顕

授業方法

講義形式。ただし、可能な限り双方向的に行う。

授業内容

1. (マクロ)経済学とは何か？
2. マクロ経済指標と日本経済:マクロデータの概説
3. 国民所得の決定(1):均衡国民所得とは何か
4. 国民所得の決定(2):乗数効果とは何か
5. 国民所得の決定(3):財政政策と乗数効果
6. 開放マクロ経済(1):開放マクロ経済モデルの定式化
7. 開放マクロ経済(2):小国モデル
8. 開放マクロ経済(3):二国開放マクロ経済モデル
9. 資産市場と国民所得(1):資産市場の導入、財市場の均衡
10. 資産市場と国民所得(2):資産市場の均衡
11. 資産市場と国民所得(3):同時均衡モデル
12. マクロ経済の2大問題(1):景気循環

13. マクロ経済の 2 大問題(2):経済成長
14. マクロ経済の 2 大問題(3):ソローモデル
15. まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート % ・ その他(平常点)20%
再評価: 有(再評価方法:レポート)
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業内で学習した経済モデルに慣れるよう、復習に心掛けてください。予習については必須ではありませんが、事前にハンドアウトを配布しますので、目を通しておくと、授業内での理解が容易になります。

教科書

特になし。ただし、参考書 1 に基づいて講義を進める。

参考書

1. 石井安憲、永田良、若田部昌澄編(2007)「経済学入門<第 2 版>」、東洋経済新報社。
2. ジョセフ・E・スティグリッツ(2006)「スティグリッツ マクロ経済学<第 3 版>」、東洋経済新報社。
3. N・グレゴリー・マンキュー(2005)「マンキュー経済学 マクロ編<第 2 版>」、東洋経済新報社。

履修上の注意事項

試験の受験資格は、10 回以上出席者とする。 出欠管理システム 受付開始時間 10:45 遅刻基準時間 11:00 遅刻受付終了時間 11:30

連絡先

川村 顕:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

川村 顕:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000027				
科目名	社会学ＡＩ				
担当教員	小暮　修三				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)

授業の目的、概要等

社会学とは、私たちが「今あるように存在している」のはなぜか、「今行動しているように行動している」のはなぜか、このような「当たり前のこと」について、今生きている社会との関連について考察する学問である。このことは、私たちが「当たり前」だと考えている事柄が、異なるものに変わる／変えられることを、私たちに教えてくれる。本講義では、このような社会学の理論・方法論と具体的事例研究（階級・ジェンダー・エスニシティ）の理解を通して、以下の論点を中心に、私たちの生きる営みについて考察してゆく。

・ 私たちの生きる社会は、どのように構築されているのか？

・ 私たちの生きる社会によって、私たちの主体はどのように形成されているのか？

このような社会学的視座の獲得は、私たちの生きる社会の構築過程に潜む権力関係及び私たち自らの内面化した権力性を分析するポリティカルな試みの一環でもある。

授業の到達目標(SBOs)

・ 社会学的な幅広いモノの見方や考え方を学ぶ

・ 社会及び自ら自身を構築する特定の価値観について、政治的・経済的・文化的意味を意識化する

・ 社会事象及び自ら自身に対する批判的な主体性を獲得する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	8番教室	第1回	小暮　修三
2	4/24	09:10-10:40	8番教室	第2回	小暮　修三
3	5/1	09:10-10:40	8番教室	第3回	小暮　修三
4	5/8	09:10-10:40	8番教室	第4回	小暮　修三
5	5/15	09:10-10:40	8番教室	第5回	小暮　修三
6	5/22	09:10-10:40	8番教室	第6回	小暮　修三
7	5/29	09:10-10:40	8番教室	第7回	小暮　修三
8	6/5	09:10-10:40	8番教室	第8回	小暮　修三
9	6/12	09:10-10:40	8番教室	第9回	小暮　修三
10	6/19	09:10-10:40	8番教室	第10回	小暮　修三
11	6/26	09:10-10:40	8番教室	第11回	小暮　修三
12	7/3	09:10-10:40	8番教室	第12回	小暮　修三
13	7/10	09:10-10:40	8番教室	第13回	小暮　修三
14	7/17	09:10-10:40	8番教室	第14回	小暮　修三
15	7/24	09:10-10:40	8番教室	第15回	小暮　修三

授業方法

授業は講義形式で行うが、学生の積極的な参加を求める。

授業内容

1. 序論：社会とは何か？

2-5. 社会学の理論と方法論

1) 社会学的想像力

2) 理論的視座

3) 社会的相互行為

4) 量的・質的調査方法

6-14. 具体的事例研究

1) 階級（社会成層）論

・階級（社会成層）

・社会的排除／貧困／福祉
2) ジェンダー論
・セックス／ジェンダー／セクシュアリティ
・家族／親密な関係性
3) 人種・民族(エスニシティ)論
・人種・民族(エスニシティ)／先住民族
・グローバル下における移民
4) 教育(再生産)論
・学校教育と不平等
・社会化・ライフコース
15. 結論:再び、社会とは何か？

成績評価の方法

評価 : レポート 70% ・ その他(授業参加・貢献度) 30%
再評価: 有
なお、ここでの「授業参加・貢献度」とは、欠席、遅刻、授業中の発言などを対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:授業毎に配布する文献を事前に読み(または課題を行い)、次回の授業に臨むこと。
復習:授業毎に配布する書き込みプリントの理解を深めること。

教科書

授業毎にプリントを配布する。また、授業内容に関する文献等は、必要に応じて、授業中に紹介する。

履修上の注意事項

単位取得には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。授業毎に出席を取る。なお、特別な理由なく授業開始時刻を 15 分遅れた者は欠席とする。

時間割番号	000029				
科目名	社会学AⅡ				
担当教員	小暮　修三				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間：金曜1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2), 1-5)

授業の目的、概要等

社会学とは、私たちが「今あるように存在している」のはなぜか、「今行動しているように行動している」のはなぜか、このような「当たり前のこと」について、今生きている社会との関連について考察する学問である。このことは、私たちが「当たり前」だと考えている事柄が、異なるものに変わる／変えられることを、私たちに教えてくれる。本講義では、このような社会学の理論の中でも特に「再生産論」及び具体的事例研究の理解を通して、以下の論点を中心に、私たちの生きる営みについて考察してゆく。

・ 私たちの生きる社会は、どのように構築されているのか？

・ 私たちの生きる社会によって、私たちの主体はどのように形成されているのか？

このような社会学的視座の獲得は、私たちの生きる社会の構築過程に潜む権力関係及び私たち自らの内面化した権力性を分析するポリティカルな試みの一環でもある。なお、本講義は、前期「社会学 AI」を履修した上（社会学の概論的理解を経た上）での受講が望ましい。

授業の到達目標(SBOs)

経済的・文化的再生産論から見た社会の構築過程についての理解を深める

社会及び自ら自身を構築する特定の価値観について、政治的・経済的・文化的意味を意識化する

社会事象及び自ら自身に対する批判的な主体性を獲得する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	10番教室	第1回	小暮　修三
2	10/9	09:10-10:40	10番教室	第2回	小暮　修三
3	10/16	09:10-10:40	10番教室	第3回	小暮　修三
4	10/23	09:10-10:40	10番教室	第4回	小暮　修三
5	10/30	09:10-10:40	10番教室	第5回	小暮　修三
6	11/6	09:10-10:40	10番教室	第6回	小暮　修三
7	11/13	09:10-10:40	10番教室	第7回	小暮　修三
8	11/20	09:10-10:40	10番教室	第8回	小暮　修三
9	11/27	09:10-10:40	10番教室	第9回	小暮　修三
10	12/4	09:10-10:40	10番教室	第10回	小暮　修三
11	12/11	09:10-10:40	10番教室	第11回	小暮　修三
12	12/18	09:10-10:40	10番教室	第12回	小暮　修三
13	1/8	09:10-10:40	10番教室	第13回	小暮　修三
14	1/15	09:10-10:40	10番教室	第14回	小暮　修三
15	1/22	09:10-10:40	10番教室	第15回	小暮　修三

授業方法

授業は講義形式で行うが、学生の積極的な参加を求める。

授業内容

1. 序論：「私」とは何か？

2. 再生産論とは何か？—主体

3. 個人史：社会の中の「私」

4-12. 再生産論の理論的視座

1) ボールズとギンティスの対応理論

具体的事例研究（経済）

2) バーンスティンのコード理論

具体的事例研究（言語）

3) ブルデューの文化的再生産論

具体的事例研究（文化） 4) ウィリスの再生産論 具体的事例研究（抵抗） 5) 再生産論の理論的視座（まとめ） 13-14. 再生産論の課題と展望 15. 結論：再び、「私」とは何か？
成績評価の方法 評価 ： レポート 70% ・ その他（授業参加・貢献度） 30% 再評価： 有 なお、ここでの「授業参加・貢献度」とは、欠席、遅刻、授業中の発表などを対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習：授業毎に配布する文献を事前に読み（または課題を行い）、次回の授業に臨むこと。 復習：授業毎に配布する書き込みプリントの理解を深めること。
教科書 授業毎にプリントを配布する。また、授業内容に関する文献等は、必要に応じて、授業中に紹介する。
履修上の注意事項 単位取得には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。授業毎に出席を取る。なお、特別な理由なく授業開始時刻を 15 分遅れた者は欠席とする。

時間割番号	000030				
科目名	社会思想史Ⅰ				
担当教員	山岡　龍一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　金曜　1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－2)、1－3)、1－5)、1－9)

授業の目的、概要等

前近代期の社会思想への理解を得ることによって学生が、「社会」に関して自分が今抱いている意見や見解を、自分自身で批判的に反省できるようになることが目的。この反省によって、「社会の中で自分が生きる」ということに関して学生が、自分自身の力で考えていくことでできるようになることが、目指される。

授業では、「社会」とは何であるのか、「社会の中で生きる」ことについてどのように考えることができるのか、といった問いを、思想史の方法を使って吟味するやり方を示し、その材料(主として古典的テクストの紹介)を与える。題材としては西洋の、古代ギリシアから中世にわたる社会思想をとりあげ、「社会」というものに関する、さまざまな考え方を紹介する。さまざまな「社会」観を紹介するだけでなく、「社会」をとらえる知的方法として、どのようなものがあったのか、そして、方法の採用が、対象の理解の内容に、どのような影響を与えるのか、という「哲学的な問題」も考える。

授業の到達目標(SBOs)

講義のあいだに、学生に対して質問をするので、そのときに学生が自分自身の言葉で答えることができるようになること。

学生が自分の問題意識を涵養するために、自分の力で文献を選択し、自分の力で文献を読むことができるようになること。

エッセイ形式のテストにおいて、講義の内容に関する適切な理解を示し、講義の内容に則った仕方で自分の考えを簡潔に論じることができるようになること(そのためには、いくつかの基本的で、重要な語彙を、講義を通じて自分のものとすることが必要である)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	4番教室	第1回	山岡　龍一
2	4/24	09:10-10:40	4番教室	第2回	山岡　龍一
3	5/1	09:10-10:40	4番教室	第3回	山岡　龍一
4	5/8	09:10-10:40	4番教室	第4回	山岡　龍一
5	5/15	09:10-10:40	4番教室	第5回	山岡　龍一
6	5/22	09:10-10:40	4番教室	第6回	山岡　龍一
7	5/29	09:10-10:40	4番教室	第7回	山岡　龍一
8	6/5	09:10-10:40	4番教室	第8回	山岡　龍一
9	6/12	09:10-10:40	4番教室	第9回	山岡　龍一
10	6/19	09:10-10:40	4番教室	第10回	山岡　龍一
11	6/26	09:10-10:40	4番教室	第11回	山岡　龍一
12	7/3	09:10-10:40	4番教室	第12回	山岡　龍一
13	7/10	09:10-10:40	4番教室	第13回	山岡　龍一
14	7/17	09:10-10:40	4番教室	第14回	山岡　龍一
15	7/24	09:10-10:40	4番教室	第15回	山岡　龍一

授業方法

授業は、質疑応答を交えた講義形式で行う。

授業内容

1. イントロダクション
2. オイコスとポリス
3. ソクラテスの生と思想
4. プラトンとアテナイ
5. プラトンの正義論
6. プラトンのイデア論と社会観
7. アリストテレスのプラトン批判
8. アリストテレスのコイノーニアー観

9. アリストテレスの正義論
10. キケロとローマ共和政
11. キケロの自然法論
12. キリスト教における人間と社会
13. アウグスティヌスの政治社会論
14. アウグスティヌス主義とアリストテレス主義
15. トマス・アクィナスの政治社会論

成績評価の方法

評価 : 筆記試験 100%
再評価: 有(レポート)
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

毎回の講義を、必ず一回は復習してほしい。講義中に作成するノートは、不完全なものでよく、むしろ講義の内容を理解することに努めた方がよい。講義後、できるだけ早く復習し、講義ノートをより完全なものに書き換えるなら、効果的な学習となる。

講義でとりあげるテクストを、自分自身で読むことが、最も効果的な復習となるであろう。

参考書

山岡龍一『西洋政治理論の伝統』放送大学教育振興会、2009 年
水田洋『新稿 社会思想小史』ミネルヴァ書房、2006 年
木崎喜代治、筒井清忠、阪上孝『社会思想史』有斐閣、1987 年

連絡先

山岡 龍一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

山岡 龍一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000031				
科目名	社会思想史Ⅱ				
担当教員	山岡　龍一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　金曜　1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):１－２)、１－３)、１－５)、１－９)

授業の目的、概要等

近・現代期の社会思想の理解を得ることによって学生が、「社会」に関して自分が今抱いている意見や見解を、自分自身で批判的に反省できるようになることが目的。その反省によって、「社会の中で自分が生きる」という主題に関して学生が、自分自身の力で考えていくことができるようになることが、目指される。

授業では、「社会」とは何であるのか、「社会の中で生きる」ことについてどのように考えることができるのか、といった問いを、思想史の方法を使って吟味するやり方を示し、その材料(主として古典的テクストの紹介)を与える。題材としては西洋の、ルネサンス期から現代にわたる社会思想をとりあげ、「社会」というものに関する、さまざまな考え方を吟味する。さまざまな「社会」観を紹介するだけでなく、「社会」をとらえる知的方法として、どのようなものがあったのか、そして、方法の採用が、対象の理解の内容に、どのような影響を与えるのか、という「哲学的な問題」も考える。

「社会」を記述的のみならず、規範的にも理解する方法を考察する。この点に関して、特に「自由」と「正義」の問題に光を当てて、「より善き社会」というテーマをめぐる、さまざまな思想を紹介し、検討する。

授業の到達目標(SBOs)

講義のあいだに、学生に対して質問をするので、そのときに学生が自分自身の言葉で答えることができるようになること。

学生が自分の問題意識を涵養するために、自分の力で文献を選択し、自分の力で文献を読むことができるようになること。

エッセイ形式のテストにおいて、講義の内容に関する適切な理解を示し、講義の内容に則った仕方で自分の考えを簡潔に論じることができるようになること(そのためには、いくつかの基本的で、重要な語彙を、講義を通じて自分のものとすることが必要である)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	3 番教室	第 1 回	山岡　龍一
2	10/9	09:10-10:40	3 番教室	第 2 回	山岡　龍一
3	10/16	09:10-10:40	3 番教室	第 3 回	山岡　龍一
4	10/23	09:10-10:40	3 番教室	第 4 回	山岡　龍一
5	10/30	09:10-10:40	3 番教室	第 5 回	山岡　龍一
6	11/6	09:10-10:40	3 番教室	第 6 回	山岡　龍一
7	11/13	09:10-10:40	3 番教室	第 7 回	山岡　龍一
8	11/20	09:10-10:40	3 番教室	第 8 回	山岡　龍一
9	11/27	09:10-10:40	3 番教室	第 9 回	山岡　龍一
10	12/4	09:10-10:40	3 番教室	第 10 回	山岡　龍一
11	12/11	09:10-10:40	3 番教室	第 11 回	山岡　龍一
12	12/18	09:10-10:40	3 番教室	第 12 回	山岡　龍一
13	1/8	09:10-10:40	3 番教室	第 13 回	山岡　龍一
14	1/15	09:10-10:40	3 番教室	第 14 回	山岡　龍一
15	1/22	09:10-10:40	3 番教室	第 15 回	山岡　龍一

授業方法

授業は、質疑応答を交えた講義形式で行う。

授業内容

1. マキアヴェッリの人間観
2. マキアヴェッリと近代共和主義の伝統
3. 近代知のパラダイム:デカルトとベーコン
4. ホッブズの人間観
5. ホッブズの政治社会論
6. ロックの人間観

7. ロックの政治社会論
8. ヒュームの人間論
9. ヒュームとスミスの社会論
10. ルソーの近代社会批判
11. ルソーの政治社会論
12. ヘーゲルの人倫論
13. マルクスと近代社会
14. 功利主義思想
15. 社会正義論の現在

成績評価の方法

評価 ： 筆記試験 100%
再評価： 有（レポート）
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

毎回の講義を、必ず一回は復習してほしい。講義中に作成するノートは、不完全なものでよく、むしろ講義の内容を理解することに努めた方がよい。講義後、できるだけ早く復習し、講義ノートをより完全なものに書き換えるなら、効果的な学習となる。

講義でとりあげるテクストを、自分自身で読むことが、最も効果的な復習となるであろう。

参考書

山岡龍一『西洋政治理論の伝統』放送大学教育振興会、2009 年
水田洋『新稿 社会思想小史』ミネルヴァ書房、2006 年
木崎喜代治、筒井清忠、阪上孝『社会思想史』有斐閣、1987 年
坂本達哉『社会思想の歴史』名古屋大学出版会、2014 年

連絡先

山岡 龍一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

山岡 龍一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000032				
科目名	文化人類学Ⅰ				
担当教員	三谷　純子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する　1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る　1-7)人間の心への理解を深める　1-9)市民としての倫理観を養う　3-4)外国文化を理解する　3-5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

主にユニセフが協力し各国政府を主体として実施されている子ども支援の世界の現場での具体的な例を通じて、上からの画一的なアプローチでは解決できない課題について学び、国際協力における文化や参加について考える。将来、受講生が、国際社会や日本で、多様な文化的背景を持つ人々と協働する際に少しでも役に立つように、担当教員の8カ国でのユニセフUNHCR.UNTAC. JICA等の現場での経験も共有するが、受講生もできる範囲で積極的に授業に参加し、学びの質を高めてほしい。

授業の到達目標(SBOs)

子どもの権利、子ども支援の国際的枠組みや制度、ニーズから権利へのアプローチへの変遷、日本を含む世界の子ども達の現状や課題について基本的な知識を得る。

現状分析から評価までのプログラムサイクルアプローチを学ぶ。そのプロセスにおいて、文化や様々な人々の参加について考察する。授業中のペアワークやグループワーク等への参加、発表、質問などによりコミュニケーション能力を各自向上させる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	3番教室	第1回	三谷　純子
2	4/20	10:50-12:20	3番教室	第2回	三谷　純子
3	4/27	10:50-12:20	3番教室	第3回	三谷　純子
4	5/11	10:50-12:20	3番教室	第4回	三谷　純子
5	5/18	10:50-12:20	3番教室	第5回	三谷　純子
6	5/25	10:50-12:20	3番教室	第6回	三谷　純子
7	6/1	10:50-12:20	3番教室	第7回	三谷　純子
8	6/8	10:50-12:20	3番教室	第8回	三谷　純子
9	6/15	10:50-12:20	3番教室	第9回	三谷　純子
10	6/22	10:50-12:20	3番教室	第10回	三谷　純子
11	6/29	10:50-12:20	3番教室	第11回	三谷　純子
12	7/6	10:50-12:20	3番教室	第12回	三谷　純子
13	7/13	10:50-12:20	3番教室	第13回	三谷　純子
14	7/27	10:50-12:20	3番教室	第14回	三谷　純子
15	7/30	10:50-12:20	3番教室	第15回	三谷　純子

授業方法

受講人数によるが、講義と、開発の現場で用いられる参加型のペアワークやグループワーク、ゲーム等を併用する予定。様々な年齢、立場、教育レベル等の人が安心して楽しく参加できるような方法を実際に体験してみる。

授業内容

第1回　イントロダクション
第2回　子どもの権利条約
第3回　国際社会の子ども支援の枠組み
第4回　国別協力・プログラムサイクルアプローチ
第5回　健康
第6回　HIV/AIDS
第7回　栄養
第8回　安全な水と衛生
第9回　教育

第 10 回　FGM･児童婚
第 11 回　子ども兵士
第 12 回　経済先進国の子ども達
第 13 回　子どもの参加
第 14 回　広報
第 15 回　まとめ
＊受講の状況などにより変更の可能性あり。

成績評価の方法

評価　:試験　　%　・　レポート　50%　・　その他(授業中のワークや、発表、質問、フィードバックなどへの積極的な参加や遅刻)50%
再評価:　有(再評価方法)レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

特に予習は必要としないが、授業中に紹介する関連書籍やDVDや、報道等を通じて、各自理解を深めてほしい。

教科書

広範な分野を扱うため一冊の教科書は無し。授業中に適宜プリントを配布する。

参考書

www.unicef.or.jp/library で『ユニセフ世界子ども白書』日本語版過去10年分と先進国の子どもに関する日本語報告のダウンロード可。その他報告書や最新データは www.unicef.org や www.childinfo.org/mics.html や、WHO、CDC、WB、Save the Children,HUman rights Watch, Amnesty International 等のHPで。

履修上の注意事項

授業終了前に提出するリアクションペーパーを出席システムと併用する。グループワーク等に支障が出るため遅刻しないでください。

備考

キーワード:子どもの権利、国際協力、参加、文化、アドボカシー、社会動員、コミュニケーション、ジェンダー

時間割番号	000035				
科目名	文化人類学Ⅱ				
担当教員	三谷　純子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間: 月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する　1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る　1-7)人間の心への理解を深める　1-9)市民としての倫理観を養う　3-4)外国文化を理解する　3-5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

脆弱な状況におかれている子どもへの緊急支援や子どもの保護を取り上げ、ユニセフ等の協力で主に各国政府が実施している対策や、国際レジームの周縁や外側で編み出されてきた対策について学ぶ。そのなかで、個人、家族、民族、コミュニティや国家等様々なレベルや文脈での、文化やアイデンティティについての理解も深める。受講生が将来、国際社会や日本で、多様な文化的背景を持つ人々と協働する際に、少しでも役立つように、担当教員の8カ国でのユニセフ・UNHCR.UNTAC. JICA 等の現場での経験や調査中のチベットの事例等も伝えるが、受講生もできる範囲で授業に積極的に参加して、学びの質を高めてほしい。

授業の到達目標(SBOs)

緊急国際協力と子どもの保護に関連する国際条約や、国際協力の枠組みやアプローチについて基本的な知識を得る。更に、東西冷戦終結後、グローバル化の進展の中で、従来の枠組みでは解決が困難な問題に関し、人々が自ら編み出してきた解決法についても学ぶ。そのようなプロセスにおける文化やアイデンティティについて考える。

授業中のペアワークやグループワーク等への参加、発表や、質問により、コミュニケーション能力を各自向上させる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	3 番教室	第 1 回	三谷　純子
2	10/5	10:50-12:20	3 番教室	第 2 回	三谷　純子
3	10/19	10:50-12:20	3 番教室	第 3 回	三谷　純子
4	10/26	10:50-12:20	3 番教室	第 4 回	三谷　純子
5	11/2	10:50-12:20	3 番教室	第 5 回	三谷　純子
6	11/9	10:50-12:20	3 番教室	第 6 回	三谷　純子
7	11/16	10:50-12:20	3 番教室	第 7 回	三谷　純子
8	11/30	10:50-12:20	3 番教室	第 8 回	三谷　純子
9	12/7	10:50-12:20	3 番教室	第 9 回	三谷　純子
10	12/14	10:50-12:20	3 番教室	第 10 回	三谷　純子
11	12/21	10:50-12:20	3 番教室	第 11 回	三谷　純子
12	1/18	10:50-12:20	3 番教室	第 12 回	三谷　純子
13	1/25	10:50-12:20	3 番教室	第 13 回	三谷　純子
14	2/1	10:50-12:20	3 番教室	第 14 回	三谷　純子
15	2/8	10:50-12:20	3 番教室	第 15 回	三谷　純子

授業方法

後期は前期より講義が多くなる。受講人数にもよるが、開発の現場で用いられる参加型のペアワークやグループワーク、ゲーム等も併用する予定。積極的に発言、質問をして、学びの質を皆で高めることを期待する。

授業内容

第1回　イントロダクション
第2回　貧困と格差
第3回　国際社会の緊急支援の枠組みと予防
第4回　災害
第5回　パンデミック
第6回　紛争
第7回　三つの恒久的解決の限界と難民の移民化
第8回　出生登録・無戸籍

第9回　無国籍
第 10 回　児童労働
第 11 回　人身取引
第 12 回　社会から周縁化、排除されがちな子どもたち
第 13 回　広報　こどもに関する報道倫理
第 14 回　MDG 後の国際社会の開発目標
第 15 回　まとめ
＊受講の状況等により変更の可能性あり。

成績評価の方法

評価　：　試験　　％　・　レポート　60　％　・　その他（授業中のワークや、発表、質問、フィードバックなどへの積極的な参加や遅刻）40　％

再評価：　有（再評価方法）レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

特に予習は必要としないが、授業中に紹介する関連書籍やDVDや、報道等を通じて、各自理解を深めてほしい。

教科書

広範な分野を扱うため一冊の教科書は無し。授業中に適宜プリントを配布する。

参考書

緊急支援概説は、内海成治他『国際緊急人道支援』ナカニシヤ出版　2008/09 年。難民レジームの歴史は、UNHCR『世界難民白書2000 人道行動の50年史』日本語版、時事通信社、2001　年。人の移動の概説は、S. カースルズ他『国際移民の時代』第4版、名古屋大学出版会、2011 年。他テーマは、UNICEF, UNOCHA, UNHCR, UN, IOM, ILO,世界銀行等のHP。 世界の無国籍は www.institutesi.org、 日本の難民や無国籍は www.refugee.or.jp や www.stateless-network.com 等。

履修上の注意事項

授業終了前に提出するリアクションペーパを出席システムと併用する。グループワーク等に支障が出るため、遅刻しないでください。文化人類学1と2は独立科目であるが、前期に1を履修しているほうが理解しやすいと思われる。

備考

キーワード：子どもの保護、国際緊急支援、文化、アイデンティティ、人の移動

時間割番号	000036				
科目名	社会科学特論ＡⅠ				
担当教員	飯田　卓				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　金曜　2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)、 1-3)

授業の目的、概要等

この授業では、個別社会諸科学の総論を目指すとともに、従来の人間理性を中心に据えたヨーロッパの社会思想(理性の啓蒙)に取って代わらんとする N・ルーマンの社会システム理論の観点から、近・現代社会の在り方について総体的に考察します。ヨーロッパの社会史は、社会が機能分化を遂げてゆく歴史、したがって複雑性の度合いを増してゆく歴史と捉えることができます。現代のヨーロッパ社会は、古代ギリシャや近代初期のように政治が中心となる社会でも、19 世紀半ばから後半にかけてのように経済が中心となる社会でもなく、経済、政治、法、科学、医療、宗教等、それぞれ独自の観点に基づく多数の領域に分化し、これら諸領域のあいだに何らの序列や中心も存在しないまま各領域が他の領域に対して環境となり相互に共鳴し合っている社会です。

ルーマンは近・現代社会の特徴をこの分化しているという事態そのものに求めることによって、社会を総体として捉えようと試みます。それゆえにルーマンから見れば、社会の秩序あるまとまり(統合)は、何らかの価値やメカニズム(一定の手続きによるコンセンサスの達成等)によってもたらされるのではなく、分化しているという事実そのもののうちにあるのです。ここではまず、社会システム理論(部分ー全体システム、動的均衡システム、開放定常システム、自己言及的閉鎖システム)のうち、とくに伝統的な社会科学を支配していた部分ー全体システム・モデルの社会観と問題点を確認したうえで、自己言及的閉鎖システム・モデルとしての社会システム理論の観点から、近・現代社会の機能分化の在り方とその行く末について考察します。

授業の到達目標(SBOs)

社会システム理論の冷徹な視点、とくに H.R.マトゥラーナと F.J.ヴァレラが生命有機体の理論として提唱し、N.ルーマンが社会理論として発展させた「オートポイエーシス論」、及びそれにもとづく「機能分化論」の習得。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	3 番教室	第 1 回	飯田　卓
2	4/24	10:50-12:20	3 番教室	第 2 回	飯田　卓
3	5/1	10:50-12:20	3 番教室	第 3 回	飯田　卓
4	5/8	10:50-12:20	3 番教室	第 4 回	飯田　卓
5	5/15	10:50-12:20	3 番教室	第 5 回	飯田　卓
6	5/22	10:50-12:20	3 番教室	第 6 回	飯田　卓
7	5/29	10:50-12:20	3 番教室	第 7 回	飯田　卓
8	6/5	10:50-12:20	3 番教室	第 8 回	飯田　卓
9	6/12	10:50-12:20	3 番教室	第 9 回	飯田　卓
10	6/19	10:50-12:20	3 番教室	第 10 回	飯田　卓
11	6/26	10:50-12:20	3 番教室	第 11 回	飯田　卓
12	7/3	10:50-12:20	3 番教室	第 12 回	飯田　卓
13	7/10	10:50-12:20	3 番教室	第 13 回	飯田　卓
14	7/17	10:50-12:20	3 番教室	第 14 回	飯田　卓
15	7/24	10:50-12:20	3 番教室	第 15 回	飯田　卓

授業方法

講義形式

授業内容

第 1 回:オリエンテーション

第 2 回:社会システム理論の概要

第 3 回:部分ー全体システム・モデルの社会観(1)

第 4 回:部分ー全体システム・モデルの社会観(2)

第 5 回:部分ー全体システム・モデルの問題点(1)

第 6 回:部分ー全体システム・モデルの問題点(2)

第 7 回:自己言及的閉鎖システム・モデルの基本(1)
第 8 回:自己言及的閉鎖システム・モデルの基本(2)
第 9 回:近代社会と機能分化(1)
第 10 回:近代社会と機能分化(2)
第 11 回:現代社会と機能分化(1)
第 12 回:現代社会と機能分化(2)
第 13 回:近代社会と医療システム
第 14 回:現代社会と医療システム
第 15 回:総括(理解度の確認)

成績評価の方法

評価 : 試験 80 % ・ レポート % ・ その他(出席等) 20 %
再評価: 有(レポート)
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

配布された資料は次回までに目を通しておいてください。

教科書

教科書についてはレジュメと資料を配布します。

参考書

教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。ゲオルク・クニール/アルミン・ナセヒ『ルーマン社会システム理論』(1995 年、新泉社)

履修上の注意事項

毎回出席票を配布し、出欠をとります。

連絡先

飯田 卓:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

飯田 卓:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000037				
科目名	社会科学特論AⅡ				
担当教員	中島　貴子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

曜日・時間:　月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－10、2－3、2－4

授業の目的、概要等

戦後日本で起きた公害問題、化学テロ、各種の重大事故例を社会科学的な観点から分析し、これからの科学技術ガバナンスに求められる要件を考察します。

授業の到達目標(SBOs)

科学技術の価値や意義、およびそのリスクへの対応の在り方を、歴史的、社会的文脈の中で考察すること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	6番教室	第1回	中島　貴子
2	10/5	09:10-10:40	6番教室	第2回	中島　貴子
3	10/19	09:10-10:40	6番教室	第3回	中島　貴子
4	10/26	09:10-10:40	6番教室	第4回	中島　貴子
5	11/2	09:10-10:40	6番教室	第5回	中島　貴子
6	11/9	09:10-10:40	6番教室	第6回	中島　貴子
7	11/16	09:10-10:40	6番教室	第7回	中島　貴子
8	11/30	09:10-10:40	6番教室	第8回	中島　貴子
9	12/7	09:10-10:40	6番教室	第9回	中島　貴子
10	12/14	09:10-10:40	6番教室	第10回	中島　貴子
11	12/21	09:10-10:40	6番教室	第11回	中島　貴子
12	1/18	09:10-10:40	6番教室	第12回	中島　貴子
13	1/25	09:10-10:40	6番教室	第13回	中島　貴子
14	2/1	09:10-10:40	6番教室	第14回	中島　貴子
15	2/8	09:10-10:40	6番教室	第15回	中島　貴子

授業方法

講義とゼミの混合形式です。講義は毎回、レジュメを配布し、適宜、映像を使います。演習(ショートスピーチ、チームディベートなど)は受講生の人数に応じたスタイルをとります。

授業内容

①イントロダクション
②戦後日本の高度経済成長と公害
③水俣病
④森永ヒ素ミルク中毒事件
⑤日航機御巣鷹山墜落事故
⑥地下鉄サリン事件
⑦シンドラーエレベーター事故
⑧～⑫演習
⑬～⑮科学技術ガバナンスの課題(科学技術の不定性と社会的意思決定の観点から)

成績評価の方法

評価　:　レポート50%　・　その他(授業への参加度)50%
再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

新聞などから科学技術ガバナンスに関する問題例をピックアップし、それがどのような意味で科学技術ガバナンスの問題かについて考察する。
教科書 レジュメとして配布します。
参考書 柳田邦男（2013）『終わらない原発事故と日本病』新潮社、尾内隆之・調麻佐志編（2013）『科学者に委ねてはいけないこと』岩波書店、宮本憲一（2014）『戦後日本公害史論』岩波書店。
履修上の注意事項 教員が毎回、出欠を確認し、その記録を優先します。

時間割番号	000044				
科目名	物理学入門				
担当教員	檜枝　光憲				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：月曜　1～4限
対象学科：医学科・歯学科・検査技術学専攻
受講資格：入試で化学・生物を選択した人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表4－1）

授業の目的、概要等

物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーを基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人（高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人）向けに「質点の力学」を中心とした物理学入門講義を行います。

授業の到達目標(SBOs)

1.　位置、速度、加速度の概念を理解する
2.　物体が受ける力を見つけられ、運動方程式を立てられる。
3.　仕事と力学的エネルギーの概念を理解する。
4.　運動量の保存を理解する。
5.　上記の概念を駆使し、典型的な力学運動を解析できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	4/21	09:10-16:20	2番教室	檜枝　光憲
5-8	4/28	09:10-16:20	2番教室	檜枝　光憲
9-12	5/12	09:10-16:20	2番教室	檜枝　光憲

授業方法

講義

授業内容

授業計画
回/日付/時刻/講義室/授業題目/担当教員
1-4　4/21　9:10-16:20　第1回　檜枝 光憲
5-8　4/28　9:10-16:20　第2回　檜枝 光憲
9-12　5/12　9:10-16:20　第3回　檜枝 光憲

成績評価の方法

評価　：　試験　100%　（平常点をボーナス点として加味する場合もある）
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書の演習問題を解いて自己採点することを宿題として課していますが、わからなかった箇所は、教科書、参考書、高校の教科書を見てできるだけクリアにしておくこと。

教科書

Primary 大学テキスト　これだけはおさえたい　物理：実教出版, 2009

参考書

もういちど読む　数研の高校物理　第1巻：数研出版, 2012

時間割番号	000041				
科目名	生物学入門M･D･T				
担当教員	中野　真樹、東郷　建				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

火曜日 1～3 時限(第 2 週･第 3 週･第 5 週)、2～3 時限(第 7 週)、2 時限(第 8 週)
対象学科:医学科･歯学科･検査技術学専攻
受講資格:入学試験で生物学を選択しなかった者

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):4-1

授業の目的、概要等

この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生、あるいは高等学校で生物学を履修せずに入学した学生を対象とする。
生物の構造、および機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、代謝と遺伝の基本的な仕組みを理解することを目的とする。

授業の到達目標(SBOs)

1. 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。
2. 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。
3. 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-3	4/21	09:10-14:40	1 番教室	中野　真樹, 東郷　建, 服部　淳彦
4-6	4/28	09:10-14:40	1 番教室	中野　真樹, 東郷　建, 服部　淳彦
7-9	5/12	09:10-14:40	1 番教室	中野　真樹, 東郷　建, 服部　淳彦
10-11	5/26	10:50-14:40	1 番教室	中野　真樹, 東郷　建, 服部　淳彦
12	6/2	10:50-12:20	1 番教室	中野　真樹, 東郷　建, 服部　淳彦

授業方法

講義形式

授業内容

第 1 回　個体の階層構造、細胞膜
第 2 回　核と細胞内小器官、細胞骨格
第 3 回　生体の構成元素、タンパク質
第 4 回　核酸、糖質、脂質
第 5 回　酵素反応
第 6 回　筋収縮
第 7 回　糖代謝
第 8 回　染色体、メンデルの法則
第 9 回　細胞周期、体細胞分裂
第 10 回　DNA の複製
第 11 回　DNA から RNA への転写

第 12 回　RNA からタンパク質への翻訳
成績評価の方法 評価　：　試験 80%　・　レポート　　%　・　その他（小テスト）20% 再評価　：　有（再試験）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 小テストや期末テストに備えて授業の予習と復習をしっかりとすること。
教科書 「改訂第 2 版　はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学」　前野正夫・磯川桂太郎　著　羊土社　2008
参考書 「Essential　細胞生物学　第 3 版」　Bruce Alberts　他　著　中村桂子　他　訳　南江堂　2012
履修上の注意事項 授業の出欠は教員が取る出欠を優先させる。期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。

時間割番号	000042				
科目名	生物学入門N･O･K				
担当教員	松本　幸久				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象専攻：看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　４－１）入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。

主な講義場所

ヒポクラテスホール1階1番教室

授業の目的、概要等

生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1）細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。
2）遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。
3）遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。
4）代謝とは何か、説明することができる。
5）酸素呼吸の意義とその反応過程を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	14:50-16:20	1番教室	第1回	松本　幸久
2	4/20	14:50-16:20	1番教室	第2回	松本　幸久
3	4/27	14:50-16:20	1番教室	第3回	松本　幸久
4	5/11	14:50-16:20	1番教室	第4回	松本　幸久
5	5/18	14:50-16:20	1番教室	第5回	松本　幸久
6	5/25	14:50-16:20	1番教室	第6回	松本　幸久
7	6/1	14:50-16:20	1番教室	第7回	松本　幸久
8	6/8	14:50-16:20	1番教室	第8回	松本　幸久
9	6/15	14:50-16:20	1番教室	第9回	松本　幸久
10	6/22	14:50-16:20	1番教室	第10回	松本　幸久
11	6/29	14:50-16:20	1番教室	第11回	松本　幸久
12	7/6	14:50-16:20	1番教室	第12回	松本　幸久
13	7/13	14:50-16:20	1番教室	第13回	松本　幸久
14	7/27	14:50-16:20	1番教室	第14回	松本　幸久
15	7/30	14:50-16:20	1番教室	第15回	松本　幸久

授業方法

講義形式で行う。

授業内容

細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明する。

成績評価の方法

評価：期末考査　80%・レポート　0%
その他（授業期間内での試験　20%）
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示 復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。
教科書 医療・看護系のための生物学／田村　隆明：裳華房，2010 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 イラスト生化学・分子生物学／前野　正夫：羊土社，2008 ヒューマンバイオロジー　人体と生命／SS Mader：医学書院，2005 やさしい基礎生物学／南雲　保：羊土社，2011
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 yukihisa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000043				
科目名	化学入門				
担当教員	勝又　敏行, 奈良　雅之				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：火曜日 1～4 限（前期分割 A）
・対象学科：医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻
・受験資格：入学試験で化学を選択しなかった者
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表4−1）入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる

授業の目的、概要等

入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学（一般化学、化学実験など）すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。

授業の到達目標(SBOs)

高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-4	4/21	09:10-16:20	2 番教室	第 1 回	勝又　敏行, 奈良　雅之
5-8	4/28	09:10-16:20	2 番教室	第 2 回	勝又　敏行, 奈良　雅之
9-12	5/12	09:10-16:20	2 番教室	第 3 回	勝又　敏行, 奈良　雅之

授業方法

講義による

授業内容

1. 物質の構造　物質の構成要素：元素・単体・化合物、原子と分子
化学結合、化学量論：原子量・分子量・式量、化学反応式
2. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動：物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、
　気体：気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、
　溶液：溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド
3. 物質の変化　化学反応と熱：熱化学方程式・結合エネルギー、
　酸と塩基の反応：水素イオン濃度と pH・中和反応と中和滴定、
　酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡
4. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素
5. 有機化合物　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物
6. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物

成績評価の方法

評価：試験 50%・レポート 0%
その他 50%（授業中の小テスト、回答状況等）
再評価：有（再評価方法：再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書
大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,:共立出版, 2005
参考書
化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,:医歯薬出版, 2005 化学入門／下井守, 村田滋 著,:東京化学同人, 2013 化学入門／大野公一 [ほか]著,:共立出版, 1997

時間割番号	000269		
科目名	数学(微積分)M		
担当教員	清田　正夫		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時限: 月曜日 3 時限
対象学科: 医学科
受講資格:
募集人数:
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2−1), 4−2)

授業の目的、概要等

高校でもすでに学んだ微積分を改めて、極限操作に基づく数学の体系の基礎としての微分積分学を学び、科学の基礎としての数学の重要性を認識する。多変数の微積分まで範囲を広げ、物理学、化学、経済学など諸分野における応用を含めて学ぶ。

授業の到達目標(SB0s)

1変数および多変数の微積分における基本的な公式を理解し、的確に運用することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	13:10−14:40	1 番教室	第 1 回	清田　正夫
2	4/20	13:10−14:40	1 番教室	第 2 回	清田　正夫
3	4/27	13:10−14:40	1 番教室	第 3 回	清田　正夫
4	5/11	13:10−14:40	1 番教室	第 4 回	清田　正夫
5	5/18	13:10−14:40	1 番教室	第 5 回	清田　正夫
6	5/25	13:10−14:40	1 番教室	第 6 回	清田　正夫
7	6/1	13:10−14:40	1 番教室	第 7 回	清田　正夫
8	6/8	13:10−14:40	1 番教室	第 8 回	清田　正夫
9	6/15	13:10−14:40	1 番教室	第 9 回	清田　正夫
10	6/22	13:10−14:40	1 番教室	第 10 回	清田　正夫
11	6/29	13:10−14:40	1 番教室	第 11 回	清田　正夫
12	7/6	13:10−14:40	1 番教室	第 12 回	清田　正夫
13	7/13	13:10−14:40	1 番教室	第 13 回	清田　正夫
14	7/27	13:10−14:40	1 番教室	第 14 回	清田　正夫
15	7/30	13:10−14:40	1 番教室	第 15 回	清田　正夫

授業方法

板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。
毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。

授業内容

第1回—第2回　極限と連続、初等関数
第3回—第4回　微分の定義と諸公式
第5回—第6回　微分法の応用
第7回—第8回　2変数関数の偏微分
第9回—第10回　積分の諸公式と計算
第11回—第12回　積分法の応用
第13回—第15回　2変数関数の重積分

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%
再評価: 有(筆記試験)
試験は期末に筆記試験によって行う。

通年科目の「数学」としての単位は、後期開講の「数学(線形代数)」と合わせて評価される。微積分と線形代数それぞれについて「試験の

受験資格」を満たし、かつ両方の試験を受験したもののみを、「数学」の評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。 予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。 返却されたクイズの正解を確認すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 微積分の基礎／浦川肇 著,:朝倉書店, 2006
参考書 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著,:培風館, 1999 定本解析概論／高木貞治 著,:岩波書店, 2010 現代の古典解析 : 微積分基礎課程／森毅 著,:筑摩書房, 2006
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
連絡先 清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000270		
科目名	数学(微積分)D		
担当教員	中口　悦史		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時限:水曜日１時限
対象学科:歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−2)

授業の目的、概要等

高校でもすでに学んだ微積分を改めて，極限操作に基づく数学の体系の基礎としての微分積分学を学び，科学の基礎としての数学の重要性を認識する。多変数の微積分まで範囲を広げ，物理学，化学，経済学など諸分野における応用を含めて学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

１変数および多変数の微積分における基本的な公式を理解し，的確に運用することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	09:10−10:40	7番教室	第1回	実数と連続性・多変数関数 (1)	中口　悦史
2	4/22	09:10−10:40	7番教室	第2回	実数と連続性・多変数関数 (2)	中口　悦史
3	5/13	09:10−10:40	7番教室	第3回	実数と連続性・多変数関数 (3)	中口　悦史
4	5/20	09:10−10:40	7番教室	第4回	実数と連続性・多変数関数 (4)	中口　悦史
5	5/27	09:10−10:40	7番教室	第5回	実数と連続性・多変数関数 (5)	中口　悦史
6	6/3	09:10−10:40	7番教室	第6回	微分と偏微分 (1)	中口　悦史
7	6/10	09:10−10:40	7番教室	第7回	微分と偏微分 (2)	中口　悦史
8	6/17	09:10−10:40	7番教室	第8回	微分と偏微分 (3)	中口　悦史
9	6/24	09:10−10:40	7番教室	第9回	微分と偏微分 (4)	中口　悦史
10	7/1	09:10−10:40	7番教室	第10回	微分と偏微分 (5)	中口　悦史
11	7/8	09:10−10:40	7番教室	第11回	積分と重積分 (1)	中口　悦史
12	7/15	09:10−10:40	7番教室	第12回	積分と重積分 (2)	中口　悦史
13	7/22	09:10−10:40	7番教室	第13回	積分と重積分 (3)	中口　悦史
14	7/29	09:10−10:40	7番教室	第14回	積分と重積分 (4)	中口　悦史
15	7/31	09:10−10:40	7番教室	第15回	積分と重積分 (5)	中口　悦史

授業方法

主に板書による講義によって進め，毎回1題の演習問題の時間を設ける。

授業内容

第　1～　5回　実数と連続性・多変数関数
第　6～10回　微分と偏微分
第11～15回　積分と重積分

成績評価の方法

評価　:　試験　80%　・　レポート　0%　・　その他(授業中の演習)　20%
再評価:　有(筆記試験)
試験は期末に筆記試験によって行う。

通年科目の「数学」としての単位は，後期開講の「数学(線形代数)」と合わせて評価される。微積分と線形代数それぞれについて「試験の受験資格」を満たし，かつ両方の試験を受験したもののみを，「数学」の評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習問題も復習することが望ましい。
必要に応じて下記演習書『演習　微分積分』により各自演習すること。

試験の受験資格
授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習カードの提出。
教科書
微分積分学／難波誠 著,:裳華房，1996 演習微分積分／寺田 文行／[ほか]共著,:サイエンス社，1985
参考書
定本解析概論／高木貞治 著,:岩波書店，2010 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著,:培風館，1999 基礎課程 解析学／水野克彦 編:学術図書，1966 解析教程 上 新装版／E.ハイラー・G.ワナー 著，蟹江幸博 訳:丸善出版，2012 解析教程 下 新装版／E.ハイラー・G.ワナー 著，蟹江幸博 訳:丸善出版，2012 いかにして問題をとくか／G. ポリア 著,柿内 賢信 訳,:丸善株式会社出版事業部
履修上の注意事項
出欠確認は出欠管理システムと，各回の演習カード提出を併用する。
連絡先
中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
中口 悦史:[国府台・ヒポ4階研究室]（前期）水・木 12:00～13:00（後期）月・水 12:00～13:00／[湯島・2号館2階教養部連絡室]（D2 情報科学演習・OE2 プロデ担当日）木 11:45～12:45・16:00～17:00／電子メールによる質問等は随時受け付ける。

時間割番号	000271		
科目名	数学(線形代数)(α)		
担当教員	清田　正夫		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時限:木曜日 1 時限
対象学科:医学科、歯学科
受講資格:
募集人数:
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−2)

授業の目的、概要等

諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学の考え方と計算法、及びその応用を学ぶ。
具体的な計算を通して、連立1次方程式の解法、行列式、一次独立性、固有値等の基礎概念を理解していく。
最後に理論体系としての線形空間と線形写像を学ぶ。

授業の到達目標(SB0s)

基本的な線形演算を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	09:10−10:40	1 番教室	第 1 回	清田　正夫
2	10/8	09:10−10:40	1 番教室	第 2 回	清田　正夫
3	10/15	09:10−10:40	1 番教室	第 3 回	清田　正夫
4	10/22	09:10−10:40	1 番教室	第 4 回	清田　正夫
5	10/29	09:10−10:40	1 番教室	第 5 回	清田　正夫
6	11/5	09:10−10:40	1 番教室	第 6 回	清田　正夫
7	11/12	09:10−10:40	1 番教室	第 7 回	清田　正夫
8	11/19	09:10−10:40	1 番教室	第 8 回	清田　正夫
9	11/26	09:10−10:40	1 番教室	第 9 回	清田　正夫
10	12/3	09:10−10:40	1 番教室	第 10 回	清田　正夫
11	12/10	09:10−10:40	1 番教室	第 11 回	清田　正夫
12	12/17	09:10−10:40	1 番教室	第 12 回	清田　正夫
13	1/7	09:10−10:40	1 番教室	第 13 回	清田　正夫
14	1/14	09:10−10:40	1 番教室	第 14 回	清田　正夫
15	1/21	09:10−10:40	1 番教室	第 15 回	清田　正夫

授業方法

板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。
毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。

授業内容

第1回〜第2回:行列の定義と演算
第3回〜第4回:連立1次方程式
第5回〜第6回:逆行列の計算、同次連立1次方程式
第7回〜第8回:行列式の定義と性質
第9回〜第 10 回:行列式の計算、クラメルの公式
第 11 回〜第 12 回:線形空間、ベクトルの1次独立性
第 13 回〜第 14 回:線形写像と固有値
第 15 回:まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%
再評価: 有(筆記試験)
試験は期末に筆記試験によって行う。

通年科目の「数学」としての単位は、前期開講の「数学（微積分）」と合わせて評価される。微積分と線形代数それぞれについて「試験の受験資格」を満たし、かつ両方の試験を受験したもののみを、「数学」の評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。

返却されたクイズの正解を確認すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著,:培風館, 2008

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000272		
科目名	数学(線形代数)(β)		
担当教員	清田　正夫		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時限:木曜日 2 時限
対象学科:医学科、歯学科
受講資格:
募集人数:
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−2)

授業の目的、概要等

諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学の考え方と計算法、及びその応用を学ぶ。
具体的な計算を通して、連立1次方程式の解法、行列式、一次独立性、固有値等の基礎概念を理解していく。
最後に理論体系としての線形空間と線形写像を学ぶ。

授業の到達目標(SB0s)

基本的な線形演算を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	10:50−12:20	1 番教室	第 1 回	清田　正夫
2	10/8	10:50−12:20	1 番教室	第 2 回	清田　正夫
3	10/15	10:50−12:20	1 番教室	第 3 回	清田　正夫
4	10/22	10:50−12:20	1 番教室	第 4 回	清田　正夫
5	10/29	10:50−12:20	1 番教室	第 5 回	清田　正夫
6	11/5	10:50−12:20	1 番教室	第 6 回	清田　正夫
7	11/12	10:50−12:20	1 番教室	第 7 回	清田　正夫
8	11/19	10:50−12:20	1 番教室	第 8 回	清田　正夫
9	11/26	10:50−12:20	1 番教室	第 9 回	清田　正夫
10	12/3	10:50−12:20	1 番教室	第 10 回	清田　正夫
11	12/10	10:50−12:20	1 番教室	第 11 回	清田　正夫
12	12/17	10:50−12:20	1 番教室	第 12 回	清田　正夫
13	1/7	10:50−12:20	1 番教室	第 13 回	清田　正夫
14	1/14	10:50−12:20	1 番教室	第 14 回	清田　正夫
15	1/21	10:50−12:20	1 番教室	第 15 回	清田　正夫

授業方法

板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。
毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。

授業内容

第1回〜第2回:行列の定義と演算
第3回〜第4回:連立1次方程式
第5回〜第6回:逆行列の計算、同次連立1次方程式
第7回〜第8回:行列式の定義と性質
第9回〜第 10 回:行列式の計算、クラメルの公式
第 11 回〜第 12 回:線形空間、ベクトルの1次独立性
第 13 回〜第 14 回:線形写像と固有値
第 15 回:まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%
再評価: 有(筆記試験)
試験は期末に筆記試験によって行う。

通年科目の「数学」としての単位は、前期開講の「数学（微積分）」と合わせて評価される。微積分と線形代数それぞれについて「試験の受験資格」を満たし、かつ両方の試験を受験したもののみを、「数学」の評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。

返却されたクイズの正解を確認すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著,:培風館, 2008

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000046				
科目名	数学基礎				
担当教員	清田　正夫				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：木曜日 3 時限
対象学科：検査技術学専攻
受講資格：
募集人数：
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

授業の目的、概要等

高校でもすでに学んだ微積分を改めて，極限操作に基づく数学の体系の基礎としての微分積分学を学び，科学の基礎としての数学の重要性を認識する。多変数の微積分まで範囲を広げ，物理学，化学，経済学など諸分野における応用を含めて学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

１変数および多変数の微積分における基本的な公式を理解し，的確に運用することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	13:10−14:40	6 番教室	第 1 回	清田　正夫
2	4/23	13:10−14:40	6 番教室	第 2 回	清田　正夫
3	4/30	13:10−14:40	6 番教室	第 3 回	清田　正夫
4	5/7	13:10−14:40	6 番教室	第 4 回	清田　正夫
5	5/14	13:10−14:40	6 番教室	第 5 回	清田　正夫
6	5/21	13:10−14:40	6 番教室	第 6 回	清田　正夫
7	5/28	13:10−14:40	6 番教室	第 7 回	清田　正夫
8	6/4	13:10−14:40	6 番教室	第 8 回	清田　正夫
9	6/11	13:10−14:40	6 番教室	第 9 回	清田　正夫
10	6/18	13:10−14:40	6 番教室	第 10 回	清田　正夫
11	6/25	13:10−14:40	6 番教室	第 11 回	清田　正夫
12	7/2	13:10−14:40	6 番教室	第 12 回	清田　正夫
13	7/9	13:10−14:40	6 番教室	第 13 回	清田　正夫
14	7/16	13:10−14:40	6 番教室	第 14 回	清田　正夫
15	7/23	13:10−14:40	6 番教室	第 15 回	清田　正夫

授業方法

板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。
毎回の授業の最後にクイズ（5分間小テスト）を行なう。

授業内容

第1回—第2回　　極限と連続、初等関数
第3回—第4回　　微分の定義と諸公式
第5回—第6回　　微分法の応用
第7回—第8回　　２変数関数の偏微分
第9回—第10回　積分の諸公式と計算
第11回—第12回　積分法の応用
第13回—第15回　２変数関数の重積分

成績評価の方法

評価　：　試験　80%　・　レポート　0%　・　その他（授業中の演習）　20%
再評価：　有（筆記試験）
試験は期末に筆記試験によって行う。
「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。 予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。 返却されたクイズの正解を確認すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著,:培風館, 1999
参考書 微積分の基礎／浦川肇 著,:朝倉書店, 2006 定本解析概論／高木貞治 著,:岩波書店, 2010 現代の古典解析 : 微積分基礎課程／森毅 著,:筑摩書房, 2006
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
連絡先 清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000047				
科目名	統計学Ｏ･Ｋ				
担当教員	清田　正夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：月曜日5時限

対象学科：口腔保健学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−3），4−4）

授業の目的、概要等

科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	16:30−18:00	6 番教室	第 1 回	清田　正夫
2	10/5	16:30−18:00	6 番教室	第 2 回	清田　正夫
3	10/19	16:30−18:00	6 番教室	第 3 回	清田　正夫
4	10/26	16:30−18:00	6 番教室	第 4 回	清田　正夫
5	11/2	16:30−18:00	6 番教室	第 5 回	清田　正夫
6	11/9	16:30−18:00	6 番教室	第 6 回	清田　正夫
7	11/16	16:30−18:00	6 番教室	第 7 回	清田　正夫
8	11/30	16:30−18:00	6 番教室	第 8 回	清田　正夫
9	12/7	16:30−18:00	6 番教室	第 9 回	清田　正夫
10	12/14	16:30−18:00	6 番教室	第 10 回	清田　正夫
11	12/21	16:30−18:00	6 番教室	第 11 回	清田　正夫
12	1/18	16:30−18:00	6 番教室	第 12 回	清田　正夫
13	1/25	16:30−18:00	6 番教室	第 13 回	清田　正夫
14	2/1	16:30−18:00	6 番教室	第 14 回	清田　正夫
15	2/8	16:30−18:00	6 番教室	第 15 回	清田　正夫

授業方法

主として、板書による講義を行なう。

毎回の授業の最後にクイズ（5分間小テスト）を行なう。

中間試験と定期試験を行なう。

授業内容

第　1回　標本データの記述

第　2回　確率と標本空間

第　3回　ベイズの定理と確率分布

第　4回　2項分布と正規分布

第　5回　正規近似と中心極限定理

第　6回　母集団と標本抽出

第　7回　中間試験

第　8回　平均値の推定

第　9回　比率の推定

第10回　推定とt−分布

第11回　平均値の検定

第12回　比率の検定

第13回　検定とt−分布

第14回　総合演習1

第15回　総合演習2
成績評価の方法 評価　：　中間試験　30%　・　定期試験　60%　・　その他(授業中の演習)10% 再評価:　有(筆記試験) ・　中間試験と定期試験はいずれも筆記試験によって行う。 ・　前出の「試験の受験資格」を満たし、かつ、中間試験と定期試験の両方を受験したもののみを、評価の対象とする。評価対象者が不合格となった場合は、再評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。 予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。 返却されたクイズの正解を確認すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出(下記「授業方法」参照)。
教科書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005
参考書 初等統計学／P. G. ホーエル 著,浅井　晃 共訳,村上　正康 共訳,:培風館, 1985 統計学入門／東京大学教養学部統計学教室／編,:東京大学出版会, 1991
履修上の注意事項 ・　電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。　・　出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
備考 中間試験、定期試験の成績により、レポート課題を課すこともある。
連絡先 清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12:00～13:00　ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000048				
科目名	統計学Ｎ				
担当教員	中口　悦史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：月曜日5時限

対象学科：保健衛生学科看護学専攻

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−3），4−4）

授業の目的、概要等

科学の言語とも言われる統計学の基礎と，その理解に必要な確率論の初歩を学び，統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して，統計的検定法までを学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

基本的な確率計算と，平均および比率の推定と検定を行なうことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	16:30−18:00	10番教室	第1回	母集団と標本 (1)	中口　悦史
2	10/5	16:30−18:00	10番教室	第2回	母集団と標本 (2)	中口　悦史
3	10/19	16:30−18:00	10番教室	第3回	確率と確率分布 (1)	中口　悦史
4	10/26	16:30−18:00	10番教室	第4回	確率と確率分布 (2)	中口　悦史
5	11/2	16:30−18:00	10番教室	第5回	確率と確率分布 (3)	中口　悦史
6	11/9	16:30−18:00	10番教室	第6回	確率と確率分布 (4)	中口　悦史
7	11/16	16:30−18:00	10番教室	第7回	総合演習1	中口　悦史
8	11/30	16:30−18:00	10番教室	第8回	統計的推定 (1)	中口　悦史
9	12/7	16:30−18:00	10番教室	第9回	統計的推定 (2)	中口　悦史
10	12/14	16:30−18:00	10番教室	第10回	統計的推定 (3)	中口　悦史
11	12/21	16:30−18:00	10番教室	第11回	仮説検定 (1)	中口　悦史
12	1/18	16:30−18:00	10番教室	第12回	仮説検定 (2)	中口　悦史
13	1/25	16:30−18:00	10番教室	第13回	仮説検定 (3)	中口　悦史
14	2/1	16:30−18:00	10番教室	第14回	仮説検定 (4)	中口　悦史
15	2/8	16:30−18:00	10番教室	第15回	総合演習2	中口　悦史

授業方法

主に板書による講義によって進め，毎回1題の演習問題の時間を設ける。

授業内容

第　1～　2回　母集団と標本

第　3～　6回　確率と確率分布

第　7回　総合演習1

第　8～10回　統計的推定

第11～14回　仮説検定

第15回　総合演習2

成績評価の方法

評価　：　試験　70%　・　レポート　0%　・　その他（授業中の演習）　30%

再評価：　有（筆記試験）

・　試験は中間考査と期末考査の2回に分けていずれも筆記試験によって行う。

・　前出の「試験の受験資格」を満たし，かつ，中間考査と期末考査の両方を受験したもののみを，評価の対象とし，それ以外は履修放棄と見なす。評価対象者が不合格となった場合は，再評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習問題も復習することが望ましい。
必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習カードの提出。

教科書

数学/統計学／井川俊彦，清田正夫，徳永伸一，山舘周恒，熊坂一成 著,:医歯薬出版，2005
統計学演習／村上正康，安田正実 共著,:培風館，1989

参考書

バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著,:南江堂，1990
保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための／遠藤和男 著,:考古堂書店，2010
やさしい保健統計学 = Health Statistics Made Simple／縣俊彦 著,:南江堂，2013
初等統計学／P. G. ホーエル 著,浅井 晃 共訳,村上 正康 共訳,:培風館，1985
統計学入門／東京大学教養学部統計学教室編,:東京大学出版会，1991-07
人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,:東京大学出版会，1994
自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室／編,:東京大学出版会，1992

履修上の注意事項

・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと，各回の演習カード提出を併用する。

連絡先

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中口 悦史:[国府台・ヒポ4階研究室]（前期）水・木 12:00～13:00（後期）月・水 12:00～13:00／[湯島・2号館2階教養部連絡室]（D2 情報科学演習・OE2 プロデ担当日）木 11:45～12:45・16:00～17:00／電子メールによる質問等は随時受け付ける。

時間割番号	000049				
科目名	統計学Ｔ				
担当教員	中口　悦史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：曜日・時限：（第1～8週のみ）木曜日2・3時限

対象学科：保健衛生学科検査技術学専攻

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−3），4−4）

授業の目的、概要等

科学の言語とも言われる統計学の基礎と，その理解に必要な確率論の初歩を学び，統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して，統計的検定法までを学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

基本的な確率計算と，平均および比率の推定と検定を行なうことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	10:50−12:20	8 番教室	第 1 回	母集団と標本 (1)	中口　悦史
2	10/1	13:10−14:40	8 番教室	第 2 回	母集団と標本 (2)	中口　悦史
3	10/8	10:50−12:20	8 番教室	第 3 回	確率と確率分布 (1)	中口　悦史
4	10/8	13:10−14:40	8 番教室	第 4 回	確率と確率分布 (2)	中口　悦史
5	10/15	10:50−12:20	8 番教室	第 5 回	確率と確率分布 (3)	中口　悦史
6	10/15	13:10−14:40	8 番教室	第 6 回	確率と確率分布 (4)	中口　悦史
7	10/22	10:50−12:20	8 番教室	第 7 回	総合演習1	中口　悦史
8	10/22	13:10−14:40	8 番教室	第 8 回	統計的推定 (1)	中口　悦史
9	10/29	10:50−12:20	8 番教室	第 9 回	統計的推定 (2)	中口　悦史
10	10/29	13:10−14:40	8 番教室	第 10 回	統計的推定 (3)	中口　悦史
11	11/5	10:50−12:20	8 番教室	第 11 回	仮説検定 (1)	中口　悦史
12	11/5	13:10−14:40	8 番教室	第 12 回	仮説検定 (2)	中口　悦史
13	11/12	10:50−12:20	8 番教室	第 13 回	仮説検定 (3)	中口　悦史
14	11/12	13:10−14:40	8 番教室	第 14 回	仮説検定 (4)	中口　悦史
15	11/19	10:50−12:20	8 番教室	第 15 回	総合演習2	中口　悦史
16	11/19	13:10−14:40	8 番教室	第 16 回	総合演習2	中口　悦史

授業方法

主に板書による講義によって進め，毎回1題の演習問題の時間を設ける。

授業内容

第　1～　2回　母集団と標本

第　3～　6回　確率と確率分布

第　7回　総合演習1

第　8～10回　統計的推定

第11～14回　仮説検定

第15回　総合演習2

成績評価の方法

評価　：　試験　70%　・　レポート　0%　・　その他（授業中の演習）　30%

再評価：　有（筆記試験）

・　試験は中間考査と期末考査の2回に分けていずれも筆記試験によって行う。

・　前出の「試験の受験資格」を満たし，かつ，中間考査と期末考査の両方を受験したもののみを，評価の対象とし，それ以外は履修放棄と見なす。評価対象者が不合格となった場合は，再評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習問題も復習することが望ましい。
必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習カードの提出。

教科書

数学/統計学／井川俊彦，清田正夫，徳永伸一，山舘周恒，熊坂一成 著,:医歯薬出版，2005
統計学演習／村上正康，安田正実 共著,:培風館，1989

参考書

バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著,:南江堂，1990
保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための／遠藤和男 著,:考古堂書店，2010
やさしい保健統計学 = Health Statistics Made Simple／縣俊彦 著,:南江堂，2013
初等統計学／P. G. ホーエル 著,浅井 晃 共訳,村上 正康 共訳,:培風館，1985
統計学入門／東京大学教養学部統計学教室編,:東京大学出版会，1991-07
人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,:東京大学出版会，1994
自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室／編,:東京大学出版会，1992

履修上の注意事項

・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと，各回の演習カード提出を併用する。 ・ 2～3限の連続の授業となるが，昼休みを挟むため，2限3限それぞれ出欠管理システムのカードリーダにタッチして出席登録すること。

連絡先

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中口 悦史:[国府台・ヒポ4階研究室]（前期）水・木 12:00～13:00（後期）月・水 12:00～13:00／[湯島・2号館2階教養部連絡室]（D2 情報科学演習・OE2 プロデ担当日）木 11:45～12:45・16:00～17:00／電子メールによる質問等は随時受け付ける。

時間割番号	000257		
科目名	物理学（力学α）		
担当教員	越野　和樹		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜5限
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）
　別表4－2）

授業の目的、概要等

ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、（ｉ）物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、（ii）基本方程式から様々な保存則が導かれること、（iii）それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標(SBOs)

ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	16:30-18:00	7番教室	第1回	越野　和樹
2	4/20	16:30-18:00	7番教室	第2回	越野　和樹
3	4/27	16:30-18:00	7番教室	第3回	越野　和樹
4	5/11	16:30-18:00	7番教室	第4回	越野　和樹
5	5/18	16:30-18:00	7番教室	第5回	越野　和樹
6	5/25	16:30-18:00	7番教室	第6回	越野　和樹
7	6/1	16:30-18:00	7番教室	第7回	越野　和樹
8	6/8	16:30-18:00	7番教室	第8回	越野　和樹
9	6/15	16:30-18:00	7番教室	第9回	越野　和樹
10	6/22	16:30-18:00	7番教室	第10回	越野　和樹
11	6/29	16:30-18:00	7番教室	第11回	越野　和樹
12	7/6	16:30-18:00	7番教室	第12回	越野　和樹
13	7/13	16:30-18:00	7番教室	第13回	越野　和樹
14	7/27	16:30-18:00	7番教室	第14回	越野　和樹
15	7/30	16:30-18:00	7番教室	第15回	越野　和樹

授業方法

講義による

授業内容

運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・その他10%

再評価：有（再評価方法：再試験）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.
教科書 ：裳華房
参考書 高校の物理が根本からわかる本 ： 社会人・大学生のための理数系再入門テキスト／鈴木誠治 著,：中経出版, 2007
他科目との関連 後期の電磁気学αとあわせて「物理学」として評価する.
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

時間割番号	000258		
科目名	物理学（力学β）		
担当教員	水谷　雅志, 檜枝　光憲		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：月曜5限
対象学科：医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術専攻
受講資格：別記
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：２－１、４－２

授業の目的、概要等

物理学－中でも力学－は自然科学の中でもっとも早く誕生し、強力な予言能力によって、その考え方や方法論は他の自然科学の雛形となりました。その意味でも、将来必ずしも物理学に直接関わらない皆さんにも物理学の知識と方法を「力学」を通して学ぶ意味があると考えます。その方法は、現象の本質を記述する「モデル」を作り、何からからも導かれない少数の基本法則(これは微分方程式という形で表される)を出発点として、これを解いたり、運動方程式を積分して得られるさまざまな法則（多くは保存則）を導いたりして，自然現象を解明していくというものです。そこには「分析」と「総合」という自然科学の典型的な考え方が含まれています。
授業は履修者層を考慮し、講義中心としますが、上記の方法を身につけるための演習問題を課題として出題します（WebClass 利用）。また、講義は「高校課程の物理（微積分を使わない）を理解できていることを基本としますので、高校物理未履修者や生物受験者に対しては「物理学入門ｂ」が先行または平行して講義されます。
授業は履修者層を考慮し、講義中心としますが、上記の方法を身につけるための演習問題を課題として出題します（WebClass 利用）。また、講義は「高校課程の物理（微積分を使わない）を理解できていることを基本としますので、高校物理未履修者や生物受験者に対しては「物理学入門ｂ」が先行または平行して講義されます。

授業の到達目標(SBOs)

1. 質点の運動方程式を正しく立てられ、微分方程式として解ける。
2. 運動方程式から様々な保存則を導き、適用範囲を理解して，運動の解析ができる。
3. 多体系や剛体の運動方程式が正しく与えられ、それらの運動の解析ができる。
4. 上記のことを身につけることによって、自然科学の典型的な考え方を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	16:30-18:00	8番教室	第1回	水谷　雅志
2	4/20	16:30-18:00	8番教室	第2回	水谷　雅志
3	4/27	16:30-18:00	8番教室	第3回	水谷　雅志
4	5/11	16:30-18:00	8番教室	第4回	水谷　雅志
5	5/18	16:30-18:00	8番教室	第5回	水谷　雅志
6	5/25	16:30-18:00	8番教室	第6回	水谷　雅志
7	6/1	16:30-18:00	8番教室	第7回	水谷　雅志
8	6/8	16:30-18:00	8番教室	第8回	水谷　雅志
9	6/15	16:30-18:00	8番教室	第9回	水谷　雅志
10	6/22	16:30-18:00	8番教室	第10回	水谷　雅志
11	6/29	16:30-18:00	8番教室	第11回	水谷　雅志
12	7/6	16:30-18:00	8番教室	第12回	水谷　雅志
13	7/13	16:30-18:00	8番教室	第13回	水谷　雅志
14	7/27	16:30-18:00	8番教室	第14回	水谷　雅志
15	7/30	16:30-18:00	8番教室	第15回	水谷　雅志

授業方法

講義形式

授業内容

1. ガイダンス、次元と単位、有効数字、1次元運動
2. 1次元運動、ベクトルの内積と微積分
3. 2次元・3次元運動

4. 運動の 3 法則、いろいろな力
5. 重力下での運動、抵抗力を受ける運動、
6. 束縛運動、円運動
7. 単振動
8. 仕事、仕事率、運動方程式のエネルギー積分
9ポテンシャルエネルギー、力学的エネルギー保存則
10. 角運動量と力のモーメント、角運動量保存則
11、2 体問題、多体系の運動
12, 剛体のつり合い、慣性モーメント
13, 固定軸まわりの回転運動、剛体の平面運動
14. 減衰振動、強制振動、天体の運動、慣性力

成績評価の方法

評価 : 試験 100% ・ その他(出席、課題、レポートなどの平常点を加味することもある) %

再評価: 有(再評価方法:再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:教科書の該当箇所を読み, 分からないところを明確にする。

復習:1. 講義で示された数式展開を自らの手で確かめ、論理展開を理解する。

2. 教科書の例題、演習問題、出題された課題問題を解いてみる。

教科書

「ライブラリ新・基礎物理学 新・基礎力学」 永田一清著 サイエンス社(2005)

参考書

「大学生のための基礎シリーズ 4 物理学入門 I.力学(第2版)」 市村宗武, 狩野覚共著 東京化学同人(2012)、

「工学基礎 物体の運動」 森田博昭他著 学術図書出版社(2003)、「ファンダメンタル物理学 力学」笠松健一他著 共立出版(2013)、

「物理学の基礎[1]力学」 ハリディ, レスニック, ウォーカー共著 培風館(2002)、

「ライブラリ新・基礎物理学新・基礎力学演習」永田一清他著 サイエンス社(2012)

連絡先

水谷 雅志:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水谷 雅志:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

檜枝 光憲:毎週金曜 17:00～19:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000259		
科目名	物理学（力学γ）		
担当教員	檜枝　光憲		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：月曜5限
対象学科：医学科
受講資格：入試で物理を選択した人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1）
別表4－2）

授業の目的、概要等

力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動（投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など）の未来の状況（たとえば位置と速度）がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。

授業の到達目標(SBOs)

物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。
様々な保存則が導出できることを理解する。
ニュートンの運動方程式（微分方程式）と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	16:30-18:00	1番教室	第1回	檜枝　光憲
2	4/20	16:30-18:00	1番教室	第2回	檜枝　光憲
3	4/27	16:30-18:00	1番教室	第3回	檜枝　光憲
4	5/11	16:30-18:00	1番教室	第4回	檜枝　光憲
5	5/18	16:30-18:00	1番教室	第5回	檜枝　光憲
6	5/25	16:30-18:00	1番教室	第6回	檜枝　光憲
7	6/1	16:30-18:00	1番教室	第7回	檜枝　光憲
8	6/8	16:30-18:00	1番教室	第8回	檜枝　光憲
9	6/15	16:30-18:00	1番教室	第9回	檜枝　光憲
10	6/22	16:30-18:00	1番教室	第10回	檜枝　光憲
11	6/29	16:30-18:00	1番教室	第11回	檜枝　光憲
12	7/6	16:30-18:00	1番教室	第12回	檜枝　光憲
13	7/13	16:30-18:00	1番教室	第13回	檜枝　光憲
14	7/27	16:30-18:00	1番教室	第14回	檜枝　光憲
15	7/30	16:30-18:00	1番教室	第15回	檜枝　光憲

授業方法

講義

授業内容

授業内容
・運動の表し方（座標と変位）
・速度と加速度
・運動の法則
・単振動
・束縛運動
・エネルギーと仕事（エネルギー保存則）
・非慣性系での運動
・衝突と2体問題（運動量保存則）
・惑星の運動（万有引力と角運動量保存則）

・剛体の力学の基礎 ・剛体の平面運動 ・自由空間の剛体系
成績評価の方法 評価 ： 試験 100％ （平常点を加味する場合もある） 再評価： 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に要求しないが、授業後はきちんと復習すること。
教科書 力学/川村 清 著：裳華房, 1998
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜 17:00～19:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000260		
科目名	物理学(電磁気学α)		
担当教員	越野　和樹		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間:月曜5限
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
　別表2－1)
　別表4－2)

授業の目的、概要等

電界の基本概念、時間的に変化しない(定常的な)電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体が作る電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。
物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標(SB0s)

マックスウェル方程式(積分形)による電磁気学の体系を理解し，その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には，「単純な電荷分布が作る電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布が作る磁束密度」といった項目について，基本的な考え方を理解し、これらに関しての応用問題を解決できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	16:30-18:00	7番教室	第1回	越野　和樹
2	10/5	16:30-18:00	7番教室	第2回	越野　和樹
3	10/19	16:30-18:00	7番教室	第3回	越野　和樹
4	10/26	16:30-18:00	7番教室	第4回	越野　和樹
5	11/2	16:30-18:00	7番教室	第5回	越野　和樹
6	11/9	16:30-18:00	7番教室	第6回	越野　和樹
7	11/16	16:30-18:00	7番教室	第7回	越野　和樹
8	11/30	16:30-18:00	7番教室	第8回	越野　和樹
9	12/7	16:30-18:00	7番教室	第9回	越野　和樹
10	12/14	16:30-18:00	7番教室	第10回	越野　和樹
11	12/21	16:30-18:00	7番教室	第11回	越野　和樹
12	1/18	16:30-18:00	7番教室	第12回	越野　和樹
13	1/25	16:30-18:00	7番教室	第13回	越野　和樹
14	2/1	16:30-18:00	7番教室	第14回	越野　和樹
15	2/8	16:30-18:00	7番教室	第15回	越野　和樹

授業方法

講義による

授業内容

静電気／コンデンサー／電流／磁界と電磁誘導／交流と電磁波

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)90%・その他10%
再評価:有(再評価方法:再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.
参考書 高校の物理をイチからおさらいする本／鈴木誠治 著,: 中経出版, 2006
他科目との関連 前期の力学αとあわせて「物理学」として評価する.
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

時間割番号	000261		
科目名	物理学(電磁気学β)		
担当教員	水谷　雅志, 檜枝　光憲		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:月曜5限
対象学科:医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術専攻
受講資格:別記
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):２－１、４－２

授業の目的、概要等

「電磁気学」は「力学」や「熱力学」などと共に物理学の基礎を形成します。目に見えない電磁気現象も実は非常に身近なものです。例えば、日常経験で働いている力は突き詰めると電気力であり、物質や細胞を形作る原因も電気力です。人体は、脳から発せられ神経細胞を伝わって体の各部位に流れる電気信号によって動いています。実験や臨床の現場で使われる測定器のほとんどは電磁気学を基礎にして動いているはずです。また、私達の身の回りに溢れている電化製品の動作原理の基礎は電磁気学です。これらの原理を理解するための基礎となる考え方を解説していきます。
この講義では、幾つかの電磁気現象から電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出して、その過程でいろいろな電磁気現象を解明していきます。扱う現象は高校物理と余り変わらないものもありますが、「場」をより本格的に扱うことで、高校物理を論理的に捉える直す事になり、認識を新たにしなければならない点も学びます。それによって、高校物理では解明できなかった現象も扱えるようになります。また、演習は不可欠なので、演習課題を課します。なお、質問、連絡、課題、補足説明などは WebClass を使います。
生物受験者は高校で電磁気分野の学習が不十分だと思われますので、前期「物理学入門」の教科書の予習などを課す場合があります。

授業の到達目標(SBOs)

1. 静電場や静電ポテンシャルの法則を理解し、電場、静電ポテンシャルを求められる。
2. 導体の静電的性質を理解するとともに、コンデンサーの電気容量などが計算できる。
3. 定常電流が作る静磁場の法則を理解し、磁場をビオサバールの法則やアンペールの法則から求められる。
4. 時間変動する電磁場の法則を理解し、起電力などを計算できる。電磁場のマクスウェル方程式を理解する。
5. 直流や交流の電気回路について理解、解析ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	16:30-18:00	8 番教室	第 1 回	水谷　雅志
2	10/5	16:30-18:00	8 番教室	第 2 回	水谷　雅志
3	10/19	16:30-18:00	8 番教室	第 3 回	水谷　雅志
4	10/26	16:30-18:00	8 番教室	第 4 回	水谷　雅志
5	11/2	16:30-18:00	8 番教室	第 5 回	水谷　雅志
6	11/9	16:30-18:00	8 番教室	第 6 回	水谷　雅志
7	11/16	16:30-18:00	8 番教室	第 7 回	水谷　雅志
8	11/30	16:30-18:00	8 番教室	第 8 回	水谷　雅志
9	12/7	16:30-18:00	8 番教室	第 9 回	水谷　雅志
10	12/14	16:30-18:00	8 番教室	第 10 回	水谷　雅志
11	12/21	16:30-18:00	8 番教室	第 11 回	水谷　雅志
12	1/18	16:30-18:00	8 番教室	第 12 回	水谷　雅志
13	1/25	16:30-18:00	8 番教室	第 13 回	水谷　雅志
14	2/1	16:30-18:00	8 番教室	第 14 回	水谷　雅志
15	2/8	16:30-18:00	8 番教室	第 15 回	水谷　雅志

授業方法

講義形式

授業内容

1. 電磁気学とは、電荷保存則
2. クーロンの法則
3. 電場

4. ガウスの法則
5. 電位
6. 導体
7. コンデンサー
8. 定常電流と直流回路
9. 電流と磁場
10. ローレンツ力
11. アンペールの法則
12. 電磁誘導とインダクタンス
13. 交流回路
14. 電磁場のマックスウェル方程式

成績評価の方法

評価 : 試験 100%・ その他(出席、課題、レポートなどの平常点を加味する場合もある)%

再評価: 有(再評価方法:再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:教科書の該当箇所を読み, 分からないところを明確にする。

復習:1. 講義で示された数式展開を自らの手で確かめ、論理展開を理解する。

2. 教科書の例題、演習問題、出題された課題問題を解いてみる。

教科書

「裳華房 テキストシリーズ 電磁気学」兵頭俊夫著 裳華房(1999)、

参考書

「サーウェイ基礎物理学Ⅱ電磁気学」鹿児島誠一・和田純夫著 東京化学同人(2013)、「基礎物理学シリーズ 電磁気学」 永田一清著 東京教学社(1994)、

「ライブラリー新・基礎物理学2 新・基礎電磁気学」佐野元昭著 サイエンス社(2005)、

「基礎電磁気学」中山正敏著 裳華房(1997)、

「Primary 大学テキスト これだけは押さえたい! 物理」金原粲編著 実教出版(2009)、

「物理学の基礎[3]電磁気学」ハリディ・レスニック・ウォーカー著 培風館(2002)

連絡先

水谷 雅志:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水谷 雅志:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

檜枝 光憲:毎週金曜 17:00～19:00 ヒポクラテス4階

時間割番号	000262		
科目名	物理学(電磁気学γ)		
担当教員	檜枝　光憲		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:月曜5限
対象学科:医学科
受講資格:入試で物理を選択した人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)
別表4－2)

授業の目的、概要等

電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術がこれと関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象を持つでしょう。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。

授業の到達目標(SB0s)

電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	16:30-18:00	1番教室	第1回	檜枝　光憲
2	10/5	16:30-18:00	1番教室	第2回	檜枝　光憲
3	10/19	16:30-18:00	1番教室	第3回	檜枝　光憲
4	10/26	16:30-18:00	1番教室	第4回	檜枝　光憲
5	11/2	16:30-18:00	1番教室	第5回	檜枝　光憲
6	11/9	16:30-18:00	1番教室	第6回	檜枝　光憲
7	11/16	16:30-18:00	1番教室	第7回	檜枝　光憲
8	11/30	16:30-18:00	1番教室	第8回	檜枝　光憲
9	12/7	16:30-18:00	1番教室	第9回	檜枝　光憲
10	12/14	16:30-18:00	1番教室	第10回	檜枝　光憲
11	12/21	16:30-18:00	1番教室	第11回	檜枝　光憲
12	1/18	16:30-18:00	1番教室	第12回	檜枝　光憲
13	1/25	16:30-18:00	1番教室	第13回	檜枝　光憲
14	2/1	16:30-18:00	1番教室	第14回	檜枝　光憲
15	2/8	16:30-18:00	1番教室	第15回	檜枝　光憲

授業方法

講義

授業内容

・電磁気学とは
・近接作用と静電場
・定常電流
・静磁場
・電流にはらたく磁場の力
・時間的に変動する電場と磁場
・電磁気学の基本法則
・電磁波
・電磁波の放射

成績評価の方法 評価 ： 試験 100％（平常点を加味する場合もある） 再評価： 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に要求しないが、授業後はきちんと復習すること。
教科書 電磁気学の考え方／砂川 重信／著,:岩波書店, 1993
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜 17:00～19:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000056		
科目名	化学(一般化学)M		
担当教員	奈良　雅之, 渡邊　総一郎		
開講時期	通年	対象年次	1

・曜日・時間:水曜1限
・対象学科:医学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

授業の到達目標(SBOs)

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習　一般化学」「ハート　基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	1 番教室	第 1 回	奈良　雅之
2	4/22	09:10-10:40	1 番教室	第 2 回	奈良　雅之
3	5/13	09:10-10:40	1 番教室	第 3 回	奈良　雅之
4	5/20	09:10-10:40	1 番教室	第 4 回	奈良　雅之
5	5/27	09:10-10:40	1 番教室	第 5 回	奈良　雅之
6	6/3	09:10-10:40	1 番教室	第 6 回	奈良　雅之
7	6/10	09:10-10:40	1 番教室	第 7 回	奈良　雅之
8	6/17	09:10-10:40	1 番教室	第 8 回	奈良　雅之
9	6/24	09:10-10:40	1 番教室	第 9 回	奈良　雅之
10	7/1	09:10-10:40	1 番教室	第 10 回	奈良　雅之
11	7/8	09:10-10:40	1 番教室	第 11 回	奈良　雅之
12	7/15	09:10-10:40	1 番教室	第 12 回	奈良　雅之
13	7/22	09:10-10:40	1 番教室	第 13 回	奈良　雅之
14	7/29	09:10-10:40	1 番教室	第 14 回	奈良　雅之
15	7/31	09:10-10:40	1 番教室	第 15 回	奈良　雅之
16	9/30	09:10-10:40	1 番教室	第 16 回	奈良　雅之, 渡邊　総一郎
17	10/7	09:10-10:40	1 番教室	第 17 回	奈良　雅之, 渡邊　総一郎
18	10/14	09:10-10:40	1 番教室	第 18 回	奈良　雅之, 渡邊　総一郎
19	10/21	09:10-10:40	1 番教室	第 19 回	奈良　雅之, 渡邊　総一郎
20	10/28	09:10-10:40	1 番教室	第 20 回	奈良　雅之, 渡邊　総一郎
21	11/4	09:10-10:40	1 番教室	第 21 回	奈良　雅之, 渡邊　総一郎
22	11/11	09:10-10:40	1 番教室	第 22 回	奈良　雅之,

					渡邊 総一郎
23	11/18	09:10-10:40	1 番教室	第 23 回	奈良 雅之, 渡邊 総一郎
24	11/25	09:10-10:40	1 番教室	第 24 回	奈良 雅之, 渡邊 総一郎
25	12/2	09:10-10:40	1 番教室	第 25 回	奈良 雅之, 渡邊 総一郎
26	12/9	09:10-10:40	1 番教室	第 26 回	奈良 雅之, 渡邊 総一郎
27	12/16	09:10-10:40	1 番教室	第 27 回	奈良 雅之, 渡邊 総一郎
28	1/6	09:10-10:40	1 番教室	第 28 回	奈良 雅之, 渡邊 総一郎
29	1/13	09:10-10:40	1 番教室	第 29 回	奈良 雅之, 渡邊 総一郎
30	1/20	09:10-10:40	1 番教室	第 30 回	奈良 雅之, 渡邊 総一郎

授業方法

講義形式による

授業内容

通年で 30 コマの授業を3つのパートに分けて、Part 1 では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げ、続いて原子・分子の構造論を取り上げることにより、ミクロ系のものの見方を学びます。Part 2 では「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げることにより、マクロ系のものの見方を学びます。Part 3 は「有機化学」を取り上げます。

第1回 序論 単位:SI と非 SI　第2回 序論 溶液の濃度、気体の性質
第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1)　第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2)
第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3)　第6回 原子構造と周期律(1)
第7回 原子構造と周期律(2)　第8回 化学結合と分子構造(1)
第9回 化学結合と分子構造(2)　第 10 回 Part 1 の筆記試験
第 11 回 熱力学の原理(1)　第 12 回 熱力学の原理(2)
第 13 回 熱力学の原理(3)　第 14 回 熱力学の原理(4)
第 15 回 熱力学の原理(5)　第 16 回 熱力学の原理(6)
第 17 回 相平衡　第 18 回 化学平衡
第 19 回 電気化学　第 20 回 Part 2 の筆記試験
第 21 回 アルカンとシクロアルカン　第 22 回 アルケンとアルキン
第 23 回 芳香族化合物　第 24 回 立体異性
第 25 回 有機ハロゲン化合物　第 26 回 アルコール、フェノール、チオール
第 27 回 エーテルとエポキシド　第 28 回 アルデヒドとケトン
第 29 回 カルボン酸誘導体、アミン　第 30 回 Part 3 の筆記試験

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%
その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)
再評価:有(Part1～Part3 をまとめて再試験を行う。再試験と学力認定試験:化学の両方の成績に基づいて、再評価を行う。)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。

復習：講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。
試験の受験資格 考査：Part1, Part2, Part3 それぞれ3分の2以上出席
教科書 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳：オーム社, 1995 ハート基礎有機化学（三訂版）／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳：培風館, 2002
参考書 フレッシュマンのための化学結合論／M.J.Winter 著,西本吉助 訳：化学同人, 1996 化学熱力学（修正版）／原田義也 著,：裳華房, 2002 ボルハルト・ショアー現代有機化学（第6版）［上］／K. P. C. Vollhardt ［著］,N. E. Schore ［著］,古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳：化学同人, 2011 ボルハルト・ショアー現代有機化学（第6版）［下］／K. P. C. Vollhardt ［著］,N. E. Schore ［著］,古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳：化学同人, 2011 ウォーレン有機化学〈上〉／Clayden［ほか著］,野依良治 ［ほか］監訳,石橋正己 ［ほか］訳：東京化学同人, 2003 参考材料：HGS 分子模型
他科目との関連 part1 では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 各パートで、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、パート毎の考査の受験資格がなくなります。
備考 キーワード：分析化学、原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学
連絡先 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 渡邊 総一郎:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 渡邊 総一郎:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000057		
科目名	化学(一般化学)D		
担当教員	奈良　雅之		
開講時期	通年	対象年次	1

・曜日・時間:月曜3限
・対象学科:歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
　別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

授業の到達目標(SBOs)

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習　一般化学」「ハート基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	7番教室	第1回	奈良　雅之
2	4/20	13:10-14:40	7番教室	第2回	奈良　雅之
3	4/27	13:10-14:40	7番教室	第3回	奈良　雅之
4	5/11	13:10-14:40	7番教室	第4回	奈良　雅之
5	5/18	13:10-14:40	7番教室	第5回	奈良　雅之
6	5/25	13:10-14:40	7番教室	第6回	奈良　雅之
7	6/1	13:10-14:40	7番教室	第7回	奈良　雅之
8	6/8	13:10-14:40	7番教室	第8回	奈良　雅之
9	6/15	13:10-14:40	7番教室	第9回	奈良　雅之
10	6/22	13:10-14:40	7番教室	第10回	奈良　雅之
11	6/29	13:10-14:40	7番教室	第11回	奈良　雅之
12	7/6	13:10-14:40	7番教室	第12回	奈良　雅之
13	7/13	13:10-14:40	7番教室	第13回	奈良　雅之
14	7/27	13:10-14:40	7番教室	第14回	奈良　雅之
15	7/30	13:10-14:40	7番教室	第15回	奈良　雅之
16	9/28	13:10-14:40	7番教室	第16回	奈良　雅之
17	10/5	13:10-14:40	7番教室	第17回	奈良　雅之
18	10/19	13:10-14:40	7番教室	第18回	奈良　雅之
19	10/26	13:10-14:40	7番教室	第19回	奈良　雅之
20	11/2	13:10-14:40	7番教室	第20回	奈良　雅之
21	11/9	13:10-14:40	7番教室	第21回	奈良　雅之
22	11/16	13:10-14:40	7番教室	第22回	奈良　雅之
23	11/30	13:10-14:40	7番教室	第23回	奈良　雅之
24	12/7	13:10-14:40	7番教室	第24回	奈良　雅之
25	12/14	13:10-14:40	7番教室	第25回	奈良　雅之
26	12/21	13:10-14:40	7番教室	第26回	奈良　雅之
27	1/18	13:10-14:40	7番教室	第27回	奈良　雅之
28	1/25	13:10-14:40	7番教室	第28回	奈良　雅之

29	2/1	13:10-14:40	7番教室	第29回	奈良 雅之
30	2/8	13:10-14:40	7番教室	第30回	奈良 雅之

授業方法

講義形式による

授業内容

通年で30コマの授業を3つのパートに分けて、まず Part 1 では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げ、続いて原子・分子の構造論を取り上げることにより、ミクロ系のものの見方を学びます。Part 2 では複雑な生命現象（生体内反応）の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。Part 3 では「化学熱力学（熱力学の原理と応用）」を取り上げることにより、マクロ系のものの見方を学びます。

第1回 序論 単位:SIと非SI　第2回 序論 溶液の濃度、気体の性質
第3回 酸塩基平衡の取扱い方（1）　第4回 酸塩基平衡の取扱い方（2）
第5回 酸塩基平衡の取扱い方（3）　第6回 原子構造と周期律（1）
第7回 原子構造と周期律（2）　第8回 化学結合と分子構造（1）
第9回 化学結合と分子構造（2）　第10回 Part 1の筆記試験
第11回 有機化学と電子の軌道　第12回 アルカンとシクロアルカン
第13回 アルケン　第14回 共役ジエンとアルキン
第15回 立体化学　第16回 芳香族化合物
第17回 有機ハロゲン化合物　第18回 酸素を含む有機化合物
第19回 窒素を含む有機化合物　第20回 Part 2の筆記試験
第21回 熱力学第一法則（1）　第22回 熱力学第一法則（2）
第23回 熱力学第一法則（3）　第24回 熱力学第二法則（1）
第25回 熱力学第二法則（2）　第26回 熱力学第二法則（3）
第27回 ギブスエネルギー　第28回 熱力学的関係式
第29回 化学ポテンシャル　第30回 Part 3の筆記試験

成績評価の方法

評価：試験100%・レポート0%
その他（出席状況、授業時の小テストなどが考慮される）
再評価：有（Part1～Part3をまとめて再試験を行う。再試験と学力認定試験：化学の両方の成績に基づいて、再評価を行う。）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。
復習：講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考査：Part1, Part2, Part3 それぞれ3分の2以上出席

教科書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳：オーム社, 1995
エントロピーから化学ポテンシャルまで／渡辺啓 著,：裳華房, 1997
ハート基礎有機化学（三訂版）／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳：培風館, 2002

参考書

フレッシュマンのための化学結合論／M.J.Winter 著,西本吉助 訳：化学同人, 1996
マクマリー有機化学／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳：東京化学同人, 2013
マクマリー有機化学／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表：東京化学同人, 2013
有機化学／モリソン, ボイド 著,中西香爾 [ほか]訳：東京化学同人, 1994
有機化学／モリソン, ボイド [著],中西香爾 [ほか]訳：東京化学同人, 1994
ウォーレン有機化学／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳：東京化学同人, 2003
ウォーレン有機化学／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳：東京化学同人, 2003
ボルハルト・ショアー現代有機化学／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌

幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳：化学同人, 2011 ボルハルト・ショアー現代有機化学／K. P. C. Vollhardt ［著],N. E. Schore ［著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳：化学同人, 2011 基礎有機化学／大嶌幸一郎 著,：東京化学同人, 2010
他科目との関連 part1 では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 各パートで、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、パート毎の考査の受験資格がなくなります。
備考 キーワード：分析化学、原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000058		
科目名	化学(一般化学)T		
担当教員	大塚　淳, 奈良　雅之, 渡邊　総一郎		
開講時期	通年	対象年次	1

・曜日・時間:前期　水曜日1時限、後期　月曜日4時限
・対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずです。本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学＆物理化学)」を学習します。

授業の到達目標(SBOs)

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習　一般化学」、「ハート基礎有機化学」、「臨床検査学講座　化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	4/15	09:10-10:40	6 番教室	第 1 回
2	4/22	09:10-10:40	6 番教室	第 2 回
3	5/13	09:10-10:40	6 番教室	第 3 回
4	5/20	09:10-10:40	6 番教室	第 4 回
5	5/27	09:10-10:40	6 番教室	第 5 回
6	6/3	09:10-10:40	6 番教室	第 6 回
7	6/10	09:10-10:40	6 番教室	第 7 回
8	6/17	09:10-10:40	6 番教室	第 8 回
9	6/24	09:10-10:40	6 番教室	第 9 回
10	7/1	09:10-10:40	6 番教室	第 10 回
11	7/8	09:10-10:40	6 番教室	第 11 回
12	7/15	09:10-10:40	6 番教室	第 12 回
13	7/22	09:10-10:40	6 番教室	第 13 回
14	7/29	09:10-10:40	6 番教室	第 14 回
15	7/31	09:10-10:40	6 番教室	第 15 回
16	9/28	14:50-16:20	6 番教室	第 16 回
17	10/5	14:50-16:20	6 番教室	第 17 回
18	10/19	14:50-16:20	6 番教室	第 18 回
19	10/26	14:50-16:20	6 番教室	第 19 回
20	11/2	14:50-16:20	6 番教室	第 20 回
21	11/9	14:50-16:20	6 番教室	第 21 回
22	11/16	14:50-16:20	6 番教室	第 22 回
23	11/30	14:50-16:20	6 番教室	第 23 回
24	12/7	14:50-16:20	6 番教室	第 24 回
25	12/14	14:50-16:20	6 番教室	第 25 回
26	12/21	14:50-16:20	6 番教室	第 26 回
27	1/18	14:50-16:20	6 番教室	第 27 回

28	1/25	14:50-16:20	6 番教室	第 28 回
29	2/1	14:50-16:20	6 番教室	第 29 回
30	2/8	14:50-16:20	6 番教室	第 30 回

授業方法

講義による

授業内容

前期の 15 回は、複雑な生命現象（生体内反応）の原理を理解するために必要な基礎化学、有機化学を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。後期の 15 回は、生化学や生理学の基礎となる生体高分子論、化学熱力学、反応速度論の分野を取り上げます。

第1回 序論、単位、原子構造と周期律　第2回 化学結合
第3回 酸塩基　第4回 有機化学と電子の軌道
第5回 アルカンとシクロアルカン　第6回 アルケンとアルキン
第7回 芳香族化合物　第8回 立体異性
第9回 有機ハロゲン化合物　第 10 回 アルコール、フェノール、チオール
第 11 回 エーテルとエポキシド　第 12 回 アルデヒドとケトン
第 13 回 カルボン酸とその誘導体　第 14 回 アミンとそれに関連した窒素化合物
第 15 回 筆記試験　第 16 回 気体の性質
第 17 回 溶液の性質　第 18 回 化学平衡
第 19 回 熱力学第一法則（1）　第 20 回 熱力学第一法則（2）
第 21 回 熱力学第二法則（1）　第 22 回 熱力学第二法則（2）
第 23 回 熱力学的エネルギー　第 24 回 化学反応速度論（1）
第 25 回 化学反応速度論（2）　第 26 回 生体高分子（1）
第 27 回 生体高分子（2）　第 28 回 生体高分子（3）
第 29 回 生体高分子（4）　第 30 回 筆記試験

成績評価の方法

評価 ： 試験（期末考査） 90% ・ レポート 0% ・
その他（出席状況・授業時の小テストなど） 10%
再評価： 有（再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。
復習：講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

期末考査・再試験の受験資格：3分の2以上出席

教科書

化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,：医歯薬出版, 2005
ハート基礎有機化学（三訂版）／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳,：培風館, 2002
一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,：オーム社, 1995

参考書

マクマリー一般化学（上）／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳,：東京化学同人, 2010
有機化学（上）／モリソン, ボイド 著,中西香爾 [ほか]訳,：東京化学同人, 1994
有機化学（中）／モリソン, ボイド [著],中西香爾 [ほか]訳,：東京化学同人, 1994
マクマリー有機化学（上）／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳,：東京化学同人, 2013
マクマリー有機化学（中）／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表,：東京化学同人, 2013
ウォーレン有機化学（上）／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,：東京化学同人, 2003
ウォーレン有機化学（下）／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,：東京化学同人, 2003

ボルハルト・ショアー現代有機化学(上)／K. P. C. Vollhardt ［著],N. E. Schore ［著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳.:化学同人, 2011
ボルハルト・ショアー現代有機化学(下)／K. P. C. Vollhardt ［著],N. E. Schore ［著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳.:化学同人, 2011
エントロピーから化学ポテンシャルまで／渡辺啓 著,:裳華房, 1997

他科目との関連

後期に「科学基礎実験Ｔ」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期で、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。

連絡先

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
渡邊　総一郎:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
渡邊　総一郎:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000059				
科目名	化学基礎(α)				
担当教員	大塚　淳				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:火曜2時限(初回のみ1・2時限)
・対象学科:保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
　別表4－1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる
　別表4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

第1,2回(4月15日)～第5回(5月20日):湯島 キャンパス　OH第3講義室、歯学科演習室1・2
第6回(6月3日)～第15回(7月30日):国府台 キャンパス
6月3日～10日:11番教室、6月17日～7月30日:8番教室

授業の目的、概要等

主にセンター試験で化学Iを選択しなかった学生に対して、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。

授業の到達目標(SBOs)

授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来看護や口腔保健の専門の基礎となる化学を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	4/14	08:50-12:00	口腔保健学科第3講義室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	第1回～第2回	大塚　淳	口腔保健学科第3講義室、歯学科演習室1・2
3	4/21	10:30-12:00	口腔保健学科第3講義室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	第3回	大塚　淳	1時限目第4ゼミナール室にて補習。2時限目は、口腔保健学科第3講義室、歯学科演習室1・2
4	4/28	10:30-12:00	口腔保健学科第3講義室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	第4回	大塚　淳	1時限目第4ゼミナール室にて補習。2時限目は、口腔保健学科第3講義室、歯学科演習室1・2
5	5/12	10:30-12:00	口腔保健学科第3講義室, 歯学部演習室, 歯学部演習	第5回	大塚　淳	1時限目第4ゼミナール室にて補習。2時限目は、口腔保健学科第3講義室、歯学科演習室1・2

			室			
6-7	5/26	09:10-12:20	10番教室	第6回～第7回	大塚 淳	
8-9	6/2	09:10-12:20	10番教室	第8回～第9回	大塚 淳	
10	6/9	10:50-12:20	10番教室	第10回	大塚 淳	
11	6/16	10:50-12:20	10番教室	第11回	大塚 淳	
12	6/23	10:50-12:20	10番教室	第12回	大塚 淳	
13	6/30	10:50-12:20	10番教室	第13回	大塚 淳	
14	7/7	10:50-12:20	10番教室	第14回	大塚 淳	
15	7/14	10:50-12:20	10番教室	第15回	大塚 淳	
16	7/21	10:50-12:20	10番教室	第16回	大塚 淳	
17	7/28	10:50-12:20	10番教室	第17回	大塚 淳	

授業方法

講義による

授業内容

1. 生命と化学の関わり
2. 原子の構造、イオン
3. 元素の周期律
4. 化学結合と分子の構造：金属結合、イオン結合、共有結合、配位結合、水素結合、ファンデルワールス力
5. 物質量と濃度
6. 酸と塩基、pH、中和反応
7. 酸化と還元
8. 有機化合物

成績評価の方法

評価 ： 試験 85% ・ レポート 0% ・ その他（出席状況・授業時の小テストなど） 15%

再評価： 有（再評価方法 再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：参考書等で該当する箇所に目を通しておく。

復習：講義の内容および演習問題（小テストの問題を含む）を復習する。

試験の受験資格

試験・再試験の受験資格：3分の2以上出席

参考書

高校化学再入門 ： 大学の化学でつまずいた人へ／小玉信武 著,：化学同人, 2005

化学の基礎 ： 元素記号からおさらいする化学の基本／中川徹夫 著,：化学同人, 2010

高校の化学の教科書

他科目との関連

化学基礎α／βのクラス分けは、入学時に実施するプレースメントテストおよび高等学校での化学の履修状況を考慮して行う。 なお、高校で化学を履修していない学生は、火曜1時限（第2週～第6週）に開講する「化学基礎（補習）」を受講すること。

時間割番号	000060				
科目名	化学基礎(β)				
担当教員	奈良　雅之, 勝又　敏行, 宮園　健一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間:火曜2限 （初回のみ　1・2限）
・対象学科:保健衛生学科看護学専攻・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　２－１)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　４－２)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

第1週(4/15)～第4週(5/20):湯島キャンパス　OH 第 3 講義室、歯学科演習室 1・2
第6週(6/3)以降:国府台キャンパス
6 月 3 日～10 日:10 番教室、6 月 17 日～7 月 30 日:9 番教室

授業の目的、概要等

高校で化学Ⅰを履修したことを前提にして、まず化学Ⅱを復習しながら、看護や口腔保健に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学的な基礎知識や考え方を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

教科書、参考資料に出ている例題、演習問題を理解できる。
生体で起こっている事象をどのようにして化学的に捉えるかを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	4/14	08:50-12:00	歯学部演習室, 歯学部演習室	第 1 回～第 2 回	宮園　健一, 奈良　雅之	歯学科演習室1・2
3	4/21	10:50-12:00	歯学部演習室, 歯学部演習室	第 3 回	宮園　健一, 奈良　雅之	1 時限目第 4 ゼミナール室にて補習。2 時限目は、口腔保健学科第 3 講義室、歯学科演習室 1・2
4	4/28	10:50-12:00	歯学部演習室, 歯学部演習室	第 4 回	宮園　健一, 奈良　雅之	1 時限目第 4 ゼミナール室にて補習。2 時限目は、口腔保健学科第 3 講義室、歯学科演習室 1・2
5	5/12	10:50-12:00	歯学部演習室, 歯学部演習室	第 5 回	宮園　健一, 奈良　雅之	1 時限目第 4 ゼミナール室にて補習。2 時限目は、口腔保健学科第 3 講義室、歯学科演習室 1・2
6-7	5/26	09:10-12:20	11 番教室	第 6 回～第 7 回	宮園　健一, 奈良　雅之	
8-9	6/2	09:10-12:20	11 番教室	第 8 回～第 9 回	宮園　健一, 奈良　雅之	
10	6/9	10:50-12:20	11 番教室	第 10 回	宮園　健一,	

					奈良 雅之	
11	6/16	10:50-12:20	11番教室	第11回	宮園 健一, 奈良 雅之	
12	6/23	10:50-12:20	11番教室	第12回	宮園 健一, 奈良 雅之	
13	6/30	10:50-12:20	11番教室	第13回	宮園 健一, 奈良 雅之	
14	7/7	10:50-12:20	11番教室	第14回	宮園 健一, 奈良 雅之	
15	7/14	10:50-12:20	11番教室	第15回	宮園 健一, 奈良 雅之	
16	7/21	10:50-12:20	11番教室	第16回	宮園 健一, 奈良 雅之	
17	7/28	10:50-12:20	11番教室	第17回	宮園 健一, 奈良 雅之	

授業方法

授業は講義形式を基本とする

授業内容

1. 序論　　単位について
2. 物質の構造　物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子
化学結合、化学量論:原子量・分子量・式量、化学反応式
3. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、
気体:気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、
溶液:溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド
4. 有機化合物　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物
5. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物
6. 物質の変化　化学反応と熱:熱化学方程式・結合エネルギー、
酸と塩基の反応:水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、
酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡
7. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素

成績評価の方法

評価:定期試験　100%・レポート0%
その他(授業中の出席カードの回答状況などを考慮する)
再評価:有(再評価の方法　再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。
復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,:共立出版, 2005

参考書

化学／岡崎三代, 奈良雅之 著,:医歯薬出版, 2005

連絡先

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp 宮園　健一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階 勝又　敏行:毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 宮園　健一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000264		
科目名	生物学(細胞・遺伝子)M		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:火曜日2・3限
・対象学科・専攻:医学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育へスムーズにつなげることと、生物の進化に関する仮説とその根拠を理解することを目標とする。

授業の到達目標(SBOs)

1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。
2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。
3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。
4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。
5)代謝とは何か、説明することができる。
6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	6/9	10:50-14:40	1番教室	第1回	伊藤　正則
3-4	6/16	10:50-14:40	1番教室	第2回	伊藤　正則
5-6	6/23	10:50-14:40	1番教室	第3回	伊藤　正則
7-8	6/30	10:50-14:40	1番教室	第4回	伊藤　正則
9-10	7/7	10:50-14:40	1番教室	第5回	伊藤　正則
11-12	7/14	10:50-14:40	1番教室	第6回	伊藤　正則
13-14	7/21	10:50-14:40	1番教室	第7回	伊藤　正則
15-16	7/28	10:50-14:40	1番教室	第8回	伊藤　正則

授業方法

講義形式で行う。

授業内容

生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。

成績評価の方法

評価:試験 80%・レポート 0%
その他(授業期間内での試験 20%)
再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

復習を行うこと。知識が体系的になるようにノートを整理すること。

教科書

改定第2版 はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2010
必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

Molecular Biology of the Cell, sixth edition／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith

Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳,:Garland Science, 2015 Essential Cell Biology, fourth edition／Bruce Alberts:Garland Science, 2011 Human Biology, thirteenth edition／Sylvia S. Marder:McGRAW-HILL, 2014 ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000266		
科目名	生物学(細胞・遺伝子)DT		
担当教員	服部　淳彦		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間:火曜日2・3限
・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

生物学(細胞・遺伝子)では,「生命のしくみ」に重点を置き, ますます情報量が増え難解になってきた分子生物学や分子遺伝学の基礎をわかりやすく解説するとともに, 生命現象やそのしくみの不思議さ・面白さ, さらにはその展開としての医療面への応用やヒトの進化についても触れていく。

時間の制約もありこの科目では, 生命の基本単位である「DNAと遺伝子」,「細胞の構造と機能」に関しては, すでに生物学入門等で学習したものとして講義を進める。

授業の到達目標(SBOs)

分子生物学や分子遺伝学の基礎を理解し、「生命のしくみ」の基本について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	6/9	10:50-14:40	7番教室	第1回	服部　淳彦
3-4	6/16	10:50-14:40	7番教室	第2回	服部　淳彦
5-6	6/23	10:50-14:40	7番教室	第3回	服部　淳彦
7-8	6/30	10:50-14:40	7番教室	第4回	服部　淳彦
9-10	7/7	10:50-14:40	7番教室	第5回	服部　淳彦
11-12	7/14	10:50-14:40	7番教室	第6回	服部　淳彦
13-14	7/21	10:50-14:40	7番教室	第7回	服部　淳彦
15-16	7/28	10:50-14:40	7番教室	第8回	服部　淳彦

授業方法

講義による。

授業内容

生命を支配する遺伝子
1. 分子遺伝学とは
2. 生物の世界:ゲノム, 遺伝子, DNA
3. 真核生物の遺伝子の構造
4. 遺伝子の発現と制御
5. 染色体と細胞周期
6. 細胞分裂 － 体細胞分裂・減数分裂
7. 遺伝性疾患と遺伝様式 Ⅰ
8. 遺伝性疾患と遺伝様式 Ⅱ
9. 遺伝子診断とDNA型鑑定
10. 遺伝子治療の現状と問題点

生物の多様性と分子進化
11. 生物の多様性と進化
12. 分子進化と分子系統樹
13. 中立説と自然淘汰説
14. 遺伝子の進化と種の分化
15. ヒトの起源と未来

成績評価の方法 評価：試験 90％・レポート 0％ その他 10％（授業内での回答状況等） 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 日々、教科書をもとに予習をし、また、板書したノートをもとに復習をすること。
教科書 はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 ： 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎：羊土社, 2008 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／SS Mader：医学書院, 2011 授業の内容に合わせて、適宜プリントも配布する。
参考書 Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳：南江堂, 2011
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜：12：30～14：00 金曜：10：30～12：30 ヒポ 4F 教員研究室（A2）

時間割番号	000265		
科目名	生物学(構造・機能)M		
担当教員	服部　淳彦		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間:月曜日3限
・対象学科・専攻:医学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　２－１)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　４－２)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学
　　力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

１年の前期の講義では，生命の基本単位である細胞やその情報源である遺伝子やDNAに関して学習した。後期は，個々の細胞が集まって構築されている個体が，どのようにして全体として調和のとれた活動ができるのかを学習する。そこでこの科目は，特に「生体の構造と機能」を『調節機構』を切り口にして，鳥瞰図的に捕らえた講義を行う。また，それぞれの項目に関しては，系統発生的・進化学的な視点からも解説する。

授業の到達目標(SBOs)

生体の各組織や器官について，その構造と機能の概要を理解し，それらを全体として制御しているシステム系について説明できる。また，ヒトを進化学的な側面から捉えられる視点を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	1番教室	第1回	服部　淳彦
2	10/5	13:10-14:40	1番教室	第2回	服部　淳彦
3	10/19	13:10-14:40	1番教室	第3回	服部　淳彦
4	10/26	13:10-14:40	1番教室	第4回	服部　淳彦
5	11/2	13:10-14:40	1番教室	第5回	服部　淳彦
6	11/9	13:10-14:40	1番教室	第6回	服部　淳彦
7	11/16	13:10-14:40	1番教室	第7回	服部　淳彦
8	11/30	13:10-14:40	1番教室	第8回	服部　淳彦
9	12/7	13:10-14:40	1番教室	第9回	服部　淳彦
10	12/14	13:10-14:40	1番教室	第10回	服部　淳彦
11	12/21	13:10-14:40	1番教室	第11回	服部　淳彦
12	1/18	13:10-14:40	1番教室	第12回	服部　淳彦
13	1/25	13:10-14:40	1番教室	第13回	服部　淳彦
14	2/1	13:10-14:40	1番教室	第14回	服部　淳彦
15	2/8	13:10-14:40	1番教室	第15回	服部　淳彦

授業方法

講義による。

授業内容

1. 細胞から個体へ
2. 生体における情報伝達系
3. 成長
4. 骨と軟骨
5. ホメオスタシス
6. カルシウムの調節
7. 排泄と泌尿器系
8. 血圧と循環器系
9. 栄養と消化器系
10. 血糖値の調節

11. 刺激と感覚・神経系 12. 炎症とアレルギー 13. 免疫系 14. 子孫の維持と生殖系 15. 加齢と加齢性障害
成績評価の方法 評価：試験 90%・レポート 0% その他 10%（授業内での回答状況等） 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 日々、教科書をもとに予習をし、また、板書したノートをもとに復習をすること。
教科書 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S. S. Mader：医学書院, 2011 授業の内容に合わせて、適宜プリントを配布する。
参考書 からだの構造と機能／A. Schaffler、S. Schmidt：西村書店
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜：12：30～14：00 金曜：10：30～12：30 ヒポ 4F 教員研究室（A2）

時間割番号	000267		
科目名	生物学(構造・機能)DT		
担当教員	伊藤　正則		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間:水曜日1限
・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　２－１)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　４－２)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

生体の構造を個体から分子レベルで理解する。特に、生体の構造と関連させて機能を理解する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。

授業の到達目標(SBOs)

1)生体の基本構造を説明することができる。
2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。
3)生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割について考え、その考えを論理的に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	7番教室	第1回	伊藤　正則
2	10/7	09:10-10:40	7番教室	第2回	伊藤　正則
3	10/14	09:10-10:40	7番教室	第3回	伊藤　正則
4	10/21	09:10-10:40	7番教室	第4回	伊藤　正則
5	10/28	09:10-10:40	7番教室	第5回	伊藤　正則
6	11/4	09:10-10:40	7番教室	第6回	伊藤　正則
7	11/11	09:10-10:40	7番教室	第7回	伊藤　正則
8	11/18	09:10-10:40	7番教室	第8回	伊藤　正則
9	11/25	09:10-10:40	7番教室	第9回	伊藤　正則
10	12/2	09:10-10:40	7番教室	第10回	伊藤　正則
11	12/9	09:10-10:40	7番教室	第11回	伊藤　正則
12	12/16	09:10-10:40	7番教室	第12回	伊藤　正則
13	1/6	09:10-10:40	7番教室	第13回	伊藤　正則
14	1/13	09:10-10:40	7番教室	第14回	伊藤　正則
15	1/20	09:10-10:40	7番教室	第15回	伊藤　正則

授業方法

講義形式で行う。

授業内容

代表的な生命現象に関与する器官、その器官の組織構造と具体的な機能を説明する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。

成績評価の方法

評価:試験 90%・レポート 0%
　その他(授業期間内での試験 10%)
再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。
教科書 ヒューマンバイオロジー　人体と生命／SS　Mardar：医学書院，2005 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 カラー人体解剖学 構造と機能：ミクロからマクロまで／FH Martini：西村書店，2003 Essential Cell Biology, fourth edition／B Alberts：Garland Science，2011 Molecular Biology of the Cell, sixth edition／B Alberts：Garland Science，2015 イラスト生化学・分子生物学／前野　正夫：羊土社，2008 Human Biology, thirteenth edition／SS Marder：McGRAW-HILL，2014
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日　AM.10:00-PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000064				
科目名	生物学基礎				
担当教員	松本　幸久				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜4限

・対象専攻：看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

２－１）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。

４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

主な講義場所

ヒポクラテスホール1階1番教室

授業の目的、概要等

多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。

授業の到達目標(SBOs)

1）生体の基本構造を説明することができる。

2）生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	14:50-16:20	1番教室	第1回	松本　幸久
2	10/5	14:50-16:20	1番教室	第2回	松本　幸久
3	10/19	14:50-16:20	1番教室	第3回	松本　幸久
4	10/26	14:50-16:20	1番教室	第4回	松本　幸久
5	11/2	14:50-16:20	1番教室	第5回	松本　幸久
6	11/9	14:50-16:20	1番教室	第6回	松本　幸久
7	11/16	14:50-16:20	1番教室	第7回	松本　幸久
8	11/30	14:50-16:20	1番教室	第8回	松本　幸久
9	12/7	14:50-16:20	1番教室	第9回	松本　幸久
10	12/14	14:50-16:20	1番教室	第10回	松本　幸久
11	12/21	14:50-16:20	1番教室	第11回	松本　幸久
12	1/18	14:50-16:20	1番教室	第12回	松本　幸久
13	1/25	14:50-16:20	1番教室	第13回	松本　幸久
14	2/1	14:50-16:20	1番教室	第14回	松本　幸久
15	2/8	14:50-16:20	1番教室	第15回	松本　幸久

授業方法

講義形式で行う。

授業内容

生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化学的な観点を加えて説明する。

成績評価の方法

評価：期末考査 80%・レポート 0%

その他（授業期間内での試験 20%）

再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。

教科書

医療・看護系のための生物学／田村　隆明：裳華房，2010

必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 イラスト生化学・分子生物学／前野　正夫：羊土社，２００８ ヒューマンバイオロジー　人体と生命／SS Mader：医学書院，２００５
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先 yukihisa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000065				
科目名	英語				
担当教員	畔柳　和代, 猪熊　恵子, フォス　パトリック, Jeanette Dennisson, Miya Marutsuka, David Baldwin, 菅原　未宇				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	4

準備学習などについての具体的な指示

連絡先

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

フォス　パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

フォス　パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟　3階　フォス研究室

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000066		
科目名	英語 a		
担当教員	Jeanette Dennisson		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	10番教室	第1回	Jeanette Dennisson
2	4/22	09:10-10:40	10番教室	第2回	Jeanette Dennisson
3	5/13	09:10-10:40	10番教室	第3回	Jeanette Dennisson
4	5/20	09:10-10:40	10番教室	第4回	Jeanette Dennisson
5	5/27	09:10-10:40	10番教室	第5回	Jeanette Dennisson
6	6/3	09:10-10:40	10番教室	第6回	Jeanette Dennisson
7	6/10	09:10-10:40	10番教室	第7回	Jeanette Dennisson
8	6/17	09:10-10:40	10番教室	第8回	Jeanette Dennisson
9	6/24	09:10-10:40	10番教室	第9回	Jeanette Dennisson
10	7/1	09:10-10:40	10番教室	第10回	Jeanette Dennisson
11	7/8	09:10-10:40	10番教室	第11回	Jeanette Dennisson
12	7/15	09:10-10:40	10番教室	第12回	Jeanette Dennisson
13	7/22	09:10-10:40	10番教室	第13回	Jeanette Dennisson
14	7/29	09:10-10:40	10番教室	第14回	Jeanette Dennisson

15	7/31	09:10-10:40	10番教室	第 15 回	Jeanette Dennisson

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final discussion test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000067		
科目名	英語 a		
担当教員	フォス　パトリック		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限
・対象：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	9 番教室	第 1 回	フォス　パトリック
2	4/22	09:10-10:40	9 番教室	第 2 回	フォス　パトリック
3	5/13	09:10-10:40	9 番教室	第 3 回	フォス　パトリック
4	5/20	09:10-10:40	9 番教室	第 4 回	フォス　パトリック
5	5/27	09:10-10:40	9 番教室	第 5 回	フォス　パトリック
6	6/3	09:10-10:40	9 番教室	第 6 回	フォス　パトリック
7	6/10	09:10-10:40	9 番教室	第 7 回	フォス　パトリック
8	6/17	09:10-10:40	9 番教室	第 8 回	フォス　パトリック
9	6/24	09:10-10:40	9 番教室	第 9 回	フォス　パトリック
10	7/1	09:10-10:40	9 番教室	第 10 回	フォス　パトリック
11	7/8	09:10-10:40	9 番教室	第 11 回	フォス　パトリック
12	7/15	09:10-10:40	9 番教室	第 12 回	フォス　パトリック
13	7/22	09:10-10:40	9 番教室	第 13 回	フォス　パトリック
14	7/29	09:10-10:40	9 番教室	第 14 回	フォス　パトリック

15	7/31	09:10-10:40	9 番教室	第 15 回	フォス　パトリック

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance/participation 60%　quizzes　10%　speaking test 30%

再評価:　有(再評価方法　「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

フォス　パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

フォス　パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟　3階　フォス研究室

時間割番号	000068		
科目名	英語 a		
担当教員	Miya Marutsuka, 畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	3 番教室	第 1 回	Miya Marutsuka
2	4/22	09:10-10:40	3 番教室	第 2 回	Miya Marutsuka
3	5/13	09:10-10:40	3 番教室	第 3 回	Miya Marutsuka
4	5/20	09:10-10:40	3 番教室	第 4 回	Miya Marutsuka
5	5/27	09:10-10:40	3 番教室	第 5 回	Miya Marutsuka
6	6/3	09:10-10:40	3 番教室	第 6 回	Miya Marutsuka
7	6/10	09:10-10:40	3 番教室	第 7 回	Miya Marutsuka
8	6/17	09:10-10:40	3 番教室	第 8 回	Miya Marutsuka
9	6/24	09:10-10:40	3 番教室	第 9 回	Miya Marutsuka
10	7/1	09:10-10:40	3 番教室	第 10 回	Miya Marutsuka
11	7/8	09:10-10:40	3 番教室	第 11 回	Miya Marutsuka
12	7/15	09:10-10:40	3 番教室	第 12 回	Miya Marutsuka
13	7/22	09:10-10:40	3 番教室	第 13 回	Miya Marutsuka
14	7/29	09:10-10:40	3 番教室	第 14 回	Miya Marutsuka

15	7/31	09:10-10:40	3 番教室	第 15 回	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000069		
科目名	英語 a		
担当教員	David Baldwin, 畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	4 番教室	第 1 回	David Baldwin
2	4/22	09:10-10:40	4 番教室	第 2 回	David Baldwin
3	5/13	09:10-10:40	4 番教室	第 3 回	David Baldwin
4	5/20	09:10-10:40	4 番教室	第 4 回	David Baldwin
5	5/27	09:10-10:40	4 番教室	第 5 回	David Baldwin
6	6/3	09:10-10:40	4 番教室	第 6 回	David Baldwin
7	6/10	09:10-10:40	4 番教室	第 7 回	David Baldwin
8	6/17	09:10-10:40	4 番教室	第 8 回	David Baldwin
9	6/24	09:10-10:40	4 番教室	第 9 回	David Baldwin
10	7/1	09:10-10:40	4 番教室	第 10 回	David Baldwin
11	7/8	09:10-10:40	4 番教室	第 11 回	David Baldwin
12	7/15	09:10-10:40	4 番教室	第 12 回	David Baldwin
13	7/22	09:10-10:40	4 番教室	第 13 回	David Baldwin
14	7/29	09:10-10:40	4 番教室	第 14 回	David Baldwin
15	7/31	09:10-10:40	4 番教室	第 15 回	David Baldwin

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance/participation：50%　assignments and quizzes：25%　final discussion test: 25%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000070		
科目名	英語 a		
担当教員	Jeanette Dennisson		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	10番教室	第1回	Jeanette Dennisson
2	4/22	10:50-12:20	10番教室	第2回	Jeanette Dennisson
3	5/13	10:50-12:20	10番教室	第3回	Jeanette Dennisson
4	5/20	10:50-12:20	10番教室	第4回	Jeanette Dennisson
5	5/27	10:50-12:20	10番教室	第5回	Jeanette Dennisson
6	6/3	10:50-12:20	10番教室	第6回	Jeanette Dennisson
7	6/10	10:50-12:20	10番教室	第7回	Jeanette Dennisson
8	6/17	10:50-12:20	10番教室	第8回	Jeanette Dennisson
9	6/24	10:50-12:20	10番教室	第9回	Jeanette Dennisson
10	7/1	10:50-12:20	10番教室	第10回	Jeanette Dennisson
11	7/8	10:50-12:20	10番教室	第11回	Jeanette Dennisson
12	7/15	10:50-12:20	10番教室	第12回	Jeanette Dennisson
13	7/22	10:50-12:20	10番教室	第13回	Jeanette Dennisson
14	7/29	10:50-12:20	10番教室	第14回	Jeanette Dennisson

15	7/31	10:50-12:20	10番教室	第 15 回	Jeanette Dennisson

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: attendance/participation:15% class assignments and quizzes:55% final speaking test: 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000080		
科目名	英語 a		
担当教員	David Baldwin		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	4 番教室	第 1 回	David Baldwin
2	4/22	10:50-12:20	4 番教室	第 2 回	David Baldwin
3	5/13	10:50-12:20	4 番教室	第 3 回	David Baldwin
4	5/20	10:50-12:20	4 番教室	第 4 回	David Baldwin
5	5/27	10:50-12:20	4 番教室	第 5 回	David Baldwin
6	6/3	10:50-12:20	4 番教室	第 6 回	David Baldwin
7	6/10	10:50-12:20	4 番教室	第 7 回	David Baldwin
8	6/17	10:50-12:20	4 番教室	第 8 回	David Baldwin
9	6/24	10:50-12:20	4 番教室	第 9 回	David Baldwin
10	7/1	10:50-12:20	4 番教室	第 10 回	David Baldwin
11	7/8	10:50-12:20	4 番教室	第 11 回	David Baldwin
12	7/15	10:50-12:20	4 番教室	第 12 回	David Baldwin
13	7/22	10:50-12:20	4 番教室	第 13 回	David Baldwin
14	7/29	10:50-12:20	4 番教室	第 14 回	David Baldwin
15	7/31	10:50-12:20	4 番教室	第 15 回	David Baldwin

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：　attendance/participation 50%　assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの４クラスの成績（90%）と学年末に行われるoral test

の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000071		
科目名	英語 a		
担当教員	Miya Marutsuka, 畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	3 番教室	第 1 回	Miya Marutsuka
2	4/22	10:50-12:20	3 番教室	第 2 回	Miya Marutsuka
3	5/13	10:50-12:20	3 番教室	第 3 回	Miya Marutsuka
4	5/20	10:50-12:20	3 番教室	第 4 回	Miya Marutsuka
5	5/27	10:50-12:20	3 番教室	第 5 回	Miya Marutsuka
6	6/3	10:50-12:20	3 番教室	第 6 回	Miya Marutsuka
7	6/10	10:50-12:20	3 番教室	第 7 回	Miya Marutsuka
8	6/17	10:50-12:20	3 番教室	第 8 回	Miya Marutsuka
9	6/24	10:50-12:20	3 番教室	第 9 回	Miya Marutsuka
10	7/1	10:50-12:20	3 番教室	第 10 回	Miya Marutsuka
11	7/8	10:50-12:20	3 番教室	第 11 回	Miya Marutsuka
12	7/15	10:50-12:20	3 番教室	第 12 回	Miya Marutsuka
13	7/22	10:50-12:20	3 番教室	第 13 回	Miya Marutsuka
14	7/29	10:50-12:20	3 番教室	第 14 回	Miya Marutsuka

15	7/31	10:50-12:20	3 番教室	第 15 回	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000072		
科目名	英語 a		
担当教員	Miya Marutsuka, 畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	09:10-10:40	3 番教室	第 1 回	Miya Marutsuka
2	4/23	09:10-10:40	3 番教室	第 2 回	Miya Marutsuka
3	4/30	09:10-10:40	3 番教室	第 3 回	Miya Marutsuka
4	5/7	09:10-10:40	3 番教室	第 4 回	Miya Marutsuka
5	5/14	09:10-10:40	3 番教室	第 5 回	Miya Marutsuka
6	5/21	09:10-10:40	3 番教室	第 6 回	Miya Marutsuka
7	5/28	09:10-10:40	3 番教室	第 7 回	Miya Marutsuka
8	6/4	09:10-10:40	3 番教室	第 8 回	Miya Marutsuka
9	6/11	09:10-10:40	3 番教室	第 9 回	Miya Marutsuka
10	6/18	09:10-10:40	3 番教室	第 10 回	Miya Marutsuka
11	6/25	09:10-10:40	3 番教室	第 11 回	Miya Marutsuka
12	7/2	09:10-10:40	3 番教室	第 12 回	Miya Marutsuka
13	7/9	09:10-10:40	3 番教室	第 13 回	Miya Marutsuka
14	7/16	09:10-10:40	3 番教室	第 14 回	Miya Marutsuka

15	7/23	09:10-10:40	3 番教室	第 15 回	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000073		
科目名	英語 a		
担当教員	菅原　未宇, 畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	09:10-10:40	5 番教室	第 1 回	菅原　未宇
2	4/23	09:10-10:40	5 番教室	第 2 回	菅原　未宇
3	4/30	09:10-10:40	5 番教室	第 3 回	菅原　未宇
4	5/7	09:10-10:40	5 番教室	第 4 回	菅原　未宇
5	5/14	09:10-10:40	5 番教室	第 5 回	菅原　未宇
6	5/21	09:10-10:40	5 番教室	第 6 回	菅原　未宇
7	5/28	09:10-10:40	5 番教室	第 7 回	菅原　未宇
8	6/4	09:10-10:40	5 番教室	第 8 回	菅原　未宇
9	6/11	09:10-10:40	5 番教室	第 9 回	菅原　未宇
10	6/18	09:10-10:40	5 番教室	第 10 回	菅原　未宇
11	6/25	09:10-10:40	5 番教室	第 11 回	菅原　未宇
12	7/2	09:10-10:40	5 番教室	第 12 回	菅原　未宇
13	7/9	09:10-10:40	5 番教室	第 13 回	菅原　未宇
14	7/16	09:10-10:40	5 番教室	第 14 回	菅原　未宇
15	7/23	09:10-10:40	5 番教室	第 15 回	菅原　未宇

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance：30%, participation：30%, discussion test：40%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000074		
科目名	英語 a		
担当教員	Jeanette Dennisson		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	09:10-10:40	8 番教室	第 1 回	Jeanette Dennisson
2	4/23	09:10-10:40	8 番教室	第 2 回	Jeanette Dennisson
3	4/30	09:10-10:40	8 番教室	第 3 回	Jeanette Dennisson
4	5/7	09:10-10:40	8 番教室	第 4 回	Jeanette Dennisson
5	5/14	09:10-10:40	8 番教室	第 5 回	Jeanette Dennisson
6	5/21	09:10-10:40	8 番教室	第 6 回	Jeanette Dennisson
7	5/28	09:10-10:40	8 番教室	第 7 回	Jeanette Dennisson
8	6/4	09:10-10:40	8 番教室	第 8 回	Jeanette Dennisson
9	6/11	09:10-10:40	8 番教室	第 9 回	Jeanette Dennisson
10	6/18	09:10-10:40	8 番教室	第 10 回	Jeanette Dennisson
11	6/25	09:10-10:40	8 番教室	第 11 回	Jeanette Dennisson
12	7/2	09:10-10:40	8 番教室	第 12 回	Jeanette Dennisson
13	7/9	09:10-10:40	8 番教室	第 13 回	Jeanette Dennisson
14	7/16	09:10-10:40	8 番教室	第 14 回	Jeanette

					Dennisson
15	7/23	09:10-10:40	8 番教室	第 15 回	Jeanette Dennisson

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final discussion test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000075		
科目名	英語 a		
担当教員	フォス　パトリック		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限
・対象：検査技術学・口腔保健工学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	09:10-10:40	9 番教室	第 1 回	フォス　パトリック
2	4/23	09:10-10:40	9 番教室	第 2 回	フォス　パトリック
3	4/30	09:10-10:40	9 番教室	第 3 回	フォス　パトリック
4	5/7	09:10-10:40	9 番教室	第 4 回	フォス　パトリック
5	5/14	09:10-10:40	9 番教室	第 5 回	フォス　パトリック
6	5/21	09:10-10:40	9 番教室	第 6 回	フォス　パトリック
7	5/28	09:10-10:40	9 番教室	第 7 回	フォス　パトリック
8	6/4	09:10-10:40	9 番教室	第 8 回	フォス　パトリック
9	6/11	09:10-10:40	9 番教室	第 9 回	フォス　パトリック
10	6/18	09:10-10:40	9 番教室	第 10 回	フォス　パトリック
11	6/25	09:10-10:40	9 番教室	第 11 回	フォス　パトリック
12	7/2	09:10-10:40	9 番教室	第 12 回	フォス　パトリック
13	7/9	09:10-10:40	9 番教室	第 13 回	フォス　パトリック
14	7/16	09:10-10:40	9 番教室	第 14 回	フォス　パトリック

15	7/23	09:10-10:40	9 番教室	第 15 回	フォス パトリック

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: attendance/participation 60% quizzes 10% speaking test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000077		
科目名	英語 a		
担当教員	Jeanette Dennisson		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:50-12:20	8 番教室	第 1 回	Jeanette Dennisson
2	4/23	10:50-12:20	8 番教室	第 2 回	Jeanette Dennisson
3	4/30	10:50-12:20	8 番教室	第 3 回	Jeanette Dennisson
4	5/7	10:50-12:20	8 番教室	第 4 回	Jeanette Dennisson
5	5/14	10:50-12:20	8 番教室	第 5 回	Jeanette Dennisson
6	5/21	10:50-12:20	8 番教室	第 6 回	Jeanette Dennisson
7	5/28	10:50-12:20	8 番教室	第 7 回	Jeanette Dennisson
8	6/4	10:50-12:20	8 番教室	第 8 回	Jeanette Dennisson
9	6/11	10:50-12:20	8 番教室	第 9 回	Jeanette Dennisson
10	6/18	10:50-12:20	8 番教室	第 10 回	Jeanette Dennisson
11	6/25	10:50-12:20	8 番教室	第 11 回	Jeanette Dennisson
12	7/2	10:50-12:20	8 番教室	第 12 回	Jeanette Dennisson
13	7/9	10:50-12:20	8 番教室	第 13 回	Jeanette Dennisson
14	7/16	10:50-12:20	8 番教室	第 14 回	Jeanette Dennisson

15	7/23	10:50-12:20	8 番教室	第 15 回	Jeanette Dennisson

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final speaking test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000078		
科目名	英語 a		
担当教員	Miya Marutsuka, 畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:50-12:20	3 番教室	第 1 回	Miya Marutsuka
2	4/23	10:50-12:20	3 番教室	第 2 回	Miya Marutsuka
3	4/30	10:50-12:20	3 番教室	第 3 回	Miya Marutsuka
4	5/7	10:50-12:20	3 番教室	第 4 回	Miya Marutsuka
5	5/14	10:50-12:20	3 番教室	第 5 回	Miya Marutsuka
6	5/21	10:50-12:20	3 番教室	第 6 回	Miya Marutsuka
7	5/28	10:50-12:20	3 番教室	第 7 回	Miya Marutsuka
8	6/4	10:50-12:20	3 番教室	第 8 回	Miya Marutsuka
9	6/11	10:50-12:20	3 番教室	第 9 回	Miya Marutsuka
10	6/18	10:50-12:20	3 番教室	第 10 回	Miya Marutsuka
11	6/25	10:50-12:20	3 番教室	第 11 回	Miya Marutsuka
12	7/2	10:50-12:20	3 番教室	第 12 回	Miya Marutsuka
13	7/9	10:50-12:20	3 番教室	第 13 回	Miya Marutsuka
14	7/16	10:50-12:20	3 番教室	第 14 回	Miya Marutsuka

15	7/23	10:50-12:20	3 番教室	第 15 回	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000079		
科目名	英語ｂ		
担当教員	フォス　パトリック		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	計算機実習室	第1回	フォス　パトリック
2	4/22	10:50-12:20	計算機実習室	第2回	フォス　パトリック
3	5/13	10:50-12:20	計算機実習室	第3回	フォス　パトリック
4	5/20	10:50-12:20	計算機実習室	第4回	フォス　パトリック
5	5/27	10:50-12:20	計算機実習室	第5回	フォス　パトリック
6	6/3	10:50-12:20	計算機実習室	第6回	フォス　パトリック
7	6/10	10:50-12:20	計算機実習室	第7回	フォス　パトリック
8	6/17	10:50-12:20	計算機実習室	第8回	フォス　パトリック
9	6/24	10:50-12:20	計算機実習室	第9回	フォス　パトリック
10	7/1	10:50-12:20	計算機実習室	第10回	フォス　パトリック
11	7/8	10:50-12:20	計算機実習室	第11回	フォス　パトリック
12	7/15	10:50-12:20	計算機実習室	第12回	フォス　パトリック
13	7/22	10:50-12:20	計算機実習室	第13回	フォス　パトリック
14	7/29	10:50-12:20	計算機実習室	第14回	フォス　パトリック
15	7/31	10:50-12:20	計算機実	第15回	フォス　パトリ

			習室		ック	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 50% journal 10% comprehensive test 20% attendance/participation/homework/surprise quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000081		
科目名	英語ｂ		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	2番教室	第1回	猪熊　恵子
2	4/22	10:50-12:20	2番教室	第2回	猪熊　恵子
3	5/13	10:50-12:20	2番教室	第3回	猪熊　恵子
4	5/20	10:50-12:20	2番教室	第4回	猪熊　恵子
5	5/27	10:50-12:20	2番教室	第5回	猪熊　恵子
6	6/3	10:50-12:20	2番教室	第6回	猪熊　恵子
7	6/10	10:50-12:20	2番教室	第7回	猪熊　恵子
8	6/17	10:50-12:20	2番教室	第8回	猪熊　恵子
9	6/24	10:50-12:20	2番教室	第9回	猪熊　恵子
10	7/1	10:50-12:20	2番教室	第10回	猪熊　恵子
11	7/8	10:50-12:20	2番教室	第11回	猪熊　恵子
12	7/15	10:50-12:20	2番教室	第12回	猪熊　恵子
13	7/22	10:50-12:20	2番教室	第13回	猪熊　恵子
14	7/29	10:50-12:20	2番教室	第14回	猪熊　恵子
15	7/31	10:50-12:20	2番教室	第15回	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance and participation:40%, writing assignments + quizzes:30%, in-class exam:30%

再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000082		
科目名	英語ｂ		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・限：水曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	5番教室	第1回	畔柳　和代
2	4/22	10:50-12:20	5番教室	第2回	畔柳　和代
3	5/13	10:50-12:20	5番教室	第3回	畔柳　和代
4	5/20	10:50-12:20	5番教室	第4回	畔柳　和代
5	5/27	10:50-12:20	5番教室	第5回	畔柳　和代
6	6/3	10:50-12:20	5番教室	第6回	畔柳　和代
7	6/10	10:50-12:20	5番教室	第7回	畔柳　和代
8	6/17	10:50-12:20	5番教室	第8回	畔柳　和代
9	6/24	10:50-12:20	5番教室	第9回	畔柳　和代
10	7/1	10:50-12:20	5番教室	第10回	畔柳　和代
11	7/8	10:50-12:20	5番教室	第11回	畔柳　和代
12	7/15	10:50-12:20	5番教室	第12回	畔柳　和代
13	7/22	10:50-12:20	5番教室	第13回	畔柳　和代
14	7/29	10:50-12:20	5番教室	第14回	畔柳　和代
15	7/31	10:50-12:20	5番教室	第15回	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance:30%, participation & quizzes:30%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語ｂ」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000083		
科目名	英語ｂ		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・限：水曜3限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	5番教室	第1回	畔柳　和代
2	4/22	13:10-14:40	5番教室	第2回	畔柳　和代
3	5/13	13:10-14:40	5番教室	第3回	畔柳　和代
4	5/20	13:10-14:40	5番教室	第4回	畔柳　和代
5	5/27	13:10-14:40	5番教室	第5回	畔柳　和代
6	6/3	13:10-14:40	5番教室	第6回	畔柳　和代
7	6/10	13:10-14:40	5番教室	第7回	畔柳　和代
8	6/17	13:10-14:40	5番教室	第8回	畔柳　和代
9	6/24	13:10-14:40	5番教室	第9回	畔柳　和代
10	7/1	13:10-14:40	5番教室	第10回	畔柳　和代
11	7/8	13:10-14:40	5番教室	第11回	畔柳　和代
12	7/15	13:10-14:40	5番教室	第12回	畔柳　和代
13	7/22	13:10-14:40	5番教室	第13回	畔柳　和代
14	7/29	13:10-14:40	5番教室	第14回	畔柳　和代
15	7/31	13:10-14:40	5番教室	第15回	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance:30%, participation & quizzes:30%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語ｂ」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000084		
科目名	英語 b		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	4番教室	第1回	猪熊　恵子
2	4/22	13:10-14:40	4番教室	第2回	猪熊　恵子
3	5/13	13:10-14:40	4番教室	第3回	猪熊　恵子
4	5/20	13:10-14:40	4番教室	第4回	猪熊　恵子
5	5/27	13:10-14:40	4番教室	第5回	猪熊　恵子
6	6/3	13:10-14:40	4番教室	第6回	猪熊　恵子
7	6/10	13:10-14:40	4番教室	第7回	猪熊　恵子
8	6/17	13:10-14:40	4番教室	第8回	猪熊　恵子
9	6/24	13:10-14:40	4番教室	第9回	猪熊　恵子
10	7/1	13:10-14:40	4番教室	第10回	猪熊　恵子
11	7/8	13:10-14:40	4番教室	第11回	猪熊　恵子
12	7/15	13:10-14:40	4番教室	第12回	猪熊　恵子
13	7/22	13:10-14:40	4番教室	第13回	猪熊　恵子
14	7/29	13:10-14:40	4番教室	第14回	猪熊　恵子
15	7/31	13:10-14:40	4番教室	第15回	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance and participation:40%, writing assignments + quizzes:30%, in-class exam:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時 木曜日　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000085		
科目名	英語 b		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	09:10-10:40	11番教室	第1回	猪熊　恵子
2	4/23	09:10-10:40	11番教室	第2回	猪熊　恵子
3	4/30	09:10-10:40	11番教室	第3回	猪熊　恵子
4	5/7	09:10-10:40	11番教室	第4回	猪熊　恵子
5	5/14	09:10-10:40	11番教室	第5回	猪熊　恵子
6	5/21	09:10-10:40	11番教室	第6回	猪熊　恵子
7	5/28	09:10-10:40	11番教室	第7回	猪熊　恵子
8	6/4	09:10-10:40	11番教室	第8回	猪熊　恵子
9	6/11	09:10-10:40	11番教室	第9回	猪熊　恵子
10	6/18	09:10-10:40	11番教室	第10回	猪熊　恵子
11	6/25	09:10-10:40	11番教室	第11回	猪熊　恵子
12	7/2	09:10-10:40	11番教室	第12回	猪熊　恵子
13	7/9	09:10-10:40	11番教室	第13回	猪熊　恵子
14	7/16	09:10-10:40	11番教室	第14回	猪熊　恵子
15	7/23	09:10-10:40	11番教室	第15回	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance +participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時 木曜日　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000086		
科目名	英語ｂ		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・限：木曜1限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	09:10-10:40	10番教室	第1回	畔柳　和代
2	4/23	09:10-10:40	10番教室	第2回	畔柳　和代
3	4/30	09:10-10:40	10番教室	第3回	畔柳　和代
4	5/7	09:10-10:40	10番教室	第4回	畔柳　和代
5	5/14	09:10-10:40	10番教室	第5回	畔柳　和代
6	5/21	09:10-10:40	10番教室	第6回	畔柳　和代
7	5/28	09:10-10:40	10番教室	第7回	畔柳　和代
8	6/4	09:10-10:40	10番教室	第8回	畔柳　和代
9	6/11	09:10-10:40	10番教室	第9回	畔柳　和代
10	6/18	09:10-10:40	10番教室	第10回	畔柳　和代
11	6/25	09:10-10:40	10番教室	第11回	畔柳　和代
12	7/2	09:10-10:40	10番教室	第12回	畔柳　和代
13	7/9	09:10-10:40	10番教室	第13回	畔柳　和代
14	7/16	09:10-10:40	10番教室	第14回	畔柳　和代
15	7/23	09:10-10:40	10番教室	第15回	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance:30%, participation & quizzes:30%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語ｂ」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000076		
科目名	英語ｂ		
担当教員	フォス　パトリック		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:50-12:20	9番教室	第1回	フォス　パトリック
2	4/23	10:50-12:20	9番教室	第2回	フォス　パトリック
3	4/30	10:50-12:20	9番教室	第3回	フォス　パトリック
4	5/7	10:50-12:20	9番教室	第4回	フォス　パトリック
5	5/14	10:50-12:20	9番教室	第5回	フォス　パトリック
6	5/21	10:50-12:20	9番教室	第6回	フォス　パトリック
7	5/28	10:50-12:20	9番教室	第7回	フォス　パトリック
8	6/4	10:50-12:20	9番教室	第8回	フォス　パトリック
9	6/11	10:50-12:20	9番教室	第9回	フォス　パトリック
10	6/18	10:50-12:20	9番教室	第10回	フォス　パトリック
11	6/25	10:50-12:20	9番教室	第11回	フォス　パトリック
12	7/2	10:50-12:20	9番教室	第12回	フォス　パトリック
13	7/9	10:50-12:20	9番教室	第13回	フォス　パトリック
14	7/16	10:50-12:20	9番教室	第14回	フォス　パトリック
15	7/23	10:50-12:20	9番教室	第15回	フォス　パトリ

					ック	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 50% journal 10% comprehensive test 20% attendance/participation/homework/surprise quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000087		
科目名	英語ｂ		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・限：木曜2限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:50-12:20	10番教室	第1回	畔柳　和代
2	4/23	10:50-12:20	10番教室	第2回	畔柳　和代
3	4/30	10:50-12:20	10番教室	第3回	畔柳　和代
4	5/7	10:50-12:20	10番教室	第4回	畔柳　和代
5	5/14	10:50-12:20	10番教室	第5回	畔柳　和代
6	5/21	10:50-12:20	10番教室	第6回	畔柳　和代
7	5/28	10:50-12:20	10番教室	第7回	畔柳　和代
8	6/4	10:50-12:20	10番教室	第8回	畔柳　和代
9	6/11	10:50-12:20	10番教室	第9回	畔柳　和代
10	6/18	10:50-12:20	10番教室	第10回	畔柳　和代
11	6/25	10:50-12:20	10番教室	第11回	畔柳　和代
12	7/2	10:50-12:20	10番教室	第12回	畔柳　和代
13	7/9	10:50-12:20	10番教室	第13回	畔柳　和代
14	7/16	10:50-12:20	10番教室	第14回	畔柳　和代
15	7/23	10:50-12:20	10番教室	第15回	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance:30%, participation & quizzes:30%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語ｂ」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000088		
科目名	英語 b		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：　保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:50-12:20	11番教室	第1回	猪熊　恵子
2	4/23	10:50-12:20	11番教室	第2回	猪熊　恵子
3	4/30	10:50-12:20	11番教室	第3回	猪熊　恵子
4	5/7	10:50-12:20	11番教室	第4回	猪熊　恵子
5	5/14	10:50-12:20	11番教室	第5回	猪熊　恵子
6	5/21	10:50-12:20	11番教室	第6回	猪熊　恵子
7	5/28	10:50-12:20	11番教室	第7回	猪熊　恵子
8	6/4	10:50-12:20	11番教室	第8回	猪熊　恵子
9	6/11	10:50-12:20	11番教室	第9回	猪熊　恵子
10	6/18	10:50-12:20	11番教室	第10回	猪熊　恵子
11	6/25	10:50-12:20	11番教室	第11回	猪熊　恵子
12	7/2	10:50-12:20	11番教室	第12回	猪熊　恵子
13	7/9	10:50-12:20	11番教室	第13回	猪熊　恵子
14	7/16	10:50-12:20	11番教室	第14回	猪熊　恵子
15	7/23	10:50-12:20	11番教室	第15回	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance + participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時 木曜日　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000089		
科目名	英語 b		
担当教員	菅原　未宇, 畔柳　和代		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:50-12:20	5番教室	第1回	菅原　未宇
2	4/23	10:50-12:20	5番教室	第2回	菅原　未宇
3	4/30	10:50-12:20	5番教室	第3回	菅原　未宇
4	5/7	10:50-12:20	5番教室	第4回	菅原　未宇
5	5/14	10:50-12:20	5番教室	第5回	菅原　未宇
6	5/21	10:50-12:20	5番教室	第6回	菅原　未宇
7	5/28	10:50-12:20	5番教室	第7回	菅原　未宇
8	6/4	10:50-12:20	5番教室	第8回	菅原　未宇
9	6/11	10:50-12:20	5番教室	第9回	菅原　未宇
10	6/18	10:50-12:20	5番教室	第10回	菅原　未宇
11	6/25	10:50-12:20	5番教室	第11回	菅原　未宇
12	7/2	10:50-12:20	5番教室	第12回	菅原　未宇
13	7/9	10:50-12:20	5番教室	第13回	菅原　未宇
14	7/16	10:50-12:20	5番教室	第14回	菅原　未宇
15	7/23	10:50-12:20	5番教室	第15回	菅原　未宇

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance and preparation：40%　quizzes and other works：40%　final exam：20%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 菅原　未宇:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 菅原　未宇:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。 畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000090		
科目名	英語 c		
担当教員	Jeanette Dennisson		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	10番教室	第1回	Jeanette Dennisson
2	10/7	09:10-10:40	10番教室	第2回	Jeanette Dennisson
3	10/14	09:10-10:40	10番教室	第3回	Jeanette Dennisson
4	10/21	09:10-10:40	10番教室	第4回	Jeanette Dennisson
5	10/28	09:10-10:40	10番教室	第5回	Jeanette Dennisson
6	11/4	09:10-10:40	10番教室	第6回	Jeanette Dennisson
7	11/11	09:10-10:40	10番教室	第7回	Jeanette Dennisson
8	11/18	09:10-10:40	10番教室	第8回	Jeanette Dennisson
9	11/25	09:10-10:40	10番教室	第9回	Jeanette Dennisson
10	12/2	09:10-10:40	10番教室	第10回	Jeanette Dennisson
11	12/9	09:10-10:40	10番教室	第11回	Jeanette Dennisson
12	12/16	09:10-10:40	10番教室	第12回	Jeanette Dennisson
13	1/6	09:10-10:40	10番教室	第13回	Jeanette Dennisson
14	1/13	09:10-10:40	10番教室	第14回	Jeanette Dennisson

15	1/20	09:10-10:40	10番教室	第 15 回	Jeanette Dennisson

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 45% group oral presentation 15% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000091		
科目名	英語ｃ		
担当教員	フォス　パトリック		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限
・対象：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	5番教室	第1回	フォス　パトリック
2	10/7	09:10-10:40	5番教室	第2回	フォス　パトリック
3	10/14	09:10-10:40	5番教室	第3回	フォス　パトリック
4	10/21	09:10-10:40	5番教室	第4回	フォス　パトリック
5	10/28	09:10-10:40	5番教室	第5回	フォス　パトリック
6	11/4	09:10-10:40	5番教室	第6回	フォス　パトリック
7	11/11	09:10-10:40	5番教室	第7回	フォス　パトリック
8	11/18	09:10-10:40	5番教室	第8回	フォス　パトリック
9	11/25	09:10-10:40	5番教室	第9回	フォス　パトリック
10	12/2	09:10-10:40	5番教室	第10回	フォス　パトリック
11	12/9	09:10-10:40	5番教室	第11回	フォス　パトリック
12	12/16	09:10-10:40	5番教室	第12回	フォス　パトリック
13	1/6	09:10-10:40	5番教室	第13回	フォス　パトリック
14	1/13	09:10-10:40	5番教室	第14回	フォス　パトリック

15	1/20	09:10-10:40	5 番教室	第 15 回	フォス　パトリック

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance/participation/discussion and presentation assignments 60%　vocabulary-related assignments/quizzes 10%　speaking test 30%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの４クラスの成績（90%）と学年末に行われるoral testの成績（10%）およびe-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語　abcd　の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

フォス　パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

フォス　パトリック:毎週水曜日　PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日　PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟　3階　フォス研究室

時間割番号	000092		
科目名	英語 c		
担当教員	Miya Marutsuka, 畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	3 番教室	第 1 回	Miya Marutsuka
2	10/7	09:10-10:40	3 番教室	第 2 回	Miya Marutsuka
3	10/14	09:10-10:40	3 番教室	第 3 回	Miya Marutsuka
4	10/21	09:10-10:40	3 番教室	第 4 回	Miya Marutsuka
5	10/28	09:10-10:40	3 番教室	第 5 回	Miya Marutsuka
6	11/4	09:10-10:40	3 番教室	第 6 回	Miya Marutsuka
7	11/11	09:10-10:40	3 番教室	第 7 回	Miya Marutsuka
8	11/18	09:10-10:40	3 番教室	第 8 回	Miya Marutsuka
9	11/25	09:10-10:40	3 番教室	第 9 回	Miya Marutsuka
10	12/2	09:10-10:40	3 番教室	第 10 回	Miya Marutsuka
11	12/9	09:10-10:40	3 番教室	第 11 回	Miya Marutsuka
12	12/16	09:10-10:40	3 番教室	第 12 回	Miya Marutsuka
13	1/6	09:10-10:40	3 番教室	第 13 回	Miya Marutsuka
14	1/13	09:10-10:40	3 番教室	第 14 回	Miya Marutsuka

15	1/20	09:10-10:40	3 番教室	第 15 回	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000093		
科目名	英語 c		
担当教員	David Baldwin, 畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	4 番教室	第 1 回	James Knight
2	10/7	09:10-10:40	4 番教室	第 2 回	James Knight
3	10/14	09:10-10:40	4 番教室	第 3 回	James Knight
4	10/21	09:10-10:40	4 番教室	第 4 回	James Knight
5	10/28	09:10-10:40	4 番教室	第 5 回	James Knight
6	11/4	09:10-10:40	4 番教室	第 6 回	James Knight
7	11/11	09:10-10:40	4 番教室	第 7 回	James Knight
8	11/18	09:10-10:40	4 番教室	第 8 回	James Knight
9	11/25	09:10-10:40	4 番教室	第 9 回	James Knight
10	12/2	09:10-10:40	4 番教室	第 10 回	James Knight
11	12/9	09:10-10:40	4 番教室	第 11 回	James Knight
12	12/16	09:10-10:40	4 番教室	第 12 回	James Knight
13	1/6	09:10-10:40	4 番教室	第 13 回	James Knight
14	1/13	09:10-10:40	4 番教室	第 14 回	James Knight
15	1/20	09:10-10:40	4 番教室	第 15 回	James Knight

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：　attendance/participation 50%　assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000105		
科目名	英語 c		
担当教員	Jeanette Dennisson		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	10番教室	第1回	Jeanette Dennisson
2	10/7	10:50-12:20	10番教室	第2回	Jeanette Dennisson
3	10/14	10:50-12:20	10番教室	第3回	Jeanette Dennisson
4	10/21	10:50-12:20	10番教室	第4回	Jeanette Dennisson
5	10/28	10:50-12:20	10番教室	第5回	Jeanette Dennisson
6	11/4	10:50-12:20	10番教室	第6回	Jeanette Dennisson
7	11/11	10:50-12:20	10番教室	第7回	Jeanette Dennisson
8	11/18	10:50-12:20	10番教室	第8回	Jeanette Dennisson
9	11/25	10:50-12:20	10番教室	第9回	Jeanette Dennisson
10	12/2	10:50-12:20	10番教室	第10回	Jeanette Dennisson
11	12/9	10:50-12:20	10番教室	第11回	Jeanette Dennisson
12	12/16	10:50-12:20	10番教室	第12回	Jeanette Dennisson
13	1/6	10:50-12:20	10番教室	第13回	Jeanette Dennisson

14	1/13	10:50-12:20	10番教室	第 14 回	Jeanette Dennisson
15	1/20	10:50-12:20	10番教室	第 15 回	Jeanette Dennisson

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 55% final discussion test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000094		
科目名	英語 c		
担当教員	Miya Marutsuka, 畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	3 番教室	第 1 回	Miya Marutsuka
2	10/7	10:50-12:20	3 番教室	第 2 回	Miya Marutsuka
3	10/14	10:50-12:20	3 番教室	第 3 回	Miya Marutsuka
4	10/21	10:50-12:20	3 番教室	第 4 回	Miya Marutsuka
5	10/28	10:50-12:20	3 番教室	第 5 回	Miya Marutsuka
6	11/4	10:50-12:20	3 番教室	第 6 回	Miya Marutsuka
7	11/11	10:50-12:20	3 番教室	第 7 回	Miya Marutsuka
8	11/18	10:50-12:20	3 番教室	第 8 回	Miya Marutsuka
9	11/25	10:50-12:20	3 番教室	第 9 回	Miya Marutsuka
10	12/2	10:50-12:20	3 番教室	第 10 回	Miya Marutsuka
11	12/9	10:50-12:20	3 番教室	第 11 回	Miya Marutsuka
12	12/16	10:50-12:20	3 番教室	第 12 回	Miya Marutsuka
13	1/6	10:50-12:20	3 番教室	第 13 回	Miya Marutsuka
14	1/13	10:50-12:20	3 番教室	第 14 回	Miya Marutsuka

15	1/20	10:50-12:20	3 番教室	第 15 回	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000095		
科目名	英語 c		
担当教員	David Baldwin, 畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	4 番教室	第 1 回	David Baldwin
2	10/7	10:50-12:20	4 番教室	第 2 回	David Baldwin
3	10/14	10:50-12:20	4 番教室	第 3 回	David Baldwin
4	10/21	10:50-12:20	4 番教室	第 4 回	David Baldwin
5	10/28	10:50-12:20	4 番教室	第 5 回	David Baldwin
6	11/4	10:50-12:20	4 番教室	第 6 回	David Baldwin
7	11/11	10:50-12:20	4 番教室	第 7 回	David Baldwin
8	11/18	10:50-12:20	4 番教室	第 8 回	David Baldwin
9	11/25	10:50-12:20	4 番教室	第 9 回	David Baldwin
10	12/2	10:50-12:20	4 番教室	第 10 回	David Baldwin
11	12/9	10:50-12:20	4 番教室	第 11 回	David Baldwin
12	12/16	10:50-12:20	4 番教室	第 12 回	David Baldwin
13	1/6	10:50-12:20	4 番教室	第 13 回	David Baldwin
14	1/13	10:50-12:20	4 番教室	第 14 回	David Baldwin
15	1/20	10:50-12:20	4 番教室	第 15 回	David Baldwin

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：　attendance/participation 50%　assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000096		
科目名	英語 c		
担当教員	Miya Marutsuka, 畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	09:10-10:40	3 番教室	第 1 回	Miya Marutsuka
2	10/8	09:10-10:40	3 番教室	第 2 回	Miya Marutsuka
3	10/15	09:10-10:40	3 番教室	第 3 回	Miya Marutsuka
4	10/22	09:10-10:40	3 番教室	第 4 回	Miya Marutsuka
5	10/29	09:10-10:40	3 番教室	第 5 回	Miya Marutsuka
6	11/5	09:10-10:40	3 番教室	第 6 回	Miya Marutsuka
7	11/12	09:10-10:40	3 番教室	第 7 回	Miya Marutsuka
8	11/19	09:10-10:40	3 番教室	第 8 回	Miya Marutsuka
9	11/26	09:10-10:40	3 番教室	第 9 回	Miya Marutsuka
10	12/3	09:10-10:40	3 番教室	第 10 回	Miya Marutsuka
11	12/10	09:10-10:40	3 番教室	第 11 回	Miya Marutsuka
12	12/17	09:10-10:40	3 番教室	第 12 回	Miya Marutsuka
13	1/7	09:10-10:40	3 番教室	第 13 回	Miya Marutsuka
14	1/14	09:10-10:40	3 番教室	第 14 回	Miya Marutsuka

15	1/21	09:10-10:40	3 番教室	第 15 回	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000097		
科目名	英語 c		
担当教員	菅原　未宇, 畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	09:10-10:40	2 番教室	第 1 回	菅原　未宇
2	10/8	09:10-10:40	2 番教室	第 2 回	菅原　未宇
3	10/15	09:10-10:40	2 番教室	第 3 回	菅原　未宇
4	10/22	09:10-10:40	2 番教室	第 4 回	菅原　未宇
5	10/29	09:10-10:40	2 番教室	第 5 回	菅原　未宇
6	11/5	09:10-10:40	2 番教室	第 6 回	菅原　未宇
7	11/12	09:10-10:40	2 番教室	第 7 回	菅原　未宇
8	11/19	09:10-10:40	2 番教室	第 8 回	菅原　未宇
9	11/26	09:10-10:40	2 番教室	第 9 回	菅原　未宇
10	12/3	09:10-10:40	2 番教室	第 10 回	菅原　未宇
11	12/10	09:10-10:40	2 番教室	第 11 回	菅原　未宇
12	12/17	09:10-10:40	2 番教室	第 12 回	菅原　未宇
13	1/7	09:10-10:40	2 番教室	第 13 回	菅原　未宇
14	1/14	09:10-10:40	2 番教室	第 14 回	菅原　未宇
15	1/21	09:10-10:40	2 番教室	第 15 回	菅原　未宇

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance：30%　participation：30%　discussion test：40%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000098		
科目名	英語ｃ		
担当教員	フォス　パトリック		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限
・対象：検査技術学・口腔保健工学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	09:10-10:40	9 番教室	第 1 回	フォス　パトリック
2	10/8	09:10-10:40	9 番教室	第 2 回	フォス　パトリック
3	10/15	09:10-10:40	9 番教室	第 3 回	フォス　パトリック
4	10/22	09:10-10:40	9 番教室	第 4 回	フォス　パトリック
5	10/29	09:10-10:40	9 番教室	第 5 回	フォス　パトリック
6	11/5	09:10-10:40	9 番教室	第 6 回	フォス　パトリック
7	11/12	09:10-10:40	9 番教室	第 7 回	フォス　パトリック
8	11/19	09:10-10:40	9 番教室	第 8 回	フォス　パトリック
9	11/26	09:10-10:40	9 番教室	第 9 回	フォス　パトリック
10	12/3	09:10-10:40	9 番教室	第 10 回	フォス　パトリック
11	12/10	09:10-10:40	9 番教室	第 11 回	フォス　パトリック
12	12/17	09:10-10:40	9 番教室	第 12 回	フォス　パトリック
13	1/7	09:10-10:40	9 番教室	第 13 回	フォス　パトリック
14	1/14	09:10-10:40	9 番教室	第 14 回	フォス　パトリック

15	1/21	09:10-10:40	9 番教室	第 15 回	フォス　パトリック

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance/participation/discussion and presentation assignments 60%　vocabulary-related assignments/quizzes 10%　speaking test 30%

再評価:　有(再評価方法　「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語　abcd　の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

フォス　パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

フォス　パトリック:毎週水曜日　PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日　PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟　3階　フォス研究室

時間割番号	000099		
科目名	英語 c		
担当教員	Jeanette Dennisson		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	09:10-10:40	11番教室	第1回	Jeanette Dennisson
2	10/8	09:10-10:40	11番教室	第2回	Jeanette Dennisson
3	10/15	09:10-10:40	11番教室	第3回	Jeanette Dennisson
4	10/22	09:10-10:40	11番教室	第4回	Jeanette Dennisson
5	10/29	09:10-10:40	11番教室	第5回	Jeanette Dennisson
6	11/5	09:10-10:40	11番教室	第6回	Jeanette Dennisson
7	11/12	09:10-10:40	11番教室	第7回	Jeanette Dennisson
8	11/19	09:10-10:40	11番教室	第8回	Jeanette Dennisson
9	11/26	09:10-10:40	11番教室	第9回	Jeanette Dennisson
10	12/3	09:10-10:40	11番教室	第10回	Jeanette Dennisson
11	12/10	09:10-10:40	11番教室	第11回	Jeanette Dennisson
12	12/17	09:10-10:40	11番教室	第12回	Jeanette Dennisson
13	1/7	09:10-10:40	11番教室	第13回	Jeanette Dennisson
14	1/14	09:10-10:40	11番教室	第14回	Jeanette Dennisson

15	1/21	09:10-10:40	11番教室	第15回	Jeanette Dennisson

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: attendance/participation 15%　class assignments/quizzes 45%　group oral presentation 15%　final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000101		
科目名	英語 c		
担当教員	Jeanette Dennisson		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	10:50-12:20	11番教室	第1回	Jeanette Dennisson
2	10/8	10:50-12:20	11番教室	第2回	Jeanette Dennisson
3	10/15	10:50-12:20	11番教室	第3回	Jeanette Dennisson
4	10/22	10:50-12:20	11番教室	第4回	Jeanette Dennisson
5	10/29	10:50-12:20	11番教室	第5回	Jeanette Dennisson
6	11/5	10:50-12:20	11番教室	第6回	Jeanette Dennisson
7	11/12	10:50-12:20	11番教室	第7回	Jeanette Dennisson
8	11/19	10:50-12:20	11番教室	第8回	Jeanette Dennisson
9	11/26	10:50-12:20	11番教室	第9回	Jeanette Dennisson
10	12/3	10:50-12:20	11番教室	第10回	Jeanette Dennisson
11	12/10	10:50-12:20	11番教室	第11回	Jeanette Dennisson
12	12/17	10:50-12:20	11番教室	第12回	Jeanette Dennisson
13	1/7	10:50-12:20	11番教室	第13回	Jeanette Dennisson
14	1/14	10:50-12:20	11番教室	第14回	Jeanette Dennisson

15	1/21	10:50-12:20	11番教室	第15回	Jeanette Dennisson

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance/participation 15%　class assignments/quizzes 55% final discussion test 30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績（90%）と学年末に行われるoral testの成績（10%）およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績（90%）と学年末に行われるoral testの成績（10%）およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000100		
科目名	英語 c		
担当教員	Miya Marutsuka, 畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標(SBOs)

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	10:50-12:20	3 番教室	第 1 回	Miya Marutsuka
2	10/8	10:50-12:20	3 番教室	第 2 回	Miya Marutsuka
3	10/15	10:50-12:20	3 番教室	第 3 回	Miya Marutsuka
4	10/22	10:50-12:20	3 番教室	第 4 回	Miya Marutsuka
5	10/29	10:50-12:20	3 番教室	第 5 回	Miya Marutsuka
6	11/5	10:50-12:20	3 番教室	第 6 回	Miya Marutsuka
7	11/12	10:50-12:20	3 番教室	第 7 回	Miya Marutsuka
8	11/19	10:50-12:20	3 番教室	第 8 回	Miya Marutsuka
9	11/26	10:50-12:20	3 番教室	第 9 回	Miya Marutsuka
10	12/3	10:50-12:20	3 番教室	第 10 回	Miya Marutsuka
11	12/10	10:50-12:20	3 番教室	第 11 回	Miya Marutsuka
12	12/17	10:50-12:20	3 番教室	第 12 回	Miya Marutsuka
13	1/7	10:50-12:20	3 番教室	第 13 回	Miya Marutsuka
14	1/14	10:50-12:20	3 番教室	第 14 回	Miya Marutsuka

15	1/21	10:50-12:20	3 番教室	第 15 回	Miya Marutsuka

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000103		
科目名	英語ｄ		
担当教員	フォス　パトリック		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	計算機実習室	第1回	フォス　パトリック
2	10/7	10:50-12:20	計算機実習室	第2回	フォス　パトリック
3	10/14	10:50-12:20	計算機実習室	第3回	フォス　パトリック
4	10/21	10:50-12:20	計算機実習室	第4回	フォス　パトリック
5	10/28	10:50-12:20	計算機実習室	第5回	フォス　パトリック
6	11/4	10:50-12:20	計算機実習室	第6回	フォス　パトリック
7	11/11	10:50-12:20	計算機実習室	第7回	フォス　パトリック
8	11/18	10:50-12:20	計算機実習室	第8回	フォス　パトリック
9	11/25	10:50-12:20	計算機実習室	第9回	フォス　パトリック
10	12/2	10:50-12:20	計算機実習室	第10回	フォス　パトリック
11	12/9	10:50-12:20	計算機実習室	第11回	フォス　パトリック
12	12/16	10:50-12:20	計算機実習室	第12回	フォス　パトリック
13	1/6	10:50-12:20	計算機実習室	第13回	フォス　パトリック
14	1/13	10:50-12:20	計算機実習室	第14回	フォス　パトリック

15	1/20	10:50-12:20	計算機実習室	第 15 回	フォス　パトリック

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance/participation　20%　presentation assignments 50%　research project 30%

再評価:　有(再評価方法　「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

フォス　パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

フォス　パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟　3階　フォス研究室

時間割番号	000104		
科目名	英語 d		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・限：水曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	6 番教室	第 1 回	畔柳　和代
2	10/7	10:50-12:20	6 番教室	第 2 回	畔柳　和代
3	10/14	10:50-12:20	6 番教室	第 3 回	畔柳　和代
4	10/21	10:50-12:20	6 番教室	第 4 回	畔柳　和代
5	10/28	10:50-12:20	6 番教室	第 5 回	畔柳　和代
6	11/4	10:50-12:20	6 番教室	第 6 回	畔柳　和代
7	11/11	10:50-12:20	6 番教室	第 7 回	畔柳　和代
8	11/18	10:50-12:20	6 番教室	第 8 回	畔柳　和代
9	11/25	10:50-12:20	6 番教室	第 9 回	畔柳　和代
10	12/2	10:50-12:20	6 番教室	第 10 回	畔柳　和代
11	12/9	10:50-12:20	6 番教室	第 11 回	畔柳　和代
12	12/16	10:50-12:20	6 番教室	第 12 回	畔柳　和代
13	1/6	10:50-12:20	6 番教室	第 13 回	畔柳　和代
14	1/13	10:50-12:20	6 番教室	第 14 回	畔柳　和代
15	1/20	10:50-12:20	6 番教室	第 15 回	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance:30%, participation & quizzes:30%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成

績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000107		
科目名	英語 d		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	2 番教室	第 1 回	猪熊　恵子
2	10/7	10:50-12:20	2 番教室	第 2 回	猪熊　恵子
3	10/14	10:50-12:20	2 番教室	第 3 回	猪熊　恵子
4	10/21	10:50-12:20	2 番教室	第 4 回	猪熊　恵子
5	10/28	10:50-12:20	2 番教室	第 5 回	猪熊　恵子
6	11/4	10:50-12:20	2 番教室	第 6 回	猪熊　恵子
7	11/11	10:50-12:20	2 番教室	第 7 回	猪熊　恵子
8	11/18	10:50-12:20	2 番教室	第 8 回	猪熊　恵子
9	11/25	10:50-12:20	2 番教室	第 9 回	猪熊　恵子
10	12/2	10:50-12:20	2 番教室	第 10 回	猪熊　恵子
11	12/9	10:50-12:20	2 番教室	第 11 回	猪熊　恵子
12	12/16	10:50-12:20	2 番教室	第 12 回	猪熊　恵子
13	1/6	10:50-12:20	2 番教室	第 13 回	猪熊　恵子
14	1/13	10:50-12:20	2 番教室	第 14 回	猪熊　恵子
15	1/20	10:50-12:20	2 番教室	第 15 回	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance + participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時 木曜日　　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000108		
科目名	英語 d		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・限：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10-14:40	3 番教室	第 1 回	畔柳　和代
2	10/7	13:10-14:40	3 番教室	第 2 回	畔柳　和代
3	10/14	13:10-14:40	3 番教室	第 3 回	畔柳　和代
4	10/21	13:10-14:40	3 番教室	第 4 回	畔柳　和代
5	10/28	13:10-14:40	3 番教室	第 5 回	畔柳　和代
6	11/4	13:10-14:40	3 番教室	第 6 回	畔柳　和代
7	11/11	13:10-14:40	3 番教室	第 7 回	畔柳　和代
8	11/18	13:10-14:40	3 番教室	第 8 回	畔柳　和代
9	11/25	13:10-14:40	3 番教室	第 9 回	畔柳　和代
10	12/2	13:10-14:40	3 番教室	第 10 回	畔柳　和代
11	12/9	13:10-14:40	3 番教室	第 11 回	畔柳　和代
12	12/16	13:10-14:40	3 番教室	第 12 回	畔柳　和代
13	1/6	13:10-14:40	3 番教室	第 13 回	畔柳　和代
14	1/13	13:10-14:40	3 番教室	第 14 回	畔柳　和代
15	1/20	13:10-14:40	3 番教室	第 15 回	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance:30%, participation & quizzes:30%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成

績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000106		
科目名	英語 d		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10-14:40	4番教室	第1回	猪熊　恵子
2	10/7	13:10-14:40	4番教室	第2回	猪熊　恵子
3	10/14	13:10-14:40	4番教室	第3回	猪熊　恵子
4	10/21	13:10-14:40	4番教室	第4回	猪熊　恵子
5	10/28	13:10-14:40	4番教室	第5回	猪熊　恵子
6	11/4	13:10-14:40	4番教室	第6回	猪熊　恵子
7	11/11	13:10-14:40	4番教室	第7回	猪熊　恵子
8	11/18	13:10-14:40	4番教室	第8回	猪熊　恵子
9	11/25	13:10-14:40	4番教室	第9回	猪熊　恵子
10	12/2	13:10-14:40	4番教室	第10回	猪熊　恵子
11	12/9	13:10-14:40	4番教室	第11回	猪熊　恵子
12	12/16	13:10-14:40	4番教室	第12回	猪熊　恵子
13	1/6	13:10-14:40	4番教室	第13回	猪熊　恵子
14	1/13	13:10-14:40	4番教室	第14回	猪熊　恵子
15	1/20	13:10-14:40	4番教室	第15回	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance and participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam:30%

再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000109		
科目名	英語 d		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	09:10-10:40	5番教室	第1回	猪熊　恵子
2	10/8	09:10-10:40	5番教室	第2回	猪熊　恵子
3	10/15	09:10-10:40	5番教室	第3回	猪熊　恵子
4	10/22	09:10-10:40	5番教室	第4回	猪熊　恵子
5	10/29	09:10-10:40	5番教室	第5回	猪熊　恵子
6	11/5	09:10-10:40	5番教室	第6回	猪熊　恵子
7	11/12	09:10-10:40	5番教室	第7回	猪熊　恵子
8	11/19	09:10-10:40	5番教室	第8回	猪熊　恵子
9	11/26	09:10-10:40	5番教室	第9回	猪熊　恵子
10	12/3	09:10-10:40	5番教室	第10回	猪熊　恵子
11	12/10	09:10-10:40	5番教室	第11回	猪熊　恵子
12	12/17	09:10-10:40	5番教室	第12回	猪熊　恵子
13	1/7	09:10-10:40	5番教室	第13回	猪熊　恵子
14	1/14	09:10-10:40	5番教室	第14回	猪熊　恵子
15	1/21	09:10-10:40	5番教室	第15回	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance + participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時 木曜日　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000110		
科目名	英語 d		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・限：木曜1限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	09:10-10:40	10番教室	第1回	畔柳　和代
2	10/8	09:10-10:40	10番教室	第2回	畔柳　和代
3	10/15	09:10-10:40	10番教室	第3回	畔柳　和代
4	10/22	09:10-10:40	10番教室	第4回	畔柳　和代
5	10/29	09:10-10:40	10番教室	第5回	畔柳　和代
6	11/5	09:10-10:40	10番教室	第6回	畔柳　和代
7	11/12	09:10-10:40	10番教室	第7回	畔柳　和代
8	11/19	09:10-10:40	10番教室	第8回	畔柳　和代
9	11/26	09:10-10:40	10番教室	第9回	畔柳　和代
10	12/3	09:10-10:40	10番教室	第10回	畔柳　和代
11	12/10	09:10-10:40	10番教室	第11回	畔柳　和代
12	12/17	09:10-10:40	10番教室	第12回	畔柳　和代
13	1/7	09:10-10:40	10番教室	第13回	畔柳　和代
14	1/14	09:10-10:40	10番教室	第14回	畔柳　和代
15	1/21	09:10-10:40	10番教室	第15回	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance:30%, participation & quizzes:30%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成

績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000102		
科目名	英語 d		
担当教員	フォス　パトリック		
開講時期	後期	対象年次	

・曜日・時間：木曜2限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	10:50-12:20	計算機実習室	第 1 回	フォス　パトリック
2	10/8	10:50-12:20	計算機実習室	第 2 回	フォス　パトリック
3	10/15	10:50-12:20	計算機実習室	第 3 回	フォス　パトリック
4	10/22	10:50-12:20	計算機実習室	第 4 回	フォス　パトリック
5	10/29	10:50-12:20	計算機実習室	第 5 回	フォス　パトリック
6	11/5	10:50-12:20	計算機実習室	第 6 回	フォス　パトリック
7	11/12	10:50-12:20	計算機実習室	第 7 回	フォス　パトリック
8	11/19	10:50-12:20	計算機実習室	第 8 回	フォス　パトリック
9	11/26	10:50-12:20	計算機実習室	第 9 回	フォス　パトリック
10	12/3	10:50-12:20	計算機実習室	第 10 回	フォス　パトリック
11	12/10	10:50-12:20	計算機実習室	第 11 回	フォス　パトリック
12	12/17	10:50-12:20	計算機実習室	第 12 回	フォス　パトリック
13	1/7	10:50-12:20	計算機実習室	第 13 回	フォス　パトリック
14	1/14	10:50-12:20	計算機実習室	第 14 回	フォス　パトリック

15	1/21	10:50-12:20	計算機実習室	第 15 回	フォス　パトリック

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance/participation　20%　presentation assignments 50%　research project 30%

再評価:　有(再評価方法　「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語　abcd　の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

フォス　パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

フォス　パトリック:毎週水曜日　PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日　PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟　3階　フォス研究室

時間割番号	000111		
科目名	英語 d		
担当教員	畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・限：木曜2限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	10:50-12:20	10番教室	第1回	畔柳　和代
2	10/8	10:50-12:20	10番教室	第2回	畔柳　和代
3	10/15	10:50-12:20	10番教室	第3回	畔柳　和代
4	10/22	10:50-12:20	10番教室	第4回	畔柳　和代
5	10/29	10:50-12:20	10番教室	第5回	畔柳　和代
6	11/5	10:50-12:20	10番教室	第6回	畔柳　和代
7	11/12	10:50-12:20	10番教室	第7回	畔柳　和代
8	11/19	10:50-12:20	10番教室	第8回	畔柳　和代
9	11/26	10:50-12:20	10番教室	第9回	畔柳　和代
10	12/3	10:50-12:20	10番教室	第10回	畔柳　和代
11	12/10	10:50-12:20	10番教室	第11回	畔柳　和代
12	12/17	10:50-12:20	10番教室	第12回	畔柳　和代
13	1/7	10:50-12:20	10番教室	第13回	畔柳　和代
14	1/14	10:50-12:20	10番教室	第14回	畔柳　和代
15	1/21	10:50-12:20	10番教室	第15回	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance:30%, participation & quizzes:30%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成

績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000112		
科目名	英語 d		
担当教員	猪熊　恵子		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：　保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	10:50-12:20	5 番教室	第 1 回	猪熊　恵子
2	10/8	10:50-12:20	5 番教室	第 2 回	猪熊　恵子
3	10/15	10:50-12:20	5 番教室	第 3 回	猪熊　恵子
4	10/22	10:50-12:20	5 番教室	第 4 回	猪熊　恵子
5	10/29	10:50-12:20	5 番教室	第 5 回	猪熊　恵子
6	11/5	10:50-12:20	5 番教室	第 6 回	猪熊　恵子
7	11/12	10:50-12:20	5 番教室	第 7 回	猪熊　恵子
8	11/19	10:50-12:20	5 番教室	第 8 回	猪熊　恵子
9	11/26	10:50-12:20	5 番教室	第 9 回	猪熊　恵子
10	12/3	10:50-12:20	5 番教室	第 10 回	猪熊　恵子
11	12/10	10:50-12:20	5 番教室	第 11 回	猪熊　恵子
12	12/17	10:50-12:20	5 番教室	第 12 回	猪熊　恵子
13	1/7	10:50-12:20	5 番教室	第 13 回	猪熊　恵子
14	1/14	10:50-12:20	5 番教室	第 14 回	猪熊　恵子
15	1/21	10:50-12:20	5 番教室	第 15 回	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：attendance + participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時 木曜日　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000113		
科目名	英語 d		
担当教員	菅原　未宇, 畔柳　和代		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標(SBOs)

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	10:50-12:20	2 番教室	第 1 回	菅原　未宇
2	10/8	10:50-12:20	2 番教室	第 2 回	菅原　未宇
3	10/15	10:50-12:20	2 番教室	第 3 回	菅原　未宇
4	10/22	10:50-12:20	2 番教室	第 4 回	菅原　未宇
5	10/29	10:50-12:20	2 番教室	第 5 回	菅原　未宇
6	11/5	10:50-12:20	2 番教室	第 6 回	菅原　未宇
7	11/12	10:50-12:20	2 番教室	第 7 回	菅原　未宇
8	11/19	10:50-12:20	2 番教室	第 8 回	菅原　未宇
9	11/26	10:50-12:20	2 番教室	第 9 回	菅原　未宇
10	12/3	10:50-12:20	2 番教室	第 10 回	菅原　未宇
11	12/10	10:50-12:20	2 番教室	第 11 回	菅原　未宇
12	12/17	10:50-12:20	2 番教室	第 12 回	菅原　未宇
13	1/7	10:50-12:20	2 番教室	第 13 回	菅原　未宇
14	1/14	10:50-12:20	2 番教室	第 14 回	菅原　未宇
15	1/21	10:50-12:20	2 番教室	第 15 回	菅原　未宇

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　attendance and preparation：40%　quizzes and other works：40%　final exam：20%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000158		
科目名	日本語 a		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	1

主な講義場所

12番教室

授業の目的、概要等

日本の医療事情についての知識を深めるとともに、口頭及び小論文演習を通じて日本語で理論的な表現ができるようにします。

授業の到達目標(SBOs)

日本の最新の医療技術と社会的な医療問題について知識を得ます。

日本語の医療系テレビ番組を見て、70%理解できる聞き取りの能力をつけます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	4/13	14:50-16:20	12番教室	第1回
2	4/20	14:50-16:20	12番教室	第2回
3	4/27	14:50-16:20	12番教室	第3回
4	5/11	14:50-16:20	12番教室	第4回
5	5/18	14:50-16:20	12番教室	第5回
6	5/25	14:50-16:20	12番教室	第6回
7	6/1	14:50-16:20	12番教室	第7回
8	6/8	14:50-16:20	12番教室	第8回
9	6/15	14:50-16:20	12番教室	第9回
10	6/22	14:50-16:20	12番教室	第10回
11	6/29	14:50-16:20	12番教室	第11回
12	7/6	14:50-16:20	12番教室	第12回
13	7/13	14:50-16:20	12番教室	第13回
14	7/27	14:50-16:20	12番教室	第14回
15	7/30	14:50-16:20	12番教室	第15回

授業方法

講義と演習

授業内容

日本の医療問題について、テレビ番組を見たあと、問題点について口頭および筆記で説明して内容理解の確認をします。

成績評価の方法

評価:出席及び授業態度　30%　宿題　30%、期末試験40%　(出席、宿題など平常点を重視します。)

再評価:有(再評価方法:「日本語」としての学年末再評価)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

宿題(作文)を重視します。宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上の出席が必要です。

他科目との関連

日本語は a/b/c/d/の総合点で4単位まとめて評価します。

備考

出席管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

6月の授業より授業内容の一部変更を変更する場合があります。

時間割番号	000159		
科目名	日本語ｂ		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	1

主な講義場所

１２番教室

授業の目的、概要等

教科書の読解および教科書に基づく講義ビデオを見て、基礎的な医歯学系専門用語を学習します。

授業の到達目標(SBOs)

医科歯科系の講義の理解に必要な読解力、聴解力、及び口頭発表力を養成します。特に医歯学系の教科書が読めるように人体の構造、生理機能についての語彙、慣用句を学習します。人体の生理機能を全人的に把握します。文章理解を深めるため、文章をチャート化したり、概念をモデル化したり、言い換えなどして読解技術を身につけます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	4/15	13:10-14:40	12番教室	第1回
2	4/22	13:10-14:40	12番教室	第2回
3	5/13	13:10-14:40	12番教室	第3回
4	5/20	13:10-14:40	12番教室	第4回
5	5/27	13:10-14:40	12番教室	第5回
6	6/3	13:10-14:40	12番教室	第6回
7	6/10	13:10-14:40	12番教室	第7回
8	6/17	13:10-14:40	12番教室	第8回
9	6/24	13:10-14:40	12番教室	第9回
10	7/1	13:10-14:40	12番教室	第10回
11	7/8	13:10-14:40	12番教室	第11回
12	7/15	13:10-14:40	12番教室	第12回
13	7/22	13:10-14:40	12番教室	第13回
14	7/29	13:10-14:40	12番教室	第14回
15	7/31	13:10-14:40	12番教室	第15回

授業方法

講義と演習

授業内容

教科書を読み、複雑な内容については図式化するなど読解戦略を養います。

講義ビデオを見て、ノートを取る方法、聞く力を養います。

医療用語、解剖用語を学びます。特に漢字の学習に重点を置きます。

成績評価の方法

評価：出席及び授業態度　40%　宿題　20%、期末試験40%　（出席、宿題など平常点を重視する）

再評価：有（再評価方法：「日本語」としての学年末再評価）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

復習を重視します。宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上の出席

構成ユニット

日本語 abcd

モジュールの単位判定

日本語 abcd
教科書 「人体の構造と機能」(2012 年版)大和谷厚　佐伯由香著　放送大学教科書 NHK 出版 978-4-595-31351-6　および　自作資料
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/の総合点で4単位まとめて評価します。
備考 出席管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 6月の授業より授業内容の一部変更を変更する場合があります。

時間割番号	000160		
科目名	日本語 c		
担当教員			
開講時期	後期	対象年次	1

主な講義場所

12 番教室

授業の目的、概要等

日本の医療事情についての知識を深めるとともに、口頭及び小論文演習を通じて日本語で理論的な表現ができるようにします。

授業の到達目標(SBOs)

日本の医療事情について、社会的観点も含めて学習します。医療関係のテレビ番組を見てだいたい内容がわかるように聞き取り能力を伸ばします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	9/28	14:50-16:20	12番教室	第1回
2	10/5	14:50-16:20	12番教室	第2回
3	10/19	14:50-16:20	12番教室	第3回
4	10/26	14:50-16:20	12番教室	第4回
5	11/2	14:50-16:20	12番教室	第5回
6	11/9	14:50-16:20	12番教室	第6回
7	11/16	14:50-16:20	12番教室	第7回
8	11/30	14:50-16:20	12番教室	第8回
9	12/7	14:50-16:20	12番教室	第9回
10	12/14	14:50-16:20	12番教室	第10回
11	12/21	14:50-16:20	12番教室	第11回
12	1/18	14:50-16:20	12番教室	第12回
13	1/25	14:50-16:20	12番教室	第13回
14	2/1	14:50-16:20	12番教室	第14回
15	2/8	14:50-16:20	12番教室	第15回

授業方法

講義と演習

授業内容

テレビ番組を見たあと、問題点について口頭および筆記で説明します。

成績評価の方法

評価:出席及び授業態度　30%　宿題　30%、期末試験 40%　(出席、宿題など平常点を重視します。)

再評価:有(再評価方法:「日本語」としての学年末再評価)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」によります。

準備学習などについての具体的な指示

宿題を重視します。宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上の出席が必要です。

他科目との関連

日本語は a/b/c/d/の総合点で4単位まとめて評価します。

備考

出席管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	000161		
科目名	日本語 d		
担当教員			
開講時期	後期	対象年次	1

主な講義場所

12 番教室

授業の目的、概要等

教科書の読解および教科書に基づく講義ビデオを見て、基礎的な医歯学系専門用語を学習します。

授業の到達目標(SBOs)

血液、循環器系、血管、呼吸器、消化器、泌尿器、運動、体性感覚に関わる器官の名称を学習し、その基礎的構造と生理学的機能について説明できるようになります。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	9/30	13:10-14:40	12番教室	第1回
2	10/7	13:10-14:40	12番教室	第2回
3	10/14	13:10-14:40	12番教室	第3回
4	10/21	13:10-14:40	12番教室	第4回
5	10/28	13:10-14:40	12番教室	第5回
6	11/4	13:10-14:40	12番教室	第6回
7	11/11	13:10-14:40	12番教室	第7回
8	11/18	13:10-14:40	12番教室	第8回
9	11/25	13:10-14:40	12番教室	第9回
10	12/2	13:10-14:40	12番教室	第10回
11	12/9	13:10-14:40	12番教室	第11回
12	12/16	13:10-14:40	12番教室	第12回
13	1/6	13:10-14:40	12番教室	第13回
14	1/13	13:10-14:40	12番教室	第14回
15	1/20	13:10-14:40	12番教室	第15回

授業方法

講義と演習

授業内容

教科書を読み、複雑な内容については図式化するなど読解戦略を養います。

講義ビデオを見て、ノートを取る方法、聞く力を養います。

医療用語、解剖用語を学びます。特に漢字の学習に重点を置きます。

成績評価の方法

評価:出席及び授業態度　40%　宿題　20%、期末試験 40%　(出席、宿題など平常点を重視します。)

再評価:有(再評価方法:「日本語」としての学年末再評価)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」によります。

準備学習などについての具体的な指示

復習を重視します。宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上の出席が必要です。

教科書

「人体の構造と機能」(2012 年版)大和谷厚　佐伯由香著　放送大学教科書 NHK 出版 978-4-595-31351-6　および　自作資料

他科目との関連
日本語は a/b/c/d/の総合点で4単位まとめて評価します。
備考
出席管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	000162				
科目名	ドイツ語				
担当教員	シンチンガー　エミ, 立川　睦美, 白井　史人, 清水　修				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	4

準備学習などについての具体的な指示

連絡先

シンチンガー　エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー　エミ:毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000163		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	5 番教室	第 1 回	シンチンガー エミ
2	4/20	13:10-14:40	5 番教室	第 2 回	シンチンガー エミ
3	4/27	13:10-14:40	5 番教室	第 3 回	シンチンガー エミ
4	5/11	13:10-14:40	5 番教室	第 4 回	シンチンガー エミ
5	5/18	13:10-14:40	5 番教室	第 5 回	シンチンガー エミ
6	5/25	13:10-14:40	5 番教室	第 6 回	シンチンガー エミ
7	6/1	13:10-14:40	5 番教室	第 7 回	シンチンガー エミ
8	6/8	13:10-14:40	5 番教室	第 8 回	シンチンガー エミ
9	6/15	13:10-14:40	5 番教室	第 9 回	シンチンガー エミ
10	6/22	13:10-14:40	5 番教室	第 10 回	シンチンガー エミ
11	6/29	13:10-14:40	5 番教室	第 11 回	シンチンガー エミ
12	7/6	13:10-14:40	5 番教室	第 12 回	シンチンガー エミ
13	7/13	13:10-14:40	5 番教室	第 13 回	シンチンガー エミ
14	7/27	13:10-14:40	5 番教室	第 14 回	シンチンガー エミ
15	7/30	13:10-14:40	5 番教室	第 15 回	シンチンガー

					エミ	

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第6課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配布しますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の 1 回目の授業で説明します。

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯に入っている辞書、スマートフォンに入っている辞書は

使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上の授業を履修していないと試験を受けられません。

授業に積極的に参加し、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000164		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	白井　史人, シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜３限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	4 番教室	第 1 回	白井　史人
2	4/20	13:10-14:40	4 番教室	第 2 回	白井　史人
3	4/27	13:10-14:40	4 番教室	第 3 回	白井　史人
4	5/11	13:10-14:40	4 番教室	第 4 回	白井　史人
5	5/18	13:10-14:40	4 番教室	第 5 回	白井　史人
6	5/25	13:10-14:40	4 番教室	第 6 回	白井　史人
7	6/1	13:10-14:40	4 番教室	第 7 回	白井　史人
8	6/8	13:10-14:40	4 番教室	第 8 回	白井　史人
9	6/15	13:10-14:40	4 番教室	第 9 回	白井　史人
10	6/22	13:10-14:40	4 番教室	第 10 回	白井　史人
11	6/29	13:10-14:40	4 番教室	第 11 回	白井　史人
12	7/6	13:10-14:40	4 番教室	第 12 回	白井　史人
13	7/13	13:10-14:40	4 番教室	第 13 回	白井　史人
14	7/27	13:10-14:40	4 番教室	第 14 回	白井　史人
15	7/30	13:10-14:40	4 番教室	第 15 回	白井　史人

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第 6 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。
独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。
再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。
これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000165		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	14:50-16:20	8 番教室	第 1 回	シンチンガー エミ
2	4/20	14:50-16:20	8 番教室	第 2 回	シンチンガー エミ
3	4/27	14:50-16:20	8 番教室	第 3 回	シンチンガー エミ
4	5/11	14:50-16:20	8 番教室	第 4 回	シンチンガー エミ
5	5/18	14:50-16:20	8 番教室	第 5 回	シンチンガー エミ
6	5/25	14:50-16:20	8 番教室	第 6 回	シンチンガー エミ
7	6/1	14:50-16:20	8 番教室	第 7 回	シンチンガー エミ
8	6/8	14:50-16:20	8 番教室	第 8 回	シンチンガー エミ
9	6/15	14:50-16:20	8 番教室	第 9 回	シンチンガー エミ
10	6/22	14:50-16:20	8 番教室	第 10 回	シンチンガー エミ
11	6/29	14:50-16:20	8 番教室	第 11 回	シンチンガー エミ
12	7/6	14:50-16:20	8 番教室	第 12 回	シンチンガー エミ
13	7/13	14:50-16:20	8 番教室	第 13 回	シンチンガー エミ
14	7/27	14:50-16:20	8 番教室	第 14 回	シンチンガー エミ
15	7/30	14:50-16:20	8 番教室	第 15 回	シンチンガー

					エミ	

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第6課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語はa,b,c,d,の総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験を受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30－18：00 管理研究棟3階研究室

時間割番号	000166		
科目名	ドイツ語ａ		
担当教員	白井　史人, シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	14:50-16:20	4 番教室	第 1 回	白井　史人
2	4/20	14:50-16:20	4 番教室	第 2 回	白井　史人
3	4/27	14:50-16:20	4 番教室	第 3 回	白井　史人
4	5/11	14:50-16:20	4 番教室	第 4 回	白井　史人
5	5/18	14:50-16:20	4 番教室	第 5 回	白井　史人
6	5/25	14:50-16:20	4 番教室	第 6 回	白井　史人
7	6/1	14:50-16:20	4 番教室	第 7 回	白井　史人
8	6/8	14:50-16:20	4 番教室	第 8 回	白井　史人
9	6/15	14:50-16:20	4 番教室	第 9 回	白井　史人
10	6/22	14:50-16:20	4 番教室	第 10 回	白井　史人
11	6/29	14:50-16:20	4 番教室	第 11 回	白井　史人
12	7/6	14:50-16:20	4 番教室	第 12 回	白井　史人
13	7/13	14:50-16:20	4 番教室	第 13 回	白井　史人
14	7/27	14:50-16:20	4 番教室	第 14 回	白井　史人
15	7/30	14:50-16:20	4 番教室	第 15 回	白井　史人

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第 6 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。
独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。
再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。
これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000167		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	立川　睦美, シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	14:50-16:20	5 番教室	第 1 回	立川　睦美
2	4/20	14:50-16:20	5 番教室	第 2 回	立川　睦美
3	4/27	14:50-16:20	5 番教室	第 3 回	立川　睦美
4	5/11	14:50-16:20	5 番教室	第 4 回	立川　睦美
5	5/18	14:50-16:20	5 番教室	第 5 回	立川　睦美
6	5/25	14:50-16:20	5 番教室	第 6 回	立川　睦美
7	6/1	14:50-16:20	5 番教室	第 7 回	立川　睦美
8	6/8	14:50-16:20	5 番教室	第 8 回	立川　睦美
9	6/15	14:50-16:20	5 番教室	第 9 回	立川　睦美
10	6/22	14:50-16:20	5 番教室	第 10 回	立川　睦美
11	6/29	14:50-16:20	5 番教室	第 11 回	立川　睦美
12	7/6	14:50-16:20	5 番教室	第 12 回	立川　睦美
13	7/13	14:50-16:20	5 番教室	第 13 回	立川　睦美
14	7/27	14:50-16:20	5 番教室	第 14 回	立川　睦美
15	7/30	14:50-16:20	5 番教室	第 15 回	立川　睦美

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第 6 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。
独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。
再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。
これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000170		
科目名	ドイツ語 a		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	8 番教室	第 1 回	シンチンガー エミ
2	4/22	10:50-12:20	8 番教室	第 2 回	シンチンガー エミ
3	5/13	10:50-12:20	8 番教室	第 3 回	シンチンガー エミ
4	5/20	10:50-12:20	8 番教室	第 4 回	シンチンガー エミ
5	5/27	10:50-12:20	8 番教室	第 5 回	シンチンガー エミ
6	6/3	10:50-12:20	8 番教室	第 6 回	シンチンガー エミ
7	6/10	10:50-12:20	8 番教室	第 7 回	シンチンガー エミ
8	6/17	10:50-12:20	8 番教室	第 8 回	シンチンガー エミ
9	6/24	10:50-12:20	8 番教室	第 9 回	シンチンガー エミ
10	7/1	10:50-12:20	8 番教室	第 10 回	シンチンガー エミ
11	7/8	10:50-12:20	8 番教室	第 11 回	シンチンガー エミ
12	7/15	10:50-12:20	8 番教室	第 12 回	シンチンガー エミ
13	7/22	10:50-12:20	8 番教室	第 13 回	シンチンガー エミ
14	7/29	10:50-12:20	8 番教室	第 14 回	シンチンガー エミ
15	7/31	10:50-12:20	8 番教室	第 15 回	シンチンガー

					エミ	

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第6課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので、注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語はa,b,c,d,の総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30－18：00 管理研究棟3階研究室

時間割番号	000168		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	立川　睦美, シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文、形容詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	8 番教室	第 1 回	立川　睦美
2	4/20	13:10-14:40	8 番教室	第 2 回	立川　睦美
3	4/27	13:10-14:40	8 番教室	第 3 回	立川　睦美
4	5/11	13:10-14:40	8 番教室	第 4 回	立川　睦美
5	5/18	13:10-14:40	8 番教室	第 5 回	立川　睦美
6	5/25	13:10-14:40	8 番教室	第 6 回	立川　睦美
7	6/1	13:10-14:40	8 番教室	第 7 回	立川　睦美
8	6/8	13:10-14:40	8 番教室	第 8 回	立川　睦美
9	6/15	13:10-14:40	8 番教室	第 9 回	立川　睦美
10	6/22	13:10-14:40	8 番教室	第 10 回	立川　睦美
11	6/29	13:10-14:40	8 番教室	第 11 回	立川　睦美
12	7/6	13:10-14:40	8 番教室	第 12 回	立川　睦美
13	7/13	13:10-14:40	8 番教室	第 13 回	立川　睦美
14	7/27	13:10-14:40	8 番教室	第 14 回	立川　睦美
15	7/30	13:10-14:40	8 番教室	第 15 回	立川　睦美

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書1の第 5 課までと、教科書 2 の第 5 課と第 6 課を学ぶことを目指します。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000171		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	清水　修, シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文、形容詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	7 番教室	第 1 回	清水　修
2	4/22	10:50-12:20	7 番教室	第 2 回	清水　修
3	5/13	10:50-12:20	7 番教室	第 3 回	清水　修
4	5/20	10:50-12:20	7 番教室	第 4 回	清水　修
5	5/27	10:50-12:20	7 番教室	第 5 回	清水　修
6	6/3	10:50-12:20	7 番教室	第 6 回	清水　修
7	6/10	10:50-12:20	7 番教室	第 7 回	清水　修
8	6/17	10:50-12:20	7 番教室	第 8 回	清水　修
9	6/24	10:50-12:20	7 番教室	第 9 回	清水　修
10	7/1	10:50-12:20	7 番教室	第 10 回	清水　修
11	7/8	10:50-12:20	7 番教室	第 11 回	清水　修
12	7/15	10:50-12:20	7 番教室	第 12 回	清水　修
13	7/22	10:50-12:20	7 番教室	第 13 回	清水　修
14	7/29	10:50-12:20	7 番教室	第 14 回	清水　修
15	7/31	10:50-12:20	7 番教室	第 15 回	清水　修

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書1の第5課までと教科書2の第5課と第6課を学ぶことを目指します。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000169		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	立川　睦美, シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文、形容詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	6 番教室	第 1 回	立川　睦美
2	4/22	10:50-12:20	6 番教室	第 2 回	立川　睦美
3	5/13	10:50-12:20	6 番教室	第 3 回	立川　睦美
4	5/20	10:50-12:20	6 番教室	第 4 回	立川　睦美
5	5/27	10:50-12:20	6 番教室	第 5 回	立川　睦美
6	6/3	10:50-12:20	6 番教室	第 6 回	立川　睦美
7	6/10	10:50-12:20	6 番教室	第 7 回	立川　睦美
8	6/17	10:50-12:20	6 番教室	第 8 回	立川　睦美
9	6/24	10:50-12:20	6 番教室	第 9 回	立川　睦美
10	7/1	10:50-12:20	6 番教室	第 10 回	立川　睦美
11	7/8	10:50-12:20	6 番教室	第 11 回	立川　睦美
12	7/15	10:50-12:20	6 番教室	第 12 回	立川　睦美
13	7/22	10:50-12:20	6 番教室	第 13 回	立川　睦美
14	7/29	10:50-12:20	6 番教室	第 14 回	立川　睦美
15	7/31	10:50-12:20	6 番教室	第 15 回	立川　睦美

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書1の第5課までと教科書 2 の第 5 課と第 6 課をを学ぶことを目指します。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000172		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	立川　睦美, シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SB0s)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 b,は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文、形容詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	8 番教室	第 1 回	立川　睦美
2	4/22	13:10-14:40	8 番教室	第 2 回	立川　睦美
3	5/13	13:10-14:40	8 番教室	第 3 回	立川　睦美
4	5/20	13:10-14:40	8 番教室	第 4 回	立川　睦美
5	5/27	13:10-14:40	8 番教室	第 5 回	立川　睦美
6	6/3	13:10-14:40	8 番教室	第 6 回	立川　睦美
7	6/10	13:10-14:40	8 番教室	第 7 回	立川　睦美
8	6/17	13:10-14:40	8 番教室	第 8 回	立川　睦美
9	6/24	13:10-14:40	8 番教室	第 9 回	立川　睦美
10	7/1	13:10-14:40	8 番教室	第 10 回	立川　睦美
11	7/8	13:10-14:40	8 番教室	第 11 回	立川　睦美
12	7/15	13:10-14:40	8 番教室	第 12 回	立川　睦美
13	7/22	13:10-14:40	8 番教室	第 13 回	立川　睦美
14	7/29	13:10-14:40	8 番教室	第 14 回	立川　睦美
15	7/31	13:10-14:40	8 番教室	第 15 回	立川　睦美

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書1の第5課までと教科書 2 の第 5 課と第 6 課をを学ぶことを目指します。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000173		
科目名	ドイツ語ｂ		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 b,は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文、形容詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	7 番教室	第 1 回	シンチンガー エミ
2	4/22	13:10-14:40	7 番教室	第 2 回	シンチンガー エミ
3	5/13	13:10-14:40	7 番教室	第 3 回	シンチンガー エミ
4	5/20	13:10-14:40	7 番教室	第 4 回	シンチンガー エミ
5	5/27	13:10-14:40	7 番教室	第 5 回	シンチンガー エミ
6	6/3	13:10-14:40	7 番教室	第 6 回	シンチンガー エミ
7	6/10	13:10-14:40	7 番教室	第 7 回	シンチンガー エミ
8	6/17	13:10-14:40	7 番教室	第 8 回	シンチンガー エミ
9	6/24	13:10-14:40	7 番教室	第 9 回	シンチンガー エミ
10	7/1	13:10-14:40	7 番教室	第 10 回	シンチンガー エミ
11	7/8	13:10-14:40	7 番教室	第 11 回	シンチンガー エミ
12	7/15	13:10-14:40	7 番教室	第 12 回	シンチンガー エミ
13	7/22	13:10-14:40	7 番教室	第 13 回	シンチンガー エミ
14	7/29	13:10-14:40	7 番教室	第 14 回	シンチンガー エミ
15	7/31	13:10-14:40	7 番教室	第 15 回	シンチンガー

					エミ	

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書1の第5課までと教科書2の第5課と第6課を学ぶことを目指します。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,:三修社, 2009

ドイツ語との出会い : ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,:同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000175		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	白井　史人, シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期a、後期c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語ｃ は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	5 番教室	第 1 回	白井　史人
2	10/5	13:10-14:40	5 番教室	第 2 回	白井　史人
3	10/19	13:10-14:40	5 番教室	第 3 回	白井　史人
4	10/26	13:10-14:40	5 番教室	第 4 回	白井　史人
5	11/2	13:10-14:40	5 番教室	第 5 回	白井　史人
6	11/9	13:10-14:40	5 番教室	第 6 回	白井　史人
7	11/16	13:10-14:40	5 番教室	第 7 回	白井　史人
8	11/30	13:10-14:40	5 番教室	第 8 回	白井　史人
9	12/7	13:10-14:40	5 番教室	第 9 回	白井　史人
10	12/14	13:10-14:40	5 番教室	第 10 回	白井　史人
11	12/21	13:10-14:40	5 番教室	第 11 回	白井　史人
12	1/18	13:10-14:40	5 番教室	第 12 回	白井　史人
13	1/25	13:10-14:40	5 番教室	第 13 回	白井　史人
14	2/1	13:10-14:40	5 番教室	第 14 回	白井　史人
15	2/8	13:10-14:40	5 番教室	第 15 回	白井　史人

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 7 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。
再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000176		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期a、後期c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語ｃ は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	4 番教室	第 1 回	シンチンガー エミ
2	10/5	13:10-14:40	4 番教室	第 2 回	シンチンガー エミ
3	10/19	13:10-14:40	4 番教室	第 3 回	シンチンガー エミ
4	10/26	13:10-14:40	4 番教室	第 4 回	シンチンガー エミ
5	11/2	13:10-14:40	4 番教室	第 5 回	シンチンガー エミ
6	11/9	13:10-14:40	4 番教室	第 6 回	シンチンガー エミ
7	11/16	13:10-14:40	4 番教室	第 7 回	シンチンガー エミ
8	11/30	13:10-14:40	4 番教室	第 8 回	シンチンガー エミ
9	12/7	13:10-14:40	4 番教室	第 9 回	シンチンガー エミ
10	12/14	13:10-14:40	4 番教室	第 10 回	シンチンガー エミ
11	12/21	13:10-14:40	4 番教室	第 11 回	シンチンガー エミ
12	1/18	13:10-14:40	4 番教室	第 12 回	シンチンガー エミ
13	1/25	13:10-14:40	4 番教室	第 13 回	シンチンガー エミ
14	2/1	13:10-14:40	4 番教室	第 14 回	シンチンガー エミ
15	2/8	13:10-14:40	4 番教室	第 15 回	シンチンガー エミ

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 7 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000177		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期a、後期c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語ｃ　は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	14:50-16:20	4 番教室	第 1 回	シンチンガー エミ
2	10/5	14:50-16:20	4 番教室	第 2 回	シンチンガー エミ
3	10/19	14:50-16:20	4 番教室	第 3 回	シンチンガー エミ
4	10/26	14:50-16:20	4 番教室	第 4 回	シンチンガー エミ
5	11/2	14:50-16:20	4 番教室	第 5 回	シンチンガー エミ
6	11/9	14:50-16:20	4 番教室	第 6 回	シンチンガー エミ
7	11/16	14:50-16:20	4 番教室	第 7 回	シンチンガー エミ
8	11/30	14:50-16:20	4 番教室	第 8 回	シンチンガー エミ
9	12/7	14:50-16:20	4 番教室	第 9 回	シンチンガー エミ
10	12/14	14:50-16:20	4 番教室	第 10 回	シンチンガー エミ
11	12/21	14:50-16:20	4 番教室	第 11 回	シンチンガー エミ
12	1/18	14:50-16:20	4 番教室	第 12 回	シンチンガー エミ
13	1/25	14:50-16:20	4 番教室	第 13 回	シンチンガー エミ
14	2/1	14:50-16:20	4 番教室	第 14 回	シンチンガー エミ
15	2/8	14:50-16:20	4 番教室	第 15 回	シンチンガー エミ

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 7 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

復習は重要ですので、毎回自宅で復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000178		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	白井　史人, シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期a、後期c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語ｃ　は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	14:50-16:20	5 番教室	第 1 回	白井　史人
2	10/5	14:50-16:20	5 番教室	第 2 回	白井　史人
3	10/19	14:50-16:20	5 番教室	第 3 回	白井　史人
4	10/26	14:50-16:20	5 番教室	第 4 回	白井　史人
5	11/2	14:50-16:20	5 番教室	第 5 回	白井　史人
6	11/9	14:50-16:20	5 番教室	第 6 回	白井　史人
7	11/16	14:50-16:20	5 番教室	第 7 回	白井　史人
8	11/30	14:50-16:20	5 番教室	第 8 回	白井　史人
9	12/7	14:50-16:20	5 番教室	第 9 回	白井　史人
10	12/14	14:50-16:20	5 番教室	第 10 回	白井　史人
11	12/21	14:50-16:20	5 番教室	第 11 回	白井　史人
12	1/18	14:50-16:20	5 番教室	第 12 回	白井　史人
13	1/25	14:50-16:20	5 番教室	第 13 回	白井　史人
14	2/1	14:50-16:20	5 番教室	第 14 回	白井　史人
15	2/8	14:50-16:20	5 番教室	第 15 回	白井　史人

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 7 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。
プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。
それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000179		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期a、後期c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語ｃ は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	5 番教室	第 1 回	シンチンガー エミ
2	10/7	10:50-12:20	5 番教室	第 2 回	シンチンガー エミ
3	10/14	10:50-12:20	5 番教室	第 3 回	シンチンガー エミ
4	10/21	10:50-12:20	5 番教室	第 4 回	シンチンガー エミ
5	10/28	10:50-12:20	5 番教室	第 5 回	シンチンガー エミ
6	11/4	10:50-12:20	5 番教室	第 6 回	シンチンガー エミ
7	11/11	10:50-12:20	5 番教室	第 7 回	シンチンガー エミ
8	11/18	10:50-12:20	5 番教室	第 8 回	シンチンガー エミ
9	11/25	10:50-12:20	5 番教室	第 9 回	シンチンガー エミ
10	12/2	10:50-12:20	5 番教室	第 10 回	シンチンガー エミ
11	12/9	10:50-12:20	5 番教室	第 11 回	シンチンガー エミ
12	12/16	10:50-12:20	5 番教室	第 12 回	シンチンガー エミ
13	1/6	10:50-12:20	5 番教室	第 13 回	シンチンガー エミ
14	1/13	10:50-12:20	5 番教室	第 14 回	シンチンガー エミ
15	1/20	10:50-12:20	5 番教室	第 15 回	シンチンガー エミ

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 7 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000182		
科目名	ドイツ語ｃ		
担当教員	シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期a、後期c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語ｃ は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10-14:40	7番教室	第1回	シンチンガー エミ
2	10/7	13:10-14:40	7番教室	第2回	シンチンガー エミ
3	10/14	13:10-14:40	7番教室	第3回	シンチンガー エミ
4	10/21	13:10-14:40	7番教室	第4回	シンチンガー エミ
5	10/28	13:10-14:40	7番教室	第5回	シンチンガー エミ
6	11/4	13:10-14:40	7番教室	第6回	シンチンガー エミ
7	11/11	13:10-14:40	7番教室	第7回	シンチンガー エミ
8	11/18	13:10-14:40	7番教室	第8回	シンチンガー エミ
9	11/25	13:10-14:40	7番教室	第9回	シンチンガー エミ
10	12/2	13:10-14:40	7番教室	第10回	シンチンガー エミ
11	12/9	13:10-14:40	7番教室	第11回	シンチンガー エミ
12	12/16	13:10-14:40	7番教室	第12回	シンチンガー エミ
13	1/6	13:10-14:40	7番教室	第13回	シンチンガー エミ
14	1/13	13:10-14:40	7番教室	第14回	シンチンガー エミ
15	1/20	13:10-14:40	7番教室	第15回	シンチンガー エミ

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 7 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受験できません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000180		
科目名	ドイツ語 d		
担当教員	立川　睦美, シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 d は、動詞の過去人称変化、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、命令法、関係代名詞まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	8 番教室	第 1 回	立川　睦美
2	10/5	13:10-14:40	8 番教室	第 2 回	立川　睦美
3	10/19	13:10-14:40	8 番教室	第 3 回	立川　睦美
4	10/26	13:10-14:40	8 番教室	第 4 回	立川　睦美
5	11/2	13:10-14:40	8 番教室	第 5 回	立川　睦美
6	11/9	13:10-14:40	8 番教室	第 6 回	立川　睦美
7	11/16	13:10-14:40	8 番教室	第 7 回	立川　睦美
8	11/30	13:10-14:40	8 番教室	第 8 回	立川　睦美
9	12/7	13:10-14:40	8 番教室	第 9 回	立川　睦美
10	12/14	13:10-14:40	8 番教室	第 10 回	立川　睦美
11	12/21	13:10-14:40	8 番教室	第 11 回	立川　睦美
12	1/18	13:10-14:40	8 番教室	第 12 回	立川　睦美
13	1/25	13:10-14:40	8 番教室	第 13 回	立川　睦美
14	2/1	13:10-14:40	8 番教室	第 14 回	立川　睦美
15	2/8	13:10-14:40	8 番教室	第 15 回	立川　睦美

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書1の第 14 課までを学ぶことを目指しますが、より内容を理解するために、教科書 2 も使います。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000181		
科目名	ドイツ語 d		
担当教員	立川　睦美, シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SB0s)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 d は、動詞の過去人称変化、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、命令法、関係代名詞まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	8 番教室	第 1 回	立川　睦美
2	10/5	13:10-14:40	8 番教室	第 2 回	立川　睦美
3	10/19	13:10-14:40	8 番教室	第 3 回	立川　睦美
4	10/26	13:10-14:40	8 番教室	第 4 回	立川　睦美
5	11/2	13:10-14:40	8 番教室	第 5 回	立川　睦美
6	11/9	13:10-14:40	8 番教室	第 6 回	立川　睦美
7	11/16	13:10-14:40	8 番教室	第 7 回	立川　睦美
8	11/30	13:10-14:40	8 番教室	第 8 回	立川　睦美
9	12/7	13:10-14:40	8 番教室	第 9 回	立川　睦美
10	12/14	13:10-14:40	8 番教室	第 10 回	立川　睦美
11	12/21	13:10-14:40	8 番教室	第 11 回	立川　睦美
12	1/18	13:10-14:40	8 番教室	第 12 回	立川　睦美
13	1/25	13:10-14:40	8 番教室	第 13 回	立川　睦美
14	2/1	13:10-14:40	8 番教室	第 14 回	立川　睦美
15	2/8	13:10-14:40	8 番教室	第 15 回	立川　睦美

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書1の第 14 課までを学ぶことを目指しますが、より内容を理解するために、教科書 2 も使います。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000183		
科目名	ドイツ語 d		
担当教員	立川　睦美, シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SB0s)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 d は、動詞の過去人称変化、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、命令法、関係代名詞まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	8 番教室	第 1 回	立川　睦美
2	10/7	10:50-12:20	8 番教室	第 2 回	立川　睦美
3	10/14	10:50-12:20	8 番教室	第 3 回	立川　睦美
4	10/21	10:50-12:20	8 番教室	第 4 回	立川　睦美
5	10/28	10:50-12:20	8 番教室	第 5 回	立川　睦美
6	11/4	10:50-12:20	8 番教室	第 6 回	立川　睦美
7	11/11	10:50-12:20	8 番教室	第 7 回	立川　睦美
8	11/18	10:50-12:20	8 番教室	第 8 回	立川　睦美
9	11/25	10:50-12:20	8 番教室	第 9 回	立川　睦美
10	12/2	10:50-12:20	8 番教室	第 10 回	立川　睦美
11	12/9	10:50-12:20	8 番教室	第 11 回	立川　睦美
12	12/16	10:50-12:20	8 番教室	第 12 回	立川　睦美
13	1/6	10:50-12:20	8 番教室	第 13 回	立川　睦美
14	1/13	10:50-12:20	8 番教室	第 14 回	立川　睦美
15	1/20	10:50-12:20	8 番教室	第 15 回	立川　睦美

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書1の第 14 課までを学ぶことを目指しますが、より内容を理解するために、教科書 2 も使います。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000184		
科目名	ドイツ語 d		
担当教員	清水　修, シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 d は、動詞の過去人称変化、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、命令法、関係代名詞まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	7 番教室	第 1 回	清水　修
2	10/7	10:50-12:20	7 番教室	第 2 回	清水　修
3	10/14	10:50-12:20	7 番教室	第 3 回	清水　修
4	10/21	10:50-12:20	7 番教室	第 4 回	清水　修
5	10/28	10:50-12:20	7 番教室	第 5 回	清水　修
6	11/4	10:50-12:20	7 番教室	第 6 回	清水　修
7	11/11	10:50-12:20	7 番教室	第 7 回	清水　修
8	11/18	10:50-12:20	7 番教室	第 8 回	清水　修
9	11/25	10:50-12:20	7 番教室	第 9 回	清水　修
10	12/2	10:50-12:20	7 番教室	第 10 回	清水　修
11	12/9	10:50-12:20	7 番教室	第 11 回	清水　修
12	12/16	10:50-12:20	7 番教室	第 12 回	清水　修
13	1/6	10:50-12:20	7 番教室	第 13 回	清水　修
14	1/13	10:50-12:20	7 番教室	第 14 回	清水　修
15	1/20	10:50-12:20	7 番教室	第 15 回	清水　修

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書1の第 14 課までを学ぶことを目指しますが、より内容を理解するために、教科書 2 も使います。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験を受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000186		
科目名	ドイツ語 d		
担当教員	立川　睦美, シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SB0s)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 d は、動詞の過去人称変化、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、命令法、関係代名詞まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10-14:40	8 番教室	第 1 回	立川　睦美
2	10/7	13:10-14:40	8 番教室	第 2 回	立川　睦美
3	10/14	13:10-14:40	8 番教室	第 3 回	立川　睦美
4	10/21	13:10-14:40	8 番教室	第 4 回	立川　睦美
5	10/28	13:10-14:40	8 番教室	第 5 回	立川　睦美
6	11/4	13:10-14:40	8 番教室	第 6 回	立川　睦美
7	11/11	13:10-14:40	8 番教室	第 7 回	立川　睦美
8	11/18	13:10-14:40	8 番教室	第 8 回	立川　睦美
9	11/25	13:10-14:40	8 番教室	第 9 回	立川　睦美
10	12/2	13:10-14:40	8 番教室	第 10 回	立川　睦美
11	12/9	13:10-14:40	8 番教室	第 11 回	立川　睦美
12	12/16	13:10-14:40	8 番教室	第 12 回	立川　睦美
13	1/6	13:10-14:40	8 番教室	第 13 回	立川　睦美
14	1/13	13:10-14:40	8 番教室	第 14 回	立川　睦美
15	1/20	13:10-14:40	8 番教室	第 15 回	立川　睦美

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書1の第 14 課までを学ぶことを目指しますが、より内容を理解するために、教科書 2 も使います。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000185		
科目名	ドイツ語 d		
担当教員	白井　史人, シンチンガー　エミ		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標(SBOs)

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 d は、動詞の過去人称変化、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、命令法、関係代名詞まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10-14:40	2 番教室	第 1 回	白井　史人
2	10/7	13:10-14:40	2 番教室	第 2 回	白井　史人
3	10/14	13:10-14:40	2 番教室	第 3 回	白井　史人
4	10/21	13:10-14:40	2 番教室	第 4 回	白井　史人
5	10/28	13:10-14:40	2 番教室	第 5 回	白井　史人
6	11/4	13:10-14:40	2 番教室	第 6 回	白井　史人
7	11/11	13:10-14:40	2 番教室	第 7 回	白井　史人
8	11/18	13:10-14:40	2 番教室	第 8 回	白井　史人
9	11/25	13:10-14:40	2 番教室	第 9 回	白井　史人
10	12/2	13:10-14:40	2 番教室	第 10 回	白井　史人
11	12/9	13:10-14:40	2 番教室	第 11 回	白井　史人
12	12/16	13:10-14:40	2 番教室	第 12 回	白井　史人
13	1/6	13:10-14:40	2 番教室	第 13 回	白井　史人
14	1/13	13:10-14:40	2 番教室	第 14 回	白井　史人
15	1/20	13:10-14:40	2 番教室	第 15 回	白井　史人

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書1の第 14 課までを学ぶことを目指しますが、より内容を理解するために、教科書 2 も使います。毎回両方の教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。
再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ文法 15 課／尾川浩, 江代修, 金関猛 著,：三修社, 2009
ドイツ語との出会い ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2008

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008
アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきます。
辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000201		
科目名	フランス語 a		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標(SBOs)

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	13:10−14:40	11 番教室	第 1 回	授業概要の説明、発音、アルファベ	中島　ひかる
2	4/20	13:10−14:40	11 番教室	第 2 回	名詞･冠詞･提示表現	中島　ひかる
3	4/27	13:10−14:40	11 番教室	第 3 回	主語人称代名詞･動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)	中島　ひかる
4	5/11	13:10−14:40	11 番教室	第 4 回	主語人称代名詞･動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)	中島　ひかる
5	5/18	13:10−14:40	11 番教室	第 5 回	指示形容詞･所有形容詞･形容詞	中島　ひかる
6	5/25	13:10−14:40	11 番教室	第 6 回	第 2 群規則動詞･否定文･疑問文	中島　ひかる
7	6/1	13:10−14:40	11 番教室	第 7 回	aller, venir, 近接未来･近接過去	中島　ひかる
8	6/8	13:10−14:40	11 番教室	第 8 回	疑問詞	中島　ひかる
9	6/15	13:10−14:40	11 番教室	第 9 回	疑問詞･時刻の表現	中島　ひかる
10	6/22	13:10−14:40	11 番教室	第 10 回	補語人称代名詞	中島　ひかる
11	6/29	13:10−14:40	11 番教室	第 11 回	非人称構文	中島　ひかる
12	7/6	13:10−14:40	11 番教室	第 12 回	代名動詞	中島　ひかる
13	7/13	13:10−14:40	11 番教室	第 13 回	命令法	中島　ひかる
14	7/27	13:10−14:40	11 番教室	第 14 回	複合過去	中島　ひかる
15	7/30	13:10−14:40	11 番教室	第 15 回	復習	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期a･bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文･疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。
原則的に一つの項目に対して、月･水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、授業明細に記した予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・レポート 0 %・
　その他 10 %（授業中小試験 ・授業中の解答状況等）

再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）
●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、９月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません（例：再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60）。

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示
予習よりも復習を重視します。指示された演習問題については、自分で教科書の説明や辞書を参照しながら解いて、授業に臨んで下さい。

試験の受験資格
・期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書
くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他：朝日出版社, 2015

参考書
ディコ仏和辞典 ／白水社：白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社
ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連
フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

履修上の注意事項
出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先
nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー
毎週月曜 16：30～18：00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000202		
科目名	フランス語 a		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標(SBOs)

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	14:50−16:20	11番教室	第1回	授業概要の説明、発音、アルファベ	中島　ひかる
2	4/20	14:50−16:20	11番教室	第2回	名詞・冠詞・提示表現	中島　ひかる
3	4/27	14:50−16:20	11番教室	第3回	主語人称代名詞・動詞(第1群規則動詞、être, avoir)	中島　ひかる
4	5/11	14:50−16:20	11番教室	第4回	主語人称代名詞・動詞(第1群規則動詞、être, avoir)	中島　ひかる
5	5/18	14:50−16:20	11番教室	第5回	指示形容詞・所有形容詞・形容詞	中島　ひかる
6	5/25	14:50−16:20	11番教室	第6回	第2群規則動詞・否定文・疑問文	中島　ひかる
7	6/1	14:50−16:20	11番教室	第7回	aller, venir, 近接未来・近接過去	中島　ひかる
8	6/8	14:50−16:20	11番教室	第8回	疑問詞	中島　ひかる
9	6/15	14:50−16:20	11番教室	第9回	疑問詞・時刻の表現	中島　ひかる
10	6/22	14:50−16:20	11番教室	第10回	補語人称代名詞	中島　ひかる
11	6/29	14:50−16:20	11番教室	第11回	非人称構文	中島　ひかる
12	7/6	14:50−16:20	11番教室	第12回	代名動詞	中島　ひかる
13	7/13	14:50−16:20	11番教室	第13回	命令法	中島　ひかる
14	7/27	14:50−16:20	11番教室	第14回	複合過去	中島　ひかる
15	7/30	14:50−16:20	11番教室	第15回	復習	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。
原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、授業明細に記した予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・レポート0 %・
　その他 10 %（授業中小試験 ・授業中の解答状況等）

再評価:有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）
●上記のパーセンテージは「フランス語 a･b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a･b 合わせた考査を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語a･b」を総合しての再考査は、９月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません（例:再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60）。

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示
予習よりも復習を重視します。指示された演習問題については、自分で教科書の説明や辞書を参照しながら解いて、授業に臨んで下さい。

試験の受験資格
・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
・a･b･c･d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a･b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a･b･c･d 合わせての出席率で決定する。

教科書
くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015

参考書
ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連
フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a･b･c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

履修上の注意事項
出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先
nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー
毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000203		
科目名	フランス語ｂ		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜２限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標(SBOs)

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	10:50−12:20	11番教室	第1回	発音、アルファベ	中島　ひかる
2	4/22	10:50−12:20	11番教室	第2回	名詞･冠詞･提示表現	中島　ひかる
3	5/13	10:50−12:20	11番教室	第3回	指示形容詞･所有形容詞･形容詞	中島　ひかる
4	5/20	10:50−12:20	11番教室	第4回	第2群規則動詞･否定文･疑問文	中島　ひかる
5	5/27	10:50−12:20	11番教室	第5回	aller, venir, 近接未来･近接過去	中島　ひかる
6	6/3	10:50−12:20	11番教室	第6回	疑問詞	中島　ひかる
7	6/10	10:50−12:20	11番教室	第7回	疑問詞･時刻の表現	中島　ひかる
8	6/17	10:50−12:20	11番教室	第8回	補語人称代名詞	中島　ひかる
9	6/24	10:50−12:20	11番教室	第9回	非人称構文	中島　ひかる
10	7/1	10:50−12:20	11番教室	第10回	代名動詞	中島　ひかる
11	7/8	10:50−12:20	11番教室	第11回	命令法	中島　ひかる
12	7/15	10:50−12:20	11番教室	第12回	準動詞	中島　ひかる
13	7/22	10:50−12:20	11番教室	第13回	準動詞	中島　ひかる
14	7/29	10:50−12:20	11番教室	第14回	複合過去	中島　ひかる
15	7/31	10:50−12:20	11番教室	第15回	フランス語a･bまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期a･bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文･疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。
原則的に一つの項目に対して、月･水の2回で説明と演習を組み合わせますが、授業明細に記した予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・レポート０ %・
　その他 10 %（授業中小試験 ・授業中の解答状況等）
再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）
●上記のパーセンテージは「フランス語 a･b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a･b 合わせた考査を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%, d各25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で60点に達していてもｃが55点未満の場合は不合格とし

す。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、９月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません（例：再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60）。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習を重視します。指示された演習問題については、自分で教科書の説明や辞書を参照しながら解いて、授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他：朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典　／白水社：白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典　：旺文社
ロワイヤル仏和辞典　：旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。　フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。　フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜　16：30～18：00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000205		
科目名	フランス語ｂ		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	前期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標(SBOs)

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	13:10−14:40	11番教室	第1回	発音、アルファベ	中島　ひかる
2	4/22	13:10−14:40	11番教室	第2回	名詞・冠詞・提示表現	中島　ひかる
3	5/13	13:10−14:40	11番教室	第3回	指示形容詞・所有形容詞・形容詞	中島　ひかる
4	5/20	13:10−14:40	11番教室	第4回	第2群規則動詞・否定文・疑問文	中島　ひかる
5	5/27	13:10−14:40	11番教室	第5回	aller. venir, 近接未来。近接過去	中島　ひかる
6	6/3	13:10−14:40	11番教室	第6回	疑問詞	中島　ひかる
7	6/10	13:10−14:40	11番教室	第7回	疑問詞・時刻の表現	中島　ひかる
8	6/17	13:10−14:40	11番教室	第8回	補語人称代名詞	中島　ひかる
9	6/24	13:10−14:40	11番教室	第9回	非人称構文	中島　ひかる
10	7/1	13:10−14:40	11番教室	第10回	代名動詞	中島　ひかる
11	7/8	13:10−14:40	11番教室	第11回	命令法	中島　ひかる
12	7/15	13:10−14:40	11番教室	第12回	準動詞	中島　ひかる
13	7/22	13:10−14:40	11番教室	第13回	準動詞	中島　ひかる
14	7/29	13:10−14:40	11番教室	第14回	複合過去	中島　ひかる
15	7/31	13:10−14:40	11番教室	第15回	フランス語a・bまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。
原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、授業明細に記した予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・レポート0 %・
　その他 10 %（授業中小試験 ・授業中の解答状況等）
再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）
●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%, d各25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で60点に達していてもcが55点未満の場合は不合格とし

す。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、９月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません（例：再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60）。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習を重視します。指示された演習問題については、自分で教科書の説明や辞書を参照しながら解いて、授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他：朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典　／白水社：白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典　：旺文社
ロワイヤル仏和辞典　：旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。　フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。　フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜　16：30～18：00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000207		
科目名	フランス語ｃ		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

授業の到達目標(SB0s)

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50−12:20	11番教室	第1回	半過去・大過去・受動態	中島　ひかる
2	10/7	10:50−12:20	11番教室	第2回	半過去・大過去・受動態	中島　ひかる
3	10/14	10:50−12:20	11番教室	第3回	関係代名詞	中島　ひかる
4	10/21	10:50−12:20	11番教室	第4回	関係代名詞	中島　ひかる
5	10/28	10:50−12:20	11番教室	第5回	比較級・最上級	中島　ひかる
6	11/4	10:50−12:20	11番教室	第6回	比較級・最上級	中島　ひかる
7	11/11	10:50−12:20	11番教室	第7回	中性代名詞	中島　ひかる
8	11/18	10:50−12:20	11番教室	第8回	中性代名詞	中島　ひかる
9	11/25	10:50−12:20	11番教室	第9回	単純未来・前未来、現在分詞・ジェロンディフ	中島　ひかる
10	12/2	10:50−12:20	11番教室	第10回	単純未来・前未来、現在分詞・ジェロンディフ	中島　ひかる
11	12/9	10:50−12:20	11番教室	第11回	条件法	中島　ひかる
12	12/16	10:50−12:20	11番教室	第12回	条件法	中島　ひかる
13	1/6	10:50−12:20	11番教室	第13回	接続法	中島　ひかる
14	1/13	10:50−12:20	11番教室	第14回	接続法	中島　ひかる
15	1/20	10:50−12:20	11番教室	第15回	単純過去・話法	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。
授業明細に記した予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・レポート 0 %・
　その他 10 %（授業中小試験 ・授業中の解答状況等）
再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）

●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語c」のみの再考査は行いません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習を重視します。指示された演習問題については、自分で教科書の説明や辞書を参照しながら解いて、授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典　／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典　:旺文社
ロワイヤル仏和辞典　:旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜　16:30～18:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000208		
科目名	フランス語ｃ		
担当教員	満島　直子		
開講時期	後期	対象年次	

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

授業の到達目標(SB0s)

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10−14:40	5番教室	第1回	満島　直子
2	10/7	13:10−14:40	5番教室	第2回	満島　直子
3	10/14	13:10−14:40	5番教室	第3回	満島　直子
4	10/21	13:10−14:40	5番教室	第4回	満島　直子
5	10/28	13:10−14:40	5番教室	第5回	満島　直子
6	11/4	13:10−14:40	5番教室	第6回	満島　直子
7	11/11	13:10−14:40	5番教室	第7回	満島　直子
8	11/18	13:10−14:40	5番教室	第8回	満島　直子
9	11/25	13:10−14:40	5番教室	第9回	満島　直子
10	12/2	13:10−14:40	5番教室	第10回	満島　直子
11	12/9	13:10−14:40	5番教室	第11回	満島　直子
12	12/16	13:10−14:40	5番教室	第12回	満島　直子
13	1/6	13:10−14:40	5番教室	第13回	満島　直子
14	1/13	13:10−14:40	5番教室	第14回	満島　直子
15	1/20	13:10−14:40	5番教室	第15回	満島　直子

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。
授業明細に記した予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・レポート0 %・
　その他 10 %（授業中小試験 ・授業中の解答状況等）
再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）
●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で60点に達していてもｃが55点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語c」のみの再考査は行いません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習を重視します。指示された演習問題については、自分で教科書の説明や辞書を参照しながら解いて、授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席

・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。

・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他：朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典　／白水社：白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典　：旺文社

ロワイヤル仏和辞典　：旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語はａ・ｂ・ｃ・dの総合点で４単位まとめて評価します。　フランス語ｃは、医・歯のクラスを、前期の理解度によって２クラスに分けます。フランス語c(中島)、フランス語c（満島）どちらのクラスで履修するかは、９月に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

満島　直子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

中島　ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

満島　直子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

中島　ひかる:毎週月曜　16：30～18：00　教養部管理研究棟３階フランス語研究室

時間割番号	000209		
科目名	フランス語ｃ		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：水曜3限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期水曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

授業の到達目標(SB0s)

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	13:10−14:40	11番教室	第1回	半過去・大過去・受動態	中島　ひかる
2	10/7	13:10−14:40	11番教室	第2回	半過去・大過去・受動態	中島　ひかる
3	10/14	13:10−14:40	11番教室	第3回	関係代名詞	中島　ひかる
4	10/21	13:10−14:40	11番教室	第4回	関係代名詞	中島　ひかる
5	10/28	13:10−14:40	11番教室	第5回	比較級・最上級	中島　ひかる
6	11/4	13:10−14:40	11番教室	第6回	比較級・最上級	中島　ひかる
7	11/11	13:10−14:40	11番教室	第7回	中性代名詞	中島　ひかる
8	11/18	13:10−14:40	11番教室	第8回	中性代名詞	中島　ひかる
9	11/25	13:10−14:40	11番教室	第9回	単純未来・前未来、現在分詞・ジェロンディフ	中島　ひかる
10	12/2	13:10−14:40	11番教室	第10回	単純未来・前未来、現在分詞・ジェロンディフ	中島　ひかる
11	12/9	13:10−14:40	11番教室	第11回	条件法	中島　ひかる
12	12/16	13:10−14:40	11番教室	第12回	条件法	中島　ひかる
13	1/6	13:10−14:40	11番教室	第13回	接続法	中島　ひかる
14	1/13	13:10−14:40	11番教室	第14回	接続法	中島　ひかる
15	1/20	13:10−14:40	11番教室	第15回	単純過去・話法	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。
授業明細に記した予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・レポート 0 %・
　その他 10 %（授業中小試験 ・授業中の解答状況等）
再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）

●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語c」のみの再考査は行いません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習を重視します。指示された演習問題については、自分で教科書の説明や辞書を参照しながら解いて、授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典　／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典　:旺文社
ロワイヤル仏和辞典　:旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。　フランス語 c は、医・歯のクラスを、前期の理解度によって 2 クラスに分けます。フランス語c(中島)、フランス語c(満島)どちらのクラスで履修するかは、9月に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜　16:30～18:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000210		
科目名	フランス語ｄ		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語dの中島が担当する授業は仏作文・講読の授業になります。
目的：自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。同時に読解力を養う
概要：簡単なフランス語のテキストをもとに、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。

授業の到達目標(SBOs)

1）フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。
2）基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。
3）やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	13:10−14:40	11番教室	第1回	中島　ひかる
2	10/5	13:10−14:40	11番教室	第2回	中島　ひかる
3	10/19	13:10−14:40	11番教室	第3回	中島　ひかる
4	10/26	13:10−14:40	11番教室	第4回	中島　ひかる
5	11/2	13:10−14:40	11番教室	第5回	中島　ひかる
6	11/9	13:10−14:40	11番教室	第6回	中島　ひかる
7	11/16	13:10−14:40	11番教室	第7回	中島　ひかる
8	11/30	13:10−14:40	11番教室	第8回	中島　ひかる
9	12/7	13:10−14:40	11番教室	第9回	中島　ひかる
10	12/14	13:10−14:40	11番教室	第10回	中島　ひかる
11	12/21	13:10−14:40	11番教室	第11回	中島　ひかる
12	1/18	13:10−14:40	11番教室	第12回	中島　ひかる
13	1/25	13:10−14:40	11番教室	第13回	中島　ひかる
14	2/1	13:10−14:40	11番教室	第14回	中島　ひかる
15	2/8	13:10−14:40	11番教室	第15回	中島　ひかる

授業方法

時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、以下のような練習を行います。
適宜文法事項の復習を行います。
1：キーワード、キーセンテンスを抜き出す。
2：フランス語の質問にフランス語で答える。
3：1，2をもとにフランス語で簡単なレジュメを作る。

授業内容

テキストで扱う内容は以下のようになります（変更の可能性もあります）。
1回目：モナリザ盗難
2回目：パリで暮らす日本人
3回目：巡礼
4回目：ミネラル・ウォーターと水道水
5回目：モード

6 回目:ラ・マルセイエーズ
7 回目:エッフェル塔 120 周年
8 回目:原発政策
9 回目:女性の社会進出
10 回目:化粧品のパイオニア
11 回目:ジャンヌ・ダルク
12 回目:フランス語圏ケベック
13 回目:クリスマス・新年
14 回目:フランス語 d 総まとめ
15 回目:(2 月 8 日)フランス語総復習

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)60%・レポート 0 %・
その他 40 %(授業中の解答状況)
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)
●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語d」のみの再考査は実施しません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で扱うテキストについては、一通り目を通し、概略を把握しておいて下さい。また、キーワードや主要なセンテンスを書き出しておいて下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

A la page 精選集 2010-2012/加藤晴久他:朝日出版社, 2015
:朝日出版社

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000211		
科目名	フランス語 d		
担当教員	満島　直子		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：月曜 3 限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語 a （前期文法）修了者を対象とする会話入門。

パリから南へ、各地の名所を訪れながら旅するケンゾーの会話例をとおして、旅行や日常生活で使われる表現を学びます。

知っているはずの文法事項でも、実際に話そうとすると急には使えないことが判ると思います。

文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。

授業の到達目標(SBOs)

1） 文型の口頭練習、ディクテーションを通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。
2） 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	13:10−14:40	10番教室	第 1 回	満島　直子
2	10/5	13:10−14:40	10番教室	第 2 回	満島　直子
3	10/19	13:10−14:40	10番教室	第 3 回	満島　直子
4	10/26	13:10−14:40	10番教室	第 4 回	満島　直子
5	11/2	13:10−14:40	10番教室	第 5 回	満島　直子
6	11/9	13:10−14:40	10番教室	第 6 回	満島　直子
7	11/16	13:10−14:40	10番教室	第 7 回	満島　直子
8	11/30	13:10−14:40	10番教室	第 8 回	満島　直子
9	12/7	13:10−14:40	10番教室	第 9 回	満島　直子
10	12/14	13:10−14:40	10番教室	第 10 回	満島　直子
11	12/21	13:10−14:40	10番教室	第 11 回	満島　直子
12	1/18	13:10−14:40	10番教室	第 12 回	満島　直子
13	1/25	13:10−14:40	10番教室	第 13 回	満島　直子
14	2/1	13:10−14:40	10番教室	第 14 回	満島　直子
15	2/8	13:10−14:40	10番教室	第 15 回	満島　直子

授業方法

テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やディクテーションの練習を行います。

授業内容

開講時に、フランス語 a の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略することもあります。

文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。

1 回目：前期学習項目の確認と練習
2 目：お店で商品について話し合う
3 回目：レストランで食事する
4 回目：場所の説明をする、バカンスの様子を語る
5 回目: 時刻・天候を語る
6 回目：文化遺産について説明する
7 回目：電話をかける
8 回目：電子メールを書く（複合過去 1）

9 回目：留守録を残す（複合過去 2）
10 回目： 未来のことを語る
11 回目：過去のことを語る（半過去・大過去）
12 回目：総合口頭練習
13 回目：面接
14 回目：ディクテ等
15 回目：フランス語総復習

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）40%・レポート 0 %・その他 60 %（授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %）
期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。
再評価：有（再評価方法 「フランス語」としての再試験）
●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語d」のみの再考査は実施しません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を活用したり、手で文を書き写す等の作業も有効です。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

Akashi Nobuko, Amelie et Kenzo Plus rapide, Si on partait vers le sud ?, Editions Asahi, 2013
（明石伸子、『アメリとケンゾー プリュ・ラピッド （パリから南への旅）』、朝日出版社、2013）

参考書

授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。
辞書については、フランス語 a・b・c・d のシラバスを参照してください。

他科目との関連

フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島（作文・講読）、満島（聞き取り・会話）のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

満島 直子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

満島 直子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000212		
科目名	フランス語ｄ		
担当教員	中島　ひかる		
開講時期	後期	対象年次	1

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語dの中島が担当する授業は仏作文・講読の授業になります。
目的：自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。同時に読解力を養う
概要：簡単なフランス語のテキストを元に、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。

授業の到達目標(SBOs)

1）フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。
2）基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。
3）やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	14:50−16:20	11番教室	第1回	中島　ひかる
2	10/5	14:50−16:20	11番教室	第2回	中島　ひかる
3	10/19	14:50−16:20	11番教室	第3回	中島　ひかる
4	10/26	14:50−16:20	11番教室	第4回	中島　ひかる
5	11/2	14:50−16:20	11番教室	第5回	中島　ひかる
6	11/9	14:50−16:20	11番教室	第6回	中島　ひかる
7	11/16	14:50−16:20	11番教室	第7回	中島　ひかる
8	11/30	14:50−16:20	11番教室	第8回	中島　ひかる
9	12/7	14:50−16:20	11番教室	第9回	中島　ひかる
10	12/14	14:50−16:20	11番教室	第10回	中島　ひかる
11	12/21	14:50−16:20	11番教室	第11回	中島　ひかる
12	1/18	14:50−16:20	11番教室	第12回	中島　ひかる
13	1/25	14:50−16:20	11番教室	第13回	中島　ひかる
14	2/1	14:50−16:20	11番教室	第14回	中島　ひかる
15	2/8	14:50−16:20	11番教室	第15回	中島　ひかる

授業方法

時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、以下のような練習を行います。
適宜文法事項の復習を行います。
1：キーワード、キーセンテンスを抜き出す。
2：フランス語の質問にフランス語で答える。
3：1．2をもとにフランス語で簡単なレジュメを作る。

授業内容

テキストで扱う内容は以下のようになります（変更の可能性もあります）。
1回目：モナリザ盗難
2回目：パリで暮らす日本人
3回目：巡礼
4回目：ミネラル・ウォーターと水道水
5回目：モード

6 回目:ラ・マルセイエーズ
7 回目:エッフェル塔 120 周年
8 回目:原発政策
9 回目:女性の社会進出
10 回目:化粧品のパイオニア
11 回目:ジャンヌ・ダルク
12 回目:フランス語圏ケベック
13 回目:クリスマス・新年
14 回目:フランス語 d 総まとめ
15 回目:(2 月 8 日)フランス語総復習

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)60%・レポート 0 %・
その他 40 %(授業中の解答状況)
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)
●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語d」のみの再考査は実施しません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で扱うテキストについては、一通り目を通し、概略を把握しておいて下さい。また、キーワードや主要なセンテンスを書き出しておいて下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

A la page 精選集 2010-2012/加藤晴久他:朝日出版社, 2015
:朝日出版社

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000213		
科目名	フランス語 d		
担当教員	満島　直子		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：月曜 4 限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語 a （前期文法）修了者を対象とする会話入門。

パリから南へ、各地の名所を訪れながら旅するケンゾーの会話例をとおして、旅行や日常生活で使われる表現を学びます。

知っているはずの文法事項でも、実際に話そうとすると急には使えないことが判ると思います。

文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。

授業の到達目標(SBOs)

1） 文型の口頭練習、ディクテーションを通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。
2） 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	14:50−16:20	10番教室	第 1 回	満島　直子
2	10/5	14:50−16:20	10番教室	第 2 回	満島　直子
3	10/19	14:50−16:20	10番教室	第 3 回	満島　直子
4	10/26	14:50−16:20	10番教室	第 4 回	満島　直子
5	11/2	14:50−16:20	10番教室	第 5 回	満島　直子
6	11/9	14:50−16:20	10番教室	第 6 回	満島　直子
7	11/16	14:50−16:20	10番教室	第 7 回	満島　直子
8	11/30	14:50−16:20	10番教室	第 8 回	満島　直子
9	12/7	14:50−16:20	10番教室	第 9 回	満島　直子
10	12/14	14:50−16:20	10番教室	第 10 回	満島　直子
11	12/21	14:50−16:20	10番教室	第 11 回	満島　直子
12	1/18	14:50−16:20	10番教室	第 12 回	満島　直子
13	1/25	14:50−16:20	10番教室	第 13 回	満島　直子
14	2/1	14:50−16:20	10番教室	第 14 回	満島　直子
15	2/8	14:50−16:20	10番教室	第 15 回	満島　直子

授業方法

テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やディクテーションの練習を行います。

授業内容

開講時に、フランス語 a の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略することもあります。

文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。

1 回目：前期学習項目の確認と練習
2 目：お店で商品について話し合う
3 回目：レストランで食事する
4 回目：場所の説明をする、バカンスの様子を語る
5 回目：時刻・天候を語る
6 回目：文化遺産について説明する
7 回目：電話をかける
8 回目：電子メールを書く（複合過去 1）

9 回目：留守録を残す（複合過去 2）
10 回目： 未来のことを語る
11 回目：過去のことを語る（半過去・大過去）
12 回目：総合口頭練習
13 回目：面接
14 回目：ディクテ等
15 回目：フランス語総復習

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）40%・レポート 0 %・その他 60 %（授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %）
期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。
再評価：有（再評価方法 「フランス語」としての再試験）
●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語d」のみの再考査は実施しません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を活用したり、手で文を書き写す等の作業も有効です。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
・a・b・c・d 各考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は a・b 合わせての出席率、再試験の受験資格は a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

アメリとケンゾー ： パリから南への旅／明石伸子, ロランス・ニコラ 著,：朝日出版社, 2010

参考書

授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。
辞書については、フランス語 a・b・c・d のシラバスを参照してください。

他科目との関連

フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島（作文・講読）、満島（聞き取り・会話）のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

満島 直子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

満島 直子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
中島 ひかる:毎週月曜 16：30～18：00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000225		
科目名	中国語 a		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：月曜3限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。
中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。
このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	9番教室	第1回	家永　真幸
2	4/20	13:10-14:40	9番教室	第2回	家永　真幸
3	4/27	13:10-14:40	9番教室	第3回	家永　真幸
4	5/11	13:10-14:40	9番教室	第4回	家永　真幸
5	5/18	13:10-14:40	9番教室	第5回	家永　真幸
6	5/25	13:10-14:40	9番教室	第6回	家永　真幸
7	6/1	13:10-14:40	9番教室	第7回	家永　真幸
8	6/8	13:10-14:40	9番教室	第8回	家永　真幸
9	6/15	13:10-14:40	9番教室	第9回	家永　真幸
10	6/22	13:10-14:40	9番教室	第10回	家永　真幸
11	6/29	13:10-14:40	9番教室	第11回	家永　真幸
12	7/6	13:10-14:40	9番教室	第12回	家永　真幸
13	7/13	13:10-14:40	9番教室	第13回	家永　真幸
14	7/27	13:10-14:40	9番教室	第14回	家永　真幸
15	7/30	13:10-14:40	9番教室	第15回	家永　真幸

授業方法

時間割の名義上は a/c（前期文法／後期文法）と b/d（前期会話／後期会話）に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。
学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。
進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。

授業内容

教科書の順番通り学習を進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「結果補語」「様態補語」の用法あたりまで扱う予定です。

成績評価の方法

評価：期末試験40％・小テスト40％・その他（平常点）20％
再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 予習は不要ですが、復習と暗唱は必須。授業中は積極的に大きな声を出すことが求められます。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席 いずれの受験資格も、中国語 a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。
教科書 基礎漢語／駒場中国語教育研究会 編,楊凱栄, 吉川雅之, 張麗群 著,：白帝社, 2010
参考書 Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996 やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書版もあります。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日　PM.12:20-PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000226		
科目名	中国語 a		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：水曜3限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。
中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。
このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	9番教室	第1回	家永　真幸
2	4/22	13:10-14:40	9番教室	第2回	家永　真幸
3	5/13	13:10-14:40	9番教室	第3回	家永　真幸
4	5/20	13:10-14:40	9番教室	第4回	家永　真幸
5	5/27	13:10-14:40	9番教室	第5回	家永　真幸
6	6/3	13:10-14:40	9番教室	第6回	家永　真幸
7	6/10	13:10-14:40	9番教室	第7回	家永　真幸
8	6/17	13:10-14:40	9番教室	第8回	家永　真幸
9	6/24	13:10-14:40	9番教室	第9回	家永　真幸
10	7/1	13:10-14:40	9番教室	第10回	家永　真幸
11	7/8	13:10-14:40	9番教室	第11回	家永　真幸
12	7/15	13:10-14:40	9番教室	第12回	家永　真幸
13	7/22	13:10-14:40	9番教室	第13回	家永　真幸
14	7/29	13:10-14:40	9番教室	第14回	家永　真幸
15	7/31	13:10-14:40	9番教室	第15回	家永　真幸

授業方法

時間割の名義上は a/c（前期文法／後期文法）と b/d（前期会話／後期会話）に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。
学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。
進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。

授業内容

教科書の順番通り学習を進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「結果補語」「様態補語」の用法あたりまで扱う予定です。

成績評価の方法

評価：期末試験40％・小テスト40％・その他（平常点）20％
再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 予習は不要ですが、復習と暗唱は必須。授業中は積極的に大きな声を出すことが求められます。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席 いずれの受験資格も、中国語 a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。
教科書 基礎漢語／駒場中国語教育研究会 編,楊凱栄, 吉川雅之, 張麗群 著,:白帝社, 2010
参考書 Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996 やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書版もあります。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日　PM.12:20-PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000227		
科目名	中国語ｂ		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：水曜2限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。
中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。
このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、１年間を通じて体得していただきたいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	9 番教室	第 1 回	家永　真幸
2	4/22	10:50-12:20	9 番教室	第 2 回	家永　真幸
3	5/13	10:50-12:20	9 番教室	第 3 回	家永　真幸
4	5/20	10:50-12:20	9 番教室	第 4 回	家永　真幸
5	5/27	10:50-12:20	9 番教室	第 5 回	家永　真幸
6	6/3	10:50-12:20	9 番教室	第 6 回	家永　真幸
7	6/10	10:50-12:20	9 番教室	第 7 回	家永　真幸
8	6/17	10:50-12:20	9 番教室	第 8 回	家永　真幸
9	6/24	10:50-12:20	9 番教室	第 9 回	家永　真幸
10	7/1	10:50-12:20	9 番教室	第 10 回	家永　真幸
11	7/8	10:50-12:20	9 番教室	第 11 回	家永　真幸
12	7/15	10:50-12:20	9 番教室	第 12 回	家永　真幸
13	7/22	10:50-12:20	9 番教室	第 13 回	家永　真幸
14	7/29	10:50-12:20	9 番教室	第 14 回	家永　真幸
15	7/31	10:50-12:20	9 番教室	第 15 回	家永　真幸

授業方法

時間割の名義上は a/c（前期文法／後期文法）と b/d（前期会話／後期会話）に分かれていますが、１人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。
学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。
進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。

授業内容

教科書の順番通り学習を進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「結果補語」「様態補語」の用法あたりまで扱う予定です。

成績評価の方法

評価：期末試験40％・小テスト40％・その他（平常点）20％
再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 予習は不要ですが、復習と暗唱は必須。授業中は積極的に大きな声を出すことが求められます。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席 いずれの受験資格も、中国語 a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。
教科書 基礎漢語／駒場中国語教育研究会 編,楊凱栄, 吉川雅之, 張麗群 著,:白帝社, 2010
参考書 Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996 やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書版もあります。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日　PM.12:20-PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000228		
科目名	中国語ｂ		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間：月曜4限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。
中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。
このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、１年間を通じて体得していただきたいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	14:50-16:20	9 番教室	第 1 回	家永　真幸
2	4/20	14:50-16:20	9 番教室	第 2 回	家永　真幸
3	4/27	14:50-16:20	9 番教室	第 3 回	家永　真幸
4	5/11	14:50-16:20	9 番教室	第 4 回	家永　真幸
5	5/18	14:50-16:20	9 番教室	第 5 回	家永　真幸
6	5/25	14:50-16:20	9 番教室	第 6 回	家永　真幸
7	6/1	14:50-16:20	9 番教室	第 7 回	家永　真幸
8	6/8	14:50-16:20	9 番教室	第 8 回	家永　真幸
9	6/15	14:50-16:20	9 番教室	第 9 回	家永　真幸
10	6/22	14:50-16:20	9 番教室	第 10 回	家永　真幸
11	6/29	14:50-16:20	9 番教室	第 11 回	家永　真幸
12	7/6	14:50-16:20	9 番教室	第 12 回	家永　真幸
13	7/13	14:50-16:20	9 番教室	第 13 回	家永　真幸
14	7/27	14:50-16:20	9 番教室	第 14 回	家永　真幸
15	7/30	14:50-16:20	9 番教室	第 15 回	家永　真幸

授業方法

時間割の名義上は a/c（前期文法／後期文法）と b/d（前期会話／後期会話）に分かれていますが、１人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。
学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。
進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。

授業内容

教科書の順番通り学習を進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「結果補語」「様態補語」の用法あたりまで扱う予定です。

成績評価の方法

評価：期末試験40％・小テスト40％・その他（平常点）20％
再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 予習は不要ですが、復習と暗唱は必須。授業中は積極的に大きな声を出すことが求められます。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席 いずれの受験資格も、中国語 a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。
教科書 基礎漢語／駒場中国語教育研究会 編,楊凱栄, 吉川雅之, 張麗群 著,:白帝社, 2010
参考書 Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996 やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書版もあります。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日　PM.12:20-PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000229		
科目名	中国語ｃ		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：水曜2限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

選択必修「中国語」の後期の授業です。前期の教科書を引き続き使用します。

授業の到達目標(SB0s)

日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	9番教室	第1回	家永　真幸
2	10/7	10:50-12:20	9番教室	第2回	家永　真幸
3	10/14	10:50-12:20	9番教室	第3回	家永　真幸
4	10/21	10:50-12:20	9番教室	第4回	家永　真幸
5	10/28	10:50-12:20	9番教室	第5回	家永　真幸
6	11/4	10:50-12:20	9番教室	第6回	家永　真幸
7	11/11	10:50-12:20	9番教室	第7回	家永　真幸
8	11/18	10:50-12:20	9番教室	第8回	家永　真幸
9	11/25	10:50-12:20	9番教室	第9回	家永　真幸
10	12/2	10:50-12:20	9番教室	第10回	家永　真幸
11	12/9	10:50-12:20	9番教室	第11回	家永　真幸
12	12/16	10:50-12:20	9番教室	第12回	家永　真幸
13	1/6	10:50-12:20	9番教室	第13回	家永　真幸
14	1/13	10:50-12:20	9番教室	第14回	家永　真幸
15	1/20	10:50-12:20	9番教室	第15回	家永　真幸

授業方法

時間割の名義上は a/c（前期文法／後期文法）と b/d（前期会話／後期会話）に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。
前期に引き続き、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。
11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬（予定）には短いスピーチを発表していただきます。

授業内容

教科書の順番通り学習を進めます。「兼語文」「使役」から「把構文」「方向補語」あたりまで進む予定です。年明け以降は実践向けのプリントを教材として配布します。

成績評価の方法

評価：期末試験40％・小テスト+スピーチ40％・その他（平常点）20％
再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予習は不要ですが、復習と暗唱は必須。授業中は積極的に大きな声を出すことが求められます。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
いずれの受験資格も、中国語 a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

基礎漢語／駒場中国語教育研究会 編,楊凱栄, 吉川雅之, 張麗群 著,:白帝社, 2010
参考書 Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996 やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書版もあります。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日　PM.12:20-PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000230		
科目名	中国語ｃ		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：水曜3限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

選択必修「中国語」の後期の授業です。前期の教科書を引き続き使用します。

授業の到達目標(SB0s)

日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10-14:40	9番教室	第1回	家永　真幸
2	10/7	13:10-14:40	9番教室	第2回	家永　真幸
3	10/14	13:10-14:40	9番教室	第3回	家永　真幸
4	10/21	13:10-14:40	9番教室	第4回	家永　真幸
5	10/28	13:10-14:40	9番教室	第5回	家永　真幸
6	11/4	13:10-14:40	9番教室	第6回	家永　真幸
7	11/11	13:10-14:40	9番教室	第7回	家永　真幸
8	11/18	13:10-14:40	9番教室	第8回	家永　真幸
9	11/25	13:10-14:40	9番教室	第9回	家永　真幸
10	12/2	13:10-14:40	9番教室	第10回	家永　真幸
11	12/9	13:10-14:40	9番教室	第11回	家永　真幸
12	12/16	13:10-14:40	9番教室	第12回	家永　真幸
13	1/6	13:10-14:40	9番教室	第13回	家永　真幸
14	1/13	13:10-14:40	9番教室	第14回	家永　真幸
15	1/20	13:10-14:40	9番教室	第15回	家永　真幸

授業方法

時間割の名義上は a/c（前期文法／後期文法）と b/d（前期会話／後期会話）に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。
前期に引き続き、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。
11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬（予定）には短いスピーチを発表していただきます。

授業内容

教科書の順番通り学習を進めます。「兼語文」「使役」から「把構文」「方向補語」あたりまで進む予定です。年明け以降は実践向けのプリントを教材として配布します。

成績評価の方法

評価：期末試験40％・小テスト+スピーチ40％・その他（平常点）20％
再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予習は不要ですが、復習と暗唱は必須。授業中は積極的に大きな声を出すことが求められます。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
いずれの受験資格も、中国語 a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

基礎漢語／駒場中国語教育研究会 編,楊凱栄, 吉川雅之, 張麗群 著,:白帝社, 2010
参考書 Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996 やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書版もあります。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日　PM.12:20–PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000231		
科目名	中国語 d		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：月曜3限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

選択必修「中国語」の後期の授業です。前期の教科書を引き続き使用します。

授業の到達目標(SB0s)

日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	9 番教室	第 1 回	家永　真幸
2	10/5	13:10-14:40	9 番教室	第 2 回	家永　真幸
3	10/19	13:10-14:40	9 番教室	第 3 回	家永　真幸
4	10/26	13:10-14:40	9 番教室	第 4 回	家永　真幸
5	11/2	13:10-14:40	9 番教室	第 5 回	家永　真幸
6	11/9	13:10-14:40	9 番教室	第 6 回	家永　真幸
7	11/16	13:10-14:40	9 番教室	第 7 回	家永　真幸
8	11/30	13:10-14:40	9 番教室	第 8 回	家永　真幸
9	12/7	13:10-14:40	9 番教室	第 9 回	家永　真幸
10	12/14	13:10-14:40	9 番教室	第 10 回	家永　真幸
11	12/21	13:10-14:40	9 番教室	第 11 回	家永　真幸
12	1/18	13:10-14:40	9 番教室	第 12 回	家永　真幸
13	1/25	13:10-14:40	9 番教室	第 13 回	家永　真幸
14	2/1	13:10-14:40	9 番教室	第 14 回	家永　真幸
15	2/8	13:10-14:40	9 番教室	第 15 回	家永　真幸

授業方法

時間割の名義上は a/c（前期文法／後期文法）と b/d（前期会話／後期会話）に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。
前期に引き続き、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。
11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬（予定）には短いスピーチを発表していただきます。

授業内容

教科書の順番通り学習を進めます。「兼語文」「使役」から「把構文」「方向補語」あたりまで進む予定です。年明け以降は実践向けのプリントを教材として配布します。

成績評価の方法

評価：期末試験40%・小テスト+スピーチ40%・その他（平常点）20%
再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予習は不要ですが、復習と暗唱は必須。授業中は積極的に大きな声を出すことが求められます。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
いずれの受験資格も、中国語 a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

基礎漢語／駒場中国語教育研究会 編楊凱栄, 吉川雅之, 張麗群 著,:白帝社, 2010
参考書 Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996 やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書版もあります。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日　PM.12:20-PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000232		
科目名	中国語 d		
担当教員	家永　真幸		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：月曜4限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

選択必修「中国語」の後期の授業です。前期の教科書を引き続き使用します。

授業の到達目標(SB0s)

日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	14:50-16:20	9 番教室	第 1 回	家永　真幸
2	10/5	14:50-16:20	9 番教室	第 2 回	家永　真幸
3	10/19	14:50-16:20	9 番教室	第 3 回	家永　真幸
4	10/26	14:50-16:20	9 番教室	第 4 回	家永　真幸
5	11/2	14:50-16:20	9 番教室	第 5 回	家永　真幸
6	11/9	14:50-16:20	9 番教室	第 6 回	家永　真幸
7	11/16	14:50-16:20	9 番教室	第 7 回	家永　真幸
8	11/30	14:50-16:20	9 番教室	第 8 回	家永　真幸
9	12/7	14:50-16:20	9 番教室	第 9 回	家永　真幸
10	12/14	14:50-16:20	9 番教室	第 10 回	家永　真幸
11	12/21	14:50-16:20	9 番教室	第 11 回	家永　真幸
12	1/18	14:50-16:20	9 番教室	第 12 回	家永　真幸
13	1/25	14:50-16:20	9 番教室	第 13 回	家永　真幸
14	2/1	14:50-16:20	9 番教室	第 14 回	家永　真幸
15	2/8	14:50-16:20	9 番教室	第 15 回	家永　真幸

授業方法

時間割の名義上は a/c（前期文法／後期文法）と b/d（前期会話／後期会話）に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。
前期に引き続き、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。
11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬（予定）には短いスピーチを発表していただきます。

授業内容

教科書の順番通り学習を進めます。「兼語文」「使役」から「把構文」「方向補語」あたりまで進む予定です。年明け以降は実践向けのプリントを教材として配布します。

成績評価の方法

評価：期末試験40%・小テスト+スピーチ40%・その他（平常点）20%
再評価：有　（再評価方法　「中国語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

予習は不要ですが、復習と暗唱は必須。授業中は積極的に大きな声を出すことが求められます。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
いずれの受験資格も、中国語 a・b・c・d 合わせての出席率で決定する。

教科書

基礎漢語／駒場中国語教育研究会 編,楊凱栄, 吉川雅之, 張麗群 著,:白帝社, 2010
参考書 Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996 やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書版もあります。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日　PM.12:20-PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000234		
科目名	スペイン語 a		
担当教員	笛田　千容		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:　月曜4限
対象学科:　医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表3−4)外国文化を理解する)

授業の目的、概要等

世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。

授業の到達目標(SBOs)

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。
3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	14:50−16:20	3 番教室	第 1 回	笛田　千容
2	4/20	14:50−16:20	3 番教室	第 2 回	笛田　千容
3	4/27	14:50−16:20	3 番教室	第 3 回	笛田　千容
4	5/11	14:50−16:20	3 番教室	第 4 回	笛田　千容
5	5/18	14:50−16:20	3 番教室	第 5 回	笛田　千容
6	5/25	14:50−16:20	3 番教室	第 6 回	笛田　千容
7	6/1	14:50−16:20	3 番教室	第 7 回	笛田　千容
8	6/8	14:50−16:20	3 番教室	第 8 回	笛田　千容
9	6/15	14:50−16:20	3 番教室	第 9 回	笛田　千容
10	6/22	14:50−16:20	3 番教室	第 10 回	笛田　千容
11	6/29	14:50−16:20	3 番教室	第 11 回	笛田　千容
12	7/6	14:50−16:20	3 番教室	第 12 回	笛田　千容
13	7/13	14:50−16:20	3 番教室	第 13 回	笛田　千容
14	7/27	14:50−16:20	3 番教室	第 14 回	笛田　千容
15	7/30	14:50−16:20	3 番教室	第 15 回	笛田　千容

授業方法

文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の練習を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行います。
第 1 回:アルファベットと発音
第 2 回:名詞と冠詞
第 3 回:形容詞と指示詞
第 4 回:主語と ser 動詞
第 5 回:estar 動詞と所有詞
第 6 回:hay と時刻・曜日・月日の表現
第 7 回:ar 動詞と目的語
第 8 回:er 動詞と ir 動詞
第 9 回:不規則活用 1
第 10 回:不規則活用 2
第 11 回:不規則活用 3
第 12 回:目的格人称代名詞

第 13 回:まとめと補足
第 14 回:期末試験
第 15 回:期末試験の返却と解説

成績評価の方法

評価 : 試験70% ・ レポート0% ・ その他(授業中小試験・出席)30%
再評価: 有(再評価方法 試験)
●abcd を総合して成績を評価します。全体で小テストと出席30%、定期試験70%の割合です。
●前期は ab 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行ないます。
●ab の再考査を9月に行ないます。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

演習問題は教員の指示どおり、予習してきて下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。

教科書

教科書:青砥清一ほか『プラサ・アミーゴス― スペイン語で話そうⅠ―』

参考書

辞書:小型のもので構いませんので、必ず入手して授業に持参して下さい。 小型のものとしては、小学館『プログレッシブスペイン語辞典』『ポケットプログレッシブ辞典』、白水社の『パスポート初級スペイン語辞典』などをお勧めします。

連絡先

笛田 千容:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

笛田 千容:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000827		
科目名	スペイン語 a		
担当教員	佐藤　正樹		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:　月曜4限
対象学科:　医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表3−4)外国文化を理解する)

授業の目的、概要等

世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。

授業の到達目標(SBOs)

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。
3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	14:50−16:20	2 番教室	第 1 回	佐藤　正樹
2	4/20	14:50−16:20	2 番教室	第 2 回	佐藤　正樹
3	4/27	14:50−16:20	2 番教室	第 3 回	佐藤　正樹
4	5/11	14:50−16:20	2 番教室	第 4 回	佐藤　正樹
5	5/18	14:50−16:20	2 番教室	第 5 回	佐藤　正樹
6	5/25	14:50−16:20	2 番教室	第 6 回	佐藤　正樹
7	6/1	14:50−16:20	2 番教室	第 7 回	佐藤　正樹
8	6/8	14:50−16:20	2 番教室	第 8 回	佐藤　正樹
9	6/15	14:50−16:20	2 番教室	第 9 回	佐藤　正樹
10	6/22	14:50−16:20	2 番教室	第 10 回	佐藤　正樹
11	6/29	14:50−16:20	2 番教室	第 11 回	佐藤　正樹
12	7/6	14:50−16:20	2 番教室	第 12 回	佐藤　正樹
13	7/13	14:50−16:20	2 番教室	第 13 回	佐藤　正樹
14	7/27	14:50−16:20	2 番教室	第 14 回	佐藤　正樹
15	7/30	14:50−16:20	2 番教室	第 15 回	佐藤　正樹

授業方法

文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の練習を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行います。
第 1 回:アルファベットと発音
第 2 回:名詞と冠詞
第 3 回:形容詞と指示詞
第 4 回:主語と ser 動詞
第 5 回:estar 動詞と所有詞
第 6 回:hay と時刻・曜日・月日の表現
第 7 回:ar 動詞と目的語
第 8 回:er 動詞と ir 動詞
第 9 回:不規則活用 1
第 10 回:不規則活用 2
第 11 回:不規則活用 3
第 12 回:目的格人称代名詞

第 13 回:まとめと補足
第 14 回:期末試験
第 15 回:期末試験の返却と解説

成績評価の方法

評価 : 試験70% ・ レポート0% ・ その他(授業中小試験・出席)30%
再評価: 有(再評価方法 試験)
●abcd を総合して成績を評価します。全体で小テストと出席30%、定期試験70%の割合です。
●前期は ab 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行ないます。
●ab の再考査を9月に行ないます。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

演習問題は教員の指示どおり、予習してきて下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。

教科書

教科書:青砥清一ほか『プラサ・アミーゴス― スペイン語で話そうⅠ―』

参考書

辞書:小型のもので構いませんので、必ず入手して授業に持参して下さい。 小型のものとしては、小学館『プログレッシブスペイン語辞典』『ポケットプログレッシブ辞典』、白水社の『パスポート初級スペイン語辞典』などをお勧めします。

連絡先

中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000235		
科目名	スペイン語ｂ		
担当教員	佐藤　正樹		
開講時期	前期	対象年次	1

曜日・時間:　水曜3限
対象学科:　医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表3−4)外国文化を理解する)

授業の目的、概要等

世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。

授業の到達目標(SBOs)

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。
3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	13:10−14:40	10番教室	第1回	佐藤　正樹
2	4/22	13:10−14:40	10番教室	第2回	佐藤　正樹
3	5/13	13:10−14:40	10番教室	第3回	佐藤　正樹
4	5/20	13:10−14:40	10番教室	第4回	佐藤　正樹
5	5/27	13:10−14:40	10番教室	第5回	佐藤　正樹
6	6/3	13:10−14:40	10番教室	第6回	佐藤　正樹
7	6/10	13:10−14:40	10番教室	第7回	佐藤　正樹
8	6/17	13:10−14:40	10番教室	第8回	佐藤　正樹
9	6/24	13:10−14:40	10番教室	第9回	佐藤　正樹
10	7/1	13:10−14:40	10番教室	第10回	佐藤　正樹
11	7/8	13:10−14:40	10番教室	第11回	佐藤　正樹
12	7/15	13:10−14:40	10番教室	第12回	佐藤　正樹
13	7/22	13:10−14:40	10番教室	第13回	佐藤　正樹
14	7/29	13:10−14:40	10番教室	第14回	佐藤　正樹
15	7/31	13:10−14:40	10番教室	第15回	佐藤　正樹

授業方法

文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の練習を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行います。
第1回:アルファベットと発音
第2回:名詞と冠詞
第3回:形容詞と指示詞
第4回:主語とser動詞
第5回:estar動詞と所有詞
第6回:hayと時刻・曜日・月日の表現
第7回:ar動詞と目的語
第8回:er動詞とir動詞
第9回:不規則活用1
第10回:不規則活用2
第11回:不規則活用3
第12回:目的格人称代名詞

第 13 回:まとめと補足
第 14 回:期末試験
第 15 回:期末試験の返却と解説

成績評価の方法

評価 : 試験70% ・ レポート0% ・ その他(授業中小試験・出席)30%
再評価: 有(再評価方法 試験)
●abcd を総合して成績を評価します。全体で小テストと出席30%、定期試験70%の割合です。
●前期は ab 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行ないます。
●ab の再考査を9月に行ないます。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

演習問題は教員の指示どおり、予習してきて下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。

教科書

教科書:青砥清一ほか『プラサ・アミーゴス― スペイン語で話そう Ⅰ ―』(朝日出版社、2011 年)

参考書

辞書:小型のもので構いませんので、必ず入手して授業に持参して下さい。 小型のものとしては、小学館『プログレッシブスペイン語辞典』『ポケットプログレッシブ辞典』、白水社の『パスポート初級スペイン語辞典』などをお勧めします。

連絡先

中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000236		
科目名	スペイン語ｃ		
担当教員	笛田　千容		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:　月曜4限
対象学科:　医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表3−4)外国文化を理解する)

授業の目的、概要等

世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。

授業の到達目標(SBOs)

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。
3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	14:50−16:20	3番教室	第1回	笛田　千容
2	10/5	14:50−16:20	3番教室	第2回	笛田　千容
3	10/19	14:50−16:20	3番教室	第3回	笛田　千容
4	10/26	14:50−16:20	3番教室	第4回	笛田　千容
5	11/2	14:50−16:20	3番教室	第5回	笛田　千容
6	11/9	14:50−16:20	3番教室	第6回	笛田　千容
7	11/16	14:50−16:20	3番教室	第7回	笛田　千容
8	11/30	14:50−16:20	3番教室	第8回	笛田　千容
9	12/7	14:50−16:20	3番教室	第9回	笛田　千容
10	12/14	14:50−16:20	3番教室	第10回	笛田　千容
11	12/21	14:50−16:20	3番教室	第11回	笛田　千容
12	1/18	14:50−16:20	3番教室	第12回	笛田　千容
13	1/25	14:50−16:20	3番教室	第13回	笛田　千容
14	2/1	14:50−16:20	3番教室	第14回	笛田　千容
15	2/8	14:50−16:20	3番教室	第15回	笛田　千容

授業方法

文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の演習を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行ないます。
第1回:gustar型動詞
第2回:語幹母音変化動詞
第3回:1人称単数形が不規則な動詞
第4回:再帰動詞
第5回:無人称文
第6回:比較級と最上級
第7回:過去分詞と現在分詞
第8回:点過去
第9回:点過去(不規則形)
第10回:線過去
第11回:未来
第12回:命令文

第 13 回:まとめと補足
第 14 回:期末試験
第 15 回:期末試験の返却と解説

成績評価の方法

評価 : 試験70% ・ レポート0% ・ その他(授業中小試験・出席)30%
再評価: 有(再評価方法 試験)
●abcd を総合して成績を評価します。全体で小テストと出席30%、定期試験70%の割合です。
●後期は cd 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行ないます。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

演習問題は教員の指示どおり、予習してきて下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。

教科書

教科書:青砥清一ほか『プラサ・アミーゴス― スペイン語で話そう Ⅱ ―』(朝日出版社、2012 年)

参考書

辞書:小型のもので構いませんので、必ず入手して授業に持参して下さい。 小型のものとしては、小学館『プログレッシブスペイン語辞典』『ポケットプログレッシブ辞典』、白水社の『パスポート初級スペイン語辞典』などをお勧めします。

連絡先

笛田 千容:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

笛田 千容:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000828		
科目名	スペイン語ｃ		
担当教員	佐藤　正樹		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:　月曜4限
対象学科:　医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表3−4)外国文化を理解する)

授業の目的、概要等

世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。

授業の到達目標(SBOs)

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。
3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	14:50−16:20	2番教室	第1回	佐藤　正樹
2	10/5	14:50−16:20	2番教室	第2回	佐藤　正樹
3	10/19	14:50−16:20	2番教室	第3回	佐藤　正樹
4	10/26	14:50−16:20	2番教室	第4回	佐藤　正樹
5	11/2	14:50−16:20	2番教室	第5回	佐藤　正樹
6	11/9	14:50−16:20	2番教室	第6回	佐藤　正樹
7	11/16	14:50−16:20	2番教室	第7回	佐藤　正樹
8	11/30	14:50−16:20	2番教室	第8回	佐藤　正樹
9	12/7	14:50−16:20	2番教室	第9回	佐藤　正樹
10	12/14	14:50−16:20	2番教室	第10回	佐藤　正樹
11	12/21	14:50−16:20	2番教室	第11回	佐藤　正樹
12	1/18	14:50−16:20	2番教室	第12回	佐藤　正樹
13	1/25	14:50−16:20	2番教室	第13回	佐藤　正樹
14	2/1	14:50−16:20	2番教室	第14回	佐藤　正樹
15	2/8	14:50−16:20	2番教室	第15回	佐藤　正樹

授業方法

文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の演習を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行ないます。
第1回:gustar型動詞
第2回:語幹母音変化動詞
第3回:1人称単数形が不規則な動詞
第4回:再帰動詞
第5回:無人称文
第6回:比較級と最上級
第7回:過去分詞と現在分詞
第8回:点過去
第9回:点過去(不規則形)
第10回:線過去
第11回:未来
第12回:命令文

第 13 回:まとめと補足 第 14 回:期末試験 第 15 回:期末試験の返却と解説
成績評価の方法 評価 : 試験70% ・ レポート0% ・ その他(授業中小試験・出席)30% 再評価: 有(再評価方法 試験) ●abcd を総合して成績を評価します。全体で小テストと出席30%、定期試験70%の割合です。 ●後期は cd 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行ないます。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 演習問題は教員の指示どおり、予習してきて下さい。
試験の受験資格 ・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席 ・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。 ・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。
教科書 教科書:青砥清一ほか『プラサ・アミーゴス― スペイン語で話そう Ⅱ ―』(朝日出版社、2012 年)
参考書 辞書:小型のもので構いませんので、必ず入手して授業に持参して下さい。 小型のものとしては、小学館『プログレッシブスペイン語辞典』『ポケットプログレッシブ辞典』、白水社の『パスポート初級スペイン語辞典』などをお勧めします。

時間割番号	000237		
科目名	スペイン語ｄ		
担当教員	佐藤　正樹		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:　水曜3限
対象学科:　医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表3−4)外国文化を理解する)

授業の目的、概要等

世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。

授業の到達目標(SBOs)

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。
3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10−14:40	10番教室	第1回	佐藤　正樹
2	10/7	13:10−14:40	10番教室	第2回	佐藤　正樹
3	10/14	13:10−14:40	10番教室	第3回	佐藤　正樹
4	10/21	13:10−14:40	10番教室	第4回	佐藤　正樹
5	10/28	13:10−14:40	10番教室	第5回	佐藤　正樹
6	11/4	13:10−14:40	10番教室	第6回	佐藤　正樹
7	11/11	13:10−14:40	10番教室	第7回	佐藤　正樹
8	11/18	13:10−14:40	10番教室	第8回	佐藤　正樹
9	11/25	13:10−14:40	10番教室	第9回	佐藤　正樹
10	12/2	13:10−14:40	10番教室	第10回	佐藤　正樹
11	12/9	13:10−14:40	10番教室	第11回	佐藤　正樹
12	12/16	13:10−14:40	10番教室	第12回	佐藤　正樹
13	1/6	13:10−14:40	10番教室	第13回	佐藤　正樹
14	1/13	13:10−14:40	10番教室	第14回	佐藤　正樹
15	1/20	13:10−14:40	10番教室	第15回	佐藤　正樹

授業方法

文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の演習を行います。

授業内容

以下の文法項目の説明と演習を行ないます。
第1回:gustar 型動詞
第2回:語幹母音変化動詞
第3回:1人称単数形が不規則な動詞
第4回:再帰動詞
第5回:無人称文
第6回:比較級と最上級
第7回:過去分詞と現在分詞
第8回:点過去
第9回:点過去(不規則形)
第10回:線過去
第11回:未来
第12回:命令文

第 13 回:まとめと補足
第 14 回:期末試験
第 15 回:期末試験の返却と解説

成績評価の方法

評価 : 試験70% ・ レポート0% ・ その他(授業中小試験・出席)30%
再評価: 有(再評価方法 試験)
●abcd を総合して成績を評価します。全体で小テストと出席30%、定期試験70%の割合です。
●後期は cd 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行ないます。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

演習問題は教員の指示どおり、予習してきて下さい。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。
・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。

教科書

教科書:青砥清一ほか『プラサ・アミーゴス― スペイン語で話そう Ⅱ ―』(朝日出版社、2012 年)

参考書

辞書:小型のもので構いませんので、必ず入手して授業に持参して下さい。 小型のものとしては、小学館『プログレッシブスペイン語辞典』『ポケットプログレッシブ辞典』、白水社の『パスポート初級スペイン語辞典』などをお勧めします。

連絡先

中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000238				
科目名	物理学実験				
担当教員	檜枝　光憲, 越野　和樹, 水谷　雅志, 梅崎　馨章				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

物理学実験、化学実験、生物学実験を 5 週間ずつ交代で、前後期各 1 回、計 10 週行う。
クラス分けと時間割に注意すること。

主な講義場所

物理学生実験室(1F)、計算機実習室(2F)、物理教員実験室 1(3F)

授業の目的、概要等

目的:物理学実験がどのような手順で行われるかを学ぶ。
実験するにあたり、ある目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながらやり方を改良しつつ着実に目的に向かって進み、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物事を処理するときの基本的な方法を学ぶ。
概要:4 項目の実験を各々2 週間ずつ、原則 1 人 1 台の実験機器を用いて行う。

授業の到達目標(SB0s)

1. 交流回路における回路素子の働きを理解し、複素インピーダンスと位相差を求めることができる。
2. 分光光度計の原理を理解し、可視部・紫外部の吸収測定を利用した実験計画を立案することができる。
3. レンズの働きを理解し、凸レンズおよび組み合わせレンズの焦点距離、主点の位置を求めることができる。
4. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。

授業計画

回	日付	時刻	授業題目	担当教員
1-3	4/17	13:10-18:00	第 1 回	檜枝　光憲, 越野　和樹, 水谷　雅志, 梅崎　馨章
4-6	4/24	13:10-18:00	第 2 回	檜枝　光憲, 越野　和樹, 水谷　雅志, 梅崎　馨章
7-9	5/1	13:10-18:00	第 3 回	檜枝　光憲, 越野　和樹, 水谷　雅志, 梅崎　馨章
10-12	5/8	13:10-18:00	第 4 回	檜枝　光憲, 越野　和樹, 水谷　雅志, 梅崎　馨章
13-15	5/15	13:10-18:00	第 5 回	檜枝　光憲, 越野　和樹, 水谷　雅志, 梅崎　馨章
16-18	5/22	13:10-18:00	第 6 回	檜枝　光憲, 越野　和樹, 水谷　雅志, 梅崎　馨章
19-21	5/29	13:10-18:00	第 7 回	檜枝　光憲, 越野　和樹, 水谷　雅志,

				梅崎 馨章
22-24	6/5	13:10-18:00	第8回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
25-27	6/12	13:10-18:00	第9回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
28-30	6/19	13:10-18:00	第10回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
31-33	6/26	13:10-18:00	第11回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
34-36	7/3	13:10-18:00	第12回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
37-39	7/10	13:10-18:00	第13回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
40-42	7/17	13:10-18:00	第14回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
43-45	7/24	13:10-18:00	第15回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
46-48	10/2	13:10-18:00	第16回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
49-51	10/9	13:10-18:00	第17回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
52-54	10/16	13:10-18:00	第18回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
55-57	10/23	13:10-18:00	第19回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志,

				梅崎 馨章
58-60	10/30	13:10-18:00	第 20 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
61-63	11/6	13:10-18:00	第 21 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
64-66	11/13	13:10-18:00	第 22 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
67-69	11/20	13:10-18:00	第 23 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
70-72	11/27	13:10-18:00	第 24 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
73-75	12/4	13:10-18:00	第 25 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
76-78	12/11	13:10-18:00	第 26 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
79-81	12/18	13:10-18:00	第 27 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
82-84	1/8	13:10-18:00	第 28 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
85-87	1/15	13:10-18:00	第 29 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章
88-90	1/22	13:10-18:00	第 30 回	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章

授業方法

実験

授業内容

物理実験学の講義を実験初日（第 1 週）に行うので休まないこと。
物理学の講義と平行して行うので、未学習の分野については自学自習で補っておくこと。
十分な予習と実験計画を立てて実験に望むことが必要である。

下記の 4 項目の実験を、項目ごとに 2 回の実験日で行う。グループ分けは、実験初日に発表する。
1. エレクトロニクス（担当：水谷）
2. メチルオレンジ水溶液の光の吸収（担当：檜枝）
3. レンズの焦点距離と主点の位置（担当：梅崎）
4. 計算機による運動方程式の解法（担当：越野）

成績評価の方法
レポート、平常点、実験ノートで総合評価する。

成績評価の基準
特に平常点では、遅刻や実験中の態度不良による減点が大きいので注意すること。
なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席すること、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。

準備学習などについての具体的な指示
テキストは、実験初日に配布する。

教科書
物理学実験／東京医科歯科大学教養部自然科学系物理学分野編

時間割番号	000239				
科目名	化学実験				
担当教員	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:金曜日・3～5時限(前期5回、後期5回)
対象学科:医学科、歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る
　別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。

授業の到達目標(SBOs)

一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。
自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。

授業計画

回	日付	時刻	授業題目	担当教員
1-3	4/17	13:10-18:00	第1回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
4-6	4/24	13:10-18:00	第2回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
7-9	5/1	13:10-18:00	第3回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
10-12	5/8	13:10-18:00	第4回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
13-15	5/15	13:10-18:00	第5回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
16-18	5/22	13:10-18:00	第6回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
19-21	5/29	13:10-18:00	第7回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
22-24	6/5	13:10-18:00	第8回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
25-27	6/12	13:10-18:00	第9回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
28-30	6/19	13:10-18:00	第10回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之

31-33	6/26	13:10-18:00	第 11 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
34-36	7/3	13:10-18:00	第 12 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
37-39	7/10	13:10-18:00	第 13 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
40-42	7/17	13:10-18:00	第 14 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
43-45	7/24	13:10-18:00	第 15 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
46-48	10/2	13:10-18:00	第 16 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
49-51	10/9	13:10-18:00	第 17 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
52-54	10/16	13:10-18:00	第 18 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
55-57	10/23	13:10-18:00	第 19 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
58-60	10/30	13:10-18:00	第 20 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
61-63	11/6	13:10-18:00	第 21 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
64-66	11/13	13:10-18:00	第 22 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
67-69	11/20	13:10-18:00	第 23 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
70-72	11/27	13:10-18:00	第 24 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
73-75	12/4	13:10-18:00	第 25 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
76-78	12/11	13:10-18:00	第 26 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之

79-81	12/18	13:10-18:00	第 27 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
82-84	1/8	13:10-18:00	第 28 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
85-87	1/15	13:10-18:00	第 29 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之
88-90	1/22	13:10-18:00	第 30 回	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之

授業方法

実習および講義による

授業内容

前期

1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義（一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等）
2. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） その１（１族－３族の分析）
3. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） その２（３－５族の分析）
4. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） テスト（１－５族混合未知試料の分析）
5. ペーパークロマトグラフィー／分光光度計をもちいた比色分析(考察実験)

後期

6. 容量分析（その１） 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方
7. 容量分析（その２） 容量分析テスト（酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定）
8. 容量分析（その３） キレート滴定 牛乳、天然水中の Ca2+の定量
9. 容量分析（応用編） 酸化還元滴定（ヨウ素滴定）によるビタミンＣの定量／沈殿滴定による塩素イオンの定量／過マンガン酸滴定による過酸化水素水の濃度および硫酸第一鉄の純度 など（考察実験）
10. 考察実験 各自が組みたてた実験計画を実施する

成績評価の方法

実験ノート（一次記録およびレポート）40%、実験テスト 10%、発表会参加 10%

その他（実験時の取り組み方等）40%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

「化学実験」（東京医科歯科大学教養部化学教室編）

参考書

高木誠司著：定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂

高木誠司著：定量分析の実験と計算、共立出版

柴田村治著：無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、 共立出版

D.T.Plummer 著：廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人

連絡先

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000240				
科目名	生物学実験				
担当教員	松本　幸久, 服部　淳彦, 中野　真樹, 伊藤　正則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜日３～５限
・対象学科・専攻：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－２）自然現象を探究するための手法を知る。
　４－３）自然現象を探求するための基本的手法を身につける。

授業の目的、概要等

講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、観察の仕方、生物と機器の取り扱い方法、観察・測定した結果の数量化などの基本を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1）生物を適切に取り扱うことができる。
2）実験機器を正しく使用することができる。
3）肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。
4）現象から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画・実施することができる。
5）データを整理・分析し、レポートにまとめることができる。

授業計画

回	日付	時刻	授業題目	担当教員
1-3	4/17	13:10-18:00	第１回	松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 中野　真樹
4-6	4/24	13:10-18:00	第２回	松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 中野　真樹
7-9	5/1	13:10-18:00	第３回	松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 中野　真樹
10-12	5/8	13:10-18:00	第４回	松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 中野　真樹
13-15	5/15	13:10-18:00	第５回	松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 中野　真樹
16-18	5/22	13:10-18:00	第６回	松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 中野　真樹
19-21	5/29	13:10-18:00	第７回	松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則,

				中野 真樹
22-24	6/5	13:10-18:00	第8回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
25-27	6/12	13:10-18:00	第9回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
28-30	6/19	13:10-18:00	第10回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
31-33	6/26	13:10-18:00	第11回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
34-36	7/3	13:10-18:00	第12回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
37-39	7/10	13:10-18:00	第13回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
40-42	7/17	13:10-18:00	第14回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
43-45	7/24	13:10-18:00	第15回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
46-48	10/2	13:10-18:00	第16回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
49-51	10/9	13:10-18:00	第17回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
52-54	10/16	13:10-18:00	第18回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
55-57	10/23	13:10-18:00	第19回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則,

				中野 真樹
58-60	10/30	13:10-18:00	第 20 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
61-63	11/6	13:10-18:00	第 21 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
64-66	11/13	13:10-18:00	第 22 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
67-69	11/20	13:10-18:00	第 23 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
70-72	11/27	13:10-18:00	第 24 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
73-75	12/4	13:10-18:00	第 25 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
76-78	12/11	13:10-18:00	第 26 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
79-81	12/18	13:10-18:00	第 27 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
82-84	1/8	13:10-18:00	第 28 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
85-87	1/15	13:10-18:00	第 29 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹
88-90	1/22	13:10-18:00	第 30 回	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 中野 真樹

授業方法

実習による。

授業内容

肉眼あるいは光学顕微鏡下で、生物の体のつくりや生命現象を観察する。行動観察を通して、仮説とそれを証明するための実験計画を立て、実際に実験を行うことによって科学の基本的な手順を学ぶ。加えて、DNA の抽出・分離等を通して、分子生物学の基本的な手法を学ぶ。

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 80%

その他 20%（実習態度等）

再評価：有

*欠席は原則認めない。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実験を行う前に必ずテキストを読んでおくこと。

教科書

「新 生物学実験テキスト」 東京医科歯科大学教養部生物学教室 編（2015 年版）

参考図書は随時紹介する。

履修上の注意事項

欠席は原則認めない。 教員がとる出欠を優先し、授業開始時間（13：10）に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。

連絡先

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

中野 真樹:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

服部 淳彦:毎週 水曜：12：30～14：00 金曜：10：30～12：30 ヒポ 4F 教員研究室（A2）

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2：00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

中野 真樹:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000241				
科目名	科学基礎実験Ｔ				
担当教員	勝又　敏行, 奈良　雅之, 伊藤　正則, 服部　淳彦, 松本　幸久				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：火曜２～４限（第9週～15 週）
・対象学科：保健衛生学科検査技術学専攻
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表 2-2)自然現象を探究するための手法を知る
　別表 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

無機定性分析、容量分析、光学顕微鏡を用いた観察を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。１人１セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質（硫化水素など）の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む（考察実験）。

授業の到達目標(SBOs)

実験ノートのきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	12/1	10:50-16:20	7 番教室	第 1 回	勝又　敏行, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
4-6	12/8	10:50-16:20	7 番教室	第 2 回	勝又　敏行, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
7-10	12/15	09:10-16:20	7 番教室	第 3 回	勝又　敏行, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
11-14	12/22	09:10-16:20	7 番教室	第 4 回	勝又　敏行, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
15-17	1/5	10:50-16:20	7 番教室	第 5 回	勝又　敏行, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
18-20	1/12	10:50-16:20	7 番教室	第 6 回	勝又　敏行, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 伊藤　正則,

					松本　幸久
21-23	1/19	10:50-16:20	7 番教室	第 7 回	勝又　敏行, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
24-26	1/26	10:50-16:20	7 番教室	第 8 回	勝又　敏行, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久

授業方法

実習による

授業内容

1.　科学基礎実験総論／席決め／実験準備と講義（一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等）
2.　無機金属イオンの分析（硫化水素法）　その１（1 族－5 族の分析）
3.　無機金属イオンの分析（硫化水素法）（１－５族混合未知試料の分析）
4.　容量分析（その１）　中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方
5.　容量分析（その２）　容量分析テスト　（酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定）
6. 考察実験　各自が組みたてた実験計画を実施する
7. 光学顕微鏡を用いた観察（１）　顕微鏡の使い方
8. 光学顕微鏡を用いた観察（２）　血液塗抹標本の作製

成績評価の方法

実験ノート（一次記録およびレポート）40%、実験テスト 10%、発表会参加 10%

その他（実験時の取り組み方等）40%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

連絡先

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

服部　淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又　敏行:毎週水、木曜日　12:00-13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

服部　淳彦:毎週　水曜：12：30～14：00　金曜：10：30～12：30　ヒポ 4F　教員研究室（A2）

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000242				
科目名	科学基礎実験 N･O･K				
担当教員	大塚　淳, 勝又　敏行, 奈良　雅之				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：木曜日（前半7回）／3～5時限
・対象学科：保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科
・募集人数：48 名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－２）自然現象を探求するための手法を知る
　４－３）自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

定性分析、容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質（硫化水素など）の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む（考察実験）。

授業の到達目標(SBOs)

一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。
自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	10/1	13:10-18:00	7 番教室	第 1 回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
4-6	10/8	13:10-18:00	7 番教室	第 2 回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
7-9	10/15	13:10-18:00	7 番教室	第 3 回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
10-12	10/22	13:10-18:00	7 番教室	第 4 回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
13-15	10/29	13:10-18:00	7 番教室	第 5 回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
16-18	11/5	13:10-18:00	7 番教室	第 6 回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
19-21	11/12	13:10-18:00	7 番教室	第 7 回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之
22-24	11/19	13:10-18:00	7 番教室	第 8 回	勝又　敏行, 大塚　淳, 奈良　雅之

授業方法

実習および講義による

授業内容

1. 科学基礎実験総論／席決め／実験準備と講義（一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等）

2. 容量分析(1)中和滴定:食酢中の酸の定量
3. 容量分析(2)キレート滴定による水中のカルシウムの定量
4. 生体分子の定性分析　デンプンの加水分解と呈色反応
5. 無機定性分析(1)金属イオンの反応(硫化水素法による 2～3 族イオンの分析)
6. 無機定性分析(2)金属イオンの反応(硫化水素法による 3～4 族イオンの分析)
7. 考察実験 各自が組みたてた実験計画を実施する
8. 発表会(希望者)

成績評価の方法

評価　:　出席点、面接点、実験ノート(一次記録およびレポート)、考察実験、発表会等について総合的に評価する。

再評価:　有(再評価方法:発表会)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

生命科学のための化学実験／高橋知義 ほか:東京教学社, 2007

基礎化学実験 安全オリエンテーション／山口和也、山本仁:東京化学同人, 2007

基礎化学実験／東京大学教養学部化学部会 編,:東京化学同人, 2012

他科目との関連

本科目か「科学基礎演習」のいずれかを選択すること。　夏休み前に希望調査を行い、希望者数が募集人数を超えた場合は抽選を行う。

履修上の注意事項

出欠は授業開始時に教員がとる。出席が3分の2以上を満たさないと、不合格となる。

連絡先

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

勝又　敏行:毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000243				
科目名	科学基礎演習				
担当教員	越野　和樹, 大塚　淳				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：木曜3限
・対象学科：保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科
・募集人数：50 名まで
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表２－１）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
　別表４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

看護や口腔保健に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学や物理の基礎を演習することを基本とする。前半は物理（力学、電磁気学の基礎）について、後半は化学（物理化学の基礎）について演習を行う。

授業の到達目標(SBOs)

看護や口腔保健の専門科目で役立つ化学と物理の基礎を演習を通して学ぶ。具体的には，下記の授業計画で挙げている各項目に関して，基礎的な演習問題に取り組むことで理解を深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	13:10-14:40	10番教室	第 1 回	大塚　淳
2	10/8	13:10-14:40	10番教室	第 2 回	大塚　淳, 越野　和樹
3	10/15	13:10-14:40	10番教室	第 3 回	大塚　淳, 越野　和樹
4	10/22	13:10-14:40	10番教室	第 4 回	大塚　淳, 越野　和樹
5	10/29	13:10-14:40	10番教室	第 5 回	大塚　淳, 越野　和樹
6	11/5	13:10-14:40	10番教室	第 6 回	大塚　淳, 越野　和樹
7	11/12	13:10-14:40	10番教室	第 7 回	大塚　淳, 越野　和樹
8	11/19	13:10-14:40	10番教室	第 8 回	大塚　淳, 越野　和樹
9	11/26	13:10-14:40	10番教室	第 9 回	大塚　淳, 越野　和樹
10	12/3	13:10-14:40	10番教室	第 10 回	大塚　淳, 越野　和樹
11	12/10	13:10-14:40	10番教室	第 11 回	大塚　淳, 越野　和樹
12	12/17	13:10-14:40	10番教室	第 12 回	大塚　淳, 越野　和樹
13	1/7	13:10-14:40	10番教室	第 13 回	大塚　淳, 越野　和樹
14	1/14	13:10-14:40	10番教室	第 14 回	大塚　淳, 越野　和樹
15	1/21	13:10-14:40	10番教室	第 15 回	大塚　淳, 越野　和樹

授業方法

講義と演習による

授業内容

物理

・静電気

・コンデンサー

・電流

・磁界と電磁誘導

・交流と電磁波

化学

・酸化・還元

・電池

・反応速度

・化学平衡

成績評価の方法

評価：試験（物理分野・化学分野毎の考査）１００％・レポート０％・その他（出席状況が考慮される）

再評価：有（再評価方法　物理分野と化学分野を合わせた学期末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表２」による

準備学習などについての具体的な指示

物理：講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする。

化学：参考書等で関連分野にあらかじめ目を通しておく。

試験の受験資格

考査・再試験の受験資格：３分の２以上出席

参考書

高校の物理をイチからおさらいする本／鈴木誠治 著,：中経出版, 2006

化学／小島一光 著,：化学同人, 2002

医療・看護系のための化学入門／塩田三千夫, 山崎昶 共著,：裳華房, 2003

他科目との関連

本科目か「科学基礎実験Ｎ・Ｏ・Ｋ」のいずれかを選択すること。夏休み前に希望調査を行う。

オフィスアワー

越野　和樹:毎週月曜日 12:00―13:00　ヒポクラテス４階

時間割番号	000244				
科目名	情報科学N				
担当教員	徳永　伸一，津垣　正男				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：月曜５限
対象学科・専攻：保健衛生学科 看護学専攻

主な講義場所
計算機実習室

授業の目的、概要等
情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。
（1）情報処理：電子情報を活用するための基本的な技術。
（2）プログラミング：論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法の基礎。

授業の到達目標(SBOs)
（1）情報処理：E メール、テキストエディタ、ワープロ、タイピング等の基本的な技術を習得する。
（2）プログラミング：十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、ルーレット、多角形の描画など基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予想できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	16:30-18:00	計算機実習室	第１回	徳永　伸一，津垣　正男
2	4/20	16:30-18:00	計算機実習室	第２回	徳永　伸一，津垣　正男
3	4/27	16:30-18:00	計算機実習室	第３回	徳永　伸一，津垣　正男
4	5/11	16:30-18:00	計算機実習室	第４回	徳永　伸一，津垣　正男
5	5/18	16:30-18:00	計算機実習室	第５回	徳永　伸一，津垣　正男
6	5/25	16:30-18:00	計算機実習室	第６回	徳永　伸一，津垣　正男
7	6/1	16:30-18:00	計算機実習室	第７回	徳永　伸一，津垣　正男
8	6/8	16:30-18:00	計算機実習室	第８回	徳永　伸一，津垣　正男
9	6/15	16:30-18:00	計算機実習室	第９回	徳永　伸一，津垣　正男
10	6/22	16:30-18:00	計算機実習室	第10回	徳永　伸一，津垣　正男
11	6/29	16:30-18:00	計算機実習室	第11回	徳永　伸一，津垣　正男
12	7/6	16:30-18:00	計算機実習室	第12回	徳永　伸一，津垣　正男
13	7/13	16:30-18:00	計算機実習室	第13回	徳永　伸一，津垣　正男
14	7/27	16:30-18:00	計算機実習室	第14回	徳永　伸一，津垣　正男
15	7/30	16:30-18:00	計算機実習室	第15回	徳永　伸一，津垣　正男

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS利用法、キーボード操作とタイピング演習
第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習
第3回(情報処理3) HTML演習
第4回(プログラミング1) 十進BASICの概要、プログラムの入力と実行
第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT文、PRINT文
第6回(プログラミング3) FOR～NEXT構文
第7回(プログラミング4) DEF文、組み込み関数
第8回(プログラミング5) グラフィックス
第9回(プログラミング6) IF～ENDIF構文
第10回(プログラミング7) DO～LOOP構文
第11回(プログラミング8) 配列
第12回(プログラミング9) 応用課題1
第13回(プログラミング10) 応用課題2
第14回(タイピング試験)
第15回(予備)

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、すべての課題を提出することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
(1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点)
(2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点)
なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講＋再試験 により行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行いますので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進みますので、各回の授業で疑問点を残さないように、しっかり復習すること。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web上の教材を利用する。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とします。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
プログラミングテキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

連絡先

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:月曜12:00-13:00(ヒポ4F 徳永研究室またはヒポ2F 計算機実習室)
金曜12:00-13:00(ヒポ4F 徳永研究室またはヒポ2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000245				
科目名	情報科学Ｔ				
担当教員	徳永　伸一，津垣　正男				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：月曜４限

対象学科・専攻：保健衛生学科　検査技術専攻

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

（1）情報処理：電子情報を活用するための基本的な技術。

（2）プログラミング：論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法の基礎。

授業の到達目標(SBOs)

（1）情報処理：E メール、テキストエディタ、ワープロ、タイピング等の基本的な技術を習得する。

（2）プログラミング：十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、ルーレット、多角形の描画など基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予想できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	14:50-16:20	計算機実習室	第 1 回	徳永　伸一，津垣　正男
2	4/20	14:50-16:20	計算機実習室	第 2 回	徳永　伸一，津垣　正男
3	4/27	14:50-16:20	計算機実習室	第 3 回	徳永　伸一，津垣　正男
4	5/11	14:50-16:20	計算機実習室	第 4 回	徳永　伸一，津垣　正男
5	5/18	14:50-16:20	計算機実習室	第 5 回	徳永　伸一，津垣　正男
6	5/25	14:50-16:20	計算機実習室	第 6 回	徳永　伸一，津垣　正男
7	6/1	14:50-16:20	計算機実習室	第 7 回	徳永　伸一，津垣　正男
8	6/8	14:50-16:20	計算機実習室	第 8 回	徳永　伸一，津垣　正男
9	6/15	14:50-16:20	計算機実習室	第 9 回	徳永　伸一，津垣　正男
10	6/22	14:50-16:20	計算機実習室	第 10 回	徳永　伸一，津垣　正男
11	6/29	14:50-16:20	計算機実習室	第 11 回	徳永　伸一，津垣　正男
12	7/6	14:50-16:20	計算機実習室	第 12 回	徳永　伸一，津垣　正男
13	7/13	14:50-16:20	計算機実習室	第 13 回	徳永　伸一，津垣　正男
14	7/27	14:50-16:20	計算機実習室	第 14 回	徳永　伸一，津垣　正男
15	7/30	14:50-16:20	計算機実習室	第 15 回	徳永　伸一，津垣　正男

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS利用法、キーボード操作とタイピング演習

第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習

第3回(情報処理3) HTML演習

第4回(プログラミング1) 十進BASICの概要、プログラムの入力と実行

第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT文、PRINT文

第6回(プログラミング3) FOR～NEXT構文

第7回(プログラミング4) DEF文、組み込み関数

第8回(プログラミング5) グラフィックス

第9回(プログラミング6) IF～ENDIF構文

第10回(プログラミング7) DO～LOOP構文

第11回(プログラミング8) 配列

第12回(プログラミング9) 応用課題1

第13回(プログラミング10) 応用課題2

第14回(タイピング試験)

第15回(予備)

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、すべての課題を提出することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。

(1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点)

(2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点)

なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講＋再試験 により行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行いますので、事前に復習しておくこと。

また、授業は段階的に進みますので、各回の授業で疑問点を残さないように、しっかり復習すること。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。

(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web上の教材を利用する。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とします。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

プログラミングテキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

時間割番号	000246				
科目名	情報科学 O・K				
担当教員	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:木曜 3 限
対象学科・専攻:口腔保健学科

主な講義場所
計算機実習室

授業の目的、概要等
情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。
(1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。
(2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法の基礎。

授業の到達目標(SBOs)
(1)情報処理:E メール、テキストエディタ、ワープロ、タイピング等の基本的な技術を習得する。
(2)プログラミング:十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、ルーレット、多角形の描画など基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予想できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	13:10-14:40	計算機実習室	第 1 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
2	4/23	13:10-14:40	計算機実習室	第 2 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
3	4/30	13:10-14:40	計算機実習室	第 3 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
4	5/7	13:10-14:40	計算機実習室	第 4 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
5	5/14	13:10-14:40	計算機実習室	第 5 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
6	5/21	13:10-14:40	計算機実習室	第 6 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
7	5/28	13:10-14:40	計算機実習室	第 7 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
8	6/4	13:10-14:40	計算機実習室	第 8 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
9	6/11	13:10-14:40	計算機実習室	第 9 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男
10	6/18	13:10-14:40	計算機実習室	第 10 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 津垣　正男

11	6/25	13:10-14:40	計算機実習室	第 11 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
12	7/2	13:10-14:40	計算機実習室	第 12 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
13	7/9	13:10-14:40	計算機実習室	第 13 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
14	7/16	13:10-14:40	計算機実習室	第 14 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
15	7/23	13:10-14:40	計算機実習室	第 15 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回(情報処理1) E メール(Web メール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習
第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習
第3回(情報処理3) HTML 演習
第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行
第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文
第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文
第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数
第8回(プログラミング5) グラフィックス
第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文
第 10 回(プログラミング7) DO～LOOP 構文
第 11 回(プログラミング8) 配列
第 12 回(プログラミング9) 応用課題1
第 13 回(プログラミング 10) 応用課題2
第 14 回(タイピング試験)
第 15 回(予備)

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、すべての課題を提出することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
(1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約 70 点満点)
(2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約 30 点満点)
なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講＋再試験 により行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行いますので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進みますので、各回の授業で疑問点を残さないように、しっかり復習すること。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web 上の教材を利用する。
履修上の注意事項 実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。　また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とします。
参照ホームページ 情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm プログラミングテキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm
連絡先 徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 徳永　伸一:月曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室） 金曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室） ＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000248				
科目名	情報処理(α)				
担当教員	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:木曜 2 限

対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を 1 限に履修する学生)

主な講義場所

計算機実習室および 6 番教室

(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標(SBOs)

・E メール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML 等の基本的な技術を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	10:50-12:20	計算機実習室	第 1 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
2	4/23	10:50-12:20	計算機実習室	第 2 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
3	4/30	10:50-12:20	計算機実習室	第 3 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
4	5/7	10:50-12:20	計算機実習室	第 4 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
5	5/14	10:50-12:20	計算機実習室	第 5 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
6	5/21	10:50-12:20	計算機実習室	第 6 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
7	5/28	10:50-12:20	計算機実習室	第 7 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
8	6/4	10:50-12:20	計算機実習室	第 8 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
9	6/11	10:50-12:20	計算機実習室	第 9 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
10	6/18	10:50-12:20	計算機実習室	第 10 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
11	6/25	10:50-12:20	計算機実	第 11 回	徳永　伸一,

			習室		中口 悦史, 八島 高将
12	7/2	10:50-12:20	計算機実習室	第 12 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
13	7/9	10:50-12:20	計算機実習室	第 13 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
14	7/16	10:50-12:20	計算機実習室	第 14 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
15	7/23	10:50-12:20	計算機実習室	第 15 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将

授業内容

第 1 回　情報セキュリティ、著作権
第 2 回　[計]E メール(Web メール)・LMS 利用法
第 3 回　パソコン・インターネットの基礎
第 4 回　[計]タイピング演習
第 5 回　無線 LAN 接続
第 6 回　[計]テキストエディタ演習
第 7 回　HTML 基礎
第 8 回　[計]HTML 演習
第 9 回　Excel 基礎
第 10 回　[計]Excel 演習(1)
第 11 回　データ処理の基礎
第 12 回　[計]Excel 演習(2)
第 13 回　総合演習
第 14 回　[計]Excel 演習(3)
第 15 回　[計]タイピング試験
([計]は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること)

成績評価の方法

出席および提出課題, タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席してすべての課題を提出し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なします。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
徳永　伸一:月曜 12:00-13:00(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 金曜 12:00-13:00(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) ＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000249				
科目名	情報処理(β)				
担当教員	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:木曜 1 限

対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を 2 限に履修する学生)

主な講義場所

計算機実習室および 6 番教室

(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標(SBOs)

・E メール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML 等の基本的な技術を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	09:10-10:40	計算機実習室	第 1 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
2	4/23	09:10-10:40	計算機実習室	第 2 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
3	4/30	09:10-10:40	計算機実習室	第 3 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
4	5/7	09:10-10:40	計算機実習室	第 4 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
5	5/14	09:10-10:40	計算機実習室	第 5 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
6	5/21	09:10-10:40	計算機実習室	第 6 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
7	5/28	09:10-10:40	計算機実習室	第 7 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
8	6/4	09:10-10:40	計算機実習室	第 8 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
9	6/11	09:10-10:40	計算機実習室	第 9 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
10	6/18	09:10-10:40	計算機実習室	第 10 回	徳永　伸一, 中口　悦史, 八島　高将
11	6/25	09:10-10:40	計算機実	第 11 回	徳永　伸一,

			習室		中口 悦史, 八島 高将
12	7/2	09:10-10:40	計算機実習室	第 12 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
13	7/9	09:10-10:40	計算機実習室	第 13 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
14	7/16	09:10-10:40	計算機実習室	第 14 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
15	7/23	09:10-10:40	計算機実習室	第 15 回	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将

授業内容

第 1 回　情報セキュリティ、著作権
第 2 回　[計]E メール(Web メール)・LMS 利用法
第 3 回　パソコン・インターネットの基礎
第 4 回　[計]タイピング演習
第 5 回　無線 LAN 接続
第 6 回　[計]テキストエディタ演習
第 7 回　HTML 基礎
第 8 回　[計]HTML 演習
第 9 回　Excel 基礎
第 10 回　[計]Excel 演習(1)
第 11 回　データ処理の基礎
第 12 回　[計]Excel 演習(2)
第 13 回　総合演習
第 14 回　[計]Excel 演習(3)
第 15 回　[計]タイピング試験
([計]は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること)

成績評価の方法

出席および提出課題, タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席してすべての課題を提出し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なします。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
徳永　伸一:月曜 12:00-13:00(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 金曜 12:00-13:00(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) ＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000250				
科目名	スポーツ・健康科学				
担当教員	水野　哲也, 谷木　龍男, 二宮　雅也, 清水　諭				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：金曜5限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所

1 番教室

授業の目的、概要等

　保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに理論的意義を学ぶことである。そして、その中で生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成についての理論を学び、そのより効果的な実践能力の基盤を養うことにある。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に付けることをその目的とする。
本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その具体的な内容は、身体文化論、保健医学、フィットネス科学等である。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の到達目標は、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することであり、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図り、学生自身の自己管理能力の基盤と心身に関する基礎的な教養を身につけることである。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	16:30-18:00	1 番教室	第 1 回	水野　哲也
2	4/24	16:30-18:00	1 番教室	第 2 回	水野　哲也
3	5/1	16:30-18:00	1 番教室	第 3 回	水野　哲也
4	5/8	16:30-18:00	1 番教室	第 4 回	水野　哲也
5	5/15	16:30-18:00	1 番教室	第 5 回	水野　哲也
6	5/22	16:30-18:00	1 番教室	第 6 回	水野　哲也
7	5/29	16:30-18:00	1 番教室	第 7 回	水野　哲也
8	6/5	16:30-18:00	1 番教室	第 8 回	水野　哲也
9	6/12	16:30-18:00	1 番教室	第 9 回	水野　哲也
10	6/19	16:30-18:00	1 番教室	第 10 回	水野　哲也
11	6/26	16:30-18:00	1 番教室	第 11 回	水野　哲也
12	7/3	16:30-18:00	1 番教室	第 12 回	水野　哲也
13	7/10	16:30-18:00	1 番教室	第 13 回	水野　哲也
14	7/17	16:30-18:00	1 番教室	第 14 回	水野　哲也
15	7/24	16:30-18:00	1 番教室	第 15 回	水野　哲也

授業方法

授業は講義形式で、内容別にそれぞれの専門家が分担で行う。

授業内容

　1．身体文化論
スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体とその教育の重要性及び意義について考える。
2．保健医学
　　感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討してゆく。また、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考える。

3. フィットネス科学(健康栄養学を含む)
健康の維持増進の観点から人の身体運動を生理学的な視点から捉え、その予防医学的手段としての価値や適正量などその現代的意義を中心に考えるとともに食事のあり方について、栄養素、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法などを概説する。また、睡眠を中心とした休養の重要性とそのメカニズムについても解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考える。

成績評価の方法

評価:定期試験期間に考査を実施し、その理解度を評価する。 試験 100%
(担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合がある)
再評価: 有 (レポートによる)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習を重視する。よって、授業で取り上げた内容について教科書および参考書等を参照しながら理解を深めて頂きたい。

参考書

現代霊性論/内田樹, 釈徹宗 [著],:講談社, 2013
スポーツ文化を学ぶ人のために/井上俊, 亀山佳明 編,:世界思想社, 1999
生き方としての健康科学/山崎喜比古, 朝倉隆司 編,:有信堂高文社, 2011
教養としてのスポーツ心理学/徳永幹雄 編著,:大修館書店, 2005

他科目との関連

実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な融合を図ることでより効果が上がるように設計されている。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp
清水 諭:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
谷木 龍男:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
二宮 雅也:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階
清水 諭:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
谷木 龍男:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
二宮 雅也:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000251				
科目名	スポーツ・健康科学				
担当教員	水野　哲也, 谷木　龍男, 清水　諭				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：木曜5限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所

1 番教室

授業の目的、概要等

　保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに理論的意義を学ぶことである。そして、その中で生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成についての理論を学び、そのより効果的な実践能力の基盤を養うことにある。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に付けることをその目的とする。
本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その具体的な内容は、身体文化論、保健医学、フィットネス科学等である。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の到達目標は、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することであり、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図り、学生自身の自己管理能力の基盤と心身に関する基礎的な教養を身につけることである。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	16:30-18:00	1 番教室	第 1 回	水野　哲也
2	4/23	16:30-18:00	1 番教室	第 2 回	水野　哲也
3	4/30	16:30-18:00	1 番教室	第 3 回	水野　哲也
4	5/7	16:30-18:00	1 番教室	第 4 回	水野　哲也
5	5/14	16:30-18:00	1 番教室	第 5 回	水野　哲也
6	5/21	16:30-18:00	1 番教室	第 6 回	水野　哲也
7	5/28	16:30-18:00	1 番教室	第 7 回	水野　哲也
8	6/4	16:30-18:00	1 番教室	第 8 回	水野　哲也
9	6/11	16:30-18:00	1 番教室	第 9 回	水野　哲也
10	6/18	16:30-18:00	1 番教室	第 10 回	水野　哲也
11	6/25	16:30-18:00	1 番教室	第 11 回	水野　哲也
12	7/2	16:30-18:00	1 番教室	第 12 回	水野　哲也
13	7/9	16:30-18:00	1 番教室	第 13 回	水野　哲也
14	7/16	16:30-18:00	1 番教室	第 14 回	水野　哲也
15	7/23	16:30-18:00	1 番教室	第 15 回	水野　哲也

授業方法

授業は講義形式で、内容別にそれぞれの専門家が分担で行う。

授業内容

1. 身体文化論

スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体とその教育の重要性及び意義について考える。

2. 保健医学

　感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討してゆく。また、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考える。

3. フィットネス科学（健康栄養学を含む）

健康の維持増進の観点から人の身体運動を生理学的な視点から捉え、その予防医学的手段としての価値や適正量などその現代的意義を中心に考えるとともに食事のあり方について、栄養素、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法などを概説する。また、睡眠を中心とした休養の重要性とそのメカニズムについても解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント（健全なライフスタイルの形成）の意義について考える。

成績評価の方法

評価：定期試験期間に考査を実施し、その理解度を評価する。 試験 100%

（担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合がある）

再評価： 有 （レポートによる）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習を重視する。よって、授業で取り上げた内容について教科書および参考書等を参照しながら理解を深めて頂きたい。

参考書

現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著],：講談社, 2013

スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編,：世界思想社, 1999

生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編,：有信堂高文社, 2011

教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著,：大修館書店, 2005

他科目との関連

実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な融合を図ることでより効果が上がるように設計されている。

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

清水 諭:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

谷木 龍男:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

二宮 雅也:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

清水 諭:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

谷木 龍男:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

二宮 雅也:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000252				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野　哲也, 今野　和志, 林　久仁則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：木曜3限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する
　別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学ぶことである。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれの方法を用いて客観的評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。
また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に必要な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。
そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

授業計画

回	日付	時刻	授業題目	担当教員
1	4/16	13:10-14:40	第1回	水野　哲也
2	4/23	13:10-14:40	第2回	水野　哲也
3	4/30	13:10-14:40	第3回	水野　哲也
4	5/7	13:10-14:40	第4回	水野　哲也
5	5/14	13:10-14:40	第5回	水野　哲也
6	5/21	13:10-14:40	第6回	水野　哲也
7	5/28	13:10-14:40	第7回	水野　哲也
8	6/4	13:10-14:40	第8回	水野　哲也
9	6/11	13:10-14:40	第9回	水野　哲也
10	6/18	13:10-14:40	第10回	水野　哲也
11	6/25	13:10-14:40	第11回	水野　哲也
12	7/2	13:10-14:40	第12回	水野　哲也
13	7/9	13:10-14:40	第13回	水野　哲也
14	7/16	13:10-14:40	第14回	水野　哲也
15	7/23	13:10-14:40	第15回	水野　哲也
16	10/1	13:10-14:40	第16回	水野　哲也
17	10/8	13:10-14:40	第17回	水野　哲也
18	10/15	13:10-14:40	第18回	水野　哲也

19	10/22	13:10-14:40	第 19 回	水野 哲也
20	10/29	13:10-14:40	第 20 回	水野 哲也
21	11/5	13:10-14:40	第 21 回	水野 哲也
22	11/12	13:10-14:40	第 22 回	水野 哲也
23	11/19	13:10-14:40	第 23 回	水野 哲也
24	11/26	13:10-14:40	第 24 回	水野 哲也
25	12/3	13:10-14:40	第 25 回	水野 哲也
26	12/10	13:10-14:40	第 26 回	水野 哲也
27	12/17	13:10-14:40	第 27 回	水野 哲也
28	1/7	13:10-14:40	第 28 回	水野 哲也
29	1/14	13:10-14:40	第 29 回	水野 哲也
30	1/21	13:10-14:40	第 30 回	水野 哲也

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、各学期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

授業内容

最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp
林 久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
今野 和志:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階
林 久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
今野 和志:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000254				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野　哲也, 今野　和志, 林　久仁則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：木曜4限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する
　別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学ぶことである。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれの方法を用いて客観的評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。
また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に必要な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。
そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

授業計画

回	日付	時刻	授業題目	担当教員
1	4/16	14:50-16:20	第1回	水野　哲也
2	4/23	14:50-16:20	第2回	水野　哲也
3	4/30	14:50-16:20	第3回	水野　哲也
4	5/7	14:50-16:20	第4回	水野　哲也
5	5/14	14:50-16:20	第5回	水野　哲也
6	5/21	14:50-16:20	第6回	水野　哲也
7	5/28	14:50-16:20	第7回	水野　哲也
8	6/4	14:50-16:20	第8回	水野　哲也
9	6/11	14:50-16:20	第9回	水野　哲也
10	6/18	14:50-16:20	第10回	水野　哲也
11	6/25	14:50-16:20	第11回	水野　哲也
12	7/2	14:50-16:20	第12回	水野　哲也
13	7/9	14:50-16:20	第13回	水野　哲也
14	7/16	14:50-16:20	第14回	水野　哲也
15	7/23	14:50-16:20	第15回	水野　哲也
16	10/1	14:50-16:20	第16回	水野　哲也
17	10/8	14:50-16:20	第17回	水野　哲也
18	10/15	14:50-16:20	第18回	水野　哲也

19	10/22	14:50-16:20	第 19 回	水野 哲也
20	10/29	14:50-16:20	第 20 回	水野 哲也
21	11/5	14:50-16:20	第 21 回	水野 哲也
22	11/12	14:50-16:20	第 22 回	水野 哲也
23	11/19	14:50-16:20	第 23 回	水野 哲也
24	11/26	14:50-16:20	第 24 回	水野 哲也
25	12/3	14:50-16:20	第 25 回	水野 哲也
26	12/10	14:50-16:20	第 26 回	水野 哲也
27	12/17	14:50-16:20	第 27 回	水野 哲也
28	1/7	14:50-16:20	第 28 回	水野 哲也
29	1/14	14:50-16:20	第 29 回	水野 哲也
30	1/21	14:50-16:20	第 30 回	水野 哲也

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、各学期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

授業内容

最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp
林 久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
今野 和志:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階
林 久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
今野 和志:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000253				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野　哲也, 髙岡　英氣, 林　久仁則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：金曜3限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する
　別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学ぶことである。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれの方法を用いて客観的評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。
また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に必要な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。
そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

授業計画

回	日付	時刻	授業題目	担当教員
1	4/17	13:10-14:40	第1回	水野　哲也
2	4/24	13:10-14:40	第2回	水野　哲也
3	5/1	13:10-14:40	第3回	水野　哲也
4	5/8	13:10-14:40	第4回	水野　哲也
5	5/15	13:10-14:40	第5回	水野　哲也
6	5/22	13:10-14:40	第6回	水野　哲也
7	5/29	13:10-14:40	第7回	水野　哲也
8	6/5	13:10-14:40	第8回	水野　哲也
9	6/12	13:10-14:40	第9回	水野　哲也
10	6/19	13:10-14:40	第10回	水野　哲也
11	6/26	13:10-14:40	第11回	水野　哲也
12	7/3	13:10-14:40	第12回	水野　哲也
13	7/10	13:10-14:40	第13回	水野　哲也
14	7/17	13:10-14:40	第14回	水野　哲也
15	7/24	13:10-14:40	第15回	水野　哲也
16	10/2	13:10-14:40	第16回	水野　哲也
17	10/9	13:10-14:40	第17回	水野　哲也
18	10/16	13:10-14:40	第18回	水野　哲也

19	10/23	13:10-14:40	第 19 回	水野 哲也
20	10/30	13:10-14:40	第 20 回	水野 哲也
21	11/6	13:10-14:40	第 21 回	水野 哲也
22	11/13	13:10-14:40	第 22 回	水野 哲也
23	11/20	13:10-14:40	第 23 回	水野 哲也
24	11/27	13:10-14:40	第 24 回	水野 哲也
25	12/4	13:10-14:40	第 25 回	水野 哲也
26	12/11	13:10-14:40	第 26 回	水野 哲也
27	12/18	13:10-14:40	第 27 回	水野 哲也
28	1/8	13:10-14:40	第 28 回	水野 哲也
29	1/15	13:10-14:40	第 29 回	水野 哲也
30	1/22	13:10-14:40	第 30 回	水野 哲也

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、各学期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

授業内容

最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp
林 久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
髙岡 英氣:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階
林 久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
髙岡 英氣:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000255				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野　哲也, 髙岡　英氣, 林　久仁則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：金曜4限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する
　別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学ぶことである。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれの方法を用いて客観的評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。
また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に必要な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。
そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

授業の到達目標(SBOs)

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

授業計画

回	日付	時刻	授業題目	担当教員
1	4/17	14:50-16:20	第1回	水野　哲也
2	4/24	14:50-16:20	第2回	水野　哲也
3	5/1	14:50-16:20	第3回	水野　哲也
4	5/8	14:50-16:20	第4回	水野　哲也
5	5/15	14:50-16:20	第5回	水野　哲也
6	5/22	14:50-16:20	第6回	水野　哲也
7	5/29	14:50-16:20	第7回	水野　哲也
8	6/5	14:50-16:20	第8回	水野　哲也
9	6/12	14:50-16:20	第9回	水野　哲也
10	6/19	14:50-16:20	第10回	水野　哲也
11	6/26	14:50-16:20	第11回	水野　哲也
12	7/3	14:50-16:20	第12回	水野　哲也
13	7/10	14:50-16:20	第13回	水野　哲也
14	7/17	14:50-16:20	第14回	水野　哲也
15	7/24	14:50-16:20	第15回	水野　哲也
16	10/2	14:50-16:20	第16回	水野　哲也
17	10/9	14:50-16:20	第17回	水野　哲也
18	10/16	14:50-16:20	第18回	水野　哲也

19	10/23	14:50-16:20	第 19 回	水野 哲也
20	10/30	14:50-16:20	第 20 回	水野 哲也
21	11/6	14:50-16:20	第 21 回	水野 哲也
22	11/13	14:50-16:20	第 22 回	水野 哲也
23	11/20	14:50-16:20	第 23 回	水野 哲也
24	11/27	14:50-16:20	第 24 回	水野 哲也
25	12/4	14:50-16:20	第 25 回	水野 哲也
26	12/11	14:50-16:20	第 26 回	水野 哲也
27	12/18	14:50-16:20	第 27 回	水野 哲也
28	1/8	14:50-16:20	第 28 回	水野 哲也
29	1/15	14:50-16:20	第 29 回	水野 哲也
30	1/22	14:50-16:20	第 30 回	水野 哲也

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、各学期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

授業内容

最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp
林 久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
髙岡 英氣:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階
林 久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
髙岡 英氣:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000812				
科目名	S・Topics in the News				
担当教員	フォス　パトリック				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜1限
・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学
・募集人数：12名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表3－5）

授業の目的、概要等

Do you keep up with the news? What's happening these days in Japan and around the world? More importantly, why are these events happenings? How might they affect you and other people in the future? What's your opinion about them?
It's essential to know what's going on in the world around you in order to have intelligent conversations with others and be a responsible citizen. However, understanding the news is not easy, particularly when it is in a foreign language. In this course, students will improve their understanding of current events and develop both their critical thinking skills and English abilities through reading, analyzing, and discussing articles on newsworthy topics.

授業の到達目標(SBOs)

By the end of this course, students will be able to:
1. Critically read news articles in English
2. Intelligently discuss (in English) a variety of current issues and events taking place in Japan and around the world

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	2番教室	第1回	フォス　パトリック
2	4/20	09:10-10:40	2番教室	第2回	フォス　パトリック
3	4/27	09:10-10:40	2番教室	第3回	フォス　パトリック
4	5/11	09:10-10:40	2番教室	第4回	フォス　パトリック
5	5/18	09:10-10:40	2番教室	第5回	フォス　パトリック
6	5/25	09:10-10:40	2番教室	第6回	フォス　パトリック
7	6/1	09:10-10:40	2番教室	第7回	フォス　パトリック
8	6/8	09:10-10:40	2番教室	第8回	フォス　パトリック
9	6/15	09:10-10:40	2番教室	第9回	フォス　パトリック
10	6/22	09:10-10:40	2番教室	第10回	フォス　パトリック
11	6/29	09:10-10:40	2番教室	第11回	フォス　パトリック
12	7/6	09:10-10:40	2番教室	第12回	フォス　パトリック

13	7/13	09:10-10:40	2番教室	第13回	フォス パトリック
14	7/27	09:10-10:40	2番教室	第14回	フォス パトリック
15	7/30	09:10-10:40	2番教室	第15回	フォス パトリック

授業方法

Discussion

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Group Discussions, Skills Instruction, and Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Because this course will focus on current issues and events, the topic for any particular class will depend on what is newsworthy at that time. Students will also occasionally choose articles to present and discuss. Throughout the course, the following critical reading/thinking skills will likely be addressed:

Separating fact from opinion

Identifying missing information

Differentiating causes and effects

Identifying perspectives and bias

Identifying generalizations, assumptions, and stereotypes

Evaluating tone and word choice

Distinguishing between emotional and logical arguments

Evaluating inferences

Evaluating evidence and credibility

Determining the validity of conclusions

Evaluating one's own reactions and opinions

成績評価の方法

評価: quizzes/response papers 20% attendance/participation/discussion presentations 50% comprehensive test or assignment 30%

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000820				
科目名	S・フランスとヨーロッパの現代				
担当教員	中島　ひかる				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：月曜2限
対象学科：全学科
受講資格：フランス語履修者でなくても可
募集人数：約 15 名
コンピテンシー：別表3―4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

目的：主としてフランスの社会・文化に関わる時事問題をとおして、ヨーロッパやアフリカも視野に入れながらフランス現代社会の一端を知る。

概要：フランスで最近話題になった社会現象や、文化的な出来事を取り上げ、その背景となる歴史や地理、社会制度についても理解を深めます。合わせて直近のニュース報道からも、今、話題になっている出来事を取り上げ、フランスやヨーロッパへの関心を高めます。

授業の到達目標(SBOs)

1）フランスやヨーロッパに対する興味を深め、基本的知識を得る。
2）フランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心の幅を広げる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	11番教室	第1回	中島　ひかる
2	4/20	10:50-12:20	11番教室	第2回	中島　ひかる
3	4/27	10:50-12:20	11番教室	第3回	中島　ひかる
4	5/11	10:50-12:20	11番教室	第4回	中島　ひかる
5	5/18	10:50-12:20	11番教室	第5回	中島　ひかる
6	5/25	10:50-12:20	11番教室	第6回	中島　ひかる
7	6/1	10:50-12:20	11番教室	第7回	中島　ひかる
8	6/8	10:50-12:20	11番教室	第8回	中島　ひかる
9	6/15	10:50-12:20	11番教室	第9回	中島　ひかる
10	6/22	10:50-12:20	11番教室	第10回	中島　ひかる
11	6/29	10:50-12:20	11番教室	第11回	中島　ひかる
12	7/6	10:50-12:20	11番教室	第12回	中島　ひかる
13	7/13	10:50-12:20	11番教室	第13回	中島　ひかる
14	7/27	10:50-12:20	11番教室	第14回	中島　ひかる
15	7/30	10:50-12:20	11番教室	第15回	中島　ひかる

授業方法

講義形式で、毎回、フランスでここ数年の間に話題になった社会現象や、文化的な出来事について 1、2のトピックスに選んで解説し、その背景となる歴史や地理、社会制度についても触れます。合わせて直近のニュース報道からも、今、話題になっている出来事を取り上げます。

授業内容

おおよそ、以下のようなトピックスを扱います(順不同)
それ以外に、最新のニュースを概説します。

1. 夏時間・冬時間
2. モン・サン・ミシェル
3. 英語に侵略されるフランス語
4. ルイ 14 世
5. 大学生活
6. フランスのエリート教育
7. 新入生いじめ

8. メイド・イン・フランス
9. 高級ブランド
10. 新ルーブル美術館
11. 女性シェフ
12. フランスのデズニーランド
13, フランスとアフリカ
14.　イスラム問題、政教分離
15.　フランコフォニー

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート 90 %・
　　その他 10 %（授業中の質疑応答、発表等）
再評価：無
おもに期末レポートで評価しますが、授業中の質疑応答による参加度も一部考慮します。
期末レポートは、フランスやヨーロッパの文化や出来事について、自分でテーマを選んで作成して頂きます。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

取り上げるトピックスについては、できる範囲で自分でも情報を収集し、日本社会や文化との差について考えておいて下さい。授業中にコメントや考えを述べてもらう機会を設けます。

試験の受験資格

3 分の 2 以上に出席したものにレポート提出資格を与える。

教科書

時事フランス語―― 2015 年度版――／加藤晴久：朝日出版社, 2015

参考書

A la page　精選集／加藤晴久：朝日出版社, 2015

他科目との関連

フランス語選択者以外も選択できます。授業中は教員が日本語で解説しますが、テキストにはフランス語も含まれますので、フランス語選択者は、時事問題のフランス語の表現に興味を持って頂けるとフランス語への理解も深まります。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜　16：30～18：00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000813				
科目名	S・英文史料を読む/19 世紀ヨーロッパのナショナリズム				
担当教員	髙尾　千津子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

授業の目的、概要等

19 世紀以降のヨーロッパのナショナリズムを扱った英文のテキストを読む

授業の到達目標(SBOs)

ナショナリズムにかんする英文テキストを読み、現代のナショナリズムや民族問題を理解する上で基本的な知識を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	4 番教室	第 1 回	髙尾　千津子
2	4/20	10:50-12:20	4 番教室	第 2 回	髙尾　千津子
3	4/27	10:50-12:20	4 番教室	第 3 回	髙尾　千津子
4	5/11	10:50-12:20	4 番教室	第 4 回	髙尾　千津子
5	5/18	10:50-12:20	4 番教室	第 5 回	髙尾　千津子
6	5/25	10:50-12:20	4 番教室	第 6 回	髙尾　千津子
7	6/1	10:50-12:20	4 番教室	第 7 回	髙尾　千津子
8	6/8	10:50-12:20	4 番教室	第 8 回	髙尾　千津子
9	6/15	10:50-12:20	4 番教室	第 9 回	髙尾　千津子
10	6/22	10:50-12:20	4 番教室	第 10 回	髙尾　千津子
11	6/29	10:50-12:20	4 番教室	第 11 回	髙尾　千津子
12	7/6	10:50-12:20	4 番教室	第 12 回	髙尾　千津子
13	7/13	10:50-12:20	4 番教室	第 13 回	髙尾　千津子
14	7/27	10:50-12:20	4 番教室	第 14 回	髙尾　千津子
15	7/30	10:50-12:20	4 番教室	第 15 回	髙尾　千津子

授業方法

ナショナリズムとはなにか、その歴史と問題点に関する基本的なことがらを最初の授業で講義したうえで、民族とはなにか、19 世紀以降のヨーロッパのナショナリズム、ヨーロッパの東と西の比較、ヨーロッパ外のナショナリズムを論じたテキストを一緒に読んでいく。

授業内容

第 1 回 ガイダンス
第 2 回 ナショナリズムについて 1
第 3 回 ナショナリズムについて 2
第 4 回 テキスト読解と討論
第 5 回 テキスト読解と討論
第 6 回 テキスト読解と討論
第 7 回 テキスト読解と討論
第 8 回 テキスト読解と討論
第 9 回 テキスト読解と討論
第 10 回 テキスト読解と討論
第 11 回 テキスト読解と討論
第 12 回 テキスト読解と討論
第 13 回 テキスト読解と討論
第 14 回 テキスト読解と討論
第 15 回 まとめ

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(平常点 討論への参加、テキストの理解)100 %
再評価: 有(再評価方法 レポート)
成績評価を受けるためには 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

準備学習などについての具体的な指示 毎回テキストの指定箇所を読み、準備しておくこと。
教科書 Omar Dahbour ed., The Nationalism Reader, Humanity Books,1995. 受講者にはテキストをプリントして配布する。
参考書 国民国家とナショナリズム／谷川稔 著,:山川出版社, 1999 民族とネイション : ナショナリズムという難問／塩川伸明 著,:岩波書店, 2008
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000314				
科目名	S・中国近現代史				
担当教員	家永　真幸				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-3, 1-5, 3-4

授業の目的、概要等

パンダは今や世界中の多くの人から「中国を代表する動物」だと思われていますが、つい70年ほど前まで中国政府がこの動物をありがたがっていた形跡はありません。

ある国家が何を自分たちのシンボルとするかという問題は、その国家が自分たちをどのような存在だと考えているのか、あるいは他国からどう見られたいかという問題と表裏一体です。

そこでこの授業では、動物や国旗、宝物など、中国の各種シンボルの歴史を振り返ることで、現代の中国がどのように形成されてきた国なのか理解を深めてもらいたいと考えています。

授業の到達目標(SBOs)

「パンダ」や「故宮博物院」をはじめとする中国のシンボルの歴史を学ぶことを通じ、現在の中国が直面し、メディアでもしばしば報道される領土、外交、民族、台湾などに関する諸問題について、それらがどのような歴史的背景を持っているのかを説明できるようになることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	8番教室	第1回	家永　真幸
2	4/20	10:50-12:20	8番教室	第2回	家永　真幸
3	4/27	10:50-12:20	8番教室	第3回	家永　真幸
4	5/11	10:50-12:20	8番教室	第4回	家永　真幸
5	5/18	10:50-12:20	8番教室	第5回	家永　真幸
6	5/25	10:50-12:20	8番教室	第6回	家永　真幸
7	6/1	10:50-12:20	8番教室	第7回	家永　真幸
8	6/8	10:50-12:20	8番教室	第8回	家永　真幸
9	6/15	10:50-12:20	8番教室	第9回	家永　真幸
10	6/22	10:50-12:20	8番教室	第10回	家永　真幸
11	6/29	10:50-12:20	8番教室	第11回	家永　真幸
12	7/6	10:50-12:20	8番教室	第12回	家永　真幸
13	7/13	10:50-12:20	8番教室	第13回	家永　真幸
14	7/27	10:50-12:20	8番教室	第14回	家永　真幸
15	7/30	10:50-12:20	8番教室	第15回	家永　真幸

授業方法

講義形式で行います。毎回コメントシートを書いていただき、翌週冒頭で質問への回答を行います。

授業内容

中国に興味はあるものの、高校世界史の記憶もおぼろげな受講者を想定し、これから国際社会で活躍するにあたり知っておいた方がよい東アジアの近現代史を一から概説します。その上で、教科書などではあまり描かれない中国の「シンボルの歴史」をお話しますので、中国を理解するための一つのテクニックとして参考にしてください。

成績評価の方法

評価：期末レポート60%・その他（平常点）40%

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

毎回プリントを配布する。予習は特に必要ないが、授業で得た知識は他人に説明できるくらいまで、自分なりに整理しておくことが望まれ

る。

参考書

東アジア国際政治史／川島真, 服部龍二 編,:名古屋大学出版会, 2007
台湾 : 変容し躊躇するアイデンティティ／若林正丈 著,:筑摩書房, 2001
変容する近代東アジアの国際秩序／茂木敏夫 著,:山川出版社, 1997
現代中国の歴史 : 両岸三地 100 年のあゆみ／久保亨, 土田哲夫, 高田幸男, 井上久士 著,:東京大学出版会, 2008
パンダ外交／家永 真幸 著,:メディアファクトリー

時間割番号	000821				
科目名	S・漢文講読				
担当教員	土佐　朋子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜２限
・募集人数：20 名程度
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

『荘子』を読み、漢文訓読の力を向上させ、中国思想の一端を知ることを目指す。

荘子の思想は、「万物斉同」という言葉に象徴されるように、この世界はすべて同根だとする点に特徴があるといえる。荘子は、孔子の言う「礼」や「仁」を、そして人間の「言葉」をも否定する。それらが、この世の一部にすぎない人間が、自分たちの価値基準によって恣意的に行った分別であり秩序化だからである。

生と死の区別も否定しようとする荘子の言葉を、この世俗に生きる私たちはどのように受け取っていくべきなのだろうか。

一見、荒唐無稽にも見える荘子の言葉には、強者と弱者が峻別されるこの人間社会に対する強烈な批判が込められているようにも思われる。医療とは、一時的に社会的弱者におかれる立場の人間を対象とする営みである。弱者が弱者とされる人間社会への批判とも読める『荘子』を、将来医療に携わる立場として読んでみよう。

授業の到達目標(SBOs)

①漢文訓読の技術を身につけること。
②荘子に対する知識を身につけ、理解を深めること。
③人間も含めたすべての存在の根源について、あるいは命とは何かということについて、主体的に考えるきっかけを作ること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	10番教室	第１回	土佐　朋子
2	4/20	10:50-12:20	10番教室	第２回	土佐　朋子
3	4/27	10:50-12:20	10番教室	第３回	土佐　朋子
4	5/11	10:50-12:20	10番教室	第４回	土佐　朋子
5	5/18	10:50-12:20	10番教室	第５回	土佐　朋子
6	5/25	10:50-12:20	10番教室	第６回	土佐　朋子
7	6/1	10:50-12:20	10番教室	第７回	土佐　朋子
8	6/8	10:50-12:20	10番教室	第８回	土佐　朋子
9	6/15	10:50-12:20	10番教室	第９回	土佐　朋子
10	6/22	10:50-12:20	10番教室	第 10 回	土佐　朋子
11	6/29	10:50-12:20	10番教室	第 11 回	土佐　朋子
12	7/6	10:50-12:20	10番教室	第 12 回	土佐　朋子
13	7/13	10:50-12:20	10番教室	第 13 回	土佐　朋子
14	7/27	10:50-12:20	10番教室	第 14 回	土佐　朋子
15	7/30	10:50-12:20	10番教室	第 15 回	土佐　朋子

授業方法

演習形式。

授業内容

第１回　オリエンテーション
第２回　『荘子』とは。概説。
第３～14 回　『荘子』演習。
第 15 回　まとめ

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 50%

その他 50%（演習の準備・発表内容・質疑応答への参加度等）50%
再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

担当箇所の準備をしっかりとして、質疑応答に積極的に参加する。

試験の受験資格

レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。

教科書

プリントを使用する。

参考書

『老子・荘子上』『荘子下』／市川安司・遠藤哲夫：明治書院, 1966
『荘子』第 1 冊～第 4 冊／金谷治：岩波書店, 1983
『荘子』／福永光司・興膳宏：筑摩書房, 2013
『荘子』／福永光司 [著],：講談社, 2011
『荘子』／荘子 [著],岸陽子 訳：徳間書店, 2008
『荘子 : 古代中国の実存主義』／福永　光司／著,：中央公論社, 1993
『日曜日に読む『荘子』』／山田　史生 著,：筑摩書房
『老荘を読む』／蜂屋邦夫 著,：講談社, 1987

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。　出欠管理システムに打刻されていても、教員がとった出欠に出席記録がない場合には、欠席扱いになります。　レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。

連絡先

tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜　PM.12:30-PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000814				
科目名	S・初等力学				
担当教員	越野　和樹				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜5限
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）
　別表4－2）

授業の目的、概要等

ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、（ｉ）物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、（ii）基本方程式から様々な保存則が導かれること、（iii）それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標(SBOs)

ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	16:30-18:00	7番教室	第1回	越野　和樹
2	4/20	16:30-18:00	7番教室	第2回	越野　和樹
3	4/27	16:30-18:00	7番教室	第3回	越野　和樹
4	5/11	16:30-18:00	7番教室	第4回	越野　和樹
5	5/18	16:30-18:00	7番教室	第5回	越野　和樹
6	5/25	16:30-18:00	7番教室	第6回	越野　和樹
7	6/1	16:30-18:00	7番教室	第7回	越野　和樹
8	6/8	16:30-18:00	7番教室	第8回	越野　和樹
9	6/15	16:30-18:00	7番教室	第9回	越野　和樹
10	6/22	16:30-18:00	7番教室	第10回	越野　和樹
11	6/29	16:30-18:00	7番教室	第11回	越野　和樹
12	7/6	16:30-18:00	7番教室	第12回	越野　和樹
13	7/13	16:30-18:00	7番教室	第13回	越野　和樹
14	7/27	16:30-18:00	7番教室	第14回	越野　和樹
15	7/30	16:30-18:00	7番教室	第15回	越野　和樹

授業方法

講義による

授業内容

運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）90%・その他10%

再評価：有（再試験）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.
参考書 高校の物理が根本からわかる本 ： 社会人・大学生のための理数系再入門テキスト／鈴木誠治 著,：中経出版, 2007
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000303				
科目名	S・メンタルトレーニング				
担当教員	谷木　龍男				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：水曜4限
受講資格：心理的スキルトレーニングに興味があり，トレーニングを継続し，スキルを習得する意志があること.
なんらかの競技（competition）経験を有することが望ましい
募集人数：20名
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－7)，1—8)，3—3)

授業の目的、概要等

スポーツに限らず，心身のコンディショニングを調え，優れたパフォーマンスを発揮するためには，心・技・体の調和のとれた発達が不可欠です。メンタルトレーニングとは，様々な心理的スキルをスポーツ選手の心を鍛える方法として体系化したものですが，今日では，スポーツ領域に留まらず，医療・看護領域，教育領域など，様々な領域に応用されています。本授業では，講義形式でスポーツ心理学やメンタルトレーニングの理論と実践方法を学び，実習形式で心理的スキル技法を練習・習得します。

授業の到達目標(SBOs)

基本的な心理的スキル技法を習得し，日常生活の様々な場面で応用できるようになることを目指します。特に，自律訓練法の標準練習はしっかりと練習・習得をします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	14:50-16:20	9 番教室	第 1 回	谷木　龍男, 水野　哲也
2	4/22	14:50-16:20	9 番教室	第 2 回	谷木　龍男, 水野　哲也
3	5/13	14:50-16:20	9 番教室	第 3 回	谷木　龍男, 水野　哲也
4	5/20	14:50-16:20	9 番教室	第 4 回	谷木　龍男, 水野　哲也
5	5/27	14:50-16:20	9 番教室	第 5 回	谷木　龍男, 水野　哲也
6	6/3	14:50-16:20	9 番教室	第 6 回	谷木　龍男, 水野　哲也
7	6/10	14:50-16:20	9 番教室	第 7 回	谷木　龍男, 水野　哲也
8	6/17	14:50-16:20	9 番教室	第 8 回	谷木　龍男, 水野　哲也
9	6/24	14:50-16:20	9 番教室	第 9 回	谷木　龍男, 水野　哲也
10	7/1	14:50-16:20	9 番教室	第 10 回	谷木　龍男, 水野　哲也
11	7/8	14:50-16:20	9 番教室	第 11 回	谷木　龍男, 水野　哲也
12	7/15	14:50-16:20	9 番教室	第 12 回	谷木　龍男, 水野　哲也
13	7/22	14:50-16:20	9 番教室	第 13 回	谷木　龍男, 水野　哲也
14	7/29	14:50-16:20	9 番教室	第 14 回	谷木　龍男, 水野　哲也
15	7/31	14:50-16:20	9 番教室	第 15 回	谷木　龍男,

					水野 哲也	

授業方法

心理的スキル技法の基礎的な知識を講義した後，実際にその技法を練習します。練習・習得状況について発表を課します。

授業内容

1. ガイダンス，メンタルトレーニングとは何か？
2. リラクセーション（自律訓練法標準練習）
3. 自己への気づき1（質問紙法）
4. 自己への気づき2（投影法）
5. 自己への気づき3（エゴグラム）
6. イメージ（自律訓練法黙想練習）
7. 過去のイメージ1（ピークパフォーマンスと筆記療法）
8. 過去のイメージ2（人生曲線）
9. 未来のイメージ1（人生曲線）
10. 未来のイメージ2（目標設定）
11. セルフトーク（自律性修正法）
12. セルフ・コンパッション
13. エンカウンター
14. アスリートの心理的問題とスポーツカウンセリング
15. 総括

成績評価の方法

評価 ： 試験 % ・ レポート50% ・ その他（受講態度）50%

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・心理的スキル技法の復習及びレポートの提出

・自律訓練法の練習及び練習記録の提出

教科書

スポーツメンタルトレーニング教本改訂増補版，日本スポーツ心理学会編，2005，大修館書店.

参考書

自律訓練法改訂版，松岡洋一・松岡素子，2009，日本評論社.

スポーツカウンセリング入門，内田直，2011，講談社.

履修上の注意事項

・出欠管理システムを優先する。 ・出欠管理システムへの登録を失念したなどの場合は速やかに申し出ること。

連絡先

教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000302				
科目名	S・医歯学生のための法学概論				
担当教員	飛田　綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:水曜4時限・5時限(ただし第1週と第3週のみ)
募集人数:20人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。 1－9)市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

医療従事者の法的義務や医療行為に対する法的規制について学びます。先端医療や安楽死や臓器移植、インォームド・コンセントなどは日本国憲法の原理である「個人の尊重」と、いかなる関わりを持っているのか、また医療従事者が社会から求められている役割について考察します。

授業の到達目標(SBOs)

(1)医療従事者の権利・義務に関する基本的知識を身につける。
(2)授業で取り上げた具体的テーマの法的論点について理解できる。
(3)医療従事者の責任とは何か、について医療を提供する側の視点だけではなう医療を受ける側の視点を取りいれつつ、客観的に考察できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	4/15	14:50-18:00	10番教室	第1回	飛田　綾子
3-4	5/20	14:50-18:00	10番教室	第2回	飛田　綾子
5-6	6/3	14:50-18:00	10番教室	第3回	飛田　綾子
7-8	6/17	14:50-18:00	10番教室	第4回	飛田　綾子
9-10	7/1	14:50-18:00	10番教室	第5回	飛田　綾子
11-12	7/15	14:50-18:00	10番教室	第6回	飛田　綾子
13-14	7/29	14:50-18:00	10番教室	第7回	飛田　綾子
15-16	9/9	14:50-18:00	10番教室	第8回	飛田　綾子

授業方法

毎回、教員が作成したレジュメをもとに講義形式で行います。授業中に資料を提示し、学生にリアクションペーパーを提出してもらうことがあります。

授業内容

第1回 ガイダンス、医療に対する「法的規制」の存在意義
第2回 医療従事者の法的責任／医療行為と患者の自己決定権
第3回 医療事故―チーム医療、病院管理上の過失等に関する判例
第4回 出生にまつわる法的問題／生殖補助医療・先端医療研究の法的規制
第5回 脳死、臓器移植
第6回 安楽死、尊厳死
第7回 特別な配慮を必要とする患者の医療―未成年者・高齢者・精神疾患を有する患者をめぐる法的問題―

成績評価の方法

評価 : 試験 0 % ・ レポート 75 % ・ その他(適宜授業へのリアクションペーパー) 25 %
再評価: 有(再評価方法:レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習よりも復習に重点を置いてください。レジュメを読み直し内容を思い出すだけでも、理解が深まると思います。また、日頃から医療と法に関するニュースに注意を払うようにして下さい。

教科書

特に指定しません。

参考書
手嶋豊『医事法入門（第 3 版）』有斐閣、2011 年。甲斐克則編『ブリッジブック医事法』信山社、2008 年。宇津木伸・町野朔・平林勝政・甲斐克則編『医事法判例百選』有斐閣、2006 年。樋口範雄編『ケース・スタディ 生命倫理と法（第 2 版）』有斐閣、2012 年。樋口範雄『医療と法を考える―救急車と正義』有斐閣、2008 年。同『続・医療と法を考える―終末期医療ガイドライン』有斐閣、2008 年。坂上博『再生医療の光と闇』講談社、2013 年ン。日本学術協力財団『生殖補助医療と法』日本学術協力財団、2012 年。児玉真美『死の自己決定権のゆくえ』大月書店、2013 年。小松秀樹『慈恵医大青戸病院―医療の構造と実践的倫理』日本経済評論社、2004 年。
履修上の注意事項
①出欠管理システムの記録と、授業へのリアクションペーパーの二つが揃って出席と認めます。 ②原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。③代返などの不正行為には厳正に対処します。
連絡先
教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー
教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000308				
科目名	S・離散構造講義				
担当教員	徳永　伸一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：水曜 4-5 限（第 1・第 3 週を除く）
対象学科・専攻：全学科

授業の目的、概要等

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を 「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。離散構造のうち最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」（中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念）であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉では「すべての平面的グラフは 4-彩色可能」と言い換えることができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイディアや興味深い一般化は、複雑な数式等は用いずに誰でも理解することができます。
本科目では4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺のトピックをいくつか取り上げて解説し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを目的とします。
「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。

授業の到達目標(SBOs)

4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイディアを理解し、関連する問題、一般化された問題について考察する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	4/22	14:50-18:00	6 番教室	第 1 回	徳永　伸一
3-4	5/13	14:50-18:00	6 番教室	第 2 回	徳永　伸一
5-6	5/27	14:50-18:00	6 番教室	第 3 回	徳永　伸一
7-8	6/10	14:50-18:00	6 番教室	第 4 回	徳永　伸一
9-10	6/24	14:50-18:00	6 番教室	第 5 回	徳永　伸一
11-12	7/8	14:50-18:00	6 番教室	第 6 回	徳永　伸一
13-14	7/22	14:50-18:00	6 番教室	第 7 回	徳永　伸一
15-16	7/31	14:50-18:00	6 番教室	第 8 回	徳永　伸一

授業方法

講義と演習による。

授業内容

以下のトピック（予定）について順次解説し、簡単な演習問題を考えます。
・グラフの基礎概念
・一筆描き問題、ハミルトン問題
・ドミノ敷き詰め問題、結婚定理
・美術館問題
・4色定理とその一般化、周辺の問題

成績評価の方法

授業への出席、授業中に行う演習、小テスト等により行います。また欠席数等に応じ、評価の不足を補うためのレポートや試験を課すことがあります。

準備学習などについての具体的な指示

事前の予備知識等は必要ありませんが、授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかり行ってください。

参考書

グラフ理論（増補改訂版）／惠羅博, 土屋守正 著,：産業図書, 2010
グラフ理論／R.ディーステル 著,根上生也, 太田克弘 訳,：シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000
幾何学的グラフ理論／前原潤, 根上生也 著,：朝倉書店, 1992
離散構造／根上生也 著,：共立出版, 1993

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室） 金曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室） ＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000306				
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス１				
担当教員	服部　淳彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：水曜日４・５限（第１・３週を除く）
・対象学科・専攻：医学・歯学・検査学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　２－５）自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。

授業の目的、概要等

この科目は，バイオサイエンス１（前期）と２（後期）を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。この科目では，
1）現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。
2）また，英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み，その内容をレジュメにまとめて，それぞれ発表してもらう。
3）次に，それらの技術の一部を用いた実験を，実際に行う。
4）さらに、その発展バージョンとして，自由にテーマを設定し、実験のプランニングをしてもらい，そのプランに従った実験を実際に行い，結果を発表，ミニ卒論（論文形式）の形にまとめてもらう。
したがって，実験を行う日は，5時限以降にずれ込むこともあるので，そのつもりでいてほしい。

授業の到達目標(SBOs)

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	4/22	14:50-18:00	7番教室	第1回	服部　淳彦
3-4	5/13	14:50-18:00	7番教室	第2回	服部　淳彦
5-6	5/27	14:50-18:00	7番教室	第3回	服部　淳彦
7-8	6/10	14:50-18:00	7番教室	第4回	服部　淳彦
9-10	6/24	14:50-18:00	7番教室	第5回	服部　淳彦
11-12	7/8	14:50-18:00	7番教室	第6回	服部　淳彦
13-14	7/22	14:50-18:00	7番教室	第7回	服部　淳彦
15-16	7/31	14:50-18:00	7番教室	第8回	服部　淳彦

授業方法

主に、論文紹介と実験による。

授業内容

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義（前期）
2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み，その内容をレジュメにまとめて発表（前期）
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得（前期・夏休み）
4. テーマを設定し（夏休み），独自の実験計画を立て，実際に実験を行う（後期）
5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し，ミニ卒論としてまとめる（後期）

＊　少人数セミナー形式の授業なので，希望者が多い場合は，申し訳ないが人数を絞らせていただく。

成績評価の方法

評価：その他　100%
内容を発表してもらう英語論文に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子，さらに，実際に行った研究（実験）の内容やミニ卒論などから総合的に判断する。
再評価：　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また、内容に関して事前に相談に来ること。
教科書 参考論文などは，随時紹介する。
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週　水曜：12：30～14：00　金曜：10：30～12：30　ヒポ 4F　教員研究室（A2）

時間割番号	000815				
科目名	S・アメリカ文学を読む				
担当教員	畔柳　和代				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：第2・第4水曜4・5限と 7 月 31 日
・対象学科：医学科　歯学科　保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表1－1）
　別表3－4）

授業の目的、概要等

目的：英語で書かれた作品を読み、英語に対する理解を深める。授業でふれる作品と作家を手がかりとして、ほかの作家や作品に目を向ける。

概要：講義と学生による発表の両方を合わせます。短編小説を読む一方、長い作品を 1 編紹介します。

授業の到達目標(SBOs)

重要だと思う一節を選び、適宜解説を加え、コメントを英文でまとめること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	4/22	14:50-18:00	5 番教室	第 1 回	畔柳　和代
3-4	5/13	14:50-18:00	5 番教室	第 2 回	畔柳　和代
5-6	5/27	14:50-18:00	5 番教室	第 3 回	畔柳　和代
7-8	6/10	14:50-18:00	5 番教室	第 4 回	畔柳　和代
9-10	6/24	14:50-18:00	5 番教室	第 5 回	畔柳　和代
11-12	7/8	14:50-18:00	5 番教室	第 6 回	畔柳　和代
13-14	7/22	14:50-18:00	5 番教室	第 7 回	畔柳　和代
15-16	7/31	14:50-18:00	5 番教室	第 8 回	畔柳　和代

授業方法

2 コマ続きの授業である。1 コマは短編小説をとりあげ、2 コマ目は To Kill a Mockingbird を中心に進めることを大きな枠組とする。
インターネット上で読むことのできる作品を含める。作品によってはコピーを配布する。
短編小説については担当者が発表を行ない、To Kill a Mockingbird については抜粋をクラスで読む予定である。

授業内容

第1回　イントロダクション　と　割り当て　と課題の説明
第2回～第7回　発表、ディスカッション、講義
最終日　課題提出　まとめ

成績評価の方法

評価：　発表　30%、課題　30%、出席および参加度　40%、
再評価：　有（再評価方法　レポートと面接とテスト）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

インターネット上で読むことのできる作品を含め、作品によってはコピーを配布します。
担当する作品であってもなくても、英語が難しくても、次回の作品（または範囲）に一度は目を通してください。
毎回小さな課題が出ますので、それに沿って、自分が選んだパラグラフを繰り返し読んでみてください。

試験の受験資格

再評価の対象となるのは、原則として3分の2以上出席した者です。

参考書

To Kill a Mockingbird／Harper Lee：Arrow Books, 2010
The Faber Book of Contemporary Stories about Childhood／Lorrie Moore　編：Faber, 1997

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000335				
科目名	S・計算機による数学				
担当教員	中口　悦史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：水曜日4・5時限（第1・3水曜日を除く）
対象学科：
受講資格：
募集人数：15名程度
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−2），4−3），4−4）

授業の目的、概要等

数学や統計学は，自然科学や社会科学など諸分野に現れる様々な問題を解決するために非常に有益な道具を与えてくれるが，現実の問題は非常に大規模で複雑であることが多く，どうしても計算機（コンピュータ，電卓）に頼らざるを得ない。しかし無闇に頼るだけでは，適切な結果が得られたかどうかすら分からなくなるものである。この授業では，計算機を用いた数学問題の解決方法について理解することを目的として，基本的な数値計算法を取り上げ，計算機による処理の手順や注意点を学ぶ。

授業の到達目標(SB0s)

問題解決における計算機の役割と限界を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1−2	4/22	14:50−18:00	2番教室	第1回	中口　悦史
3−4	5/13	14:50−18:00	2番教室	第2回	中口　悦史
5−6	5/27	14:50−18:00	2番教室	第3回	中口　悦史
7−8	6/10	14:50−18:00	2番教室	第4回	中口　悦史
9−10	6/24	14:50−18:00	2番教室	第5回	中口　悦史
11−12	7/8	14:50−18:00	2番教室	第6回	中口　悦史
13−14	7/22	14:50−18:00	2番教室	第7回	中口　悦史
15−16	7/31	14:50−18:00	2番教室	第8回	中口　悦史

授業方法

板書による講義と，電卓を用いた演習を交えながら授業を進める。

授業内容

はじめに，計算機で数値を扱うための基礎知識として，数の種類，数の計算機内部での表現形式，有効桁数等について学ぶ。次いで，電卓の機能と性能を調べ，関数計算機能やメモリ機能について知る。その後，数学や統計学の基本的な問題を電卓を用いて解くことを体験し，解法の手順やアルゴリズムについて学習する。

成績評価の方法

評価　：　試験　0%　・　レポート　50%　・　その他（授業中の演習）　50%
再評価：　無
期末試験に代えてレポートを課す。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学・統計学の内容をよく復習して臨むこと。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回のコメントシートの提出。

教科書

特に指定しない。適宜プリント等を配布する。

参考書

理系人のための関数電卓パーフェクトガイド／遠藤雅守　著，：とりい書房，2013
数値計算／洲之内治男　著，：サイエンス社，2002
初等数値解析／D.G.モースント，C.S.デュリス　著，村上温夫　訳，：共立全書，1975

いかにして問題をとくか／G.ポリア 著, 柿内賢信 訳.:丸善株式会社出版事業部, 1999 絶版の参考書 ・ 吉村勝夫, 末次信義『関数電卓 入門と活用』日本経営出版会, 1977 年初版。
履修上の注意事項 ・ 電卓必携。電卓の機能・性能は問わない（この授業に限りスマホ等の電卓機能でも構わない）。可能であれば関数電卓と普通電卓（ただしメモリ機能と平方根計算が使えるもの）の2台を持参するのが望ましい。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと, 各回のコメントシート提出を併用する。
連絡先 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー ［国府台・ヒポ4階研究室］（前期）水・木 12:00～13:00（後期）月・水 12:00～13:00／［湯島・2号館2階教養部連絡室］（D2 情報科学演習・OE2 プロデ担当日）木 11:45～12:45・16:00～17:00／電子メールによる質問等は随時受け付ける。

時間割番号	000305				
科目名	R・整数論				
担当教員	清田　正夫				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：金曜日 1時限
対象学科：
受講資格：
募集人数：10人以下
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−4）

授業の目的、概要等

英文テキストを用いて、ゼミ形式で初等整数論を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

整数論における基本的定理の内容と証明を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:10−10:40	3番教室	第1回	清田　正夫
2	4/24	09:10−10:40	3番教室	第2回	清田　正夫
3	5/1	09:10−10:40	3番教室	第3回	清田　正夫
4	5/8	09:10−10:40	3番教室	第4回	清田　正夫
5	5/15	09:10−10:40	3番教室	第5回	清田　正夫
6	5/22	09:10−10:40	3番教室	第6回	清田　正夫
7	5/29	09:10−10:40	3番教室	第7回	清田　正夫
8	6/5	09:10−10:40	3番教室	第8回	清田　正夫
9	6/12	09:10−10:40	3番教室	第9回	清田　正夫
10	6/19	09:10−10:40	3番教室	第10回	清田　正夫
11	6/26	09:10−10:40	3番教室	第11回	清田　正夫
12	7/3	09:10−10:40	3番教室	第12回	清田　正夫
13	7/10	09:10−10:40	3番教室	第13回	清田　正夫
14	7/17	09:10−10:40	3番教室	第14回	清田　正夫
15	7/24	09:10−10:40	3番教室	第15回	清田　正夫

授業方法

学生一人ひとりに下記テキストの一章節（3、4ページ）を割り当て、十分時間をかけてレジュメを作成してもらい、その内容を他の学生にわかるように黒板を用いて解説してもらう。
本文のみならず、章末問題の解答、解説も学生自身にやってもらう。

授業内容

第1回—第2回　整数の公理と数学的帰納法
第3回—第4回　整除性と素因数分解の一意性
第5回—第7回　整数の合同と合同類群
第8回—第11回　フェルマーの定理とオイラーの定理
第12回—第15回　二次剰余の相互法則

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他 100%
出席と発表の回数および、発表のやり方、内容の理解度等により評価する。
再評価： 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

レジュメ作成の際は、テキストを時間をかけてじっくり読み込み、その数学的内容を簡潔にまとめること。
教科書 Number Theory for Beginners Andre Weil ISBN 13: 9780387903811 Publisher: Springer Verlag Publication Date: 1979
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。
連絡先 清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000312				
科目名	S・水の科学				
担当教員	奈良　雅之				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜1時限
・対象学科：全学科
・募集人数：25 名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表２－４）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける
　別表２－５）自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

授業の目的、概要等

水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った？」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。

授業の到達目標(SB0s)

1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。
2.「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:10-10:40	5 番教室	第 1 回	奈良　雅之
2	4/24	09:10-10:40	5 番教室	第 2 回	奈良　雅之
3	5/1	09:10-10:40	5 番教室	第 3 回	奈良　雅之
4	5/8	09:10-10:40	5 番教室	第 4 回	奈良　雅之
5	5/15	09:10-10:40	5 番教室	第 5 回	奈良　雅之
6	5/22	09:10-10:40	5 番教室	第 6 回	奈良　雅之
7	5/29	09:10-10:40	5 番教室	第 7 回	奈良　雅之
8	6/5	09:10-10:40	5 番教室	第 8 回	奈良　雅之
9	6/12	09:10-10:40	5 番教室	第 9 回	奈良　雅之
10	6/19	09:10-10:40	5 番教室	第 10 回	奈良　雅之
11	6/26	09:10-10:40	5 番教室	第 11 回	奈良　雅之
12	7/3	09:10-10:40	5 番教室	第 12 回	奈良　雅之
13	7/10	09:10-10:40	5 番教室	第 13 回	奈良　雅之
14	7/17	09:10-10:40	5 番教室	第 14 回	奈良　雅之
15	7/24	09:10-10:40	5 番教室	第 15 回	奈良　雅之

授業方法

教員による講義の部分はできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習を設けます。特に、机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか？」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか？」など実際に比較実験を行う（自分の舌で確かめる）ことにより、朝の眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。

授業内容

1.ガイダンス
2.水に関する講義
3.水,水溶液に関連する文献の輪読
4.ミネラルウォーターの試飲会　and/or　コーヒーの試飲会
5. 水に関する簡単な実験（←実験希望者を対象）
6.報告会　など

成績評価の方法

評価：出席・授業への貢献度（30 点）、プレゼンテーション（20 点）、レポート（50 点）を総合して評価します。 再評価：無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。
試験の受験資格 期末考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席
教科書 水を科学する／川瀬義矩 著,：東京電機大学出版局, 2011
参考書 水の話・十講 ： その科学と環境問題／鈴木啓三 著,：化学同人, 1997 水とはなにか ：ミクロに見たそのふるまい／上平　恒／著,：講談社, 1979
他科目との関連 分子レベルに興味を持った方は、「分子分光学演習：基礎編」をお勧めします。
履修上の注意事項 1限の授業に遅れる人は履修しないでください。
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000310				
科目名	S・「言葉」とはなにか				
担当教員	土佐　朋子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜２限
・募集人数：10 名程度
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

丸山圭三郎『言葉とは何か』『言葉と無意識』を輪読することにより、人間にとって言葉がどういうものであるのかということを考察する。

一般的に、言葉は物の名称あるいは伝達の道具として存在しているかのように受け取られがちである。この言語観に立てば、言葉と人間は、言葉が人間に使われるものという関係になる。人間は言葉を使う主体として、言葉を操り得ることになる。

しかし、人間は、時として「言葉」の限界を感じ、また「言葉」が発話者の意図を超えて過剰な意味を持ち始めることを経験する。それはなぜか。人間にとって、「言葉」は本当にものの名称かつ伝達の道具なのか。

「言葉」という存在そのものを考察したソシュールの思考の跡を、丸山圭三郎の考察をふまえながら検討してみよう。

授業の到達目標(SBOs)

①『言葉とは何か』『言葉と無意識』を読み通すことによって、他者の見解を理解する力を身につける。
②他者の考えをふまえた上で、自らの見解を述べる能力を身につける。
③言葉に対する人間のこれまでの知の蓄積を知る。
④言葉と人間の関係について現段階における一定の見解を持つ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	10:50-12:20	9 番教室	第 1 回	土佐　朋子
2	4/24	10:50-12:20	9 番教室	第 2 回	土佐　朋子
3	5/1	10:50-12:20	9 番教室	第 3 回	土佐　朋子
4	5/8	10:50-12:20	9 番教室	第 4 回	土佐　朋子
5	5/15	10:50-12:20	9 番教室	第 5 回	土佐　朋子
6	5/22	10:50-12:20	9 番教室	第 6 回	土佐　朋子
7	5/29	10:50-12:20	9 番教室	第 7 回	土佐　朋子
8	6/5	10:50-12:20	9 番教室	第 8 回	土佐　朋子
9	6/12	10:50-12:20	9 番教室	第 9 回	土佐　朋子
10	6/19	10:50-12:20	9 番教室	第 10 回	土佐　朋子
11	6/26	10:50-12:20	9 番教室	第 11 回	土佐　朋子
12	7/3	10:50-12:20	9 番教室	第 12 回	土佐　朋子
13	7/10	10:50-12:20	9 番教室	第 13 回	土佐　朋子
14	7/17	10:50-12:20	9 番教室	第 14 回	土佐　朋子
15	7/24	10:50-12:20	9 番教室	第 15 回	土佐　朋子

授業方法

演習形式。

授業内容

第 1～2 回　各自のこれまでの「言葉」に対する考え方を発表し合い、問題の抽出を行う。
第 3～4 回　『言葉とは何か』輪読①、「言葉と文化」。
第 5～6 回　『言葉とは何か』輪読②、「ホモロクエンス～個人の言葉」
第 7～8 回　『言葉とは何か』輪読③、「言葉の構造～言葉と物」
第 9～10 回　『言葉とは何か』輪読④、「言葉と記号～言葉の意味と価値」
第 11～14 回　『言葉と無意識』輪読
第 15 回　　まとめ

成績評価の方法 評価：試験0%・レポート 50% 　　その他 50%（発表資料の内容・発表内容・授業への参加度・小レポート等） 再評価：無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 担当箇所についてしっかり読み込んで考察すること。発表資料は丁寧に作成すること。質疑応答には積極的に参加すること。
試験の受験資格 レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。 発表を行っていること。
教科書 『言葉とは何か』（ちくま学芸文庫）／丸山圭三郎 著,：筑摩書房, 2008 言葉と無意識／丸山圭三郎 著,：講談社, 1987
参考書 『ソシュール』／加賀野井秀一 著,：講談社, 2004 『ソシュールを読む』／丸山圭三郎 [著],：講談社, 2012 『ソシュール小事典』／丸山圭三郎 編,：大修館書店, 1985 『ソシュール』／J.カラー 著,川本茂雄 訳：岩波書店, 1992
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。　出欠管理システムに打刻されていても、教員がとった出欠記録で欠席となっている場合には、欠席扱いになります。　レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜　PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000347				
科目名	S・分子分光学演習：基礎編				
担当教員	奈良　雅之				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

夏季集中型：
・対象学科：全学科
・募集人数：5名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１・２・３）科学的思考方法を知る
　４－３）自然現象を探究するための基本的手法を身につける

主な講義場所

分光測定は化学教員実験室で行います。
オプションとして、分析展の見学ツアーを予定しています。

授業の目的、概要等

近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“生体分子分光学”を通じて「ミクロのものの見方」を学びます。まずは分光測定の基本操作に慣れることから始まり、測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。

授業の到達目標(SBOs)

⑴基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。
⑵基本物質の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。

授業方法

演習形式とによる

授業内容

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法（主として赤外分光法もしくはラマン分光法）によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。
1.（初回） ガイダンス、 分子分光学に関する概説、装置の説明など
2. 分光学に関する基本操作を習得する。
3. 実験テーマを決めて、取り組む。（実験ならびに結果解析）
4. 実験経過、研究成果を発表する。
5. 実験レポート（報告書）として報告する。

成績評価の方法

評価：報告会での発表・レポート　70%・
　　その他　30%（実験の取り組み方）
再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

ガイダンスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。

試験の受験資格

考査の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

必要な文献はコピーして配付します

履修上の注意事項

分子分光学についてさらに理解を深めたい方は、後期の S・生体分子分光学演習をお勧めします。

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000353				
科目名	S・現代ﾊﾟﾌｫｰﾐﾝｸﾞｱｰﾂ入門				
担当教員	徳永　伸一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

8 月末または 9 月初旬に開講する短期集中科目です。スケジュールの詳細は掲示にて通知します。
対象学科・専攻：全学科

主な講義場所

湯島キャンパスで開講します。詳細は掲示にて確認してください。

授業の目的、概要等

「パフォーミング・アーツ（Performing Arts）」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。
「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーチスト（＋彼らに直接的に影響を与えた人たち）にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので主に代用品として CD・DVD 等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを用います。現在までのところ、入手可能なソフトの都合で音楽（ジャズ、クラシックからロック、J-POP まで何でも）の比重が高いですが、他のジャンル（音楽＋ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等）も徐々に増やす予定。
より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です
（よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します）。

授業の到達目標(SBOs)

・様々なパフォーミングアートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。
・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験（鑑賞）行動に発展させることができる。

授業方法

講義、映像・音源鑑賞およびディスカッション。

授業内容

各授業ごとに大まかなテーマ（ジャンルやアーチスト個人等）を決め、関連するソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。
また昨年度は授業期間中に開催した公開講座を、授業の一部として取り入れました。本年度も同様の企画を検討しています。

成績評価の方法

評価項目は以下の２点：
（1） 各回の授業の関するレポート
（2） 授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演に関する詳細なレポート
（1）と（2）は同等に評価するので、欠席した場合はその回数に応じて（2）のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習などについての具体的な指示

授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。

教科書

特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。

他科目との関連

直接の関連はありませんが、「芸術Ⅱ」（室田尚子先生）の履修を推奨します。

参照ホームページ

過去の記録（の一部）：
http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm
昨年度の公開講座（「Saigenji と旅するブラジル」）の詳細：
http://www.tmd.ac.jp/artsci/open/

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
金曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000349				
科目名	S・ウニの発生と海産生物の観察実習				
担当教員	服部　淳彦, 松本　幸久, 伊藤　正則				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・夏季集中(8 月 17 日、8 月 19 日ー21 日)
・対象学科：全学科(25 名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う)
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
　2ー2)自然現象を探究するための手法を知る。
　4ー3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

教養部においてガイダンスを受けた後、金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において実験を行う。

授業の目的、概要等

[目的] ウニの発生を光学顕微鏡で観察し、その発生過程で起こる現象を理解する。また、海に生息する様々な生物の形態、生態及び行動を観察し、その多様性を理解する。

[概要] この実習の大部分は、金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設(石川県能登市)において実施される。実習内容は、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察である。

授業の到達目標(SBOs)

1. ウニの発生過程の特徴を説明することができる。
2. 海に生息する生物の多様性を具体的に説明することができる。

授業方法

講義と実習による。

授業内容

8 月 17 日(月) 実習ガイダンスを受講する。光学顕微鏡の使い方を学ぶ。

8 月 19 日(水)-21 日(金) ①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察を行う。

成績評価の方法

レポート内容によって評価する。再評価は行わない。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による。

準備学習などについての具体的な指示

事前に配布された資料をよく読んでおく。ウニの発生過程と海に生息する生物に関して予め知識を得ておく。

教科書

資料を配布する。

参考書

図解生物科学講座／浅島誠　編：朝倉書店, 1996
日本海洋プランクトン検索図説／千原光雄 , 村野正昭 編：東海大学出版会, 1997-01
原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著,：保育社, 1995

履修上の注意事項

・定員は 25 名で、これを超えたときは抽選で履修者を決める。　・8 月 17(月)に教養部で行われる実習ガイダンスに必ず出席すること。19(水)ー21(金) (2 泊 3 日)に金沢大学臨海実験施設(石川県能登市)で実習を行うが、集合時間から解散時　間までスケジュールに従って行動すること。

連絡先

服部　淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部　淳彦:毎週　水曜：12:30～14:00　金曜：10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)

伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室	
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室	

時間割番号	000350				
科目名	S・フィットネスキャンプ				
担当教員	水野　哲也, 谷木　龍男, 林　久仁則				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:前期集中(夏季休業中を含む)
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

人が充実した一生を全うするためには、その心身の健康が基盤であり、その維持増進には自然の摂理を理解した健康的なライフスタイルの実践とより良い人間関係を築き上げるコミュニケーション力が必要です。そして、そうした能力の基礎には「人間の理解」、つまり自分自身の心身さらには人格的相互関係への理解が不可欠です。

本授業は、医療者である前に一人の青年として自分自身の健康を意識するとともに、その基盤となる自身の健康をどのように管理してゆくことが重要か、また社会性の視点から自己と他者との関係をより良好に保つとともに両者の関係性をより成熟したものにするためにどのようなコミュニケーションスキルが必要かを考え、学ぶことを目指して開講されるプログラムです。具体的にはセルフケアについては事前授業で基礎理論を学び、転地での栄養バランスを考えた食事摂取、運動、温泉入浴並びにリラクセーション実習等が身心にどういった変化をもたらすかを体験し、コミュニケーションについては事前授業を含めた集団でのスキルトレーニングを用いた実習を通じて問題を発見・整理し、調整・解決するための基本を身につけることを目的とします。また、短期合宿研修では、規律ある集団生活を通して社会性を養います。なお、短期合宿研修は千葉県館山市にある本学の研修施設・大賀寮に宿泊する予定です。

授業の到達目標(SBOs)

前述しましたようにフィットネスとは多様な内容を含む概念です。そこで、本授業ではその多様性並びに生活環境の構成要素と適応について理解し、自分自身の生活や人間関係能力を振り返り, 新たに自分らしい探究が行えることを到達目標とします。とはいえ、授業は短期間のため、必ずしも目先の能力獲得のみを求めるのではなく、その目標ではあくまで方法論の理解と基礎的スキルの習得に重点をおきます。よって、本授業の到達目標は自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身につけることにあります。

授業方法

本授業は国府台キャンパスでの事前授業(7 月)と夏季休業中(9 月初旬の予定)に転地で実施される短期合宿研修(フィットネス・キャンプ)形式で構成されています。

授業内容

国府台キャンパスでの事前授業では、セルフケアに関する基礎としてフィットネス理論、運動の基礎生理、フィットネスの評価、コミュニケーション論として自己理解、他者理解、そして相互理解を学び、後半は学外での短期合宿研修(3 泊 4 日)で、気候療法の基礎、コミュニケーションスキルとしての「話す技術」、「聴く技術」並びにストレスマネジメントのための「自律訓練法」などの学習を中心に行います。

成績評価の方法

評価:参加度 30%、理解度(レポートによる)70%
再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

本授業では単に授業に参加するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかについて主体性をもって考えるとともに、自らのより良いライフスタイル構築に向けた積極的な態度や姿勢が求められます。よって、他の授業でも使用するフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は体験型授業科目のため、原則事前授業を含む全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

温泉療法 : 温泉と自然が生み出す健康づくり／大塚吉則 著,:クルーズ, 2012
気候療法入門 : 山歩きにはちょっと冷たい冷刺激／アンゲラ・シュウ 著,西川力 訳,阿岸祐幸 医学監修,:パレード, 2009
自律訓練法の実際 心身の健康のために／佐々木雄二 著,:静岡市立清水中央図書館, 2003

他科目との関連

必修科目であるスポーツ・健康科学並びにフィットネスマネジメントとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html
連絡先 水野　哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp 林　久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。 谷木　龍男:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 水野　哲也:毎週金曜日　AM. 11:00　～　12:30　管理研究棟　2 階 林　久仁則:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。 谷木　龍男:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000832				
科目名	S・Physics Laboratory in English				
担当教員	檜枝　光憲				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：夏季集中（8 月下旬を予定、実施日時は後日掲示）
対象学科：全学科
受講資格：物理実験が好きな人、かつ英語で学ぶ意欲のある人
募集人数：８人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表２－１）別表２－２）別表４－２）

授業の目的、概要等

In this class, proactive involvement of students is important. The goal of this course is to improve your understanding of the theory behind physical values and phenomena on the basis of measurements and observations, and to help you master experimental techniques such as basics, methods, and principles of measurement by using various types of equipment. Concurrently, practice assignments related to the experiments are given to facilitate understanding of data analysis and writing of reports.

この授業は学生自身が主体的に実験を行うことに重点をおき、物理量の測定や現象の観察を自ら行うことにより、その背景にある物理法則についての理解を深め、基本的な測定方法と原理、各種測定機器の使用法などの実験技術を習得することを目的としている。同時に、実験に関連した講義と演習を行ってデーター処理、レポートの書き方などについても学習する。

授業の到達目標(SBOs)

You will learn important knowledge in physics by an experiment practice form, which is not to be provided by the class of only lecture forms, and obtain basics scholastic ability for each specialized field.
In addition, you will acquire necessary linguistic ability as a citizen of the world by learning in English.

講義形式のみの授業では得られない物理学の知識を実験演習形式で学び、それぞれの専門分野のための基礎学力を身につける。また英語で学ぶことで国際人として必要な語学力を身につける。

授業方法

Practice（演習）

授業内容

・Measurement of gravitational acceleration (Borda' s Pendulum)
・Motion of electron in magnetic field
・Low temperature properties of materials using liquid nitrogen (superconductor, magnetism, etc)
・Detection of track in radiation by a cloud chamber
・Others

・重力加速度の測定（ボルダーの振り子）
・磁場中電子の運動（比電荷測定）
・液体窒素を使った物性測定（超伝導体、磁性体の相転移など）
・霧箱による放射線の飛跡観察
他

成績評価の方法

評価　：　発表とレポート　70%
その他（平常点）　30%
再評価：　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業前までに指示書に一通り目を通しておくこと。

教科書

こちらで用意した指示書（英語）を配布
備考 本授業は英語を基本としていますが、受講者のレベルに応じて日本語でのフォローアップも行うので英語が苦手でも意欲のある学生をお待ちします。

時間割番号	00833				
科目名	S・Marine Biology in English				
担当教員	服部　淳彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・夏季集中(9 月 1 日、9 月 3 日－6 日)
・対象学科：全学科(15 名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う)
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
　2－2)自然現象を探究するための手法を知る。
　4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

教養部（生物学実験室）においてガイダンスと基礎知識に関する講義を受けた後、新潟大学理学部臨海実験所（佐渡）において臨海実習と講義を行う。

授業の目的、概要等

The objective of this course is to obtain basic knowledge of animal biology with a special focus on marine animals. Marine animals include almost all phylogenetic groups of the animal kingdom. Furthermore, morphology, development, physiology, and life style are amazingly different among them. In this course, students will learn the basics of marine animal biology and the diversity of marine animals from lectures, field activities, and hands-on lab activities.

授業の到達目標(SBOs)

At the end of the course, students will be able to describe the basic functions of animal body and the specific features of marine animals in a certain phylogenetic group.

授業方法

Several lectures will be held at the Tokyo Medical and Dental University, and the rest of the course will be held at the Sado Marine Biological Station, Faculty of Science, Niigata University. Students will stay together at the Sado Marine Station for 4 days and communicate to each other in English. During the course, several lectures will be provided by a native English speaker.

授業内容

Specific issues to be covered would include phylogeny, ontogeny, anatomy, ecology, homeostasis, hormones, and reproduction. Field activities will include behavioral observation in the field and sampling of marine animals including plankton. Furthermore, hands-on lab activities about the artificial insemination of sea urchin, observation of sea urchin embryos and plankton using a light microscope, and dissection of animal body will be conducted during the course.

成績評価の方法

Sketches, Group discussion, Report, Attitude:
A proper delineation of certain characteristics of a particular animal species (20%)
Active participation in group discussion (20%)
A proper description of basic biology in the report (30%)
A proper discussion in the report (30%)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による。

準備学習などについての具体的な指示

Study the first chapter of the textbook “The Diversity of Organisms” by yourself beforehand.

教科書

Senior Biology 2: Student Workbook／Richard Allan, Tracey Greenwood, Lissa Bainbridge-Smith：Biozone International Ltd, 2010

参考書

図解生物科学講座／浅島誠　編：朝倉書店, 1996
日本海洋プランクトン検索図説／千原光雄 , 村野正昭 編：東海大学出版会, 1997-01
原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著,：保育社, 1995

履修上の注意事項

・定員は 15 名で、これを超えたときは抽選で履修者を決める。　・9 月 1(火)に教養部で行われる実習ガイダンスと講義に必ず出席すること。　・9 月 3(木)－6(日)：　3 泊 4 日で新潟大学臨海実験所(新潟県佐渡市)で実習・講義等を行うが、集合時間から解散時間までスケジュー

ルに従って行動すること。
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)

時間割番号	000816				
科目名	S・Discussions on Human Behavior				
担当教員	フォス　パトリック				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜1限
・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学
・募集人数：12名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表3－5）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Why do students usually wait until the last minute to do an assignment? Why is dieting so difficult? Why do some people drink Aquarius and others drink Pocari Sweat? How much would you pay for a piece of great chocolate? Would you be happy or unhappy if your grandparents gave you 5000 yen on New Year's Day? What if you won the same 5000 yen in a contest?

This course will look at some of the ways people behave in their daily lives and what influences their behavior, using the popular book "Predictably Irrational" by Dan Ariely as a base. The course goals are to deepen students' understanding of the behavior of others and their own behavior while at the same time improving their overall English abilities and critical thinking skills.

授業の到達目標(SBOs)

By the end of this course, students will be able to:

1. Better understand why people make certain types of decisions
2. Make better personal decisions
3. Reflect and discuss (in English) on their own behavior and the behavior of others

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	2番教室	第1回	フォス　パトリック
2	10/5	09:10-10:40	2番教室	第2回	フォス　パトリック
3	10/19	09:10-10:40	2番教室	第3回	フォス　パトリック
4	10/26	09:10-10:40	2番教室	第4回	フォス　パトリック
5	11/2	09:10-10:40	2番教室	第5回	フォス　パトリック
6	11/9	09:10-10:40	2番教室	第6回	フォス　パトリック
7	11/16	09:10-10:40	2番教室	第7回	フォス　パトリック
8	11/30	09:10-10:40	2番教室	第8回	フォス　パトリック
9	12/7	09:10-10:40	2番教室	第9回	フォス　パトリック
10	12/14	09:10-10:40	2番教室	第10回	フォス　パトリック
11	12/21	09:10-10:40	2番教室	第11回	フォス　パトリック

12	1/18	09:10-10:40	2番教室	第12回	フォス パトリック
13	1/25	09:10-10:40	2番教室	第13回	フォス パトリック
14	2/1	09:10-10:40	2番教室	第14回	フォス パトリック
15	2/8	09:10-10:40	2番教室	第15回	フォス パトリック

授業方法

Discussion

Presentation

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Group Discussions and Reports

Week 15: Final Report

Each week, one student or a pair of students will report on a short section of the course textbook and lead a discussion based on it. Once every three classes, students will write short response papers (200-250 words) on topics that have been discussed. The final report will be an in-class writing assignment in which students will reflect on the course textbook and class discussions. There will be no quizzes or tests.

成績評価の方法

評価: class presentations 30% attendance/participation 30% response papers 20% final assignment 20%

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

教科書

Predictably Irrational／Ariely, Dan:Harper, 2010

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000322				
科目名	S・フランス語でニュースを読む				
担当教員	中島　ひかる				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：月曜2限
対象学科：全学科
受講資格：フランス語前期履修者(あるいは同等の実力を持つ者)
募集人数：約5名
コンピテンシー：別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

目的：フランス語文法の知識をもとに、フランス語で書かれたフランス、ヨーロッパ、世界のニュースや文化記事を読み、現代的な語彙や表現に触れるとともに、フランス現代社会の一端を知る。

概要：4月以来学習してきたフランス語の文法知識を使って、フランス語で実際に読まれている時事的な文章に触れ、現代を特徴的に表す単語や表現を中心に、内容を把握します。後期の初めでまだ出てきていない文法項目については解説しますし、ニュース記事は英語と共通する単語も多いので、内容に興味があれば概略は理解できます。

前期終了のフランス語の学力があり、少し先取りして文法を学習し、今のフランスや世界を知りたいという意欲のある人の参加を歓迎します。

授業の到達目標(SBOs)

1）現代的な時事表現に触れ、ニュース記事の読解の中で基本的な文法事項を確認する。
2）ニュースを通してフランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心の幅を広げる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50−12:20	11番教室	第1回	中島　ひかる
2	10/5	10:50−12:20	11番教室	第2回	中島　ひかる
3	10/19	10:50−12:20	11番教室	第3回	中島　ひかる
4	10/26	10:50−12:20	11番教室	第4回	中島　ひかる
5	11/2	10:50−12:20	11番教室	第5回	中島　ひかる
6	11/9	10:50−12:20	11番教室	第6回	中島　ひかる
7	11/16	10:50−12:20	11番教室	第7回	中島　ひかる
8	11/30	10:50−12:20	11番教室	第8回	中島　ひかる
9	12/7	10:50−12:20	11番教室	第9回	中島　ひかる
10	12/14	10:50−12:20	11番教室	第10回	中島　ひかる
11	12/21	10:50−12:20	11番教室	第11回	中島　ひかる
12	1/18	10:50−12:20	11番教室	第12回	中島　ひかる
13	1/25	10:50−12:20	11番教室	第13回	中島　ひかる
14	2/1	10:50−12:20	11番教室	第14回	中島　ひかる
15	2/8	10:50−12:20	11番教室	第15回	中島　ひかる

授業方法

初めに、ニュースサイトを幾つか提示します。受講者は、その中から毎週、自分が興味ある記事を選んで、私にURLを送って下さい。それを教室で、皆で読んでいきます。細かい点にはこだわらず、概略が理解できるよう指導しますが、適宜、文法が実際の記事でどう使われているかに注意を促します。

授業内容

毎回、各自が選んだ記事を読んでいきます。受講者5人程度の場合は、全ての記事について、内容を解説します。

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート 0 %・
　その他 100 %（授業への準備・授業の発表等）
再評価：無
授業への準備、教室での発言等の平常点で評価します。

学力に差があると思いますが、多少わからない文法事項があっても構いません。自分なりに、ニュースに興味を持ち、概要だけでも理解しようと努め、積極的に授業に参加することを重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

自分の力にあった、興味の持てる記事を選ぶところから授業の準備が始まります。各授業の前の週の土曜日までには各自で1つずつ記事を選んで、その URL を私に送信して下さい。

短い記事を選んでも結構ですので、選んだ記事については概略を説明でき、主要な部分は訳せるように準備して下さい。理解できない箇所、訳せない箇所があっても構いませんので、不明な点は明確にして授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

試験は行わず、平常点で評価する

教科書

・パリジアン（お勧めです）

http://www.leparisien.fr/

・パリマッチ

http://www.parismatch.com/

・フィガロ

http://www.lefigaro.fr/

・リベラシオン

http://www.liberation.fr/

・ネット新聞

http://www.20minutes.fr/

・francetvinfo

http://www.francetvinfo.fr/

参考書

・テレビ放送（1 週間分のニュース報道のアーカイブ）

閲覧には silverlight(無料でダウンロードできます)が必要です。

http://jt.france2.fr/20h/

他科目との関連

フランス語の必修授業より先行して文法項目が出てきますが、最初は細かい文法事項にはあまりこだわらず、理解に必要な概略にのみ触れて授業を進めます。

履修上の注意事項

少人数授業ですので出席は必須です。体調不良等で休む場合は、教員にメールで連絡して下さい。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜　16:30～18:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000319				
科目名	S・情報				
担当教員	中口　悦史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：月曜2限
募集人数：10名以内
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：1−1），1−3），1−5），1−7），2−5）

授業の目的、概要等

情報化社会と呼ばれる現代において人々は，さまざまな情報に曝され，慣れない情報機器の扱いに戸惑いながら，それらをなんとか受け止め，あるいは遠ざけ，あるいは利用しながら，日々の暮らしを営んでいる。では現代を生きる人々は，溢れる情報からどのような影響を受け，その心理や行動，人格をどのように変異させて，順応しようとしているのか。現代の情報科学技術，携帯情報端末や人工知能ロボットなどは，現代の人間社会やコミュニケーションにどのように貢献し，変容させているのか。現代の情報化社会ではどのような情報がどのように流通するのか。そもそも情報やコミュニケーションの本質は何か。ヒト，生物，機械それぞれの間のコミュニケーション，あるいはその中で扱われる情報の，決定的な違いは何なのか。

この授業では，人文学，社会科学，自然科学，工学，医歯学など幅広い観点から，「情報」というひとつの単語で表されるものに対して，様々な視点から考察し，情報に対する理解を深める。

授業の到達目標(SB0s)

情報に対する自分なりの視点や立場を持ち，それを他人に説明し，互いに議論することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50−12:20	5 番教室	第 1 回	中口　悦史
2	10/5	10:50−12:20	5 番教室	第 2 回	中口　悦史
3	10/19	10:50−12:20	5 番教室	第 3 回	中口　悦史
4	10/26	10:50−12:20	5 番教室	第 4 回	中口　悦史
5	11/2	10:50−12:20	5 番教室	第 5 回	中口　悦史
6	11/9	10:50−12:20	5 番教室	第 6 回	中口　悦史
7	11/16	10:50−12:20	5 番教室	第 7 回	中口　悦史
8	11/30	10:50−12:20	5 番教室	第 8 回	中口　悦史
9	12/7	10:50−12:20	5 番教室	第 9 回	中口　悦史
10	12/14	10:50−12:20	5 番教室	第 10 回	中口　悦史
11	12/21	10:50−12:20	5 番教室	第 11 回	中口　悦史
12	1/18	10:50−12:20	5 番教室	第 12 回	中口　悦史
13	1/25	10:50−12:20	5 番教室	第 13 回	中口　悦史
14	2/1	10:50−12:20	5 番教室	第 14 回	中口　悦史
15	2/8	10:50−12:20	5 番教室	第 15 回	中口　悦史

授業方法

文献の輪読を含めて，セミナー形式で進める。

授業内容

今年度は次の2冊を基本文献として，セミナーを行う。

- 松田美佐『うわさとは何か』中公新書
- 鈴木謙介『ウェブ社会のゆくえ』NHK ブックス

これら基本文献や配付資料等を元に，あるいは受講者からの問いについて考察を加えながら，参加者全員で議論を進める。

終盤の3週程度で，受講者各自の考えをレポートとして提出させるために，個別にレポート執筆指導を行う。

成績評価の方法

評価　：　試験　0%　・　レポート　50%　・　その他（授業への取り組み方）　50%
再評価：　無
期末試験に代えてレポートを課す。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

基本文献や事前に配付された資料等があれば必ず予習し，不明な点をよく整理して臨むこと。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回のコメントシートの提出。

教科書

うわさとは何か ： ネットで変容する「最も古いメディア」／松田美佐 著,：中央公論新社，2014

ウェブ社会のゆくえ ：〈多孔化〉した現実のなかで／鈴木謙介 著,：NHK 出版，2013

他に必要な資料は授業中に指示，あるいはプリント等で適宜配付する。

参考書

情報理論／甘利俊一 著,：筑摩書房，2011

通信の数学的理論／クロード・E.シャノン，ワレン・ウィーバー 著,植松友彦 訳,：筑摩書房，2009

計算機と脳／J. フォン・ノイマン 著,柴田裕之 訳,：筑摩書房，2011

サイバネティックス ： 動物と機械における制御と通信／ウィーナー [著],池原止戈夫，彌永昌吉，室賀三郎，戸田巌 訳,：岩波書店，2011

オートポイエーシス／河本英夫著,：青土社，1995-07

基礎情報学 ： 生命から社会へ／西垣通 著,：NTT 出版，2004

心と認知の情報学 ： ロボットをつくる・人間を知る／石川幹人 著,：勁草書房，2006

ケータイのある風景 ： テクノロジーの日常化を考える／松田美佐，岡部大介，伊藤瑞子 編,：北大路書房，2006

ケータイ社会論 = Understanding Keitai Society／岡田朋之，松田美佐 編,：有斐閣，2012

カーニヴァル化する社会／鈴木謙介 著,：講談社，2005

絶版・在庫切れの参考書

・ 川合慧 監修，駒谷昇一 編著『IT Text 情報と社会』オーム社，2004 年。
・ 西垣通『こころの情報学』ちくま新書，1999 年。
・ 西垣通『ネットとリアルのあいだ』ちくまプリマー新書，1999 年。
・ 吉田民人『情報と自己組織性の理論』東京大学出版会，1990 年。
・ 吉田民人『自己組織性の情報科学』新曜社，1990 年。
・ 中村桂子『自己創出する生命—普遍と個の物語』ちくま学芸文庫，2006 年。

履修上の注意事項

・ 電子辞書等を持参することが望ましい。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと，各回のコメントシート提出を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

[国府台・ヒポ4階研究室]（前期）水・木 12:00～13:00（後期）月・水 12:00～13:00／[湯島・2号館2階教養部連絡室]（D2 情報科学演習・OE2 プロデ担当日）木 11:45～12:45・16:00～17:00／電子メールによる質問等は随時受け付ける。

時間割番号	000817				
科目名	S・日本の古典				
担当教員	土佐　朋子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜２限
・募集人数：10 名程度
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

日本の古典文学に対する理解を深めることを目的とし、今年度は主に『竹取物語』を講読する。

人間は現実世界を脱して不老不死の理想郷に到達することを渇望し、その自らの欲望と憧憬とを文学作品に描いてきた。およそ 7～8 世紀に始まる日本の文学史上においても、永遠の生命への憧れや、あるいはその世界の女性との恋愛を夢想する作品の系譜を見いだすことができる。

本授業では、『竹取物語』をそのような系譜上の作品として位置づけることを試みる。また、高畑勲監督作品映画『かぐや姫の物語』との比較対照的考察も加える。

授業の到達目標(SB0s)

①『竹取物語』の内容を理解すること。
②日本古典文学の素養を身に付け、理解を深めること。
③日本文学の最初期の「語り」の様相について理解を深めること。
④人間にとって「語り」とは何かという問いに対して自分なりの考えをまとめること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	9 番教室	第 1 回	土佐　朋子
2	10/5	10:50-12:20	9 番教室	第 2 回	土佐　朋子
3	10/19	10:50-12:20	9 番教室	第 3 回	土佐　朋子
4	10/26	10:50-12:20	9 番教室	第 4 回	土佐　朋子
5	11/2	10:50-12:20	9 番教室	第 5 回	土佐　朋子
6	11/9	10:50-12:20	9 番教室	第 6 回	土佐　朋子
7	11/16	10:50-12:20	9 番教室	第 7 回	土佐　朋子
8	11/30	10:50-12:20	9 番教室	第 8 回	土佐　朋子
9	12/7	10:50-12:20	9 番教室	第 9 回	土佐　朋子
10	12/14	10:50-12:20	9 番教室	第 10 回	土佐　朋子
11	12/21	10:50-12:20	9 番教室	第 11 回	土佐　朋子
12	1/18	10:50-12:20	9 番教室	第 12 回	土佐　朋子
13	1/25	10:50-12:20	9 番教室	第 13 回	土佐　朋子
14	2/1	10:50-12:20	9 番教室	第 14 回	土佐　朋子
15	2/8	10:50-12:20	9 番教室	第 15 回	土佐　朋子

授業方法

講義を中心とする予定であるが、受講生に意見を聞いたり、課題にもとづく議論を行うことも考えている。

授業内容

第1回：オリエンテーション
第2回：『竹取物語』講読1
第3回：『竹取物語』講読2
第4回：『竹取物語』講読3
第5回：『竹取物語』講読4
第6回：『竹取物語』講読5
第7回：『竹取物語』講読6

第8回:高畑勲監督作品映画『かぐや姫の物語』1
第9回:高畑勲監督作品映画『かぐや姫の物語』2
第10回:高畑勲監督作品映画『かぐや姫の物語』3
第11回:『竹取物語』と『かぐや姫の物語』の比較—解釈の相違—
第12回:『竹取物語』に至るまで1—非現実世界への憧憬—
第13回:『竹取物語』に至るまで2—非現実世界への憧憬—
第14回:『竹取物語』に至るまで3—生命の有限をめぐる人間の思索—
第15回:まとめ

成績評価の方法

評価:試験 0%・レポート 50%
　　その他 50%(演習の準備・発表内容・質疑応答への参加度等)
再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

書物に書いてある説明などを鵜呑みのせず、批判的精神にもとづく主体的な解釈を目指すこと。

試験の受験資格

レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。

教科書

新版竹取物語 : 現代語訳付き／室伏　信助　訳註.:角川書店, 2001

参考書

:講談社
授業でその都度紹介する。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。　出欠管理システムの打刻されていても、教員がとる出欠において出席が認められない場合は欠席扱いとなる。　レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。

連絡先

tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜　PM.12:30-PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000831				
科目名	S・ロシア語入門				
担当教員	髙尾　千津子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

授業の目的、概要等

ロシア語の基礎を学ぶ。文字を覚えることからはじめ、初歩の文法を学び、平易なロシア語のあいさつや会話を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

ロシア語はロシアだけでなく、旧ソ連各国や離散したロシア人たちによって世界各地で使われる言語である。またウクライナ語やベラルーシ語という東スラブ系言語とも近い関係にある。独特の文字や発音、また格変化など一見して近づきがたい印象があるかもしれないが、傑出した文豪や知識人を生み出したロシアの文化を、言語を通して学んでいく。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	6 番教室	第 1 回	髙尾　千津子
2	10/5	10:50-12:20	6 番教室	第 2 回	髙尾　千津子
3	10/19	10:50-12:20	6 番教室	第 3 回	髙尾　千津子
4	10/26	10:50-12:20	6 番教室	第 4 回	髙尾　千津子
5	11/2	10:50-12:20	6 番教室	第 5 回	髙尾　千津子
6	11/9	10:50-12:20	6 番教室	第 6 回	髙尾　千津子
7	11/16	10:50-12:20	6 番教室	第 7 回	髙尾　千津子
8	11/30	10:50-12:20	6 番教室	第 8 回	髙尾　千津子
9	12/7	10:50-12:20	6 番教室	第 9 回	髙尾　千津子
10	12/14	10:50-12:20	6 番教室	第 10 回	髙尾　千津子
11	12/21	10:50-12:20	6 番教室	第 11 回	髙尾　千津子
12	1/18	10:50-12:20	6 番教室	第 12 回	髙尾　千津子
13	1/25	10:50-12:20	6 番教室	第 13 回	髙尾　千津子
14	2/1	10:50-12:20	6 番教室	第 14 回	髙尾　千津子
15	2/8	10:50-12:20	6 番教室	第 15 回	髙尾　千津子

授業方法

まずは独特の文字と発音を覚えることから始める。ロシア語の入門用テキストを用いて、ロシア語の基本的文法を習得する。履修者には毎回、重要表現の暗唱、書き取り、練習問題を課す。またロシアの社会や文化についても随時紹介していきたい。

授業内容

1 ロシア語の文字と発音
2 基本の文型
3 人称代名詞、あいさつの表現、否定の表現
4 所有代名詞 形容詞
5 動詞の現在形 第一変化と第二変化
6 場所の表現、ＣＲ動詞
7 所有の表現、命令形
8 移動の動詞、名詞の対格
9 動詞の過去
10 動詞の未来 名詞の生格
11 与格と造格
12 形容詞の格変化
13 完了体の過去
14 完了体の未来
15 まとめ

成績評価の方法

評価 ： 試験 60% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加と小テスト)40 %

再評価:　有(再評価方法　試験) 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
準備学習などについての具体的な指示 文法の習得のため、毎回練習問題と補充テキストを復習すること。
教科書 ニューエクスプレスロシア語／黒田　竜之助／著,:白水社, 2007
参考書 必要に応じて補助教材を配布する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日　12:30～13:30

時間割番号	000344				
科目名	R・離散構造（β）				
担当教員	徳永　伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：火曜５限（ただし履修者の希望により時間帯は調整します）
対象学科・専攻：全学科

授業の目的、概要等

この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です：
「ｍ×ｎの長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、ｍとｎの　必要十分条件を求めよ」
「3×4 の長方形の中に 6 つの点があるとき、それら 6 点のうち距離√5 以下の 2 点が存在することを示せ」
「6 人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである 3 人か、または互いに 2 知り合いでない 3 人のいずれかが存在することを示せ」
「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を１つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。
本年度は V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」
（「組合せ数学における幾何的なエチュード」）の適当な Chapter を選んで読むことにします。
（ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり。αとβで別内容となる可能性もあります）
本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません（その都度調べれば充分対応可能）。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。

授業の到達目標(SBOs)

英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/29	16:10-17:40	共用セミナー室12	第１回	徳永　伸一
2	10/6	16:10-17:40	共用セミナー室12	第２回	徳永　伸一
3	10/13	16:10-17:40	共用セミナー室12	第３回	徳永　伸一
4	10/20	16:10-17:40	共用セミナー室12	第４回	徳永　伸一
5	10/27	16:10-17:40	共用セミナー室12	第５回	徳永　伸一
6	11/10	16:10-17:40	共用セミナー室12	第６回	徳永　伸一
7	11/17	16:10-17:40	共用セミナー室12	第７回	徳永　伸一
8	11/24	16:10-17:40	共用セミ	第８回	徳永　伸一

			ナー室 12		
9	12/1	16:10-17:40	共用セミナー室 12	第 9 回	徳永 伸一
10	12/8	16:10-17:40	共用セミナー室 12	第 10 回	徳永 伸一
11	12/15	16:10-17:40	共用セミナー室 12	第 11 回	徳永 伸一
12	12/22	16:10-17:40	共用セミナー室 12	第 12 回	徳永 伸一
13	1/5	16:10-17:40	共用セミナー室 12	第 13 回	徳永 伸一
14	1/12	16:10-17:40	共用セミナー室 12	第 14 回	徳永 伸一
15	1/19	16:10-17:40	共用セミナー室 12	第 15 回	徳永 伸一

授業方法

輪読によるセミナー形式。

授業内容

毎回 1～2名の発表者に、各自の担当範囲（1セクションの半分程度）を解説してもらいます。
ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。
また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習などについての具体的な指示

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

参考書

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原潤 著,：共立出版, 1992
入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著,秋山仁, ピーター・フランクル 翻案,：共立出版, 1985

他科目との関連

前期の「S・離散構造講義」と関連する問題も扱いますが、必要に応じて補足説明を行いますので、「S・離散構造講義」している必要はありません。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
金曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000317				
科目名	S・数学解析				
担当教員	中口　悦史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：水曜1限
対象学科：口腔保健学科口腔保健工学専攻
募集人数：10名程度
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−1），4−2）

授業の目的、概要等

口腔保健工学専攻専門科目履修のために知っておくべき，数学・応用数学・計算科学の基礎分野を概観する。そのために最低限必要な高校数学の知識を復習しながら，関連する項目を学習する。

授業の到達目標(SBOs)

微積分，線形代数，数値計算の基本的な考え方を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	09:10−10:40	12番教室	第1回	中口　悦史
2	10/7	09:10−10:40	12番教室	第2回	中口　悦史
3	10/14	09:10−10:40	12番教室	第3回	中口　悦史
4	10/21	09:10−10:40	12番教室	第4回	中口　悦史
5	10/28	09:10−10:40	12番教室	第5回	中口　悦史
6	11/4	09:10−10:40	12番教室	第6回	中口　悦史
7	11/11	09:10−10:40	12番教室	第7回	中口　悦史
8	11/18	09:10−10:40	12番教室	第8回	中口　悦史
9	11/25	09:10−10:40	12番教室	第9回	中口　悦史
10	12/2	09:10−10:40	12番教室	第10回	中口　悦史
11	12/9	09:10−10:40	12番教室	第11回	中口　悦史
12	12/16	09:10−10:40	12番教室	第12回	中口　悦史
13	1/6	09:10−10:40	12番教室	第13回	中口　悦史
14	1/13	09:10−10:40	12番教室	第14回	中口　悦史
15	1/20	09:10−10:40	12番教室	第15回	中口　悦史

授業方法

板書による講義と演習を交えながら授業を進める。

授業内容

第1回　ガイダンス
第2～3回　数と方程式
第4～6回　線形代数入門
第7～9回　図形と関数
第10～11回　1変数関数の微積分
第12～14回　多変数関数の微積分
第15回　総合演習

成績評価の方法

評価　：　試験　50%　・　レポート　0%　・　その他（授業中の演習）　50%
再評価：　無
期末試験は授業最終回の総合演習をもって代えることがある。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく思い出し，不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習カードの提出。
教科書 特に指定しない。適宜プリント等を配布する。
参考書 数学/統計学／井川俊彦，清田正夫，徳永伸一，山舘周恒，熊坂一成 著,:医歯薬出版，2005 教養の線形代数／村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著,:培風館，2008 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著,:培風館，1999 微分積分学／難波誠 著,:裳華房，1996 数値計算／洲之内治男 著,:サイエンス社，2002 いかにして問題をとくか／G. ポリア 著,柿内 賢信 訳:丸善株式会社出版事業部 その他，高校数学の参考書。
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと，各回の演習カード提出を併用する。
連絡先 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー [国府台・ヒポ4階研究室]（前期）水・木 12:00～13:00（後期）月・水 12:00～13:00／[湯島・2号館2階教養部連絡室]（D2 情報科学演習・OE2 プロデ担当日）木 11:45～12:45・16:00～17:00／電子メールによる質問等は随時受け付ける。

時間割番号	000325				
科目名	S・実用統計学				
担当教員	徳永　伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：水曜3限（変更の可能性あり。掲示等に注意してください）
対象学科：保健衛生学科、口腔保健学科

授業の目的、概要等

保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、前期に学んだ統計学だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になると思われるレベルの統計学や、Excel を用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。

授業の到達目標(SBOs)

・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。
・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の原理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。
・本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excel を用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	13:10-14:40	計算機実習室	第 1 回	徳永　伸一
2	10/7	13:10-14:40	計算機実習室	第 2 回	徳永　伸一
3	10/14	13:10-14:40	計算機実習室	第 3 回	徳永　伸一
4	10/21	13:10-14:40	計算機実習室	第 4 回	徳永　伸一
5	10/28	13:10-14:40	計算機実習室	第 5 回	徳永　伸一
6	11/4	13:10-14:40	計算機実習室	第 6 回	徳永　伸一
7	11/11	13:10-14:40	計算機実習室	第 7 回	徳永　伸一
8	11/18	13:10-14:40	計算機実習室	第 8 回	徳永　伸一
9	11/25	13:10-14:40	計算機実習室	第 9 回	徳永　伸一
10	12/2	13:10-14:40	計算機実習室	第 10 回	徳永　伸一
11	12/9	13:10-14:40	計算機実習室	第 11 回	徳永　伸一
12	12/16	13:10-14:40	計算機実習室	第 12 回	徳永　伸一
13	1/6	13:10-14:40	計算機実習室	第 13 回	徳永　伸一
14	1/13	13:10-14:40	計算機実習室	第 14 回	徳永　伸一
15	1/20	13:10-14:40	計算機実	第 15 回	徳永　伸一

			習室			

授業内容

（以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定）

第1～3回　:序論および前期の復習

第4回　　:Excel 入門

第5～8回　:演習1（Excel 演習）

第9～12 回　:実用統計学講義（カイ二乗検定、ノンパラメトリック検定　他）

第 13･14 回　:演習2

第 15 回　（予備）

成績評価の方法

原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。

準備学習などについての具体的な指示

必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。

参考書

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005

やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著,:医歯薬出版, 2002

入門統計解析／松原望 著,:東京図書, 2007

バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著,:南江堂, 1990

他科目との関連

「統計学」の進行に合わせ、内容を確認しながら進めます。

備考

保健衛生学科、口腔保健学科の学生のうち、時間割上履修できない学生に対しては、他の時間帯での開講を検討しますので、希望者は申し出てください。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

金曜 12:00-13:00（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000326				
科目名	S・糖の科学				
担当教員	勝又　敏行				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：水曜日 4,5 限（後期）1,3 週

募集人数：5名

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表2−2）自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3）自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要や役割を果たしていると考えられている。

この実習では糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深め、論文購読や糖鎖分析に関する実験を体験することを通して生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。

授業の到達目標(SBOs)

糖に関する基礎知識を習得し、自分で実験計画を立て実験を行い、成果をまとめることができることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1−2	10/7	14:50−18:00	化学学生実験室	第 1 回	勝又　敏行
3−4	10/21	14:50−18:00	化学学生実験室	第 2 回	勝又　敏行
5−6	11/4	14:50−18:00	化学学生実験室	第 3 回	勝又　敏行
7−8	11/18	14:50−18:00	化学学生実験室	第 4 回	勝又　敏行
9−10	12/2	14:50−18:00	化学学生実験室	第 5 回	勝又　敏行
11−12	12/16	14:50−18:00	化学学生実験室	第 6 回	勝又　敏行
13−14	1/6	14:50−18:00	化学学生実験室	第 7 回	勝又　敏行
15−16	1/20	14:50−18:00	化学学生実験室	第 8 回	勝又　敏行

授業方法

実習と講義による

授業内容

1. 糖のペーパークロマトグラフィー
2. 化学的な糖タンパク質の検出
3. 抗体、レクチンを使った特異的な構造の検出
4. 糖の組成分析
5. HPLC を用いた糖鎖構造解析
6. 論文講読

成績評価の方法

評価：試験　0%、レポート　50%、その他（実験ノートなど）50%

再評価　有（レポート再提出）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

実験後に考察をし、次回の実験のテーマ設定にいかせるようにすること。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編],鈴木康夫, 木全弘治 監訳：丸善, 2010

ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる／谷口直之 編,:羊土社, 2002 糖鎖科学への招待／辻崇一 共著,梶本哲也 共著,:三共出版, 2008
連絡先 katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000331				
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス 2				
担当教員	服部　淳彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：水曜日4・5限（第1・3週を除く）
・対象学科・専攻：医学・歯学・検査学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　２－５）自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。

授業の目的、概要等

この科目は，バイオサイエンス 1（前期）と 2（後期）を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。この科目では，
1）現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。
2）また，英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み，その内容をレジュメにまとめて，それぞれ発表してもらう。
3）次に，それらの技術の一部を用いた実験を，実際に行う。
4）さらに、その発展バージョンとして，自由にテーマを設定し、実験のプランニングをしてもらい，そのプランに従った実験を実際に行い，結果を発表，ミニ卒論（論文形式）の形にまとめてもらう。
したがって，実験を行う日は，5時限以降にずれ込むこともあるので，そのつもりでいてほしい。

授業の到達目標(SBOs)

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	9/30	14:50-18:00	6 番教室	第 1 回	服部　淳彦
3-4	10/14	14:50-18:00	6 番教室	第 2 回	服部　淳彦
5-6	10/28	14:50-18:00	6 番教室	第 3 回	服部　淳彦
7-8	11/11	14:50-18:00	6 番教室	第 4 回	服部　淳彦
9-10	11/25	14:50-18:00	6 番教室	第 5 回	服部　淳彦
11-12	12/9	14:50-18:00	6 番教室	第 6 回	服部　淳彦
13-14	1/13	14:50-18:00	6 番教室	第 7 回	服部　淳彦
15-16	1/27	14:50-18:00	6 番教室	第 8 回	服部　淳彦

授業方法

主に、論文紹介と実験による。

授業内容

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義（前期）
2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み，その内容をレジュメにまとめて発表（前期）
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得（前期・夏休み）
4. テーマを設定し（夏休み），独自の実験計画を立て，実際に実験を行う（後期）
5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し，ミニ卒論としてまとめる（後期）

＊　少人数セミナー形式の授業なので，希望者が多い場合は，申し訳ないが人数を絞らせていただく。

成績評価の方法

評価：その他　100%
内容を発表してもらう英語論文に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子，さらに，実際に行った研究（実験）の内容やミニ卒論などから総合的に判断する。
再評価：　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また、内容に関して事前に相談に来ること。
教科書 参考論文などは随時紹介する。
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)

時間割番号	000818				
科目名	S・表象文化論				
担当教員	土佐　朋子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：第1・3を除く水曜2限
・対象学科：全学科
・募集人数：10 名程度
・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）
　別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1－4）異なる空間の文化を理解する

授業の目的、概要等

ここでいう「表象文化」とは、「文学」あるいは「作品」の概念をより拡張したものであるが、本講においては、特に視覚的イメージを題材にして、その構造と政治性について考察する。

言葉、映像、音楽などを組み合わせた映画特有の表現方法や、時代背景、作品と作品との継承関係などをふまえながら、制度＝秩序の生成と、自然＝身体との対立、そして身体の異形化による制度からの逸脱あるいは排除といった政治力学を、文化記号の中に読み取り分析する。あわせて、作品一つ一つに対する自らの解釈を定めることと、それらを人間の生み出してきた表象の大きな流れの中に位置づけることを目指す。

授業の到達目標(SBOs)

①作品一つ一つに対する自らの解釈を定めるための方法を学ぶ。
②人間の表象という創造的営みが、歴史という大きな流れの中で継承されながら新たに生み出されていくことを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	9/30	14:50-18:00	9 番教室	第 1 回	土佐　朋子
3-4	10/14	14:50-18:00	9 番教室	第 2 回	土佐　朋子
5-6	10/28	14:50-18:00	9 番教室	第 3 回	土佐　朋子
7-8	11/11	14:50-18:00	9 番教室	第 4 回	土佐　朋子
9-10	11/25	14:50-18:00	9 番教室	第 5 回	土佐　朋子
11-12	12/9	14:50-18:00	9 番教室	第 6 回	土佐　朋子
13-14	1/13	14:50-18:00	9 番教室	第 7 回	土佐　朋子
15-16	1/27	14:50-18:00	9 番教室	第 8 回	土佐　朋子

授業方法

講義と演習。

授業内容

第 1 回 「表象」とは何か
第 2 回 可視化される制度―映画『メトロポリス』（フリッツ・ラング、1927 年公開）
第 3 回 身体のディシプリンと逸脱1―映画『モダンタイムス』（チャールズ・チャップリン、1938 年）
第 4 回 身体のディシプリンと逸脱2―映画『真空地帯』（山本薩夫、1952 年）ほか。
第 5 回 怪物、あるいは逸脱する身体―映画『ゴジラ』（本多猪四郎、1954 年）
第 6 回 自然と技術、葛藤する制度―映画『もののけ姫』（宮崎駿、1997 年）
第 7 回 排除と憧憬、畏怖と神聖視1―ジブリ作品を中心に
第 8 回 まとめ

成績評価の方法

評価：試験0%・レポート 50%
　　その他（授業中の取り組みと演習への参加度）50%
再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格 原則として3分の2以上の出席。
教科書 プリントを使用。
参考書 授業中にその都度紹介する。
履修上の注意事項 出席管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させる。　出欠管理システム上に打刻があっても、教員がとった出欠で記録がない場合には欠席扱いになる。　レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜　PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000343				
科目名	R・離散構造（α）				
担当教員	徳永　伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：水曜 4-5 限（第 1・第 3 週を除く）
対象学科・専攻：全学科

授業の目的、概要等

この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です：
「m×nの長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、mとnの　必要十分条件を求めよ」
「3×4 の長方形の中に 6 つの点があるとき、それら 6 点のうち距離√5 以下の 2 点が存在することを示せ」
「6 人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである 3 人か、または互いに 2 知り合いでない 3 人のいずれかが存在することを示せ」
「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。
本年度は
V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」
（「組合せ数学における幾何的なエチュード」）
の適当な Chapter を選んで読むことにします。
（ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり。αとβで別内容となる可能性もあります）
本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません（その都度調べれば充分対応可能）。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。

授業の到達目標(SB0s)

英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	9/30	14:50-18:00	2 番教室	第 1 回	徳永　伸一
3-4	10/14	14:50-18:00	2 番教室	第 2 回	徳永　伸一
5-6	10/28	14:50-18:00	2 番教室	第 3 回	徳永　伸一
7-8	11/11	14:50-18:00	2 番教室	第 4 回	徳永　伸一
9-10	11/25	14:50-18:00	2 番教室	第 5 回	徳永　伸一
11-12	12/9	14:50-18:00	2 番教室	第 6 回	徳永　伸一
13-14	1/13	14:50-18:00	2 番教室	第 7 回	徳永　伸一
15-16	1/27	14:50-18:00	2 番教室	第 8 回	徳永　伸一

授業方法

輪読によるセミナー形式。

授業内容

毎回 1～2名の発表者に、各自の担当範囲（1セクションの半分程度）を解説してもらいます。
ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。
また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習などについての具体的な指示

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

参考書 やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原潤 著,:共立出版, 1992 入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著,秋山仁, ピーター・フランクル 翻案,:共立出版, 1985
他科目との関連 前期の「S・離散構造講義」と関連する問題も扱いますが、必要に応じて補足説明を行いますので、「S・離散構造講義」している必要はありません。
連絡先 tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜 12:00-13:00(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 金曜 12:00-13:00(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) ＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000332				
科目名	S・ドイツの詩を読む				
担当教員	シンチンガー　エミ				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：水曜 4・5 限、（第 1 と第 3 水曜をのぞく）
・対象学科：全学科
・受講資格：ドイツ語を履修していること
・募集人数：20 人
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表１－１）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表１－４）異なる空間の文化を理解する
　別表１－５）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
　別表１－６）優れた芸術作品に触れて感性を高める
　別表１－７）人間の心への理解を深める
　別表３－１）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表３－４）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

詩は短い形で完成している文学作品です。外国語を習い始めて、原文で文学作品を読んでみたいときに、最後まで読むことができますし、様々な作家の作品を読むこともできます。
そこでドイツの有名な作家の詩を中心に選び、読んでいきたいと思います。
作品だけを理解し、鑑賞することも大切ですが、作者やその時代背景についての知識が深まれば作品の理解も深まります。そこで参加者には、それぞれいくつかの詩を選んでもらい、その作者と作品の時代的、文学的背景、それらの詩の需要の歴史などについて調べてきてもらい、短い発表をしてもらいます。その後発表と詩の訳を中心に作成したレポートを提出してもらいます。

授業の到達目標(SBOs)

なるべく多くの詩を読むことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	9/30	14:50-18:00	11 番教室	第 1 回	シンチンガー エミ
3-4	10/14	14:50-18:00	11 番教室	第 2 回	シンチンガー エミ
5-6	10/28	14:50-18:00	11 番教室	第 3 回	シンチンガー エミ
7-8	11/11	14:50-18:00	11 番教室	第 4 回	シンチンガー エミ
9-10	11/25	14:50-18:00	11 番教室	第 5 回	シンチンガー エミ
11-12	12/9	14:50-18:00	11 番教室	第 6 回	シンチンガー エミ
13-14	1/13	14:50-18:00	11 番教室	第 7 回	シンチンガー エミ
15-16	1/27	14:50-18:00	11 番教室	第 8 回	シンチンガー エミ

授業方法

初回にはオリエンテーションとして、教員がドイツの詩についての講義をします。その後プリントを配布、どの詩を読むかを相談し、どの参加者が、いつ、どの詩について発表するかも相談します。2 回目以降：予習してきてもらって、詩を原文で読んで、訳していきます。難しい箇所についてはみんなで考えます。3 回目以降：それぞれの詩について、担当者に作者と詩の時代背景などについて短い発表をしてもらってから、全員で読んでみて、内容、解釈等について話し合います。

授業内容 予定しているのは、ゲーテ、ハイネ、リルケ、シラー、ヘッセ、ヘルダーリンなどの詩です。
成績評価の方法 予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。 授業中に行った発表と、その内容をまとめて提出してもらうレポートが 50 パーセント。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 毎回原文を読んでいきますので、予習がとても重要です。 受講前の準備としては、前期に習ったドイツ語の文法をよく復習しておいてください。
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 初回にプリントを配布します。
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきました。 電子辞書よりも紙の辞書の方が詳しいのでよいのですが、 もし電子辞書をこれから購入するのであれば、 そしてこれからもドイツ語を続けるのであれば、 カシオ　Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 原文を読むので、ドイツ語を履修していない人は取れません。　毎回予習が必要です。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000315				
科目名	S・数理生物学				
担当教員	中口　悦史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：水曜4・5限（第1・3水曜日を除く）
募集人数：15名程度
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−4），4−2）

授業の目的、概要等

数理生物学とは数学的手法を用いて生物学・生命科学の問題を解決する学問分野であり，生物学・生命科学と数学の融合領域として今や重要な位置を占めている。この授業では，生物学・生命科学における数学の役割と数学的手法の理解を目的として，数理生物学の中でもイメージのつかみやすい個体群動態や生物拡散の微分方程式モデルについて，英語文献の輪読により学習する。なお，モデル化や数学的手法を主に取り上げ，生物学の内容にはあまり深入りしないので，履修選択の際には注意すること。

授業の到達目標(SBOs)

生物学・生命科学における数理モデルの重要性とその限界について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	9/30	14:50-18:00	8番教室	第1回	中口　悦史
3-4	10/14	14:50-18:00	8番教室	第2回	中口　悦史
5-6	10/28	14:50-18:00	8番教室	第3回	中口　悦史
7-8	11/11	14:50-18:00	8番教室	第4回	中口　悦史
9-10	11/25	14:50-18:00	8番教室	第5回	中口　悦史
11-12	12/9	14:50-18:00	8番教室	第6回	中口　悦史
13-14	1/13	14:50-18:00	8番教室	第7回	中口　悦史
15-16	1/27	14:50-18:00	8番教室	第8回	中口　悦史

授業方法

英語文献の輪読と演習を交えながらゼミ形式で授業を進める。

授業内容

英語文献“Essential Mathematical Biology”または“Mathematical Ideas Biology”の輪読，質疑応答，演習。

成績評価の方法

評価　：　試験　0%　・　レポート　50%　・　その他（授業への取り組み方）　50%
再評価：　無
期末試験に代えてレポートを課す。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

輪読に当たっては必ず予習し，不明な点をよく整理して臨むこと。
また，高校・大学で学習した数学・統計学および生物学の内容をよく復習のこと。
ただし，微分方程式に関する事項は，授業中に説明するので，特に予習しなくてもよい。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回のコメントシートの提出。

教科書

Essential Mathematical Biology／Nicholas F.Britton：Springer，2003
Mathematical Ideas Biology／John Maynard Smith,：Cambridge University Press，1968
絶版の場合は輪読箇所等のコピーを適宜配付する。

参考書

マレー数理生物学入門／James D. Murray 著,：丸善出版，2014-01
Mathematical Biology I: An Introduction, 3rd ed.／J.D.Murray：Springer，2002
Mathematical Biology II: Spatial Models and Biomedical Applications, 3rd ed.／J.D.Murray：Springer，2003

「数」の数理生物学／日本数理生物学会 編,:共立出版, 2008
「空間」の数理生物学／瀬野裕美 責任編集,:共立出版, 2009
「行動・進化」の数理生物学／瀬野裕美 責任編集,:共立出版, 2010
数理生物学 : 個体群動態の数理モデリング入門／瀬野裕美 著,:共立出版, 2007
理論生物学 : 生命科学の新しい潮流／望月敦史 編,:共立出版, 2011
力学系入門 : 微分方程式からカオスまで／Morris W.Hirsch, Stephen Smale, Robert L.Devaney 著,桐木紳, 三波篤郎, 谷川清隆, 辻井正人 訳,:共立出版, 2007
微分方程式／長瀬道弘 著,:裳華房, 1993
絶版の参考書:
・ 寺本英『数理生態学』朝倉書店(1997 年)
・ R.ハーバーマン 著, 稲垣宣生 訳『生態系の微分方程式—個体群成長の数学モデル』現代数学社(1992 年)ISBN:978-4-7687-0307-6
・ 重定南奈子『侵入と伝播の数理生態学』東京大学出版会(1992 年)ISBN: 978-4-13-063142-6
・ 稲葉寿 編著『感染症の数理モデル』培風館(2008 年)ISBN: 978-4563011376
・ デヴィッド.バージェス・モラグ.ボリー 著, 垣田高夫・大町比佐栄 訳『微分方程式で数学モデルを作ろう』日本評論社(1990 年) ISBN:978-4-535-78173-3

履修上の注意事項

・ 英和辞典必携。語彙や用例が豊富であれば電子辞書やスマホ等の辞書機能でも可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと, 各回のコメントシート提出を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

[国府台・ヒポ4階研究室](前期)水・木 12:00～13:00(後期)月・水 12:00～13:00／[湯島・2号館2階教養部連絡室](D2 情報科学演習・OE2 プロデ担当日)木 11:45～12:45・16:00～17:00／電子メールによる質問等は随時受け付ける。

時間割番号	000339				
科目名	S・彫刻(塑造)				
担当教員	高見　直宏				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:水曜・4～5限
募集人数:14 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1ー6

主な講義場所
13 番教室

授業の目的、概要等
水粘土を使用し、塑造による頭像制作を行う実技演習授業。

授業の到達目標(SBOs)
素材とする水粘土に触れる。造形を追求する。観察によって得られる人体の力強さや美しさ等を表現することを目標とする。人間の魅力を感じ取り、芸術に深く触れることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	9/30	14:50-18:00	13番教室	第1回	高見　直宏
3-4	10/7	14:50-18:00	13番教室	第2回	高見　直宏
5-6	10/14	14:50-18:00	13番教室	第3回	高見　直宏
7-8	10/21	14:50-18:00	13番教室	第4回	高見　直宏
9-10	10/28	14:50-18:00	13番教室	第5回	高見　直宏
11-12	11/4	14:50-18:00	13番教室	第6回	高見　直宏
13-14	11/11	14:50-18:00	13番教室	第7回	高見　直宏
15-16	11/18	14:50-18:00	13番教室	第8回	高見　直宏

授業方法
全 16 回の授業は全て実技実習

授業内容
第 1 回 彫刻についての講義 /第 2 回 デッサンについての講義とデッサン実技(モデル)/第 3 回心棒についての講義と塑造制作(モデル)/第4回 粘土についての講義と塑造制作(モデル)/第5回 塑造制作(モデル)/第6回 塑造制作(モデル)/第7回 塑造制作(モデル)/第 8 回 作品の講評会

成績評価の方法
評価　:実習及びレポート 100%　※レポート出席点実習作品などで総合的に評価する。　評価:　無

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示
料理・メイク・大工仕事などのクリエイティブな活動を積極的に行い、日常生活において、想像した物事を自らの手で形作ろうとする姿勢を持つことが望ましい。

履修上の注意事項
原則必要なし。

備考
準備するもの:スケッチブック(A4 以上)、鉛筆(2B のものを 3 本)、カッターナイフ、作業着(白衣も可)

時間割番号	000337				
科目名	S・生体分子分光学演習				
担当教員	奈良　雅之				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：木曜5，6限（開講日指定）
・対象学科：全学科
・募集人数：　5名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１、２、３）科学的思考方法を知る
　４－３）自然現象を探究するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

担当教員の専門分野（生体分子分光学）に関連した研究テーマに実際に参加することにより、研究の取り組み方を学ぶことを目的としています。研究計画から実験報告まで、将来研究者として欠かすことのできない重要事項を一通り体系的に学べるでしょう。

授業の到達目標(SB0s)

少し高度な学生実験レベルから研究レベルまで、学生が希望したレベルの演習を体験できる。

授業方法

実験ならびに研究ミーティング形式による

授業内容

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法（主として赤外分光法もしくはラマン分光法）によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。

1. 分光学に関する基本操作を習得する。
2. 実験テーマ、研究テーマを決める。
3. 各自の目標設定を定めた上で、達成するための計画を立てる。
4. 研究を行う。（実験ならびに結果解析）
5. 研究結果についてのディスカッションを行う。－個別指導
6. 実験経過、研究成果を発表する。
7. 実験レポート（報告書）として報告する。

成績評価の方法

評価：報告・レポート：80％
　　その他20％（授業中の取り組み方、参加度）
再評価　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：配付資料で分光学の原理について勉強する
復習：実験結果を整理して、報告できるようにまとめる

試験の受験資格

定期試験の受験資格：原則3分の2以上出席
（報告・レポートをもって定期試験とする）

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00，毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス４階

時間割番号	000323				
科目名	S・基礎物理化学演習				
担当教員	奈良　雅之				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜1時限
・対象学科：医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻
・募集人数　30名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学（主にPart1 とPart2の分野）の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習　一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならないことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。

授業の到達目標(SBOs)

「マグロウヒル大学演習　一般化学」の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。
演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	2番教室	第1回	奈良　雅之
2	10/9	09:10-10:40	2番教室	第2回	奈良　雅之
3	10/16	09:10-10:40	2番教室	第3回	奈良　雅之
4	10/23	09:10-10:40	2番教室	第4回	奈良　雅之
5	10/30	09:10-10:40	2番教室	第5回	奈良　雅之
6	11/6	09:10-10:40	2番教室	第6回	奈良　雅之
7	11/13	09:10-10:40	2番教室	第7回	奈良　雅之
8	11/20	09:10-10:40	2番教室	第8回	奈良　雅之
9	11/27	09:10-10:40	2番教室	第9回	奈良　雅之
10	12/4	09:10-10:40	2番教室	第10回	奈良　雅之
11	12/11	09:10-10:40	2番教室	第11回	奈良　雅之
12	12/18	09:10-10:40	2番教室	第12回	奈良　雅之
13	1/8	09:10-10:40	2番教室	第13回	奈良　雅之
14	1/15	09:10-10:40	2番教室	第14回	奈良　雅之
15	1/22	09:10-10:40	2番教室	第15回	奈良　雅之

授業方法

学生参加型の発表形式で授業が進行します。

授業内容

第1・2回　序論：単位、気体の測定、気体の分子量
第3・4回　化学熱力学分野　その1
第5・6回　化学熱力学分野　その2
第7・8回　電離平衡（酸・塩基）
第9・10回　電離平衡（錯体と沈殿）
第11・12回　原子の構造
第13・14回　分子の構造
第15回　総合演習

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）30％・レポート20％
　　その他50％（授業中の発表、貢献度）
再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習：指定された問題をノートに解いておく。
復習：授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す

試験の受験資格

定期試験の受験資格：原則3分の2以上の出席

教科書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein　共著,一国雅巳　訳：オーム社, 1995

参考書

フレンドリー基礎物理化学演習／田中潔, 荒井貞夫　共著,：三共出版, 2013

他科目との関連

一般化学 M・D Part1, part2 の理解ができなかった方にもお勧めします。

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000338				
科目名	R・符号理論				
担当教員	清田　正夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：金曜１限

募集人数：10人以下

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−4）

授業の目的、概要等

講義またはゼミ形式で符号理論を初歩から学ぶ。

符号理論は、数字に変換された情報の信頼できる伝達という実用上の問題から発生した。

ここでは代数的符号理論の基礎を代数系（群、環、体）の応用として学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

誤り訂正符号の原理、および各種の有名な符号の構成法を理解することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	09:10−10:40	5番教室	第1回	清田　正夫
2	10/9	09:10−10:40	5番教室	第2回	清田　正夫
3	10/16	09:10−10:40	5番教室	第3回	清田　正夫
4	10/23	09:10−10:40	5番教室	第4回	清田　正夫
5	10/30	09:10−10:40	5番教室	第5回	清田　正夫
6	11/6	09:10−10:40	5番教室	第6回	清田　正夫
7	11/13	09:10−10:40	5番教室	第7回	清田　正夫
8	11/20	09:10−10:40	5番教室	第8回	清田　正夫
9	11/27	09:10−10:40	5番教室	第9回	清田　正夫
10	12/4	09:10−10:40	5番教室	第10回	清田　正夫
11	12/11	09:10−10:40	5番教室	第11回	清田　正夫
12	12/18	09:10−10:40	5番教室	第12回	清田　正夫
13	1/8	09:10−10:40	5番教室	第13回	清田　正夫
14	1/15	09:10−10:40	5番教室	第14回	清田　正夫
15	1/22	09:10−10:40	5番教室	第15回	清田　正夫

授業方法

講義またはゼミ形式で行なう。

発表する学生は、前もってレジュメを作成する。

授業内容

第１－２回　　符号化概論と代数学からの準備

第３－４回　　誤り訂正符号と線形符号

第５－６回　　双対符号と MacWilliams の定理

第７－８回　　完全符号と Hamming 符号

第９－１０回　巡回符号と有限体

第１１－１２回　QR符号とBCH符号

第１３－１５回　Golay 符号と有限群

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他 100%

出席と発表の回数および、発表のやり方、内容の理解度等により評価する。

再評価： 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

準備学習などについての具体的な指示
レジュメ作成の際は、テキストを時間をかけてじっくり読み込み、その数学的内容を簡潔にまとめること。
教科書
A First Course in Coding Theory (Oxford Applied Mathematics and Computing Science Series) [Paperback] Raymond Hill Publication Date: April 12, 1990 ISBN-13: 978-0198538035
履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。
備考
受講に際し、数学的予備知識は不要である。
連絡先
清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000833				
科目名	S・Basic Concepts in Physics				
担当教員	檜枝　光憲				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：金曜1限
対象学科：全学科
英語で物理を学ぶ意欲のある人
募集人数：20人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1）別表3－1）別表4－2）

授業の目的、概要等

English is the common language on an international scene in not only the science but also the medicine. Many Japanese researchers including me have the experience that had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to take a class of the natural science in English early at the stage of the freshman. In this lecture, you will learn various topics of physics by using English: classical mechanics, hydrodynamics, simple oscillation, sound wave, and introductory electrodynamics. It is also aim at obtaining not only the knowledge of the physics but also a communicative competence in English.

サイエンスのみならず医学の世界においても国際的な舞台での共通語は英語である。自分も含めて多くの日本人研究者達は英語で苦労した経験を持っているだろう。よって、大学1年生という早い段階で英語による自然科学の授業を受けることは、皆さんの将来の準備のために大いに意味がある。本講義では英語によって、力学、流体力学、単振動、音波、電磁気学をトピック的に学んでいきます。物理の知識だけではなく英語によるコミュニケーション能力も身につけることを目指します。

授業の到達目標(SBOs)

As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in physics from English lecture and text.

英語の講義やテキストから自然科学の有益な情報が得られるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	09:10-10:40	4番教室	第1回	檜枝　光憲
2	10/9	09:10-10:40	4番教室	第2回	檜枝　光憲
3	10/16	09:10-10:40	4番教室	第3回	檜枝　光憲
4	10/23	09:10-10:40	4番教室	第4回	檜枝　光憲
5	10/30	09:10-10:40	4番教室	第5回	檜枝　光憲
6	11/6	09:10-10:40	4番教室	第6回	檜枝　光憲
7	11/13	09:10-10:40	4番教室	第7回	檜枝　光憲
8	11/20	09:10-10:40	4番教室	第8回	檜枝　光憲
9	11/27	09:10-10:40	4番教室	第9回	檜枝　光憲
10	12/4	09:10-10:40	4番教室	第10回	檜枝　光憲
11	12/11	09:10-10:40	4番教室	第11回	檜枝　光憲
12	12/18	09:10-10:40	4番教室	第12回	檜枝　光憲
13	1/8	09:10-10:40	4番教室	第13回	檜枝　光憲
14	1/15	09:10-10:40	4番教室	第14回	檜枝　光憲
15	1/22	09:10-10:40	4番教室	第15回	檜枝　光憲

授業方法

Lecture

授業内容

Classical mechanics（古典力学）
Fluid mechanics（流体力学）
Simple oscillation（単振動）
Sound and hearing（音波）

Introductory electrodynamics（電磁気学入門）
成績評価の方法 評価　：　試験　50% その他（平常点と授業中に課す演習問題）　50% 再評価：　無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業前に斜め読みでも良いのでテキストに目を通しわからない英単語は調べておくこと。
教科書 University Physics with Modern Physics Technology Update / Hugh D. Young and Roger A. Freedman: Pearson Education Limited, 2013
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させます。
備考 本授業は英語を基本としていますが、受講者のレベルに応じて日本語でのフォローアップを行います。 内容としては前期の力学と重複する部分がありますので、新しい知識を多く学びたい人には不向きです。

時間割番号	000307				
科目名	S・翻訳演習				
担当教員	畔柳　和代				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：金曜2限
・対象学科：医学科　歯学科　保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表1－1）
　別表3－4）

授業の目的、概要等

目的：互いの訳文について前向きに意見を交換しながら、読む力と、読みとったことを伝える力をつけること。

概要：英文を日本語に訳す課題（授業内課題を含めて 10 回ほど）を通して、翻訳について考えます。受講者は訳文をつくり、提出することになります。

授業の到達目標(SBOs)

1）精読。
2）文脈の理解につとめる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	4 番教室	第 1 回	畔柳　和代
2	10/9	10:50-12:20	4 番教室	第 2 回	畔柳　和代
3	10/16	10:50-12:20	4 番教室	第 3 回	畔柳　和代
4	10/23	10:50-12:20	4 番教室	第 4 回	畔柳　和代
5	10/30	10:50-12:20	4 番教室	第 5 回	畔柳　和代
6	11/6	10:50-12:20	4 番教室	第 6 回	畔柳　和代
7	11/13	10:50-12:20	4 番教室	第 7 回	畔柳　和代
8	11/20	10:50-12:20	4 番教室	第 8 回	畔柳　和代
9	11/27	10:50-12:20	4 番教室	第 9 回	畔柳　和代
10	12/4	10:50-12:20	4 番教室	第 10 回	畔柳　和代
11	12/11	10:50-12:20	4 番教室	第 11 回	畔柳　和代
12	12/18	10:50-12:20	4 番教室	第 12 回	畔柳　和代
13	1/8	10:50-12:20	4 番教室	第 13 回	畔柳　和代
14	1/15	10:50-12:20	4 番教室	第 14 回	畔柳　和代
15	1/22	10:50-12:20	4 番教室	第 15 回	畔柳　和代

授業方法

授業では互いの訳文を検討するほか、翻訳に関するエッセイ等を読みます。
数回の講義も含みます。
課題の訳文は、フィクションとノンフィクション、両方です。

授業内容

第 1 回　イントロダクション　と　課題
第 2 回　講義　及び　課題配布
第 3 回～第 15 回　訳文について意見交換　（講義数回を含む）
　　受講者から事前に提出された訳文を検討する。
第 15 回　まとめ

成績評価の方法

評価：　課題（提出状況と内容のふたつで評価）:50%、参加度：50%、
再評価：　有（再評価方法　レポートと面接）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 わからなかったら、辞書を引く。調べる。考える。 ※空白だらけの訳文を提出してはいけません。最後まで訳してください。
試験の受験資格 再評価の対象となるのは、原則として3分の2以上出席した者です。
参考書 イエスの言葉 : ケセン語訳／山浦玄嗣 著,:文藝春秋, 2011 翻訳に遊ぶ／木村榮一 著,:岩波書店, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000341				
科目名	S・現代中国論				
担当教員	家永　真幸				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2, 1-5, 1-9, 3-2, 3-5

授業の目的、概要等

近年の中国は、目覚しい経済発展を遂げる一方、国内には多くの問題を抱え、軍事や外交面での強硬姿勢がメディアで取りざたされることもしばしばです。こうした中、皆さんの中には中国に興味を覚えつつも、これまでの勉強では現代中国について知る機会が少なかった、という人が多いのではないでしょうか。

この授業では皆さんが現代中国を理解するための糸口をつかむお手伝いをしたいと考えています。ネット世論やテレビ番組に影響されて感情論を振り回したりせず、自分の言葉で冷静に中国を語れるようになりたいと思っているような方の参加を歓迎します。予備知識は問いません。

授業の到達目標(SBOs)

皆さんが日本の各種メディアから受け取る中国情報というと、「好き／嫌い」や「楽観／悲観」などの感情論を煽るものが多いのではないかと思われます。しかし、そのような「評価」は本来一人ひとりが下すべきものです。

この授業では、中国で何が起こっているのかという「事実」を明らかにしようとするテクストに多く触れることで、皆さんが中国にまつわる諸問題を自分なりに評価できるようになることが期待されます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	10:50-12:20	3番教室	第1回	家永　真幸
2	10/9	10:50-12:20	3番教室	第2回	家永　真幸
3	10/16	10:50-12:20	3番教室	第3回	家永　真幸
4	10/23	10:50-12:20	3番教室	第4回	家永　真幸
5	10/30	10:50-12:20	3番教室	第5回	家永　真幸
6	11/6	10:50-12:20	3番教室	第6回	家永　真幸
7	11/13	10:50-12:20	3番教室	第7回	家永　真幸
8	11/20	10:50-12:20	3番教室	第8回	家永　真幸
9	11/27	10:50-12:20	3番教室	第9回	家永　真幸
10	12/4	10:50-12:20	3番教室	第10回	家永　真幸
11	12/11	10:50-12:20	3番教室	第11回	家永　真幸
12	12/18	10:50-12:20	3番教室	第12回	家永　真幸
13	1/8	10:50-12:20	3番教室	第13回	家永　真幸
14	1/15	10:50-12:20	3番教室	第14回	家永　真幸
15	1/22	10:50-12:20	3番教室	第15回	家永　真幸

授業方法

今日の中国では一体何が起こっているのか、日本語で書かれた論文やルポタージュを読みながら考える授業です。参加者でテーマを分担し、担当者に毎回の課題テキストの内容を紹介していただいた上で、こちらから解説を加える形式で進めます。

受講者の人数によっては形式を変更する可能性があります。初回の顔ぶれを見て判断します。

授業内容

今日の中国をめぐる領土問題、経済問題、環境問題、民族問題、日中関係、米中関係などを題材に、中国情報を読み解く訓練をしていただきます。

成績評価の方法

評価：授業内での報告40%・期末レポート30%・その他（平常点）30%

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示
課題テクストを読んでくること。中国に関するニュースにアンテナを張っておくこと。
教科書
中国台頭の終焉／津上俊哉 著,:日本経済新聞出版社, 2013
参考書
メガチャイナ : 翻弄される世界、内なる矛盾／読売新聞中国取材団 著,:中央公論新社, 2011 中国は、いま／国分良成 編,:岩波書店, 2011

時間割番号	000324				
科目名	S・BASIC 言語				
担当教員	清田　正夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時限：金曜５限
対象学科：保健衛生学科、口腔保健学科
募集人数：１０人以下
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：4−4）

授業の目的、概要等

情報科学で学んだ BASIC 言語の基礎知識を前提として、やや複雑なプログラムに挑戦する。

授業の到達目標(SBOs)

プログラミング言語の仕組みを理解し、目的に応じたプログラムを自作することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	16:30−18:00	計算機実習室	第１回	清田　正夫
2	10/9	16:30−18:00	計算機実習室	第２回	清田　正夫
3	10/16	16:30−18:00	計算機実習室	第３回	清田　正夫
4	10/23	16:30−18:00	計算機実習室	第４回	清田　正夫
5	10/30	16:30−18:00	計算機実習室	第５回	清田　正夫
6	11/6	16:30−18:00	計算機実習室	第６回	清田　正夫
7	11/13	16:30−18:00	計算機実習室	第７回	清田　正夫
8	11/20	16:30−18:00	計算機実習室	第８回	清田　正夫
9	11/27	16:30−18:00	計算機実習室	第９回	清田　正夫
10	12/4	16:30−18:00	計算機実習室	第１０回	清田　正夫
11	12/11	16:30−18:00	計算機実習室	第１１回	清田　正夫
12	12/18	16:30−18:00	計算機実習室	第１２回	清田　正夫
13	1/8	16:30−18:00	計算機実習室	第１３回	清田　正夫
14	1/15	16:30−18:00	計算機実習室	第１４回	清田　正夫
15	1/22	16:30−18:00	計算機実習室	第１５回	清田　正夫

授業方法

各テーマごとに、前半講義、後半実習を行なう。
毎回課題を提出させる。

授業内容

第1回—第2回	BASIC で統計処理
第3回—第4回	円周率を求めよう
第5回—第6回	あなたの生まれた日は何曜日？
第7回—第8回	カレンダーを作ろう
第9回—第10回	コンピュータとジャンケン勝負
第11回—第12回	グラフィックスで遊ぼう
第13回—第14回	関数のグラフを描こう
第15回	自作プログラムに挑戦

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他 100%

出席と毎回の課題提出、および自作プログラムにより評価する。

再評価： 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

BASIC 言語の基本的命令を復習しておくこと。

毎回の講義内容を理解した上で、実習と課題に取り組むこと。

教科書

プリントを配布する。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。

連絡先

清田 正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

清田 正夫:毎週月曜日、木曜日 12：00～13：00 ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

時間割番号	000819				
科目名	S・英語による解析力学				
担当教員	越野　和樹				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
　別表2－1)
　別表4－2)

授業の目的、概要等

ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を基礎として，最小作用の原理・ラグランジュの運動方程式・正準方程式など量子力学と密接に関連する力学体系へと発展させる.

授業の到達目標(SBOs)

下記トピックについて英文教材に基づいて理解し，演習問題を解けることを目標とする:

Principle of least action/Galileo's relativity principle/Lagrangian for a free particle/Lagrangian for a system of particles/Energy/Momentum/Centre of mass/Angular momentum/Mechanical similarity

授業方法

講義および演習による

授業内容

Principle of least action/Galileo's relativity principle/Lagrangian for a free particle/Lagrangian for a system of particles/Energy/Momentum/Centre of mass/Angular momentum/Mechanical similarity

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)50%・レポート50%

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

前期「力学」を更に発展させた内容を学ぶため，前期「力学」の内容に関する極めて深い理解および演習能力を前提条件とする. .

参考書

Mechanics, Third Edition: Volume 1 (Course of Theoretical Physics)

authors: L.D.Landau and E.M.Lifshitz

履修上の注意事項

前期「力学」において優秀な成績をおさめている者，あるいは同等以上の学力を有することを受講資格とする.　出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる.

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000352				
科目名	S・野外運動実習				
担当教員	水野哲也, 田井健太郎, 麓正樹				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:後期集中(春季休業中を含む)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

人が充実した一生を全うするためには、その心身の健康が基盤であり、その維持増進には自然の摂理を理解した健康的なライフスタイルの実践とより良い人間関係を築き上げるコミュニケーション力が必要です。そして、そうした能力の基礎には「人間の理解」、つまり自分自身の心身さらには人格的相互関係への理解が不可欠です。

そこで本授業は、セルフケアについては事前授業で基礎理論を学び、転地での温泉入浴、自然体験が身心にどういった変化をもたらすかを体験し、コミュニケーションについては事前授業と転地での集団による雪上スポーツを用いた野外運動を通じて問題を発見・整理し、調整・解決するための基本を身につけることを目的とします。また、短期合宿研修では、規律ある集団生活を通して社会性を養います。なお、本年度の短期合宿研修は長野県長野市にある戸隠スキー場で実施する予定です。

授業の到達目標(SBOs)

短期合宿研修では、自身のフィジカルとメンタルについて自己評価を行い、野外運動プログラムとしては雪上スポーツ(スキー等)を用います。雪上スポーツは大自然の中で行う爽快感とともに、年齢や性別、体力の違いにかかわらずに誰でも実践できるといった運動特性があり、技術的要素の強いスポーツであることから生涯スポーツとして世界中で愛好されている種目です。よって授業では、温泉療養、自然との触れあいを含む短期合宿実習を体験することで、フィットネスの多様性並びに日常の生活環境の構成要素と適応について理解し、自分自身の生活や人間関係能力を振り返り, 新たに自分らしい探究が行えることを到達目標とします。とはいえ、授業は短期間のため、具体的な目標は自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)と雪上スポーツ技能の基礎を確実に身につけることにあります。

授業方法

本授業は国府台キャンパスでの講義授業(2 月初旬)と春季休業中(2 月下旬の予定)に転地で実施される短期合宿研修(スノー・キャンプ)形式で構成されています。

授業内容

国府台キャンパスでの事前授業では、セルフケア、コミュニケーション、野外運動の特性、リスクマネジメントについて学び、後半は学外での短期合宿研修(3泊4日)で、気候療法の基礎、雪上実習(スキー等)を中心に行います。

成績評価の方法

評価:参加度 30%、理解度(レポートによる)70%

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

本授業では単に授業に参加するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかについて主体性をもって考えるとともに、自らのより良いライフスタイル構築に向けた積極的な態度や姿勢が求められます。よって、他の授業でも使用するフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は体験型授業科目のため、原則事前授業を含む全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

温泉療法 : 温泉と自然が生み出す健康づくり／大塚吉則 著,:クルーズ, 2012

気候療法入門 : 山歩きにはちょっと冷たい冷刺激／アンゲラ・シュウ 著,西川力 訳,阿岸祐幸 医学監修,:パレード, 2009

自律訓練法の実際 心身の健康のために／佐々木雄二 著,:静岡市立清水中央図書館, 2003

他科目との関連

必修科目であるスポーツ・健康科学並びにフィットネスマネジメントとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000844				
科目名	S・Introduction to Language and Linguistics				
担当教員	今村　圭介				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：月曜２限

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所

12 番教室

授業の目的、概要等

"In the beginning was the Word, and the Word was with God, and the Word was God."

Language is a very unique feature that defines human beings. It serves as a means to express our intricate thoughts, pass on knowledge, build or destroy people, etc.

In this course, you will learn structure, function and the uniqueness of language.

This course is open to any students interested in the subject matter.

授業の到達目標(SBOs)

Course objectives are:

1.To understand the basic principles of linguistics

2.To deepen our understanding of everyday languages and the cultures behind them.

3.To understand the universality and individuality in language.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	12番教室	第１回	今村　圭介
2	10/5	10:50-12:20	12番教室	第２回	今村　圭介
3	10/19	10:50-12:20	12番教室	第３回	今村　圭介
4	10/26	10:50-12:20	12番教室	第４回	今村　圭介
5	11/2	10:50-12:20	12番教室	第５回	今村　圭介
6	11/9	10:50-12:20	12番教室	第６回	今村　圭介
7	11/16	10:50-12:20	12番教室	第７回	今村　圭介
8	11/30	10:50-12:20	12番教室	第８回	今村　圭介
9	12/7	10:50-12:20	12番教室	第９回	今村　圭介
10	12/14	10:50-12:20	12番教室	第10回	今村　圭介
11	12/21	10:50-12:20	12番教室	第11回	今村　圭介
12	1/18	10:50-12:20	12番教室	第12回	今村　圭介
13	1/25	10:50-12:20	12番教室	第13回	今村　圭介
14	2/1	10:50-12:20	12番教室	第14回	今村　圭介
15	2/8	10:50-12:20	12番教室	第15回	今村　圭介

授業方法

Lectures

Discussion

授業内容

1 Introduction

2 Typology

3 Phonology and Phonetics

4 Morphology and Syntax

5 Lexicology and Semantics

6 Pragmatics

7 Language and Dialect

8 Language and Culture

9 Language Death

10 Language and Identity

11 Power of Words

12 Language Birth

13 Language Acquisition

14 Language Contact and Change

15 Review

＊This schedule may change based on students' interest.

成績評価の方法

attendance/participation 40%　weekly assignments 30%　final essay 30%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.

Students must also submit weekly assignments.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

教科書

There is no assigned textbook for this course.

Course material will be provided weekly.

履修上の注意事項

特になし

連絡先

Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日　AM. 9:00-12:00

時間割番号	000279				
科目名	教養総合講座				
担当教員	服部　淳彦, 家永　真幸				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

・曜日・時間：主に火曜日4・5限（詳細は配布するカレンダー参照）
・対象学科・専攻：全学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　１－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。
　２－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。
　３－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。

授業の目的、概要等

（1）人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、共通のテーマを深く考察する機会を与えることによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につけさせる。
（2）すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。
（3）学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、文章表現、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。

授業の到達目標(SBOs)

大学での学習に必要な討論、文章表現および情報活用に関する基本的なスキルを身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	授業題目
1-2	5/19	14:50-18:00	第1回
3-4	5/26	14:50-18:00	第2回
5-6	6/2	14:50-18:00	第3回
7-8	6/9	14:50-18:00	第4回
9-10	6/16	14:50-18:00	第5回
11-12	6/23	14:50-18:00	第6回
13-14	6/30	14:50-18:00	第7回
15-16	7/7	14:50-18:00	第8回
17-18	7/14	14:50-18:00	第9回
19-20	7/21	14:50-18:00	第10回
21-22	7/28	14:50-18:00	第11回
23-24	9/18	14:50-18:00	
25-26	9/25	14:50-18:00	

授業方法

講義とセミナー形式を基本とし、添削・演習や発表も課す。
教養部ガイダンスや第1回目の日に、詳細な説明を行う。

授業内容

本授業は（1）基礎ゼミ、（2）文章表現リテラシー、（3）情報活用リテラシーの3つの内容から構成される。これらは、対象学生全員を15名程度の班に分けて、並行して進められる。
（1）基礎ゼミでは、指定された課題図書と、初回の基調講演を参考にして、班ごとに、大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情報収集と討論を行い、最終回（発表会）で班の考えを述べる。各班には教養部教員が1名ずつ、チュータとして参加する。
（2）文章表現リテラシーでは、講義と添削により、論理的文章の書き方を実践的に学ぶ。
（3）情報活用リテラシーでは、情報の収集・分析・提示について、演習を交えながら学ぶ。

成績評価の方法

評価：その他　100%
基礎ゼミ(50%)、文章表現リテラシー(25%)、情報活用リテラシー(25%)
出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。
なお、指定した期日までにレポートの提出が無い場合は、不可とする。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

「基礎ゼミの指定図書」は、基調講演の前までに読んでおくこと。

「文章表現リテラシーの課題図書」は第 1 回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

教科書

基礎ゼミの指定図書:

ネルケ無方『日本人に「宗教」は要らない』(ベスト新書、2014 年)

文章表現リテラシーの課題図書:

広井良典『死生観を問いなおす』(ちくま新書、2001 年)

参考書

基礎ゼミの推薦図書:

鷲田清一『死なないでいる理由』(角川文庫、2008 年)

香川知晶『命は誰のものか』(ディスカヴァー携書、2009 年)

※上記 2 冊は、基礎ゼミに取り組むに当たり特に推薦する作品である。学期中に味読することが望ましい。

基礎ゼミの参考図書:

石井光太『遺体――震災、津波の果てに』(新潮文庫、2014 年)

大野更紗『困ってるひと』(ポプラ文庫、2012 年)

小俣和一郎『精神医学とナチズム――裁かれるユング、ハイデガー』(講談社現代新書、1997 年)

小松美彦・市野川容孝・田中智彦編『いのちの選択――今、考えたい脳死・臓器移植』(岩波ブックレット、2010 年)

島本慈子『戦争で死ぬ、ということ』(岩波新書、2006 年)

多田富雄『わたしのリハビリ闘争――最弱者の生存権は守られたか』(青土社、2007 年)

中島みち『尊厳死に「尊厳」はあるか――ある呼吸器外し事件から』(岩波新書、2007 年)

山口研一郎編著『国策と犠牲――原爆・原発 そして現代医療のゆくえ』(社会評論社、2014 年)

山本雅基『山谷でホスピスやってます』(じっぴコンパクト新書、2010 年)

養老孟司『自分は死なないと思っているヒトへ』(だいわ文庫、2006 年)

若林一美『死別の悲しみを超えて』(岩波現代文庫、2000 年)

鷲田清一『教養としての「死」を考える』(洋泉社新書、2004 年)

ノルベルト・エリアス『死にゆく者の孤独〈新装版〉』(叢書ウニベルシタス、2010 年)

V.E.フランクル『それでも人生にイエスと言う』(春秋社、1993 年)

文章表現リテラシーの参考図書:

木下是雄『理科系の作文技術』(中公新書、1981 年)

情報活用リテラシーの参考図書:

魚田勝臣編『IT テキスト基礎情報リテラシ 第 3 版』(共立出版、2008 年)

木暮仁『教科書 情報倫理』(日科技連、2008 年)

福井健策『18歳の著作権入門』(ちくまプリマー新書、2015 年)

連絡先

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

家永 真幸:ienaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

家永 真幸:毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000280				
科目名	医療人間学概論(倫理学)				
担当教員	藤井　達夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間:　火曜　1 限
対象学科:保健衛生学科看護学専攻
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
1-2)　1-9)

授業の目的、概要等

この授業では、「倫理」の基本的な内容や意味、そしてそれが提起する問題について吟味し、理解することを目指します。これに加えて、この授業にはもう一つの狙いがあります。それは、受講生のみなさんが、これまでの生活の中で身に付けてきた、倫理に対するイメージや善悪の基準をあらためて考え直す機会を提供することです。倫理についての様々な考えを学び、それらを生み出した土壌を理解することは、医療について考える上で、さらには自分自身の生活を見つめる上で、これまでとは異なる新しい視点を与えてくれるはずです。今年度は、倫理学の基本的な理解を素地として、インフォームド・コンセントを中心にした生命倫理の歴史を概観し、その現代的な課題について検討します。そのために、19 世紀に誕生した優生思想と、医療テクノロジーの発展によって普及しはじめた 21 世紀の新しい優生思想について焦点を当てます。また、20 世紀から現代にいたる医療問題の中心となってきた病院という制度の歴史とその未来のあり方についても言及する予定です。

授業の到達目標(SBOs)

到達目標は次の三点です。第一に、西洋の倫理学説の基礎的な理解を習得すること。第二に、日常的な倫理観を相対化する視点を獲得すること。第三に、生命倫理についての基礎的な知識を習得した上で、現代の生命倫理が抱える課題に対する理解を深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/29	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	第1回	藤井　達夫
2	10/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	第2回	藤井　達夫
3	10/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	第3回	藤井　達夫
4	10/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	第4回	藤井　達夫
5	10/27	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	第5回	藤井　達夫
6	11/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	第6回	藤井　達夫
7	11/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	第7回	藤井　達夫
8	11/24	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	第8回	藤井　達夫

授業方法

この授業は、講義形式で行われます。

授業内容 第１回　倫理学の基礎について 第２回　生命倫理とは何か？・・・・インフォームド・コンセントとその限界 第３回　優生思想と医療①・・・・西洋のケース 第４回　優生思想と医療②・・・・日本のケース 第５回　新しい優生思想の登場とその倫理的問題 第６回　現代社会における死の問題 第７回　病院の時代の終焉 第８回　まとめ
成績評価の方法 評価　：　試験　　0%　・　レポート　　90%　・　その他（授業での取り組み　　）10% 再評価：　有（再評価方法）　レポートの再提出
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で指示をします。
教科書 教科書は使用しません。スライドを使って授業を行います。
参考書 授業内で随時、紹介していきます。
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000281				
科目名	医療人間学概論（法学）				
担当教員	一家　綱邦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

曜日・時間：火曜2限
受講資格：保健衛生学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2), 1-9)

主な講義場所

3 号館 18 階保健衛生学講義室 1

授業の目的、概要等

日本国憲法の基本的人権の考え方を学ぶことを通じて、現代医療と医学研究において生じる問題を法的な視点から考えるために必要な基礎的な知識と思考方法を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

日本国憲法の基本的人権のうち、特に医療と関わりの深い諸原理を理解すること。また、それを応用して社会で実際に起きている問題を分析し、一定の答えを示せること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	9/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	第 1 回
2	10/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	第 2 回
3	10/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	第 3 回
4	10/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	第 4 回
5	10/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	第 5 回
6	11/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	第 6 回
7	11/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	第 7 回
8	11/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	第 8 回

授業方法

講義形式

授業内容

第一回　法的思考とは
第二回　人権の享有主体と人権規定の私人間効力
第三回　道徳と法
第四回　法の下の平等

第五回　自己決定権 第六回　信教の自由 第七回　プライバシーの権利 第八回　生存権
成績評価の方法 評価　：　定期末の試験又はレポートで評価する。出席点は加算する。 再評価：　有（再評価方法　追試）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業ノートを中心に復習し、必要に応じて参考書を参照すること。時事問題については日々の報道を新聞等によって知っておくこと。
試験の受験資格 講義に3分の2以上の出席をした者。
参考書 ・吉田仁美編『スタート憲法』(第2版　2014)
履修上の注意事項 公休・忌引などの届出は不要。これらを含めてやむをえない事情で欠席した者は自分でキャッチアップすること。その他、講義中に指示する内容に従うこと。

時間割番号	000274		
科目名	医療人間学セミナーⅠ（法学）		
担当教員	中田　はる佳		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：火曜日　1限、2限
対象学科：保健衛生学科看護学専攻
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－9）市民としての倫理観を養う

主な講義場所

3号館18階保健衛生学講義室1

授業の目的、概要等

医療技術が発展していく中で、それに合わせて法律や倫理など社会の基盤となるものも発展していかなければなりません。この授業では、医療と法律の接点について様々な事例を見ながらを考えていきます。基本的な事項を開設した上で、様々な資料から自分の考えをまとめてもらいます。

授業の到達目標(SBOs)

医療と法の関連を知る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	12/1	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	第1回	中田　はる佳
3-4	12/8	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	第2回	中田　はる佳
5-6	12/15	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	第3回	中田　はる佳
7-8	12/22	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	第4回	中田　はる佳

授業方法

基本的にはセミナー形式で行います。

授業内容

第1回：子どもの権利、親の権利
第2－3回：親子に関連する医療と法（臓器移植と医療機器）
第4回：親子に関連する医療と法（遺伝子治療、遺伝子検査）

成績評価の方法

評価　：　試験　　％　・　レポート80　　％　・　その他（　出席　　）20　％
再評価：　有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習は基本的に不要です。復習は、講義内容に関連する新聞記事などを見つけて読み、自分の考えをまとめるなどしてください。

教科書

資料は講義中に随時配布します。

履修上の注意事項

出欠は基本的に出欠管理システムによりますが、授業中に小レポートを実施する場合があります。

時間割番号	000275		
科目名	医療人間学セミナーⅠ（倫理学）		
担当教員	藤井　達夫		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:　火曜　1・2 限
対象学科：保健衛生学科看護学専攻
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)　1-9)

授業の目的、概要等

このセミナーでは、死の問題を現代社会の文脈に据えて検討します。このために、山崎章郎『病院で死ぬということ』を受講生の皆さん全員と輪読をします。この輪読をとおして、看護の専門家としてのみならず、現代社会を生きる人間として、死の問題やケアリングについて考えることを目指します。受講生の皆さんは、今後、看護について専門的に学ぶことになります。このセミナーでは、専門的な学習の前提となるような、あるいはもしかしたら、専門的な学習では取り扱われないような、現代社会における死の問題を倫理学的な視点から検討したいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

倫理学的な視点から現代社会における死の問題について考え、自分の意見を表明できること。一冊のテキストをしっかり読みこなすことができ、またその内容についてプレゼンテーションができること。 他の学生の意見や問いかけに対して、しっかり応答ができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	12/1	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	第1回	藤井　達夫
3-4	12/8	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	第2回	藤井　達夫
5-6	12/15	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	第3回	藤井　達夫
7-8	12/22	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	第4回	藤井　達夫

授業方法

この授業は、セミナー形式で行われます。受講生には、担当箇所のレジュメの作成とそれに基づくプレゼンテーションをしてもらいます。

授業内容

第1回死生学について・・・・西洋のケース
第2回死生学について・・・・日本のケース
第3回～第8回・・・・テキストについてのプレゼンテーションとディスカッション

成績評価の方法

評価　：　試験　　0%　・　レポート　　0%　・　その他（課題(レジュメ)の提出とプレゼンテーション、授業内での取り組み）100%
再評価：　有（再評価方法）レポートの提出

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

テキストの熟読、レジュメの作成、プレゼンテーションの準備

教科書

山崎章郎『病院で死ぬということ』（文春文庫、1996 年）

参考書

授業内で随時、紹介していきます。

履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000276		
科目名	医療人間学セミナーⅡ（法学）		
担当教員	中田　はる佳		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間：火曜日　1 限、2 限
対象学科：保健衛生学科看護学専攻
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－9）市民としての倫理観を養う

主な講義場所

3 号館 18 階保健衛生学講義室 1

授業の目的、概要等

医療技術が発展していく中で、それに合わせて法律や倫理など社会の基盤となるものも発展していかなければなりません。この授業では、医療と法律の接点について様々な事例を見ながらを考えていきます。基本的な事項を開設した上で、様々な資料から自分の考えをまとめてもらいます。

授業の到達目標(SBOs)

医療と法の関連を知る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	1/5	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	第1回	中田　はる佳
3-4	1/12	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	第2回	中田　はる佳
5-6	1/19	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	第3回	中田　はる佳
7-8	1/26	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	第4回	中田　はる佳

授業方法

基本的にはセミナー形式で行います。

授業内容

第1回：尊厳死・安楽死とは
第2-3回：人の死が問題となる医療と法（脳死と関連医療）
第4回：人の死が問題となる医療と法（尊厳死・安楽死の事例）

成績評価の方法

評価　：　試験　　％　・　レポート 80　　％　・　その他（　出席　　）20　％
再評価：　有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習は基本的に不要です。復習は、講義内容に関連する新聞記事などを見つけて読み、自分の考えをまとめるなどしてください。

教科書

資料は講義中に随時配布します。

履修上の注意事項

出欠は基本的に出欠管理システムによりますが、授業中に小レポートを実施する場合があります。

時間割番号	000277		
科目名	医療人間学セミナーⅡ（倫理学）		
担当教員	藤井　達夫		
開講時期	後期	対象年次	1

曜日・時間:　火曜　1・2 限
対象学科：保健衛生学科看護学専攻
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)　1-9)

授業の目的、概要等

このセミナーでは、死の問題を現代社会の文脈に据えて検討します。このために、エリザベス・キューブラー・ロス『死ぬ瞬間—死とその過程について』を受講生の皆さん全員と輪読をします。この輪読をとおして、看護の専門家としてのみならず、現代社会を生きる人間として、死の問題やケアリングについて考えることを目指します。受講生の皆さんは、今後、看護について専門的に学ぶことになります。このセミナーでは、専門的な学習の前提となるような、あるいはもしかしたら、専門的な学習では取り扱われないような、現代社会における死の問題を倫理学的な視点から検討したいと思います。

授業の到達目標(SBOs)

倫理学的な視点から現代社会における死の問題について考え、自分の意見を表明できること。一冊のテキストをしっかり読みこなすことができ、またその内容についてプレゼンテーションができること。 他の学生の意見や問いかけに対して、しっかり応答ができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	1/5	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	第1回	藤井　達夫
3-4	1/12	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	第2回	藤井　達夫
5-6	1/19	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	第3回	藤井　達夫
7-8	1/26	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	第4回	藤井　達夫

授業方法

この授業は、セミナー形式で行われます。受講生には、担当箇所のレジュメの作成とそれに基づくプレゼンテーションをしてもらいます。

授業内容

第1回　死生学について・・・・西洋のケース
第2回死生学について・・・・日本のケース
第3回～第8回・・・・テキストについてのプレゼンテーションとディスカッション

成績評価の方法

評価　：　試験　　0%　・　レポート　　0%　・　その他（課題(レジュメ)の提出とプレゼンテーション、授業内での取り組み）100%
再評価：　有（再評価方法）レポートの提出

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

テキストの熟読、レジュメの作成、プレゼンテーションの準備

教科書

エリザベス・キューブラー・ロス『死ぬ瞬間—死とその過程について』(中公文庫、2001 年)

参考書

授業内で随時、紹介していきます。

履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。